



平成 28 年度

第 52 回

県政に関する世論調査

報 告 書

平成 28 年 12 月

千 葉 県

は し が き

この調査は、県民の皆さまの生活意識や、県政に対してどのような関心や期待などを持っておられるかを把握し、県政推進の基礎資料とするため、昭和50年度から実施しています。

平成18年度からは年2回実施しており、今回は平成28年度第1回目の調査で、県内在住の満18歳以上の男女3,000名を対象に、今年8月に郵送法で実施しました。なお、今回の調査から対象者の年齢をこれまでの20歳以上から18歳以上に引き下げました。

具体的内容としては、環境と生活、健康、福祉、観光、千葉県の農林水産物、防災に関する取り組み、地方分権、広報・広聴活動について意識調査を行い、さらに、「県政への要望」について調査を実施しました。

この報告書が、県の施策立案や諸事業の推進などに活用されるだけでなく、広く県民の生活意識や県政に関心を寄せる方々に御活用いただければ幸いです。

終わりに、この調査に御協力いただきました県民の皆さまを始め、関係の方々に厚くお礼申し上げます。

平成28年12月

千葉県総合企画部長 遠山 誠一

目 次

調査の概要	1
調査の結果 調査結果の解説	15
1 環境と生活について	17
(1) 今後の居住意向	17
(1-1) 住み続けたい理由	20
(1-2) 移りたい理由	22
(2) 生活環境について	24
(3) 生活環境全般の満足度	28
(4) 自然・周辺環境について	30
(5) 自然・周辺環境全般の満足度	34
(6) 基盤整備について	36
(7) 現在の生活の満足度	40
(8) 住生活全般の満足度	52
(9) 市民活動団体やボランティア活動の関心度	54
(10) 市民活動団体の活動への参加経験	56
(11) ボランティア活動経験	58
2 健康について	60
(1) 健康づくりに取り組むことができる環境	60
(2) 健康づくりのための運動	62
(3) 安心して受診できる医療体制	64
(4) かかりつけ医の有無	66
3 福祉について	70
(1) 安心して子育てできる環境	70
(2) お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について	72
(3) 安心して暮らせる地域社会づくりについて	74
(4) 障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりについて	76
4 観光について	78
(1) 千葉県の魅力	78
(2) 県内で旅行に行きたいエリア	80
(3) 県内を観光する際に事前に知りたい情報	82
(4) 県内を観光する際の不満	84
(5) 県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの	86

5	千葉県の農林水産物について-----	88
	(1) 千葉県産農林水産物の購入意向 -----	88
	(1-1) 千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由 -----	90
	(1-2) 千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由 -----	92
	(2) 「ちばエコ農産物」の認知度 -----	94
	(3) 「千葉ブランド水産物」の認知度 -----	96
6	防災に関する取り組みについて-----	98
	(1) 大地震や風水害への不安 -----	98
	(2) 「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度 -----	100
	(3) 飲料水や食料の備蓄状況 -----	102
	(4) 災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度 -----	104
	(5) 地震の被害を防ぐための対策 -----	106
7	地方分権について-----	108
	(1) 地方分権を今後さらに進めていくべきか否か -----	108
	(1-1) 「地方分権」で期待する主な効果 -----	110
8	広報・広聴活動について-----	112
	(1) 県の施策や政策などについての関心度 -----	112
	(2) 県政に関する情報を得る手段 -----	114
	(3) 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況 -----	116
	(3-1) 「ちば県民だより」の内容について -----	118
	(4) 千葉県ホームページの利用頻度 -----	121
	(4-1) 千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ -----	123
	(5) 県の広報番組の視聴状況 -----	125
	(6) 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況 -----	127
	(7) 県の知りたい情報 -----	129
	(8) 知事への手紙などで意見を述べた経験 -----	131
	(9) 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと -----	132
	(10) 県政への意見の反映 -----	134
9	県政への要望-----	136
	(1) 県政への要望 -----	136
	(1-1) 各政策への具体的な要望 -----	142
10	自由回答-----	161
	(付) 調査票および単純集計結果 -----	169

調査の概要

調 査 の 概 要

1. 調査の目的

この調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の項目

(1) 県民意識調査

- ①環境と生活について
- ②健康について
- ③福祉について
- ④観光について
- ⑤千葉県の農林水産物について
- ⑥防災に関する取り組みについて
- ⑦地方分権について
- ⑧広報・広聴活動について

(2) 県政への要望

3. 調査の設計

- (1) 調査地域 千葉県全域
- (2) 調査対象 満18歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックごとに分類し（層化）、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して（二段）、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

- (5) 調査方法 郵送法（郵送配付－郵送回収）
- (6) 調査時期 平成28年 8 月 24 日～ 9 月 14 日

4. 調査機関

株式会社 エスピー研

5. 回収結果

標本数	(A)	3,000件
総回収数	(B)	1,541件
	有効回収数 (C)	1,540件
	無効回収数	1件
回収率	(B / A)	51.37%
有効回収率	(C / A)	51.33%

標本抽出方法

調査対象：千葉県内の市町村に居住する満18歳以上の男女個人

標本数：3,000人

地点数：市部 193地点

郡部 7地点

計 200地点

抽出法：層化二段無作為抽出法

〔層 化〕

1. 県内を、次の11地域に分類した。

地 域 名	該 当 市 郡 名
①千葉地域	千葉市、市原市
②葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
③東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
④印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡
⑤香取地域	香取市、香取郡
⑥海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
⑦山武地域	東金市、山武市、大網白里市、山武郡
⑧長生地域	茂原市、長生郡
⑨夷隅地域	勝浦市、いすみ市、夷隅郡
⑩安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡
⑪君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

2. 各地域内においては、
さらに市部、郡部に分け、層とした。

(注) ここでいう市とは、
平成28年4月1日現在市制施行の
地域をさす。



[標本数の配分]

各地域・市郡規模別の層における満18歳以上の人口（平成28年4月1日現在の推定数）に対して、3,000の標本数を比例配分した。

[抽出]

- 平成22年国勢調査時に設定された調査区を、第1次抽出単位となる調査単位として使用した。
 - 調査地点の抽出は、調査地点が2地点以上に割り当てられた層については、

$$\left(\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right)$$
を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。
 - 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、平成22年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。
 - 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。
- 以上の結果、各地域・市郡別（層別）の標本数・調査地点数は、次のとおりである。

地域 \ 市郡	市部	郡部	計
①千葉地域	1,046,816 600 40	0 0 0	1,046,816 600 40
②葛南地域	1,360,471 765 51	0 0 0	1,360,471 765 51
③東葛飾地域	1,236,993 705 47	0 0 0	1,236,993 705 47
④印旛地域	570,455 330 22	37,415 15 1	607,870 345 23
⑤香取地域	70,164 45 3	31,807 15 1	101,971 60 4
⑥海匝地域	149,377 90 6	0 0 0	149,377 90 6
⑦山武地域	142,360 75 5	43,444 30 2	185,804 105 7
⑧長生地域	78,868 45 3	54,644 30 2	133,512 75 5
⑨夷隅地域	52,915 30 2	15,864 15 1	68,779 45 3
⑩安房地域	108,246 60 4	7,632 0 0	115,878 60 4
⑪君津地域	279,341 150 10	0 0 0	279,341 150 10
計	5,096,006 2,895 193	190,806 105 7	5,286,812 3,000 200

（注）上段は満18歳以上の人口（平成28年4月1日現在）、中段は標本数、下段は調査地点数である。

調査地点一覧

地域	調 査 地 点 名	標 本 数	地域	調 査 地 点 名	標 本 数
①千葉地域	千葉市中央区長洲 1 丁目	15	①千葉地域	市原市白金町 1 丁目	15
	千葉市中央区青葉町	15		市原市大厩	15
	千葉市中央区松波 2 丁目	15		市原市椎の木台 1 丁目	15
	千葉市中央区松ヶ丘町	15		市原市君塚 5 丁目	15
	千葉市中央区花輪町	15		市原市南岩崎	15
	千葉市中央区蘇我 3 丁目	15	②葛南地域	市川市鬼越 2 丁目	15
	千葉市中央区本千葉町	15		市川市平田 3 丁目	15
	千葉市花見川区花園 3 丁目	15		市川市中山 2 丁目	15
	千葉市花見川区幕張町 5 丁目	15		市川市大和田 4 丁目	15
	千葉市花見川区朝日ヶ丘 3 丁目	15		市川市宮久保 1 丁目	15
	千葉市花見川区長作台 1 丁目	15		市川市原木 1 丁目	15
	千葉市花見川区花見川 1 番	15		市川市市川南 5 丁目	15
	千葉市花見川区こてはし台 5 丁目	15		市川市曾谷 3 丁目	15
	千葉市稲毛区轟町 2 丁目	15		市川市妙典 4 丁目	15
	千葉市稲毛区稲毛台町	15		市川市曾谷 2 丁目	15
	千葉市稲毛区園生町	15		市川市末広 1 丁目	15
	千葉市稲毛区小中台町	15		市川市宝 2 丁目	15
	千葉市稲毛区山王町	15		市川市行徳駅前 4 丁目	15
	千葉市若葉区桜木 2 丁目	15		市川市福栄 3 丁目	15
	千葉市若葉区小倉町	15		市川市南行徳 4 丁目	15
	千葉市若葉区みつわ台 1 丁目	15		市川市八幡 2 丁目	15
	千葉市若葉区千城台東 2 丁目	15		船橋市本町 4 丁目	15
	千葉市若葉区川井町	15		船橋市東船橋 4 丁目	15
	千葉市緑区鎌取町	15		船橋市栄町 1 丁目	15
	千葉市緑区あすみが丘 5 丁目	15		船橋市本中山 7 丁目	15
	千葉市緑区おゆみ野有吉	15		船橋市西船 1 丁目	15
	千葉市美浜区真砂 2 丁目	15		船橋市夏見 4 丁目	15
	千葉市美浜区浜田 2 丁目	15		船橋市上山町 2 丁目	15
	千葉市美浜区高洲 3 丁目	15		船橋市藤原 6 丁目	15
	千葉市美浜区高浜 1 丁目	15		船橋市二和西 1 丁目	15
	千葉市美浜区幕張西 2 丁目	15		船橋市みやぎ台 1 丁目	15
	市原市能満	15		船橋市松が丘 4 丁目	15
	市原市菊間	15		船橋市緑台 2 丁目	15
	市原市光風台 2 丁目	15		船橋市高根台 4 丁目	15
	市原市松ヶ島 1 丁目	15		船橋市習志野台 4 丁目	15

地域	調 査 地 点 名	標 本 数	地域	調 査 地 点 名	標 本 数
② 葛南地域	船橋市飯山満町 1 丁目	15	③ 東葛飾地域	松戸市六実 4 丁目	15
	船橋市習志野 5 丁目	15		松戸市新松戸 4 丁目	15
	船橋市前原東 5 丁目	15		野田市横内	15
	船橋市前原西 1 丁目	15		野田市中野台	15
	船橋市薬円台 3 丁目	15		野田市野田	15
	習志野市津田沼 2 丁目	15		野田市七光台	15
	習志野市谷津 4 丁目	15		野田市古布内	15
	習志野市藤崎 4 丁目	15		柏市東 1 丁目	15
	習志野市本大久保 4 丁目	15		柏市豊四季台 2 丁目	15
	習志野市東習志野 8 丁目	15		柏市柏下	15
	八千代市緑が丘 2 丁目	15		柏市永楽台 1 丁目	15
	八千代市村上（村上団地除く）	15		柏市篠籠田	15
	八千代市勝田台 2 丁目	15		柏市松葉町 2 丁目	15
	八千代市八千代台東 4 丁目	15		柏市東逆井 1 丁目	15
	八千代市高津（高津団地除く）	15		柏市酒井根 5 丁目	15
	浦安市猫実 2 丁目	15		柏市増尾台 4 丁目	15
	浦安市北栄 3 丁目	15		柏市みどり台 3 丁目	15
	浦安市富士見 5 丁目	15		柏市逆井 4 丁目	15
	浦安市美浜 5 丁目	15		柏市しいの木台 4 丁目	15
	浦安市今川 4 丁目	15		流山市松ヶ丘 5 丁目	15
	浦安市富士見 1 丁目	15		流山市流山	15
③ 東葛飾地域	松戸市南花島 3 丁目	15		流山市三輪野山 2 丁目	15
	松戸市本町	15		流山市富士見台 1 丁目	15
	松戸市南花島 1 丁目	15		流山市こうのす台	15
	松戸市和名ヶ谷	15		我孫子市寿 2 丁目	15
	松戸市栗山	15		我孫子市つくし野 1 丁目	15
	松戸市上本郷	15		我孫子市東我孫子 1 丁目	15
	松戸市常盤平 2 丁目	15		我孫子市布佐	15
	松戸市五香西 6 丁目	15		鎌ヶ谷市南初富 1 丁目	15
	松戸市西馬橋蔵元町	15		鎌ヶ谷市道野辺中央 1 丁目	15
	松戸市新松戸 3 丁目	15		鎌ヶ谷市鎌ヶ谷 9 丁目	15
	松戸市馬橋	15		鎌ヶ谷市鎌ヶ谷 5 丁目	15
	松戸市小金原 7 丁目	15	④ 印旛地域	成田市圀護台	15
	松戸市五香 3 丁目	15		成田市美郷台 2 丁目	15
	松戸市横須賀 2 丁目	15		成田市寺台	15
	松戸市東平賀	15		成田市新駒井野	15

地域	調 査 地 点 名	標 本 数	地域	調 査 地 点 名	標 本 数
④ 印旛地域	成田市吉岡	15	⑧ 長生地域	茂原市町保	15
	佐倉市宮前 2 丁目	15		茂原市下永吉	15
	佐倉市六崎	15		茂原市六ツ野	15
	佐倉市臼井	15		長生郡長生村金田	15
	佐倉市南ユーカーが丘	15		長生郡長南町又富	15
	佐倉市西志津 4 丁目	15	⑨ 夷隅地域	勝浦市新官	15
	四街道市鹿渡	15		いすみ市岬町岩熊	15
	四街道市内黒田	15		夷隅郡御宿町須賀	15
	四街道市めいわ 3 丁目	15	⑩ 安房地域	館山市八幡	15
	八街市八街に	15		館山市亀ヶ原	15
	八街市大谷流	15		鴨川市天津	15
	印西市大森	15		南房総市千倉町北朝夷	15
	印西市小倉台 2 丁目	15	⑪ 君津地域	木更津市清見台東 1 丁目	15
	印西市中央南 1 丁目	15		木更津市真舟 3 丁目	15
	白井市復	15		木更津市高砂 1 丁目	15
	白井市清水口 2 丁目	15		木更津市請西南 4 丁目	15
	富里市新橋	15		君津市常代 1 丁目	15
	富里市十倉	15		君津市三直	15
	印旛郡酒々井町東酒々井 3 丁目	15		君津市東猪原	15
⑤ 香取地域	香取市牧野	15		富津市小久保	15
	香取市玉造 3 丁目	15		袖ヶ浦市福王台 2 丁目	15
	香取市下小堀	15		袖ヶ浦市川原井	15
	香取郡多古町飯笹	15			
⑥ 海匝地域	銚子市新生町 1 丁目	15			
	銚子市前宿町	15			
	銚子市長塚町 4 丁目	15			
	旭市ハ	15			
	旭市平松	15			
	匝瑳市上谷中	15			
⑦ 山武地域	東金市高倉	15			
	東金市福俵	15			
	山武市日向台	15			
	大網白里市永田	15			
	大網白里市四天木	15			
	山武郡九十九里町作田	15			
	山武郡横芝光町新井	15			

回答者の属性

1. 性

	基数	構成比	0 10 20 30 40 50 60 (%)
1 男性	694	45.1	45.1
2 女性	819	53.2	53.2
(無回答)	27	1.8	1.8
全 体	1,540	100.0	

2. 年 代

	基数	構成比	0 10 20 30 40 (%)
1 18～19歳	19	1.2	1.2
2 20代	110	7.1	7.1
3 30代	166	10.8	10.8
4 40代	279	18.1	18.1
5 50代	259	16.8	16.8
6 60～64歳	151	9.8	9.8
7 65歳以上	531	34.5	34.5
(無回答)	25	1.6	1.6
全 体	1,540	100.0	

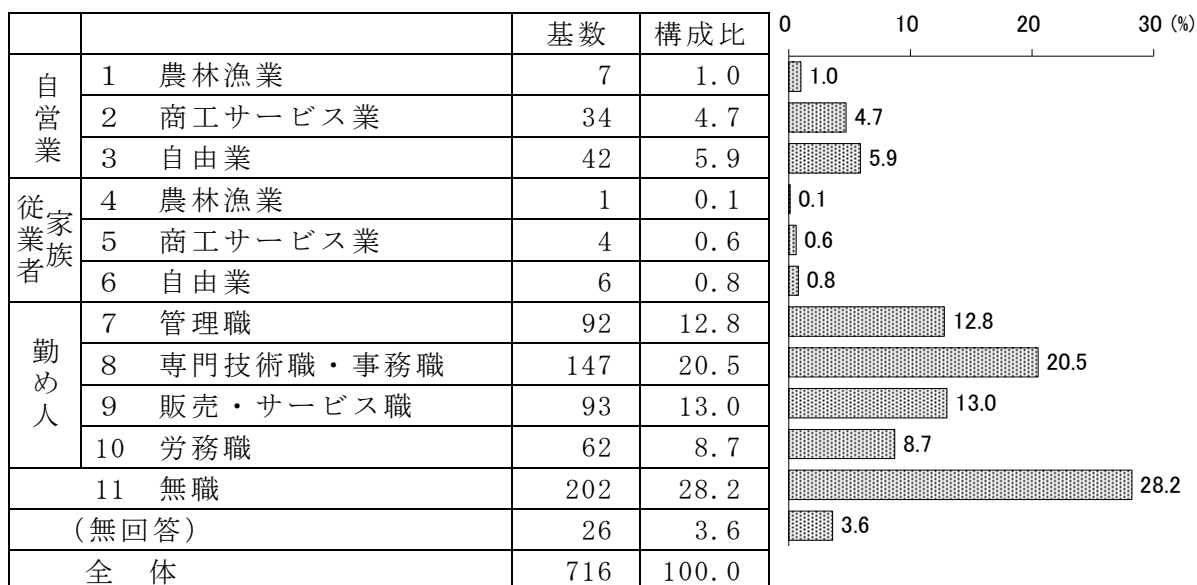
3. 本人職業

	基数	構成比	0 10 20 30 40 (%)
自 営 業	1 農林漁業	19	1.2
	2 商工サービス業	35	2.3
	3 自由業	45	2.9
従 業 者	4 農林漁業	6	0.4
	5 商工サービス業	6	0.4
	6 自由業	13	0.8
勤 め 人	7 管理職	97	6.3
	8 専門技術・事務職	295	19.2
	9 販売・サービス職	174	11.3
	10 労務職	87	5.6
無 職	11 主婦・主夫	501	32.5
	12 学生	41	2.7
	13 その他	165	10.7
(無回答)	56	3.6	3.6
全 体	1,540	100.0	

4. 世帯内の地位

	基数	構成比	0 10 20 30 40 50 60 (%)
1 主として家計を支えている	786	51.0	51.0
2 家計を支えていない	716	46.5	46.5
(無回答)	38	2.5	2.5
全 体	1,540	100.0	

5. 世帯主職業



6. 未既婚

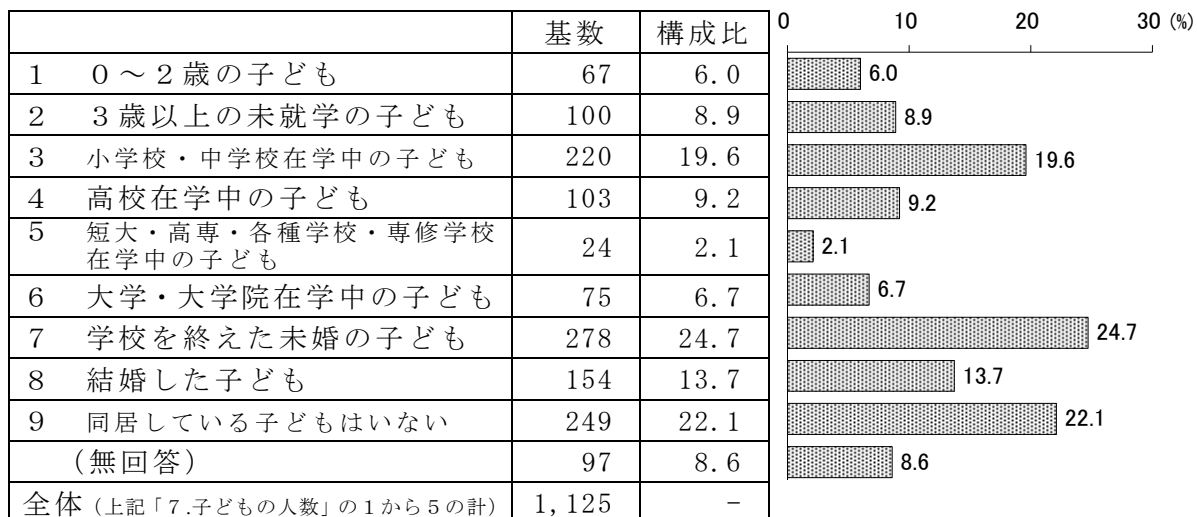


7. 子どもの人数



8. 子どもの成長段階

※1人の回答者が複数回答で行う設問であるため、基数・構成比ともに選択項目の合計が全体数を上回る。



9. 家族構成



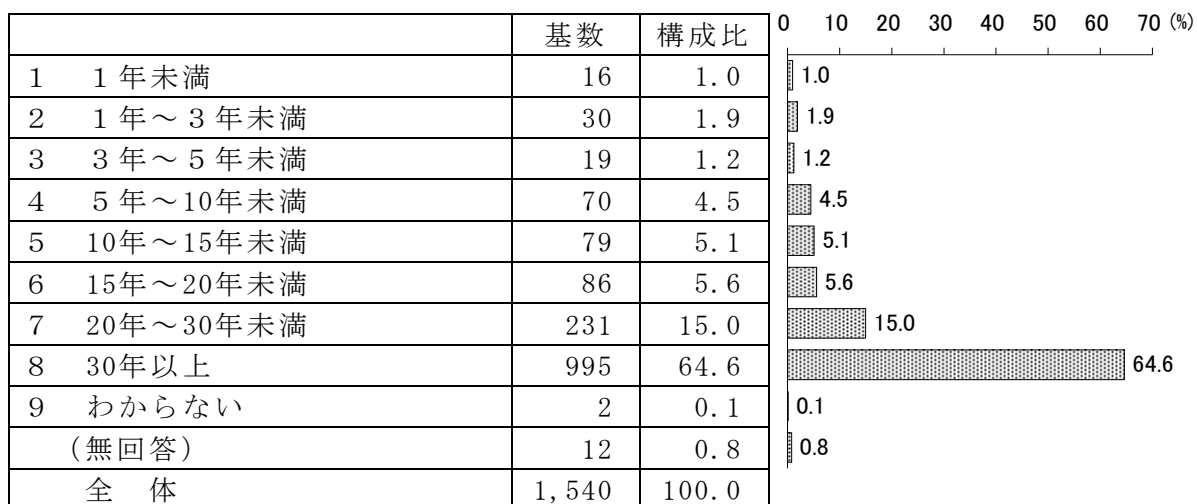
10. 高齢者の同居の有無



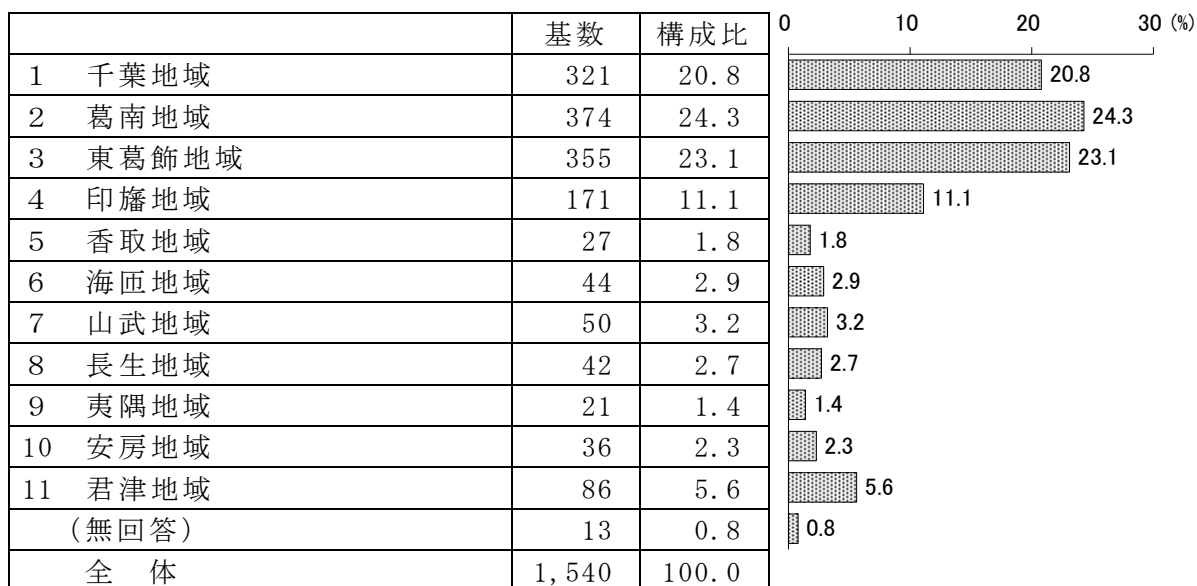
11. 住 宅



12. 県内居住年数



13. 地 域



(報告書の見方)

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

- (1) 比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- (2) 基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として算出した。
- (3) 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- (4) 前回調査の設問から、分かりやすく実態に合わせたものにするため、表現等を変更したものがある。
- (5) 地域別、性・年齢別の分析において、サンプル数の少ない属性の分析については、グラフ上で数値が高いものでも有意差がなく、分析でふれていない場合がある。
- (5) この調査の標本誤差は次の式によって得られる。但し、信頼度を95%とする。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数 (サンプル数)
 P = 回答比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

回答比率 (P)		10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
基数 (n)						
総 数	1,540人	± 2.16%	± 2.88%	± 3.30%	± 3.53%	± 3.60%
千葉地域	321	± 4.74%	± 6.31%	± 7.23%	± 7.73%	± 7.89%
葛南地域	374	± 4.39%	± 5.85%	± 6.70%	± 7.16%	± 7.31%
東葛飾地域	355	± 4.50%	± 6.00%	± 6.88%	± 7.35%	± 7.51%
印旛地域	171	± 6.49%	± 8.65%	± 9.91%	± 10.60%	± 10.81%
香取地域	27	± 16.33%	± 21.77%	± 24.94%	± 26.67%	± 27.22%
海匝地域	44	± 12.79%	± 17.06%	± 19.54%	± 20.89%	± 21.32%
山武地域	50	± 12.00%	± 16.00%	± 18.33%	± 19.60%	± 20.00%
長生地域	42	± 13.09%	± 17.46%	± 20.00%	± 21.38%	± 21.82%
夷隅地域	21	± 18.52%	± 24.69%	± 28.28%	± 30.24%	± 30.86%
安房地域	36	± 14.14%	± 18.86%	± 21.60%	± 23.09%	± 23.57%
君津地域	86	± 9.15%	± 12.20%	± 13.98%	± 14.94%	± 15.25%
男 性	694	± 3.22%	± 4.29%	± 4.92%	± 5.26%	± 5.37%
女 性	819	± 2.96%	± 3.95%	± 4.53%	± 4.84%	± 4.94%

調 査 の 結 果

調査結果の解説

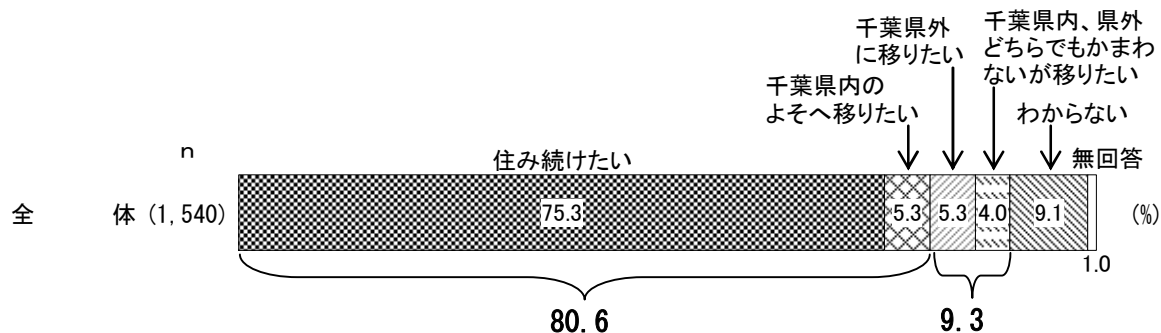
1 環境と生活について

(1) 今後の居住意向

◇「住み続けたい」が7割台半ば

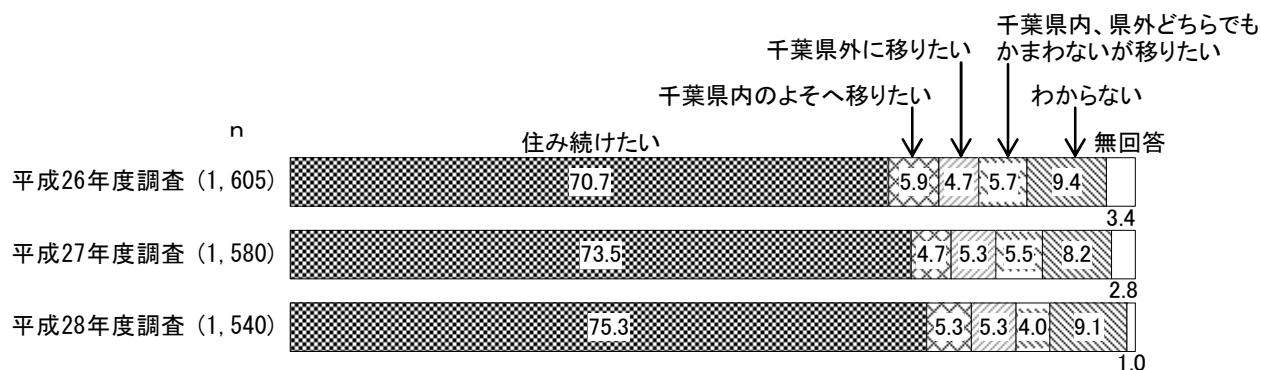
問1 あなたは、現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

<図表1-1>今後の居住意向



現在お住まいの地域の今後の居住意向を聞いたところ、「住み続けたい」(75.3%)が7割台半ばで、「千葉県内のよそへ移りたい」(5.3%)を合わせた『千葉県内に住み続けたい』(80.6%)が8割で高くなっている。一方、「千葉県外に移りたい」(5.3%)と「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」(4.0%)を合わせた『移りたい』(9.3%)は約1割である。(図表1-1)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



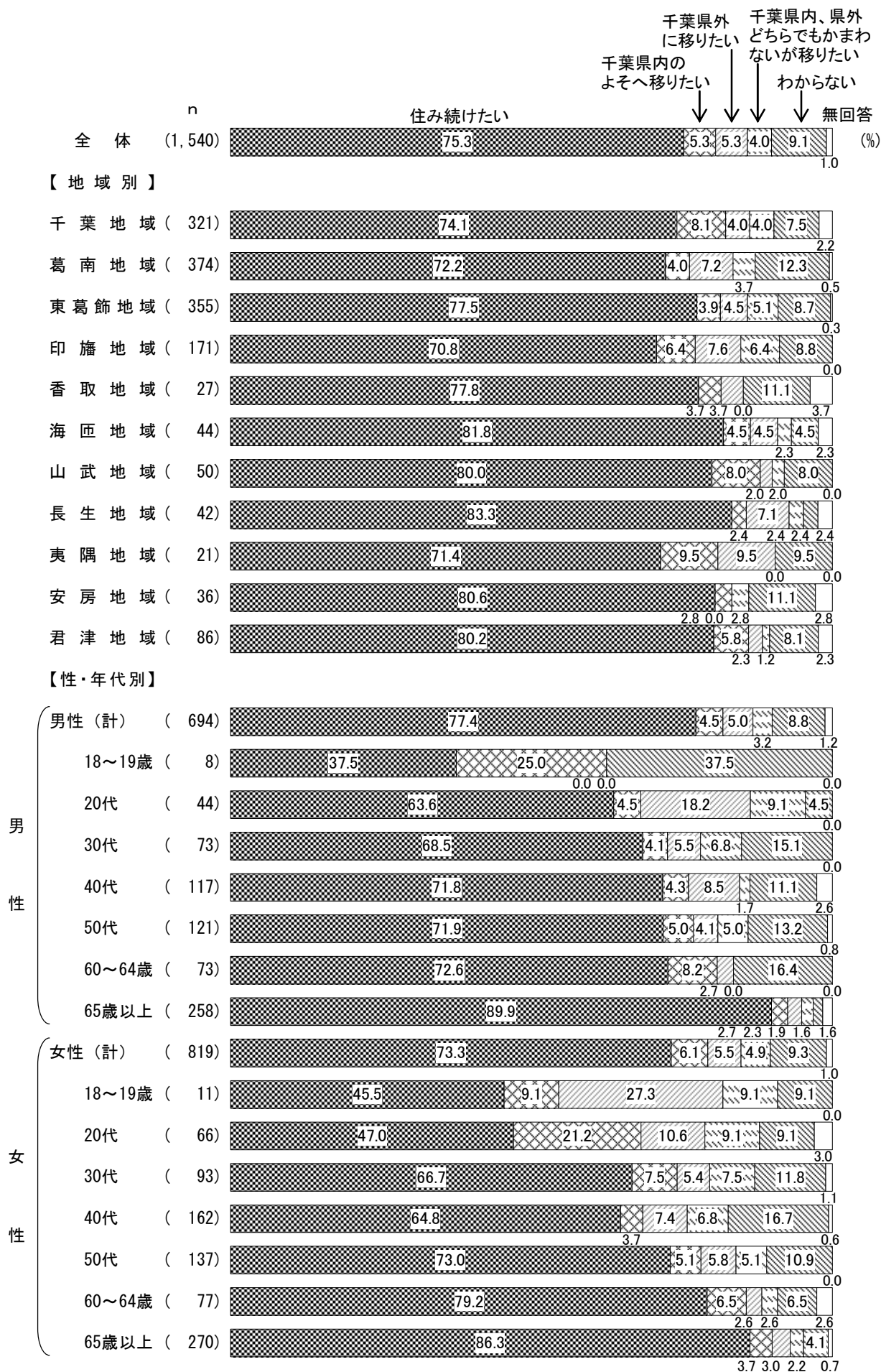
【地域別】

地域別にみると、「住み続けたい」は“長生地域”(83.3%)と“海匝地域”(81.8%)が8割を超えて、“安房地域”(80.6%)と“君津地域”(80.2%)が8割で高くなっている。(図表1-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「住み続けたい」は男性の65歳以上(89.9%)と女性の65歳以上(86.3%)が8割台で高くなっている。(図表1-2)

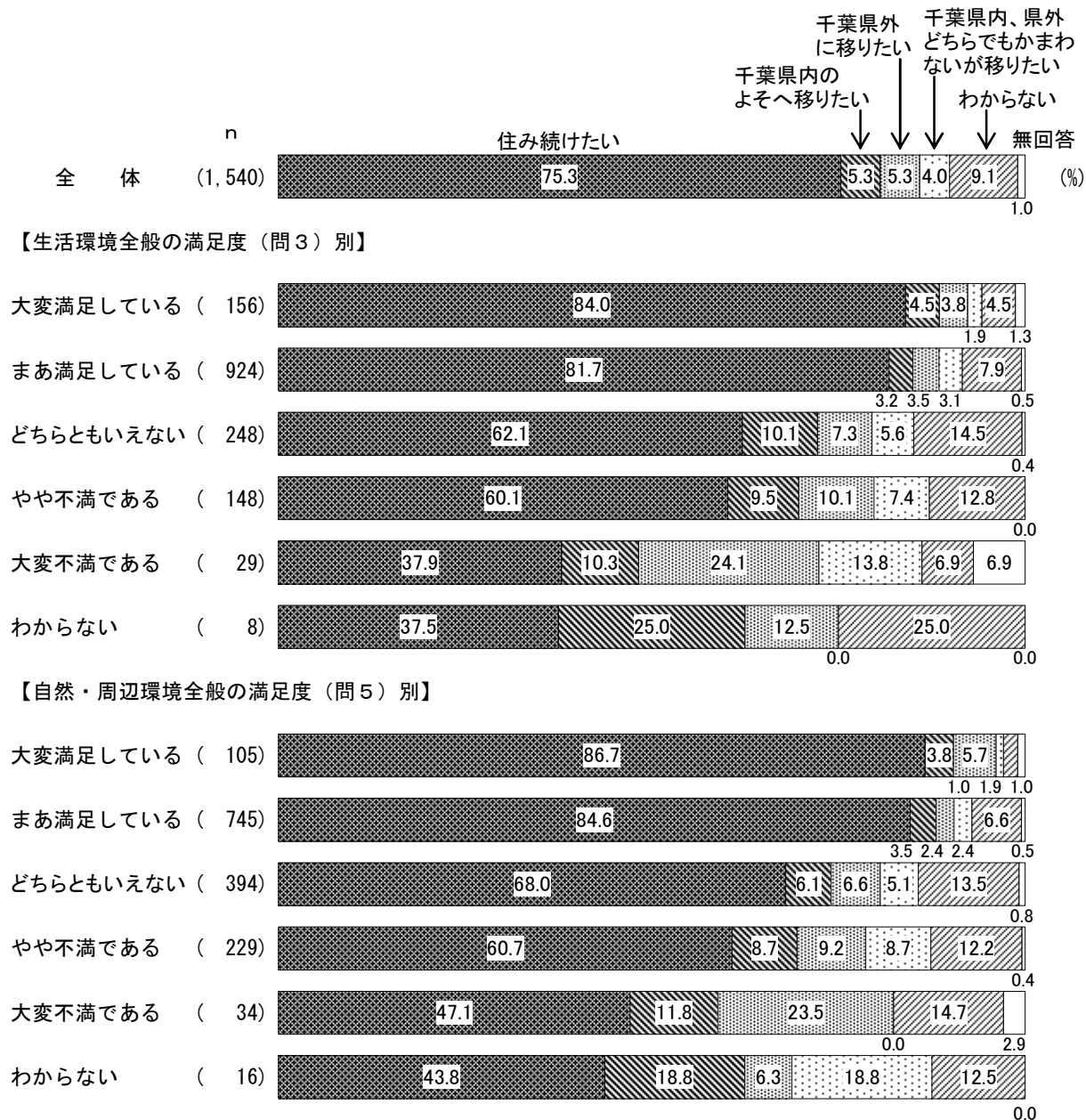
＜図表１－２＞今後の居住意向／地域別、性・年代別



<今後の居住意向と各環境の満足度>

居住意向について、今回の調査における、問3「生活環境全般の満足度」と問5「自然・周辺環境全般の満足度」の設問間のクロス集計を行ったところ、生活環境全般の満足度、自然・周辺環境全般の満足度が高いほど、「住み続けたい」という回答の割合が高くなる傾向にある。(図表1－3)

<図表1－3>今後の居住意向と各環境の満足度



（１－１）住み続けたい理由

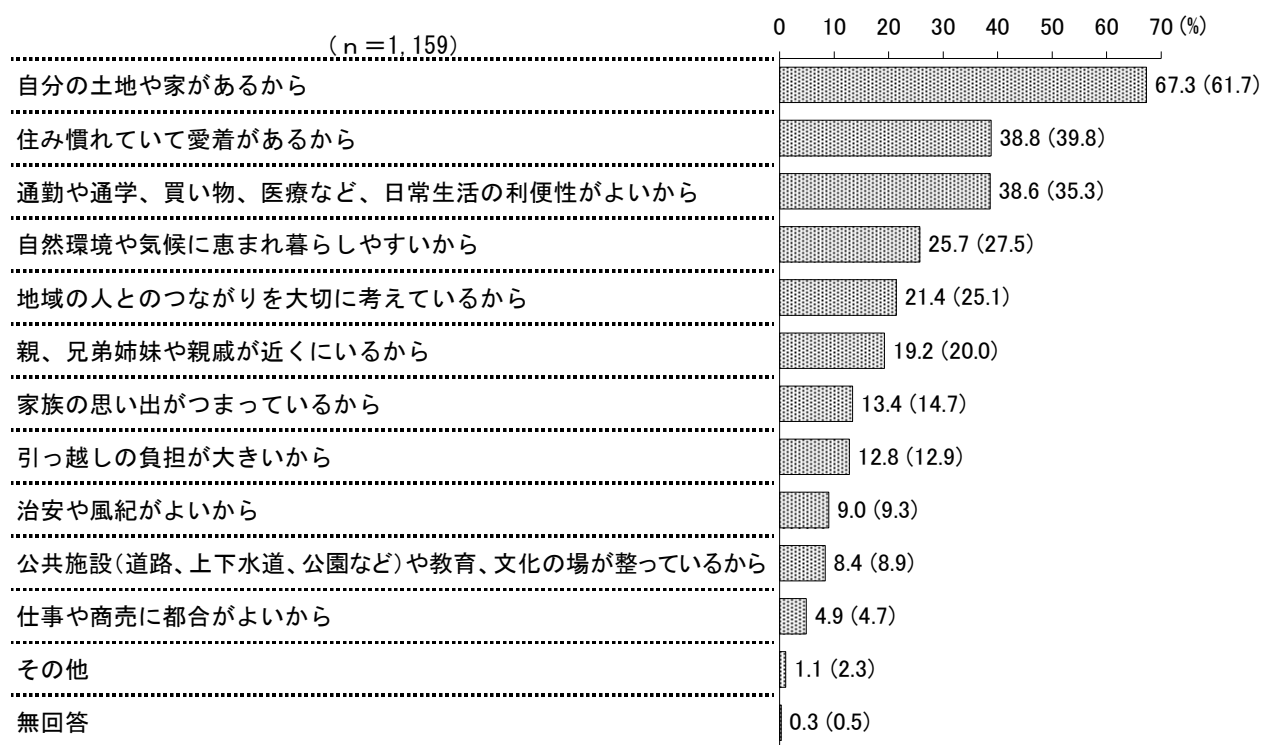
◇「自分の土地や家があるから」が約７割

（問１で「住み続けたい」とお答えの方に）

問１－１ あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

（○は３つまで）

<図表１－４>住み続けたい理由（３つまでの複数回答）



注) () の数字は平成27年度の同様の項目による調査結果 n=1,161

「住み続けたい」と回答した1,159人を対象に、住み続けたい理由を３つまで選んでもらったところ、「自分の土地や家があるから」（67.3％）が約７割で最も高く、以下、「住み慣れていて愛着があるから」（38.8％）、「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」（38.6％）が続く。（図表１－４）

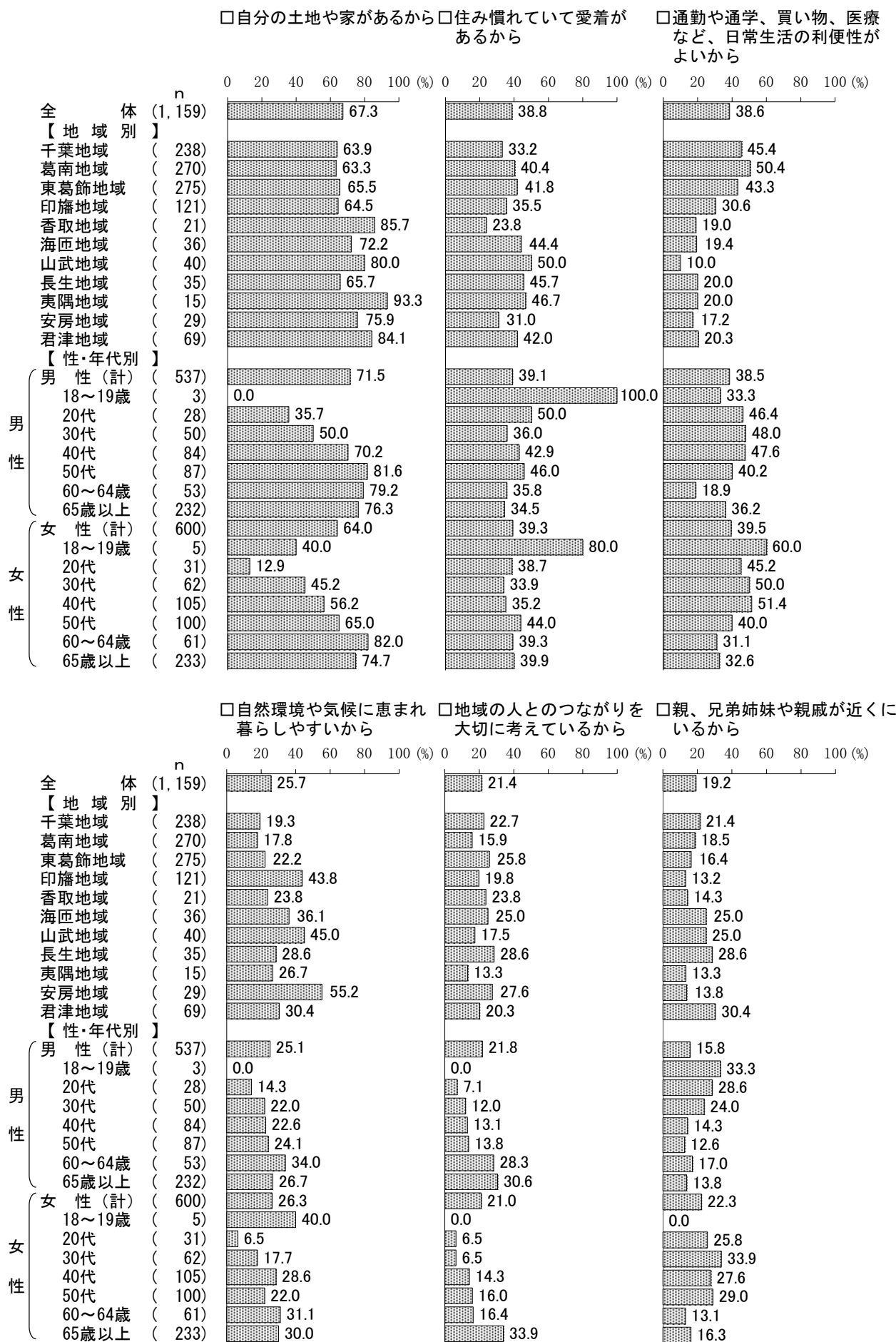
【地域別】

地域別にみると、「自分の土地や家があるから」は“夷隅地域”（93.3％）が９割を超えて、“香取地域”（85.7％）と“君津地域”（84.1％）が８割台半ばで高くなっている。「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」は“葛南地域”（50.4％）が５割で高くなっている。「自然環境や気候に恵まれ暮らしやすいから」は“安房地域”（55.2％）が５割台半ばで高くなっている。（図表１－５）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「自分の土地や家があるから」は男性の50代（81.6％）と女性の60～64歳（82.0％）が８割を超えて高くなっている。（図表１－５）

＜図表１－５＞住みたい理由／地域別、性・年代別（上位６項目）



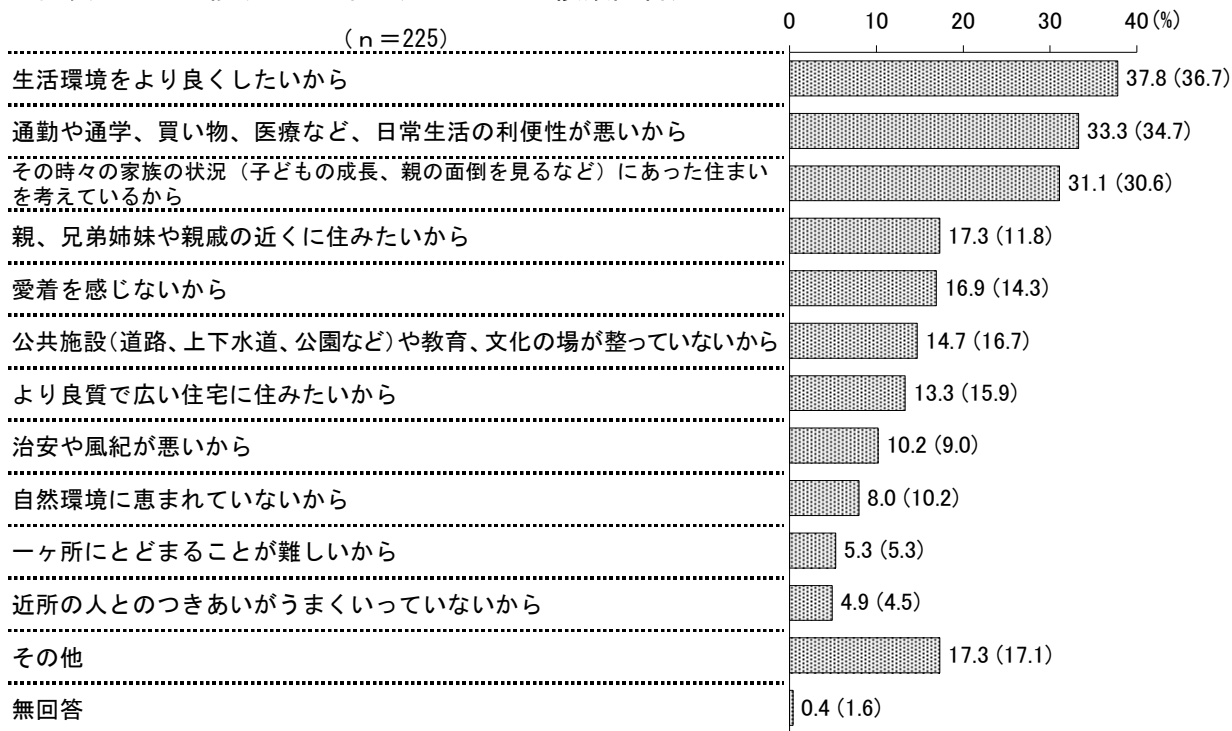
(1-2) 移りたい理由

◇「生活環境をより良くしたいから」が約4割

(問1で「千葉県内のよそへ移りたい」「千葉県外に移りたい」「千葉県内、県外どちらでもかまわ
ないが移りたい」のいずれかをお答えの方に)

問1-2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。(○は3つまで)

<図表1-6>移りたい理由(3つまでの複数回答)



注) () の数字は平成27年度の同様の項目による調査結果 n=245

「千葉県内のよそへ移りたい」、「千葉県外に移りたい」、「千葉県内、県外どちらでもかまわ
ないが移りたい」と回答した225人を対象に、移りたい理由を3つまで選んでもらったところ、「生活環
境をより良くしたいから」(37.8%) が約4割で最も高く、以下、「通勤や通学、買い物、医療など、
日常生活の利便性が悪いから」(33.3%)、「その時々家族の状況にあった住まいを考えているか
ら」(31.1%)が続く。(図表1-6)

【地域別】

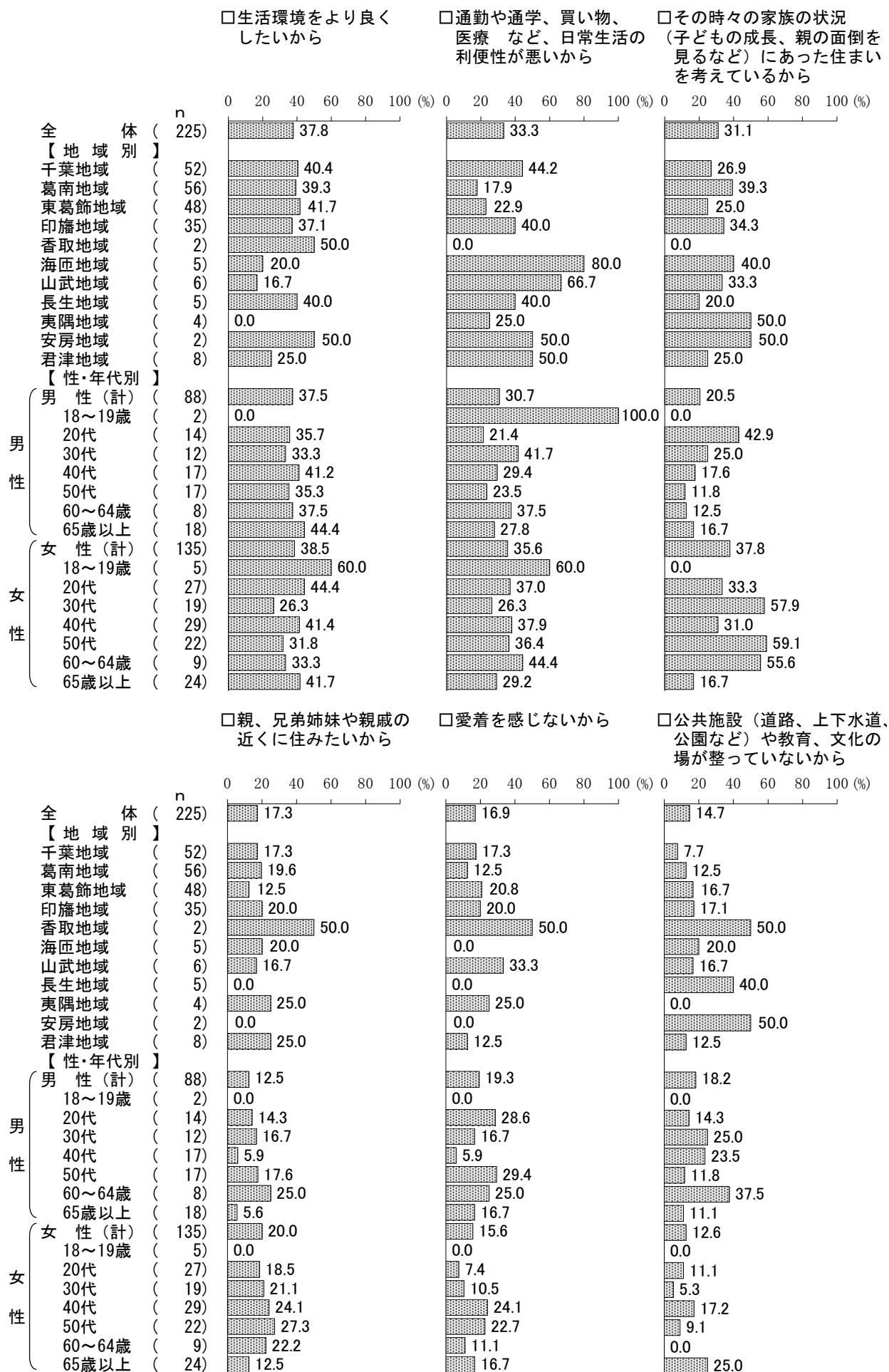
地域別にみると、「通勤や通学、買い物、医療 など、日常生活の利便性が悪いから」は“海
匝地域”(80.0%)、“山武地域”(66.7%)が高くなっている。(図表1-7)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「その時々家族の状況(子どもの成長、親の面倒を見るなど)にあった
住まいを考えているから」は男性の20代(42.9%)が4割を超えて、女性の30代(57.9%)、50代
(59.1%)が約6割で高くなっている。(図表1-7)

(※サンプル数の少ない属性の分析については、「報告書の見方」を参照)

<図表 1-7>移りたい理由／地域別、性・年代別（上位 6 項目）



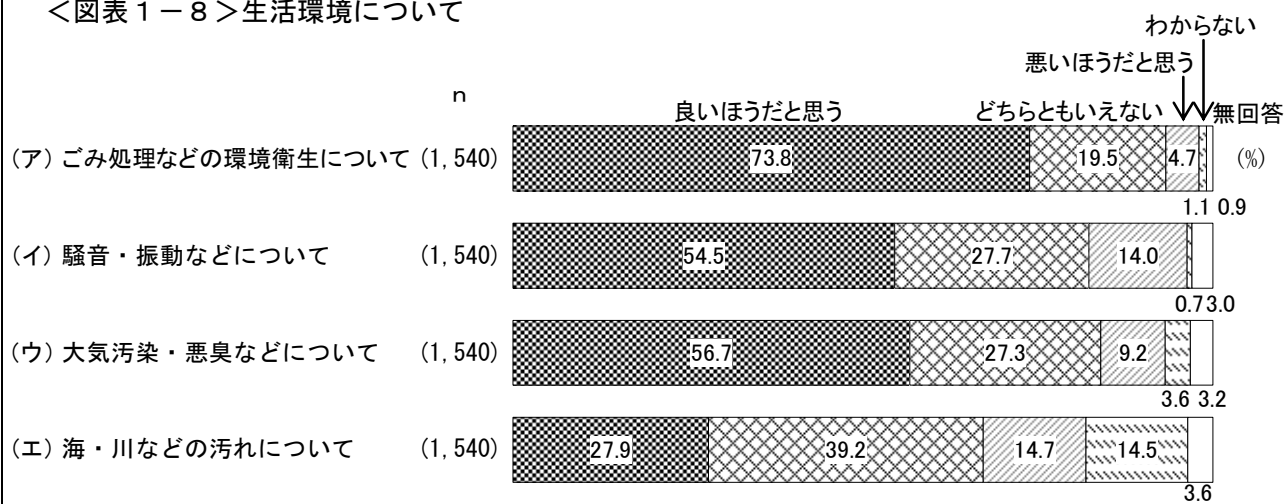
(2) 生活環境について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈ごみ処理などの環境衛生について〉で7割を超える

問2 あなたは、現在お住まいの地域の生活環境についてどう思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

＜図表1－8＞生活環境について



生活環境に関する4つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈ごみ処理などの環境衛生について〉(73.8%)で7割を超えて高くなっている。以下、〈大気汚染・悪臭などについて〉(56.7%)と〈騒音・振動などについて〉(54.5%)が5割台半ばとなっている。

一方、「悪いほうだと思う」は、〈海・川などの汚れについて〉(14.7%)と〈騒音・振動などについて〉(14.0%)が1割台半ばとなっている。(図表1－8)

【地域別】

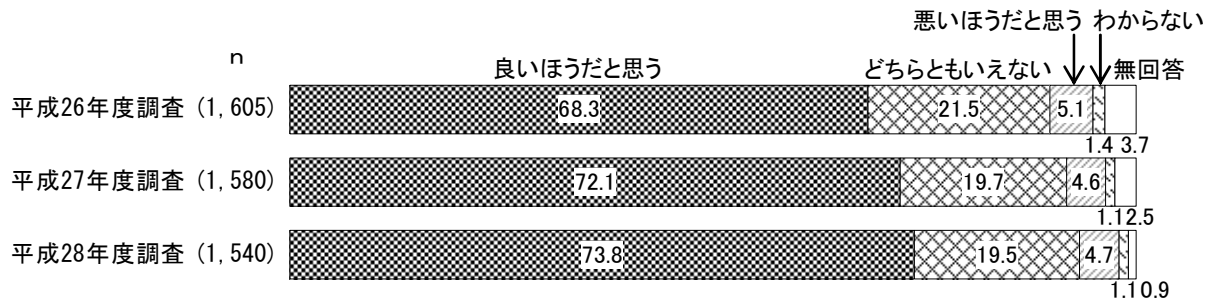
地域別にみると、〈騒音・振動などについて〉において、「良いほうだと思う」は“安房地域”(69.4%)が約7割で高くなっている。〈大気汚染・悪臭などについて〉において、「良いほうだと思う」は“安房地域”(77.8%)が約8割で高くなっている。〈海・川などの汚れについて〉において、「良いほうだと思う」は“安房地域”(47.2%)が約5割で高くなっている。(図表1－9)

【性・年代別】

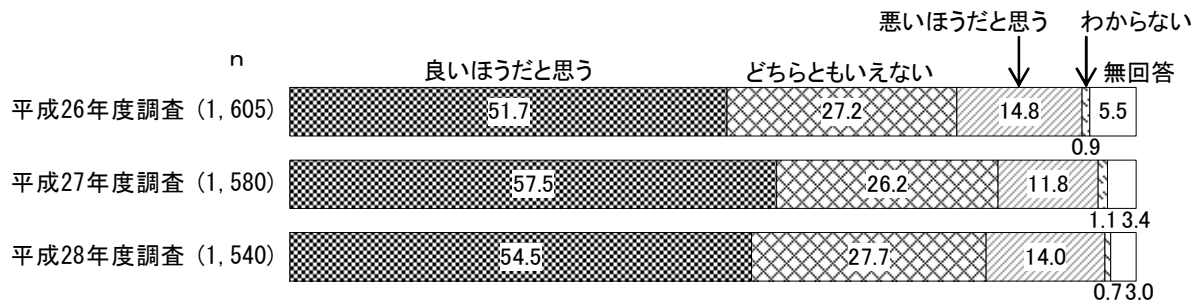
性・年代別にみると、〈ごみ処理などの環境衛生について〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上(83.3%)と女性の65歳以上(81.1%)が8割を超えて高くなっている。〈騒音・振動などについて〉において、「良いほうだと思う」は男性の60～64歳(61.6%)が6割を超えて、65歳以上(60.1%)が6割で高くなっている。〈大気汚染・悪臭などについて〉において、「良いほうだと思う」は男性の50代(66.1%)と女性の60～64歳(66.2%)が6割台半ばで高くなっている。〈海・川などの汚れについて〉において、「良いほうだと思う」は男性の50代(40.5%)が4割で高くなっている。(図表1－9)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

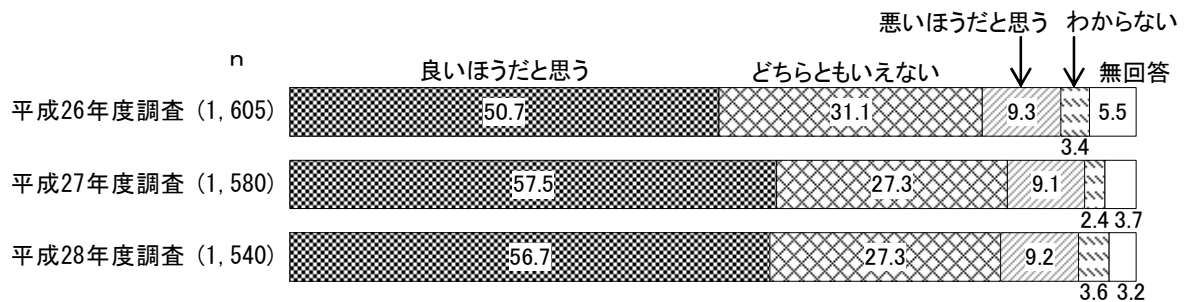
（ア）ごみ処理などの環境衛生について



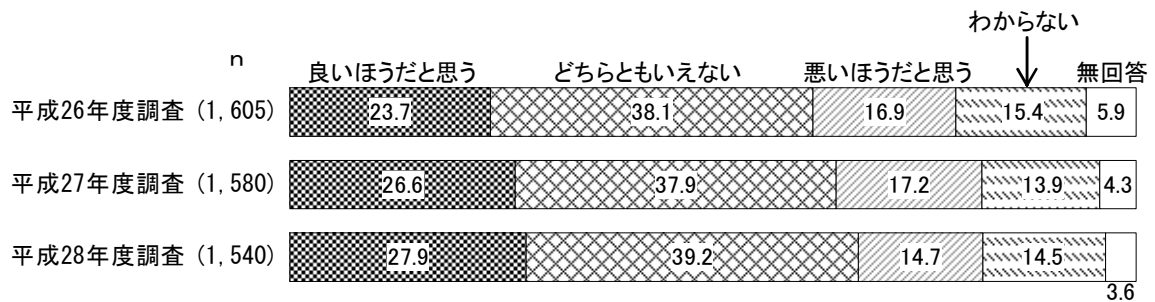
（イ）騒音・振動などについて



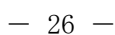
（ウ）大気汚染・悪臭などについて



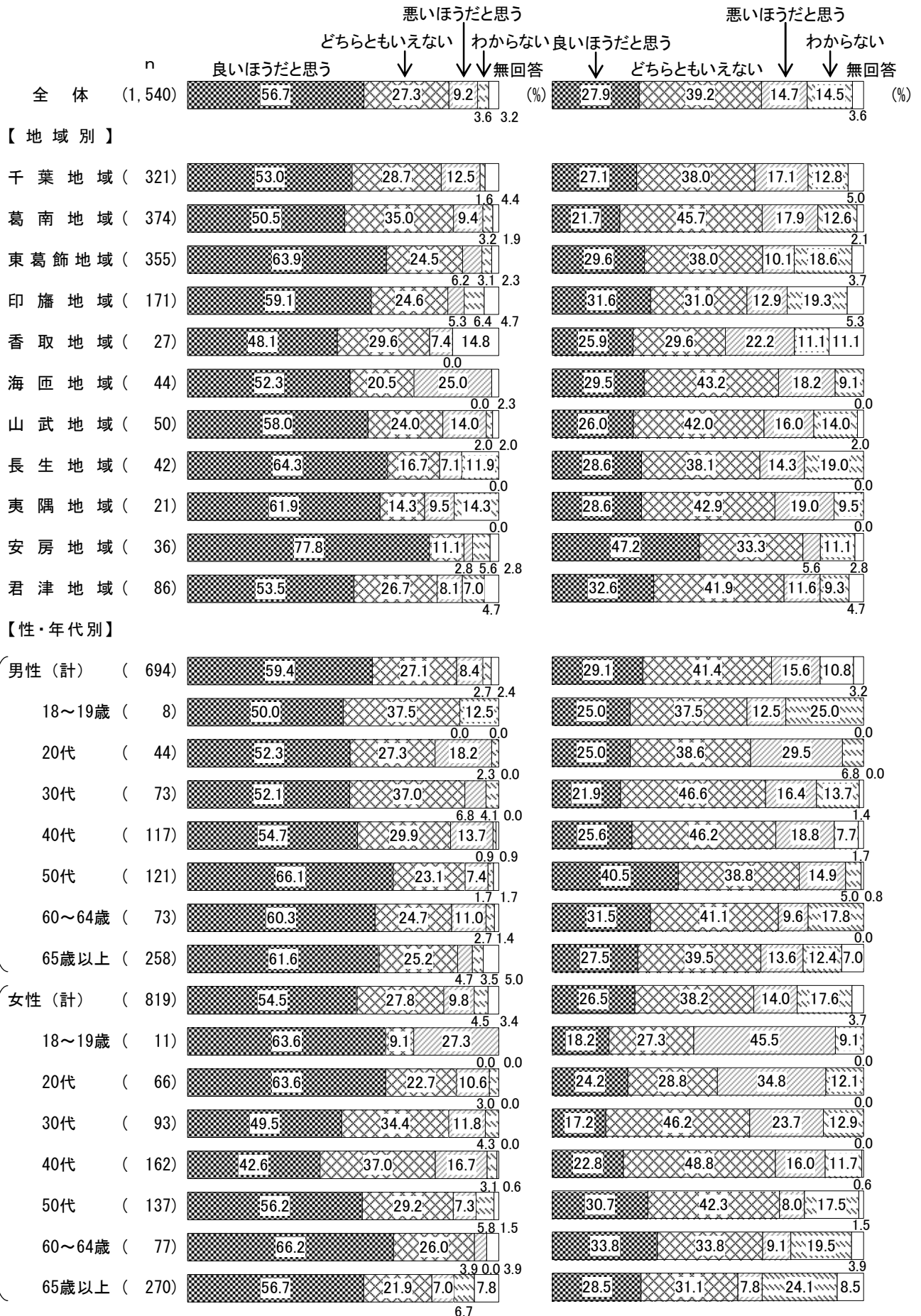
（エ）海・川などの汚れについて



(ア) ごみ処理などの環境衛生について (イ) 騒音・振動などについて



(エ) 海・川などの汚れについて



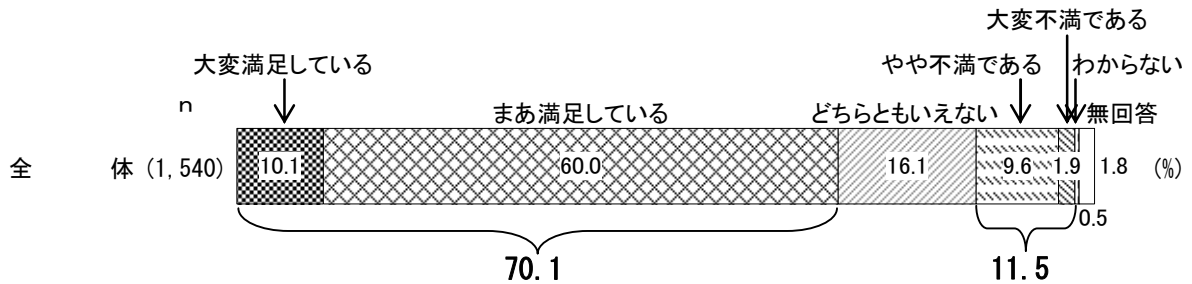
(3) 生活環境全般の満足度

◇『満足している』が7割

問3 あなたは、問2の（ア）～（エ）のような生活環境全般についてどう感じですか。

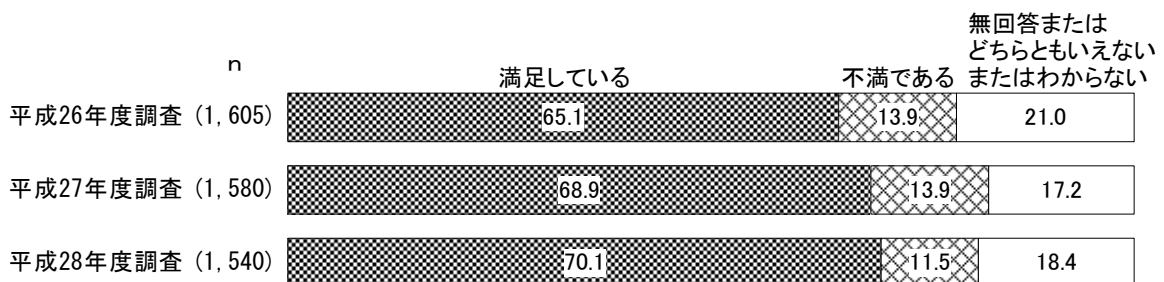
（○は1つ）

<図表 1－10>生活環境全般の満足度



生活環境全般に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(10.1%)と「まあ満足している」(60.0%)を合わせた『満足している』(70.1%)が7割で高くなっている。一方、「やや不満である」(9.6%)と「大変不満である」(1.9%)を合わせた『不満である』(11.5%)は1割を超えている。(図表1－10)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



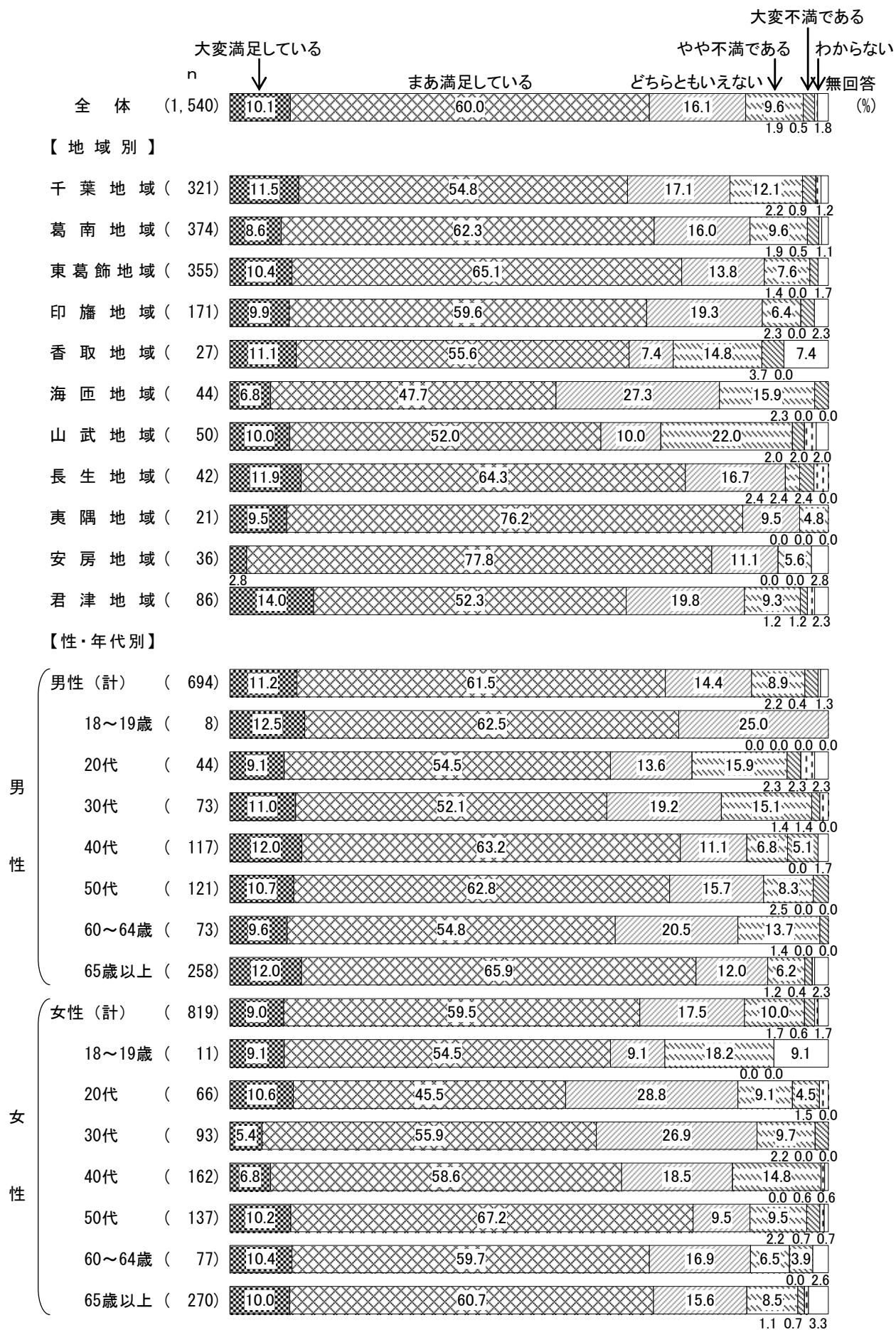
【地域別】

地域別にみると、『満足している』は“夷隅地域”(85.7%)が8割台半ばで高くなっている。一方、『不満である』は“山武地域”(24.0%)が2割台半ばで高くなっている。(図表1－11)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は男性の65歳以上(77.9%)と女性の50代(77.4%)が約8割で高くなっている。(図表1－11)

＜図表 1－11＞生活環境全般の満足度／地域別、性・年代別



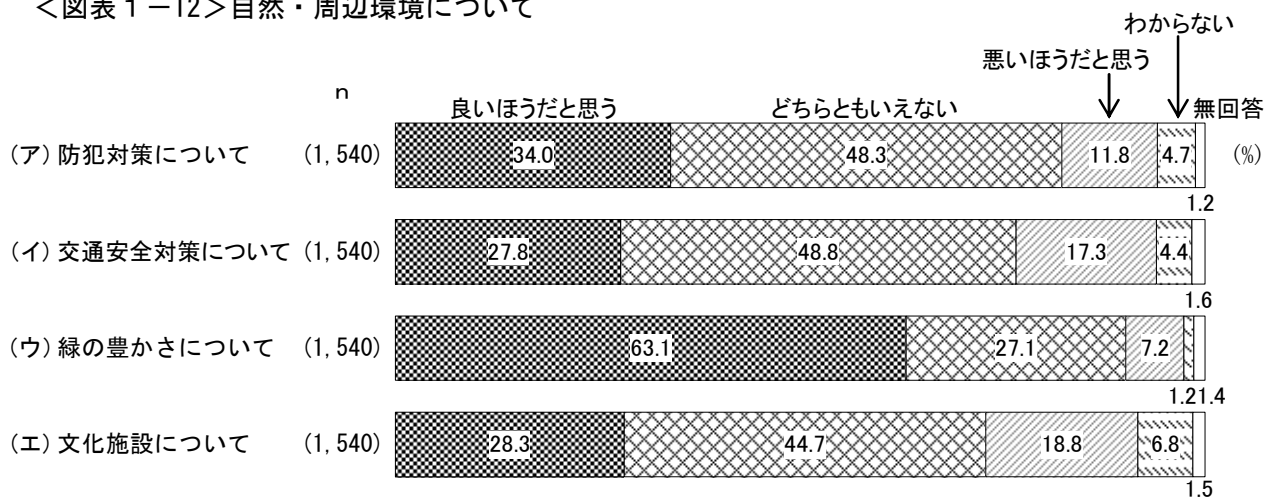
(4) 自然・周辺環境について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈緑の豊かさについて〉で6割を超える

問4 あなたは、現在お住まいの地域の自然・周辺環境についてどう思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

＜図表1-12＞自然・周辺環境について



自然・周辺環境に関する4つの項目についてそれぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは〈緑の豊かさについて〉(63.1%)で6割を超えており、以下、〈防犯対策について〉(34.0%)、〈文化施設について〉(28.3%)、〈交通安全対策について〉(27.8%)が続く。

(図表1-12)

【地域別】

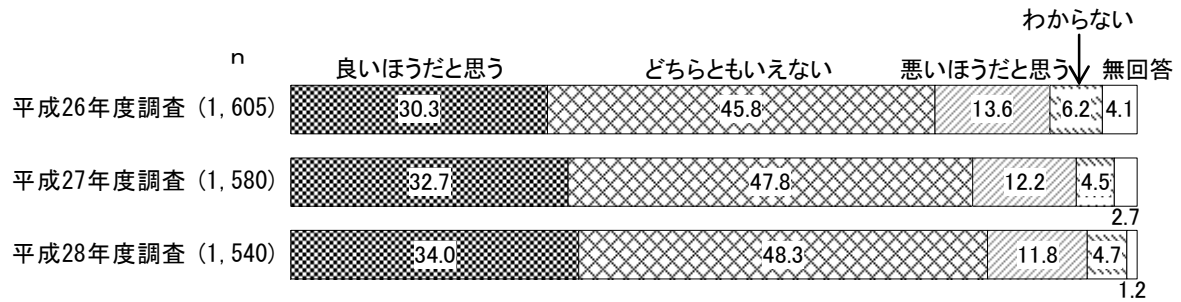
地域別にみると、〈防犯対策について〉において、「良いほうだと思う」は“東葛飾地域”(40.6%)と“印旛地域”(40.9%)が4割、“夷隅地域”(42.9%)が4割を超えて高くなっている。〈交通安全対策について〉において、「良いほうだと思う」は“海匝地域”(34.1%)が3割台半ばで高くなっている。〈緑の豊かさについて〉において、「良いほうだと思う」は“安房地域”(91.7%)と“夷隅地域”(90.5%)が9割台で高くなっている。〈文化施設について〉において、「良いほうだと思う」は“葛南地域”(36.9%)が3割台半ばで高くなっている。(図表1-13)

【性・年代別】

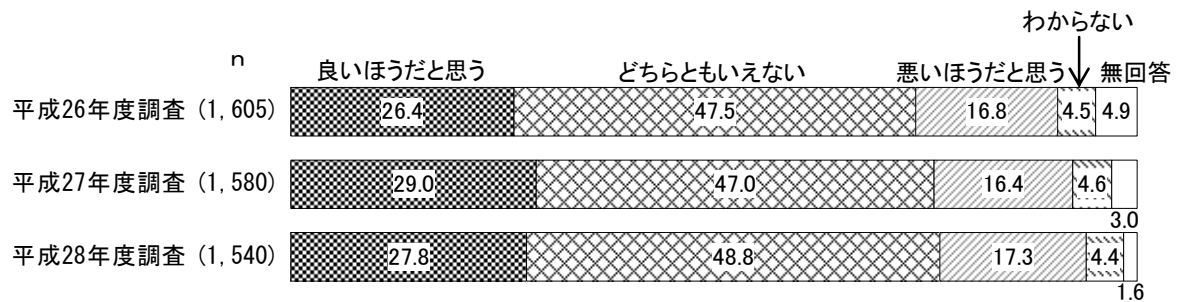
性・年代別でみると、〈防犯対策について〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上(45.7%)が4割台半ばで高くなっている。〈交通安全対策について〉において、「悪いほうだと思う」は男性の40代(30.8%)が3割で高くなっている。〈緑の豊かさについて〉において、「良いほうだと思う」は女性の50代(73.0%)が7割を超えて、60～64歳(70.1%)が7割と高くなっている。〈文化施設について〉において、「良いほうだと思う」は男性の30代(34.2%)と女性の20代(36.4%)が3割台半ばで高くなっている。(図表1-13)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

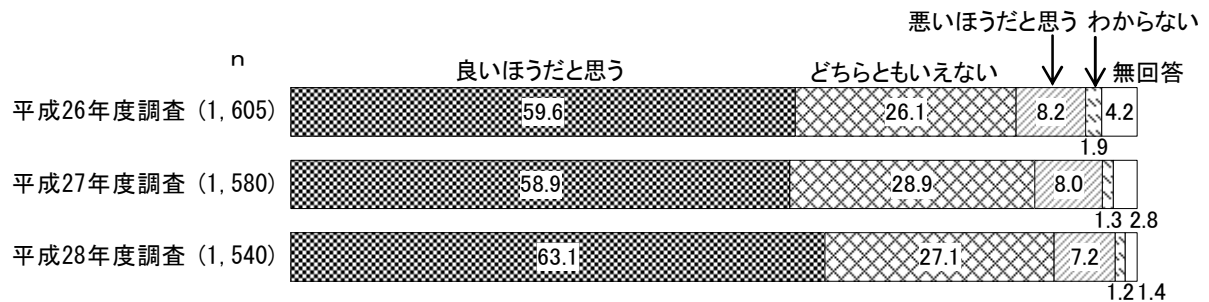
（ア）防犯対策について



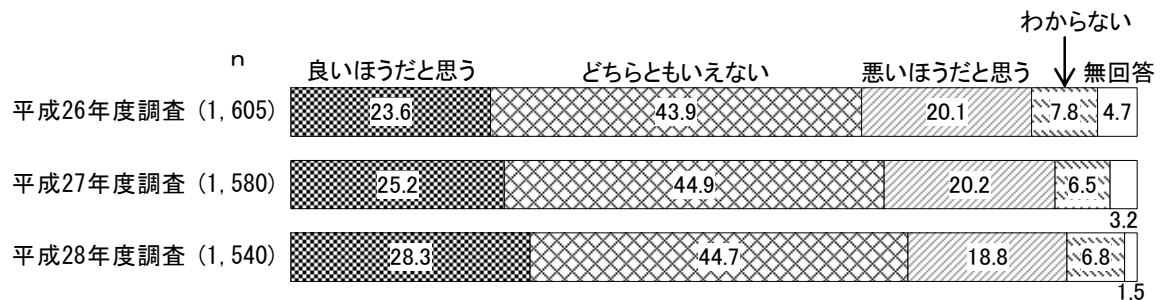
（イ）交通安全対策について



（ウ）緑の豊かさについて



（エ）文化施設について



(ア) 防犯対策について

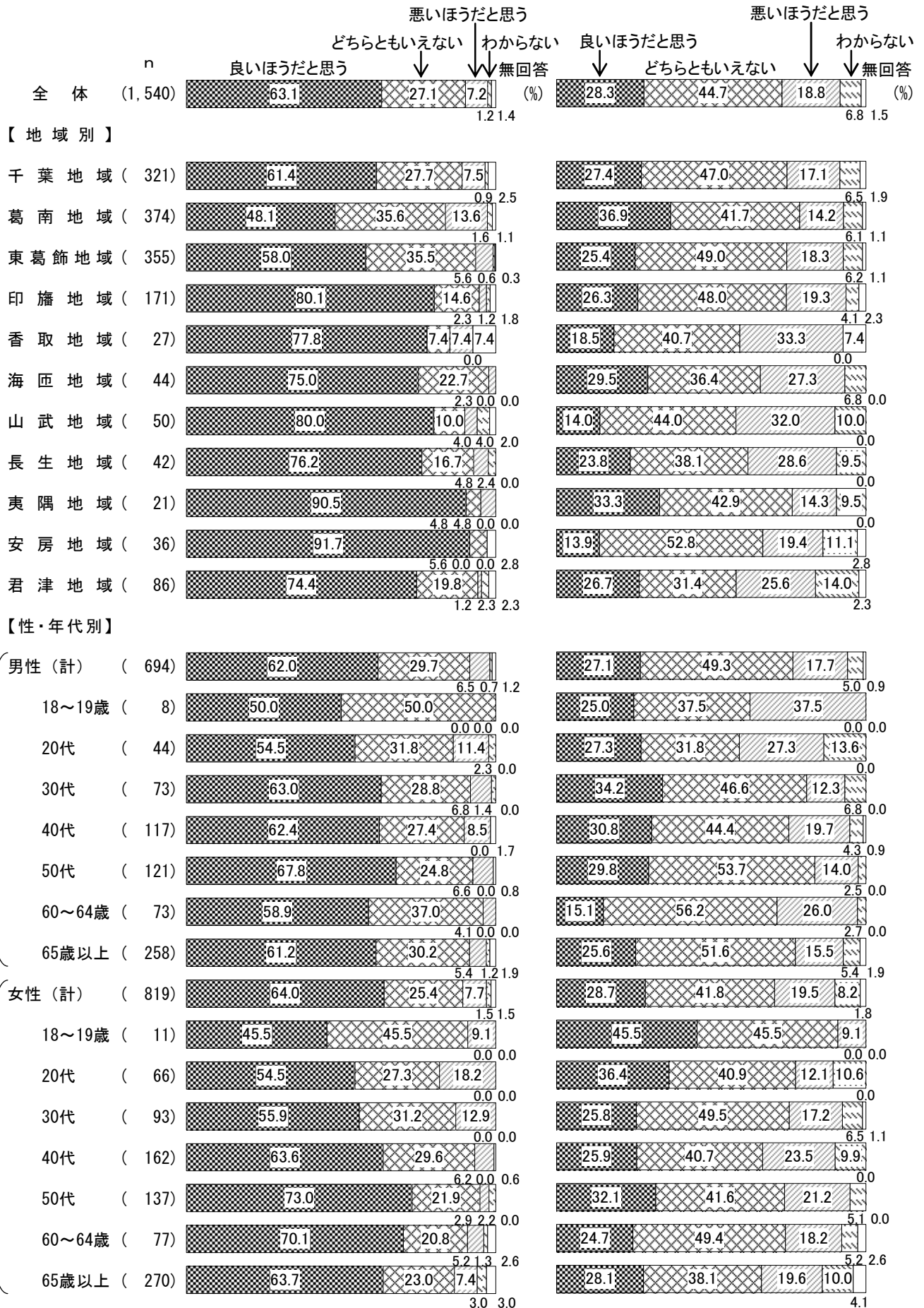
良いほうだと思う ↓ 悪いほうだと思う ↓ わからない ↓ どちらともいえない ↓ 無回答 ↓
 (34.0) (48.3) (11.8) (4.7) (1.2) (27.8) (48.8) (17.3) (4.4) (1.6) (%)

地域名	人口数	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
千葉地域	321	30.5	48.9	14.0	5.0	1.6	27.4	49.2	15.3	5.0	3.1											
葛南地域	374	30.2	54.0	11.2	3.2	1.3	24.6	47.1	24.1	3.7	0.5											
東葛飾地域	355	40.6	46.2	9.0	3.4	0.8	33.2	47.0	13.8	4.8	1.1											
印旛地域	171	40.9	42.7	8.8	6.4	1.2	27.5	49.7	16.4	4.1	2.3											
香取地域	27	25.9	51.9	14.8	3.7	3.7	22.2	44.4	22.2	3.7	7.4											
海匝地域	44	34.1	45.5	20.5	0.0	0.0	34.1	50.0	15.9	0.0	0.0											
山武地域	50	32.0	38.0	22.0	8.0	0.0	18.0	62.0	14.0	6.0	0.0											
長生地域	42	28.6	50.0	11.9	9.5	0.0	33.3	47.6	14.3	4.8	0.0											
夷隅地域	21	42.9	33.3	14.3	9.5	0.0	33.3	42.9	9.5	14.3	0.0											
安房地域	36	25.0	58.3	8.3	5.6	2.8	25.0	52.8	16.7	2.8	2.8											
君津地域	86	25.6	50.0	14.0	8.1	2.3	19.8	55.8	18.6	4.7	1.2											

性別	年齢層	人口数	平成25年度				平成26年度			
			就業率	就業人口	失業者	失業者率	就業率	就業人口	失業者	失業者率
男性	男性(計)	694	36.3	254	47.1	12.7	3.5	27.5	192	2.9
	18~19歳	8	37.5	3	37.5	12.5	0.0	50.0	4	0.0
	20代	44	25.0	11	52.3	11.4	0.0	29.5	9	0.0
	30代	73	19.2	14	63.0	13.7	4.1	16.4	12	4.1
	40代	117	31.6	37	46.2	18.8	2.6	23.9	28	2.6
	50代	121	35.5	43	44.6	15.7	4.1	24.0	17	1.7
	60~64歳	73	35.6	26	42.5	17.8	4.1	24.7	10	2.7
65歳以上	258	45.7	118	45.0	7.0	1.6	33.7	14	1.9	
女性	女性(計)	819	31.4	257	49.9	11.4	5.6	27.5	225	5.6
	18~19歳	11	36.4	4	36.4	9.1	0.0	36.4	4	0.0
	20代	66	24.2	16	57.6	13.6	4.5	27.3	18	6.1
	30代	93	20.4	19	63.4	11.8	4.3	16.1	19	3.2
	40代	162	23.5	38	51.9	19.8	4.9	25.3	24	6.2
	50代	137	31.4	43	56.2	7.3	5.1	27.7	16	8.0
	60~64歳	77	29.9	23	53.2	10.4	3.9	20.8	12	3.9
65歳以上	270	41.5	112	39.3	8.9	5.9	34.1	22	5.2	

(ウ) 緑の豊かさについて

(エ) 文化施設について

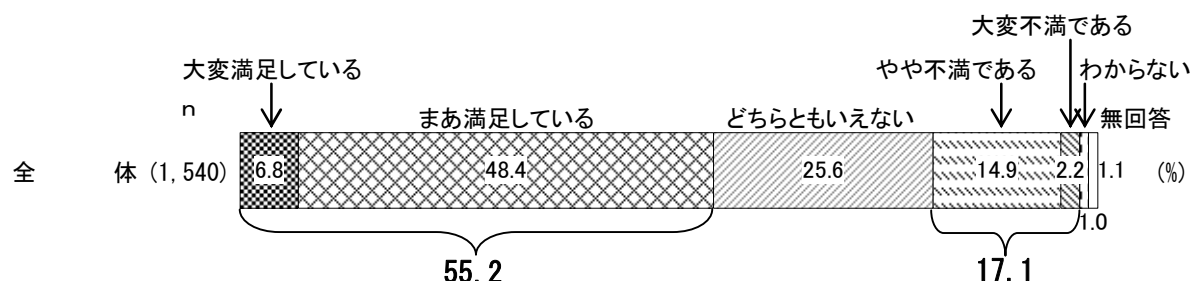


（５）自然・周辺環境全般の満足度

◇『満足している』が５割台半ば

問５ あなたは、問４の（ア）～（エ）のような自然・周辺環境全般についてどう感じますか。（○は１つ）

<図表１－１４> 自然・周辺環境全般の満足度



自然・周辺環境に関する４つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」（６．８％）と「まあ満足している」（４８．４％）を合わせた『満足している』（５５．２％）が５割台半ばとなっている。一方、「やや不満である」（１４．９％）と「大変不満である」（２．２％）を合わせた『不満である』（１７．１％）は約２割となっている。（図表１－１４）

〔参考〕平成２６年度・平成２７年度調査の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成２６年度調査（１，６０５）	49.5	18.3	32.2
平成２７年度調査（１，５８０）	50.9	18.2	30.9
平成２８年度調査（１，５４０）	55.2	17.1	27.7

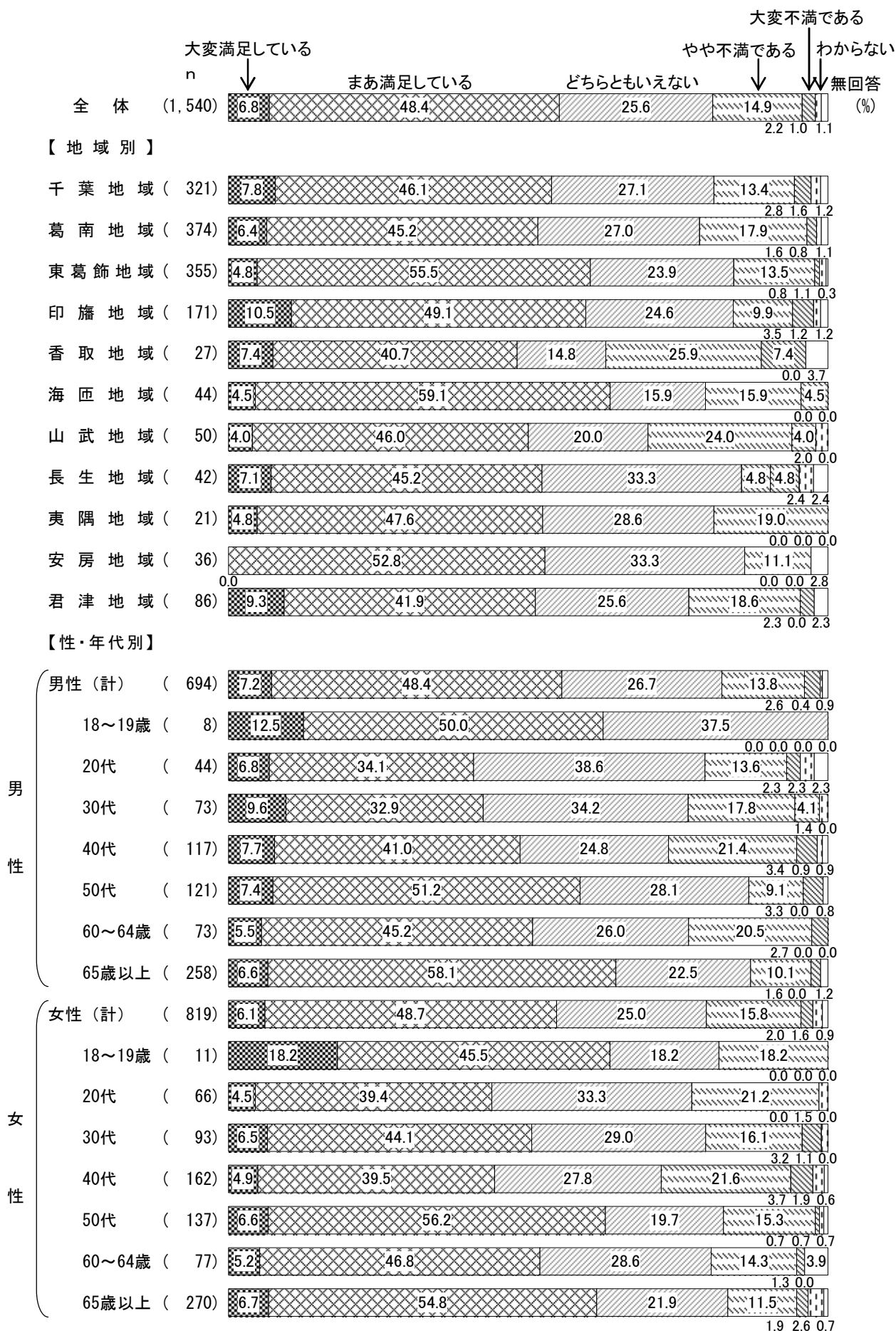
【地域別】

地域別にみると、『満足している』は“海匠地域”（６３．６％）が６割台半ば、“東葛飾地域”（６０．３％）が６割で高くなっている。一方、『不満である』は“香取地域”（３３．３％）が３割を超えて高くなっている。（図表１－１５）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は男性の６５歳以上（６４．７％）が６割台半ばで高くなっている。一方、『不満である』は男性の４０代（２４．８％）と女性の４０代（２５．３％）が２割台半ばで高くなっている。（図表１－１５）

＜図表 1－15＞自然・周辺環境全般の満足度／地域別、性・年代別



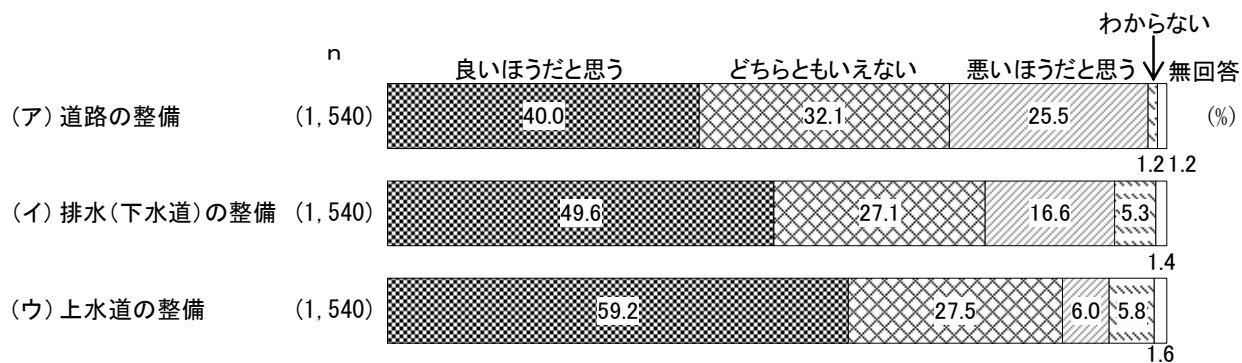
(6) 基盤整備について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈上水道の整備〉で約6割

問6 あなたは、現在お住まいの地域の基盤整備についてどう思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

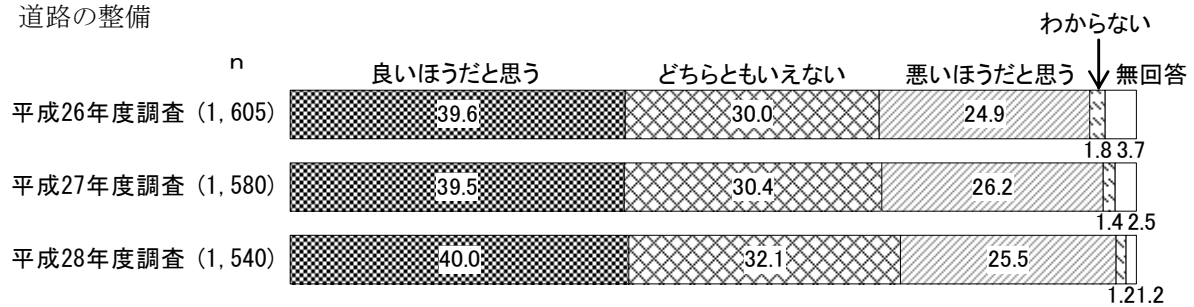
＜図表1－16＞基盤整備について



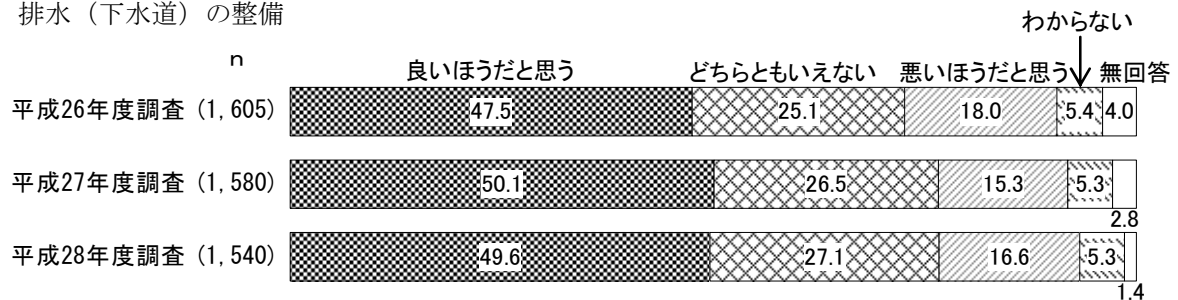
基盤整備に関する3つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈上水道の整備〉(59.2%)で約6割となっている。以下、〈排水(下水道)の整備〉(49.6%)が約5割、〈道路の整備〉(40.0%)が4割となっている。(図表1－16)

【参考】平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

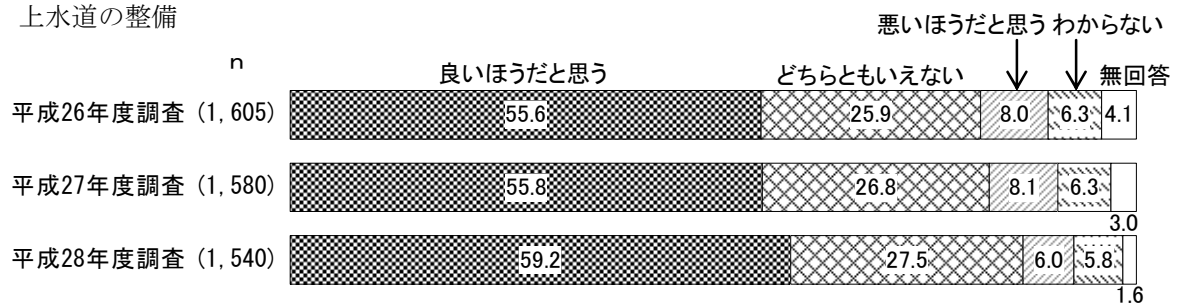
（ア）道路の整備



（イ）排水（下水道）の整備



（ウ）上水道の整備



【地域別】

地域別にみると、〈道路の整備〉において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”（54.5％）が5割台半ばで高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は“海匝地域”（43.2％）が4割を超えて高くなっている。〈排水（下水道）の整備〉において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”（58.9％）と“東葛飾地域”（58.9％）が約6割で高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は“夷隅地域”（38.1％）と“山武地域”（38.0％）が約4割で高くなっている。〈上水道の整備〉において、「良いほうだと思う」は“東葛飾地域”（68.7％）が約7割で高くなっている。（図表1－17）

【性・年代別】

性・年代別にみると、〈道路の整備〉において、「良いほうだと思う」は女性の20代（50.0％）が5割で高くなっている。〈排水（下水道）の整備〉において、「良いほうだと思う」は男性の20代（56.8％）、65歳以上（55.4％）が5割台半ばで高くなっている。〈上水道の整備〉において、「良いほうだと思う」は男性の40代（68.4％）、65歳以上（69.0％）が約7割で高くなっている。

（図表1－17）

(ア) 道路の整備

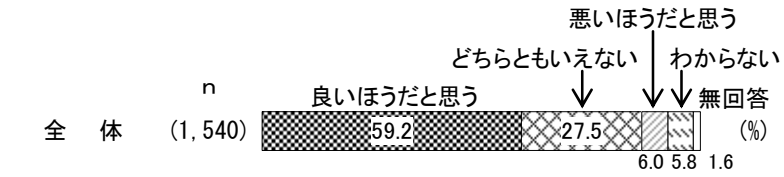
全体 (1,540)

回答	割合 (%)
良いほうだと思う	40.0
どちらともいえない	32.1
悪いほうだと思う	25.5
わからない	1.2
無回答	1.2

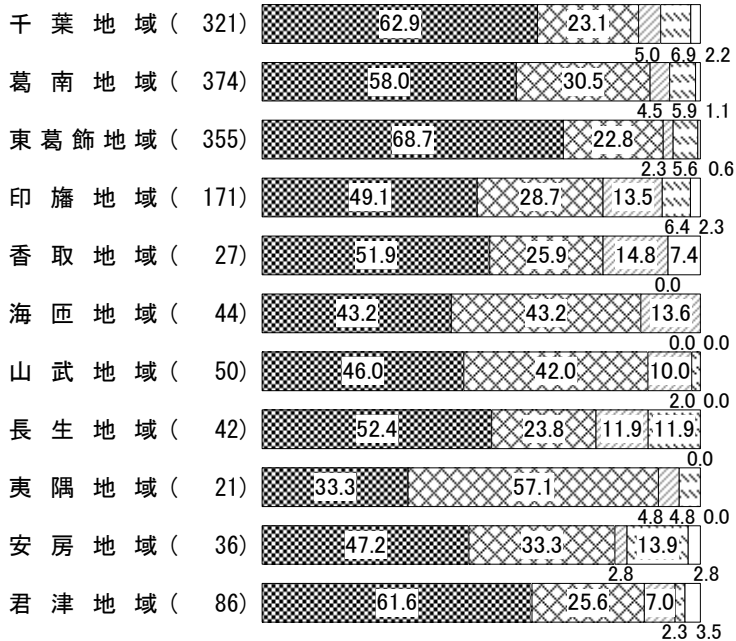
地域名	人口数	平成10年 世帯数(人)	平成10年 就業率(%)	平成10年 失業率(%)	平成10年 平均年齢(歳)	平成10年 男女別人口比(男:女)	平成10年 人口密度(人/km ²)
千葉地域 (321)		54.5	25.5	17.4	0.9	1.6	
葛南地域 (374)		31.8	33.7	31.3	2.1	1.1	
東葛飾地域 (355)		42.3	37.7	19.4	0.3	0.3	
印旛地域 (171)		36.8	25.7	34.5	1.8	1.2	
香取地域 (27)		44.4	29.6	22.2	0.0	3.7	
海匠地域 (44)		15.9	40.9	43.2	0.0	0.0	
山武地域 (50)		34.0	32.0	34.0	0.0	0.0	
長生地域 (42)		38.1	21.4	33.3	4.8	2.4	
夷隅地域 (21)		23.8	52.4	23.8	0.0	0.0	
安房地域 (36)		27.8	55.6	11.1	2.8	2.8	
君津地域 (86)		38.4	27.9	29.1	1.2	3.5	
東京地域 (321)		58.9	23.4	10.3	5.6	1.9	
神奈川地域 (374)		50.3	30.7	13.4	4.5	1.1	
埼玉地域 (355)		58.9	25.4	9.9	5.1	0.8	
千葉・房総地域 (171)		44.4	26.9	20.5	6.4	1.8	
関東甲信越地域 (27)		37.0	18.5	33.3	7.4	3.7	
中部地域 (44)		29.5	38.6	29.5	2.3	0.0	
近畿地域 (50)		30.0	30.0	38.0	2.0	0.0	
中国四国地域 (42)		38.1	19.0	26.2	14.3	2.4	
九州沖縄地域 (21)		19.0	38.1	38.1	4.8	0.0	
全国地域 (36)		19.4	33.3	33.3	11.1	2.8	
日本地域 (86)		34.9	27.9	31.4	4.7	1.2	

		男性 (計) (694)			女性 (計) (819)		
男性	18~19歳 (8)	39.3	33.0	26.1	39.4	32.1	25.5
	20代 (44)	62.5	12.5	12.5	36.4	36.4	27.3
	30代 (73)	45.5	22.7	27.3	50.0	25.8	24.2
	40代 (117)	31.5	37.0	30.1	38.7	30.1	29.0
	50代 (121)	34.2	29.1	35.0	38.9	28.4	29.6
	60~64歳 (73)	38.8	35.5	25.6	33.6	38.7	27.7
	65歳以上 (258)	31.5	35.6	32.9	28.6	37.7	29.9
女性	18~19歳 (11)	44.6	34.1	19.4	43.3	31.9	20.0
	20代 (66)	51.2	27.2	18.0	49.6	26.3	16.7
	30代 (93)	62.5	12.5	12.5	47.7	27.4	15.6
	40代 (162)	56.8	27.3	11.4	36.4	27.3	9.1
	50代 (137)	46.6	35.6	9.6	48.5	24.2	15.2
	60~64歳 (77)	52.1	18.8	26.5	52.7	29.0	7.5
	65歳以上 (270)	52.9	28.9	15.7	45.7	27.8	16.7

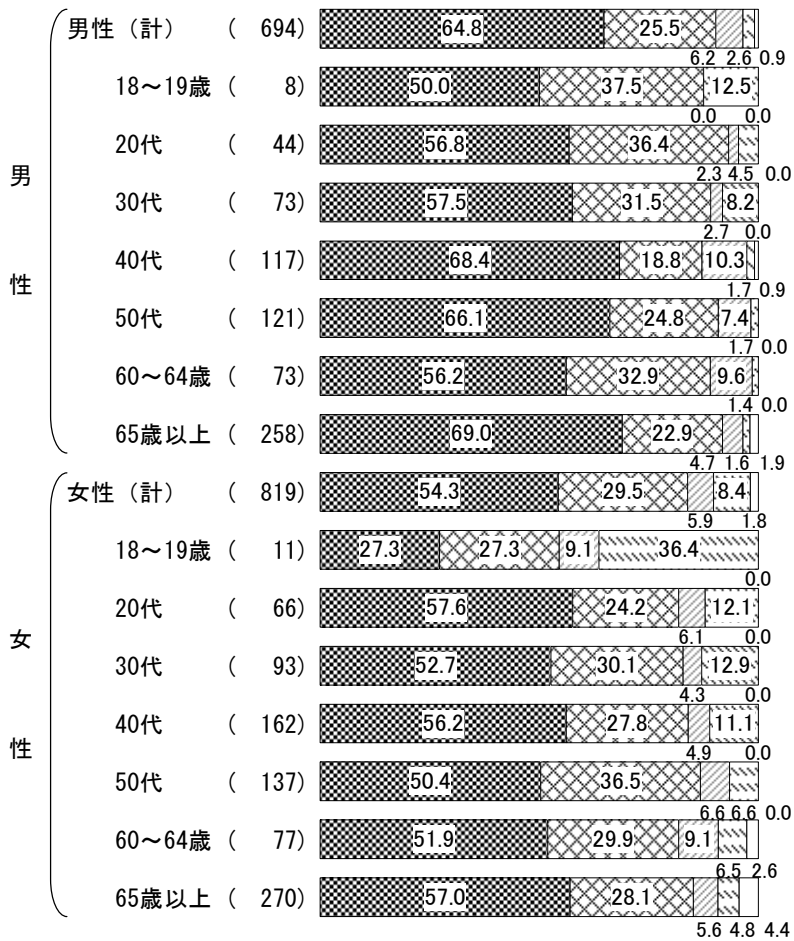
(ウ) 上水道の整備



【地域別】



【性・年代別】

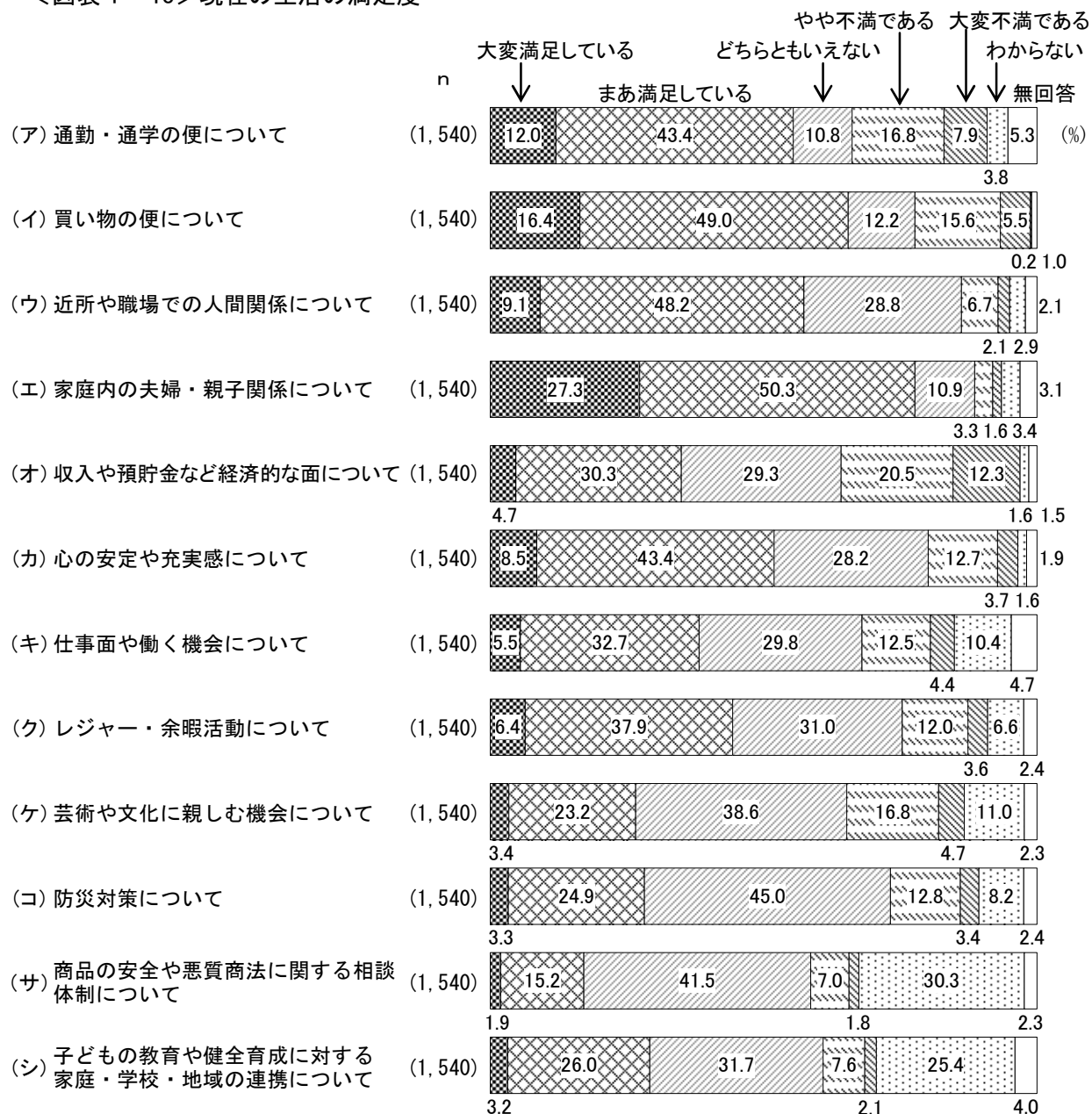


(7) 現在の生活の満足度

◇『満足している』が最も高いのは〈家庭内の夫婦・親子関係について〉で約8割

問7 あなたは、現在の生活について、どの程度満足していますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

＜図表1-18＞現在の生活の満足度

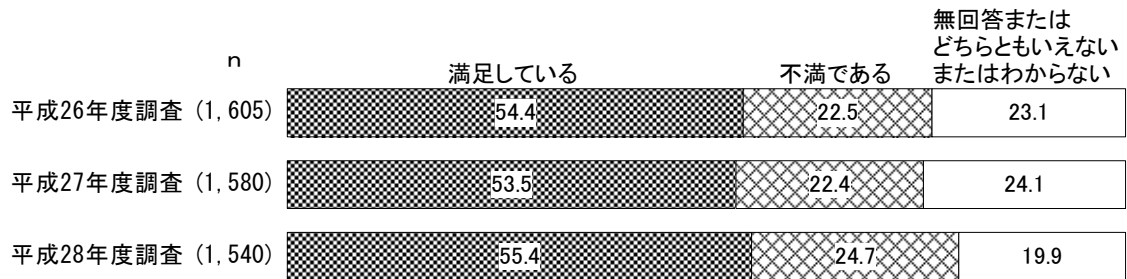


現在の生活に関する12個の項目について、それぞれの満足度を聞いたところ、「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』が最も高いのは、〈家庭内の夫婦・親子関係について〉(77.6%)で約8割となっている。以下、〈買い物の便について〉(65.4%)、〈近所や職場での人間関係について〉(57.3%)と続く。一方、「やや不満である」と「大変不満である」を合わせた『不満である』が最も高いのは、〈収入や預貯金など経済的な面について〉(32.8%)で3割を超えている。以下、〈通勤・通学の便について〉(24.7%)が2割台半ばとなっている。

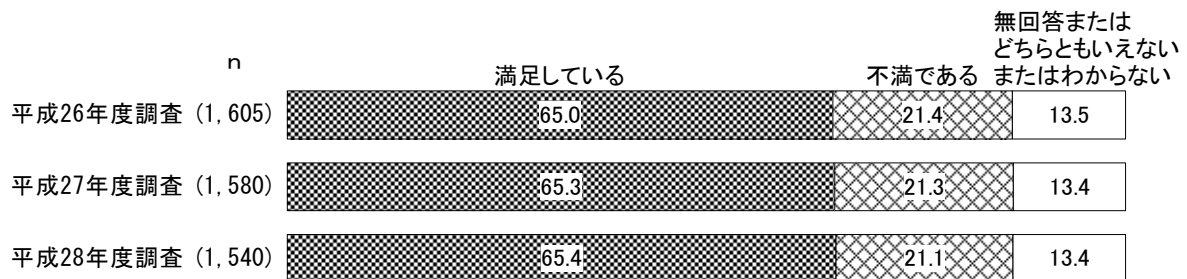
(図表1-18)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

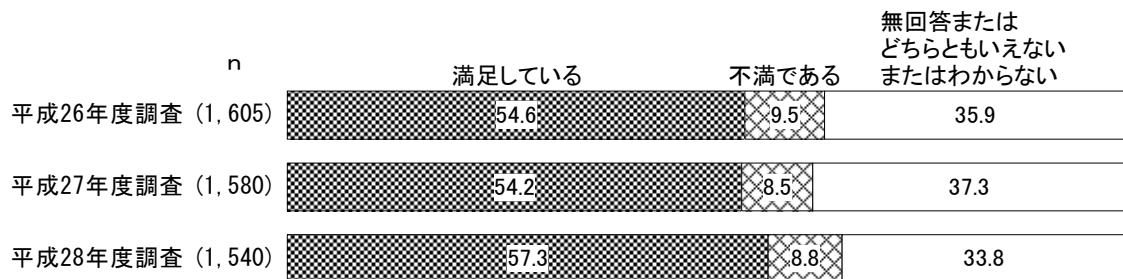
（ア）通勤・通学の便について



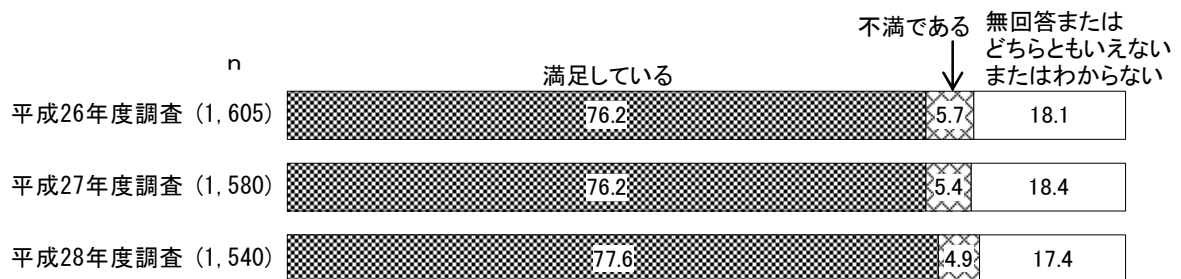
（イ）買い物の便について



（ウ）近所や職場での人間関係について



（エ）家庭内の夫婦・親子関係について



〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

（オ）収入や預貯金など経済的な面について

	n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成26年度調査（1,605）		29.2	38.3	32.5
平成27年度調査（1,580）		29.6	35.9	34.5
平成28年度調査（1,540）		35.0	32.8	32.4

（カ）心の安定や充実感について

	n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成26年度調査（1,605）		49.6	17.8	32.6
平成27年度調査（1,580）		50.0	16.2	33.8
平成28年度調査（1,540）		51.9	16.4	31.7

（キ）仕事面や働く機会について

	n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成26年度調査（1,605）		33.8	19.4	46.8
平成27年度調査（1,580）		34.3	17.3	48.4
平成28年度調査（1,540）		38.2	16.9	44.9

（ク）レジャー・余暇活動について

	n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成26年度調査（1,605）		39.4	15.3	45.2
平成27年度調査（1,580）		40.7	16.4	42.9
平成28年度調査（1,540）		44.3	15.6	40.0

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

（ケ）芸術や文化に親しむ機会について

	n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成26年度調査（1,605）		22.4	19.4	58.2
平成27年度調査（1,580）		24.2	21.5	54.3
平成28年度調査（1,540）		26.6	21.5	51.9

（コ）防災対策について

	n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成26年度調査（1,605）		26.2	17.7	56.1
平成27年度調査（1,580）		28.5	18.3	53.2
平成28年度調査（1,540）		28.2	16.2	55.6

（サ）商品の安全や悪質商法に関する相談体制について

	n	満足している	不満である ↓	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成26年度調査（1,605）		12.7	10.8	76.5
平成27年度調査（1,580）		14.6	10.4	75.0
平成28年度調査（1,540）		17.1	8.8	74.1

（シ）子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について

	n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成26年度調査（1,605）		23.6	9.8	66.6
平成27年度調査（1,580）		25.4	12.0	62.6
平成28年度調査（1,540）		29.2	9.7	61.1

【地域別】

地域別にみると、〈通勤・通学の便について〉において、『満足している』は“葛南地域”（69.5%）が約7割で高くなっている。

〈買い物の便について〉において、『満足している』は“葛南地域”（77.0%）が約8割で高くなっている。

〈近所や職場での人間関係について〉において、『満足している』は“君津地域”（65.2%）が6割台半ばで高くなっている。

〈家庭内の夫婦・親子関係について〉において、『満足している』は“香取地域”（85.2%）と“君津地域”（84.9%）が8割台半ばで高くなっている。

〈収入や預貯金など経済的な面について〉において、『満足している』は“葛南地域”（38.3%）、“山武地域”（38.0%）、“東葛飾地域”（37.8%）が約4割で高くなっている。

〈心の安定や充実感について〉において、『満足している』は“君津地域”（55.8%）、“長生地域”（54.8%）、“千葉地域”（54.2%）、“葛南地域”（53.8%）、“東葛飾地域”（53.8%）が5割台半ばとなっている。

〈仕事面や働く機会について〉において、『満足している』は“千葉地域”（45.2%）と“香取地域”（44.4%）が4割台半ばで高くなっている。

〈レジャー・余暇活動について〉において、『満足している』は“葛南地域”（52.7%）が5割を超えて高くなっている。

〈芸術や文化に親しむ機会について〉において、『満足している』は“葛南地域”（33.4%）が3割を超えて高くなっている。

〈防災対策について〉において、『満足している』は“夷隅地域”（42.9%）が4割を超えて高くなっている。一方、『不満である』は“香取地域”（33.3%）が3割を超えて高くなっている。

〈商品の安全や悪質商法に関する相談体制について〉において、『満足している』は“香取地域”（22.2%）が2割を超えて高くなっている。

〈子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について〉において、『満足している』は“君津地域”（36.1%）が3割台半ばで高くなっている。（図表1－19）

【性・年代別】

性・年代別にみると、〈通勤・通学の便について〉において、『満足している』は男性の40代（67.5%）と女性の50代（67.8%）が約7割で高くなっている。

〈買い物の便について〉において、『満足している』は男性の65歳以上（70.2%）と女性の30代（71.0%）、50代（70.8%）が7割台で高くなっている。

〈近所や職場での人間関係について〉において、『満足している』は男性の18～19歳（37.5%）、60～64歳（43.8%）以外のすべての性・年代で5割以上となっている。

〈家庭内の夫婦・親子関係について〉において、『満足している』は男性の60～64歳（68.5%）以外のすべての性・年代で7割以上となっている。

〈収入や預貯金など経済的な面について〉において、『満足している』は男性の50代（38.9%）、65歳以上（38.4%）が約4割で高くなっている。

〈心の安定や充実感について〉において、『満足している』は女性の20代（62.1%）が6割を超えて高くなっている。

〈仕事面や働く機会について〉において、『満足している』は男性の30代（52.1%）が5割を超えて高くなっている。

〈レジャー・余暇活動について〉において、『満足している』は女性の20代（57.5%）が約6割で高くなっている。

〈芸術や文化に親しむ機会について〉において、『満足している』は女性の20代（37.9%）が約4割で高くなっている。

〈防災対策について〉では、『満足している』は男性の50代（31.4%）、65歳以上（32.9%）と女性の20代（33.4%）が3割を超えて高くなっている。

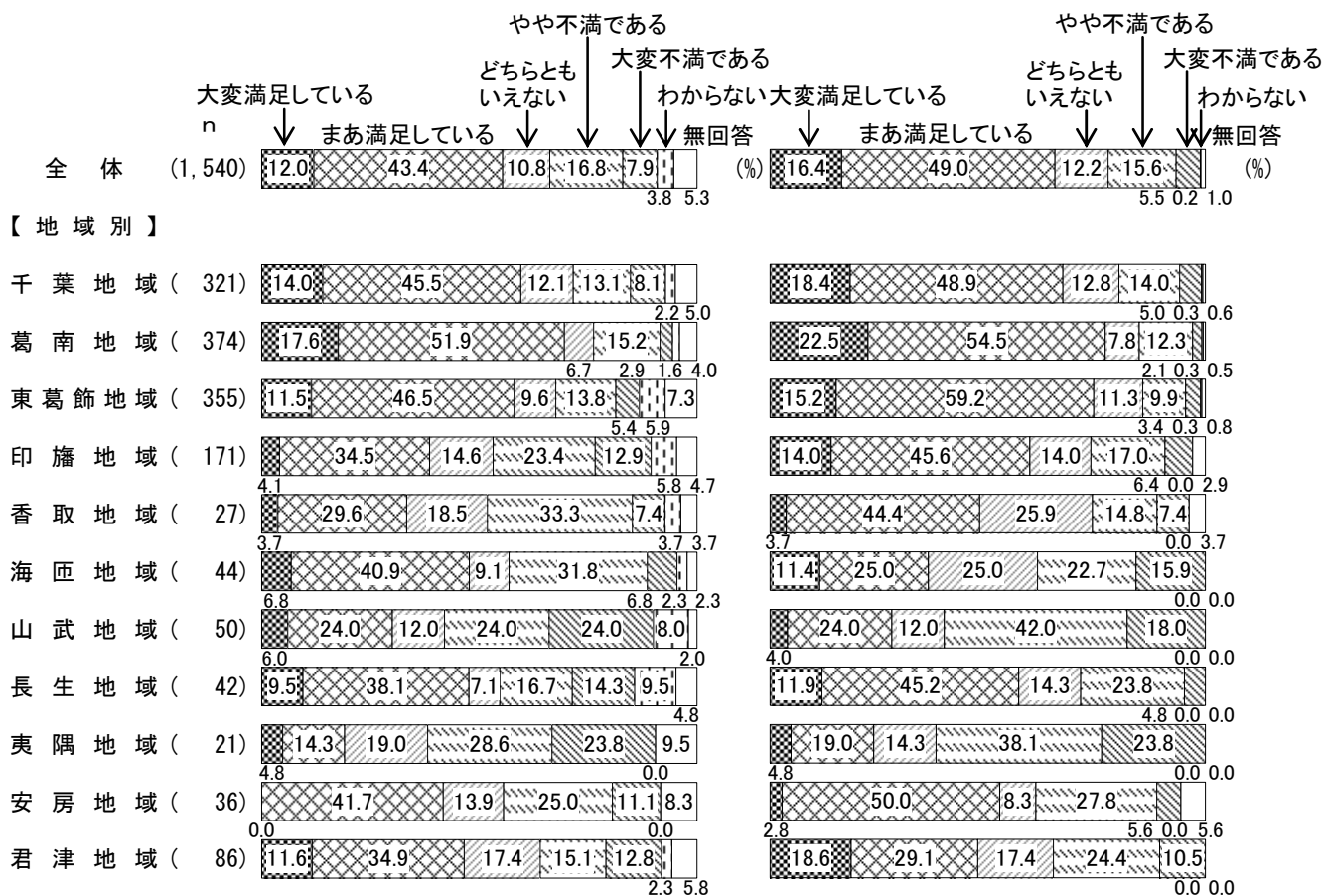
〈商品の安全や悪質商法に関する相談体制について〉において、『満足している』は女性の20代（28.7%）が約3割で高くなっている。

〈子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について〉において、『満足している』は女性の40代（40.1%）が4割で高くなっている。（図表1－19）

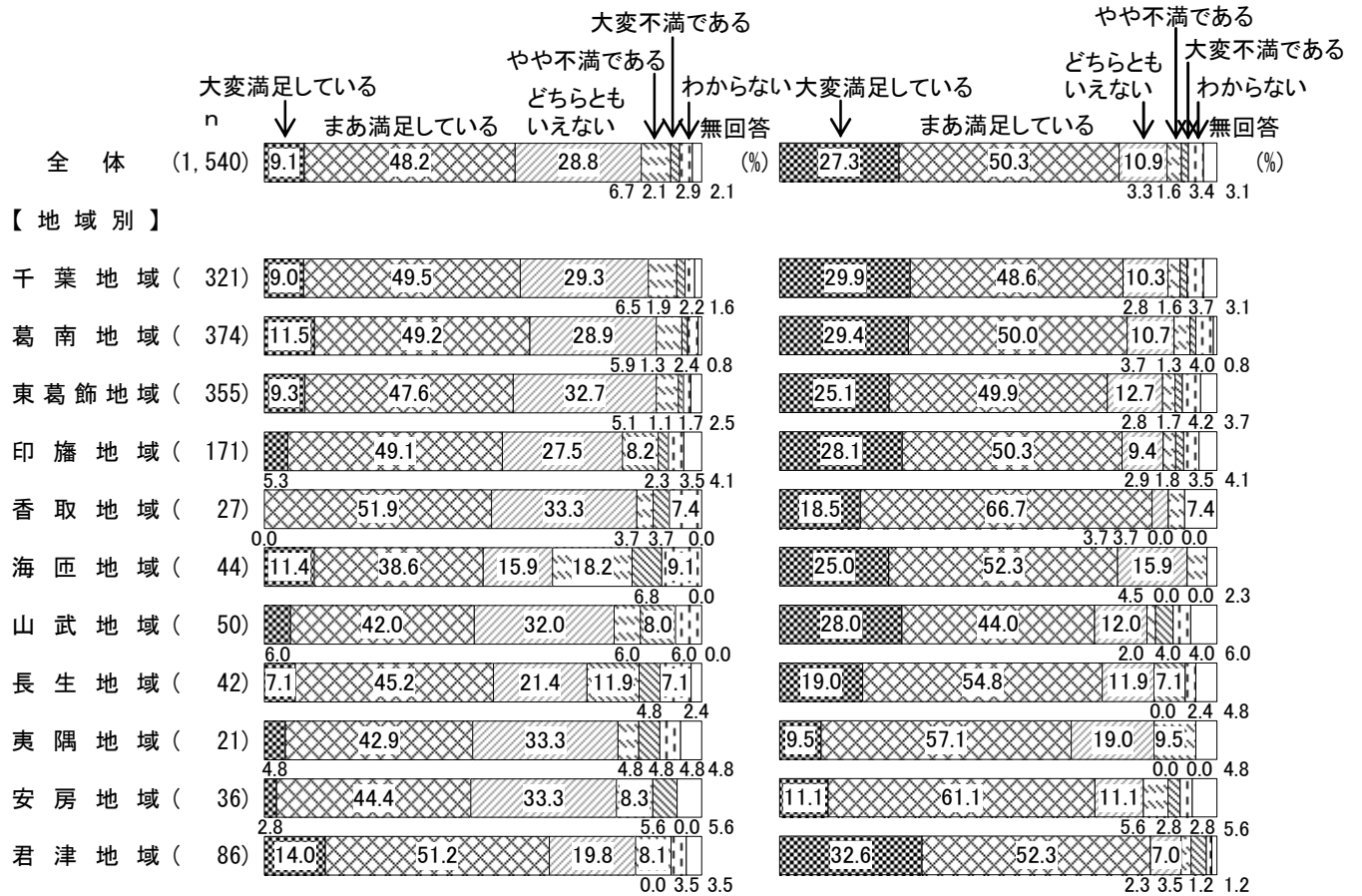
<図表 1-19>現在の生活の満足度／地域別、性・年代別

(ア) 通勤・通学の便について

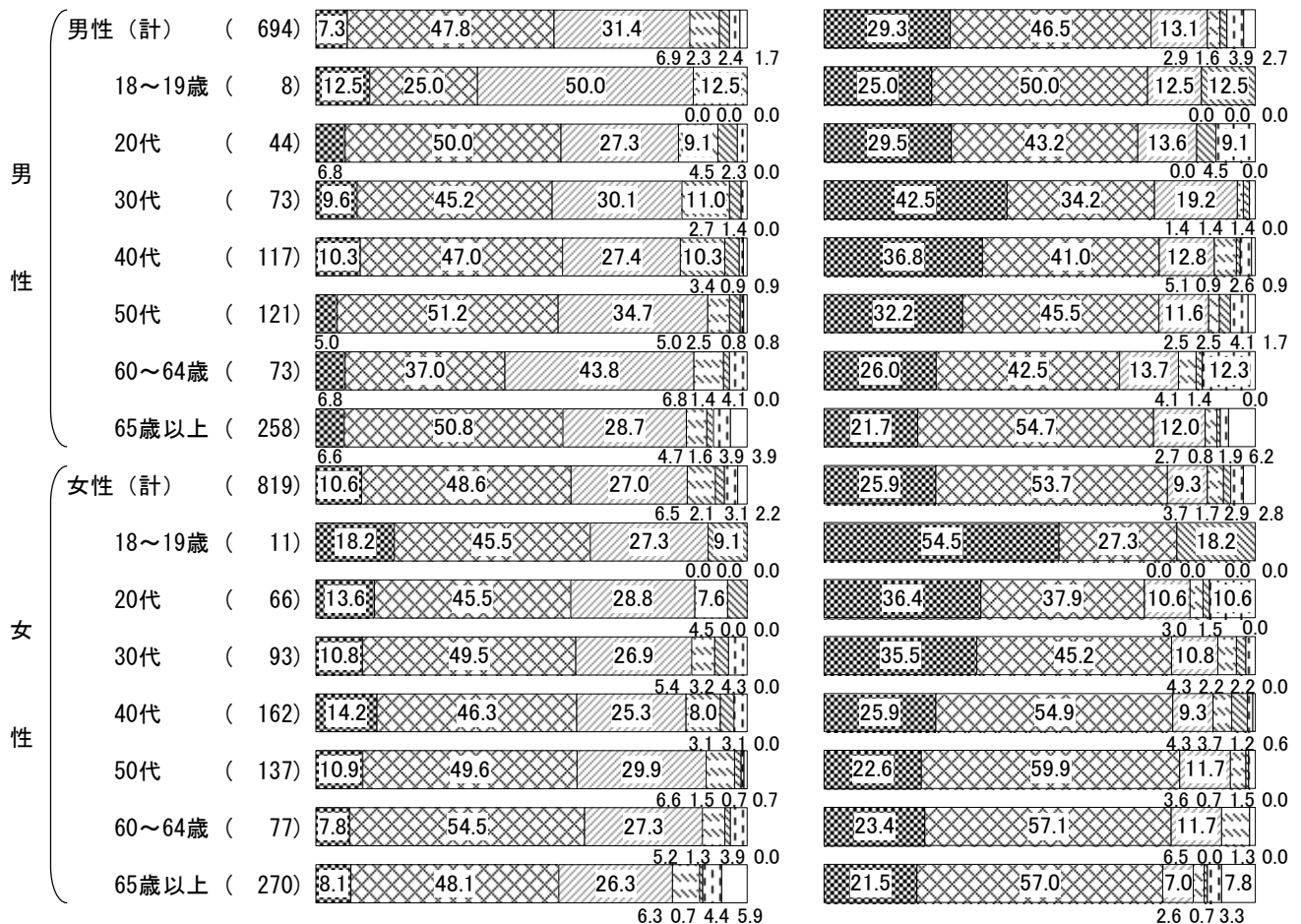
(イ) 買い物の便について



(エ) 家庭内の夫婦・親子関係について

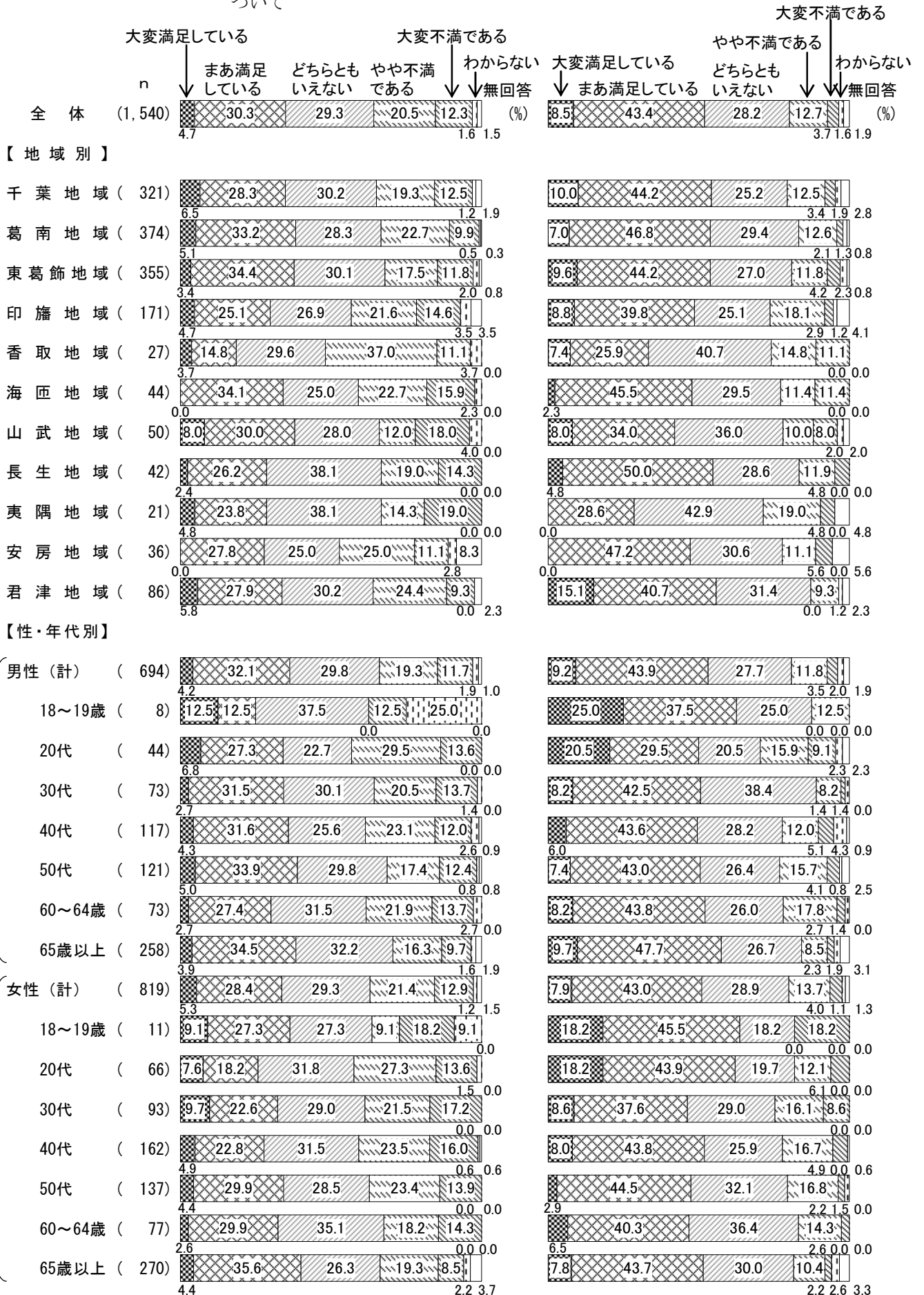


【性・年代別】

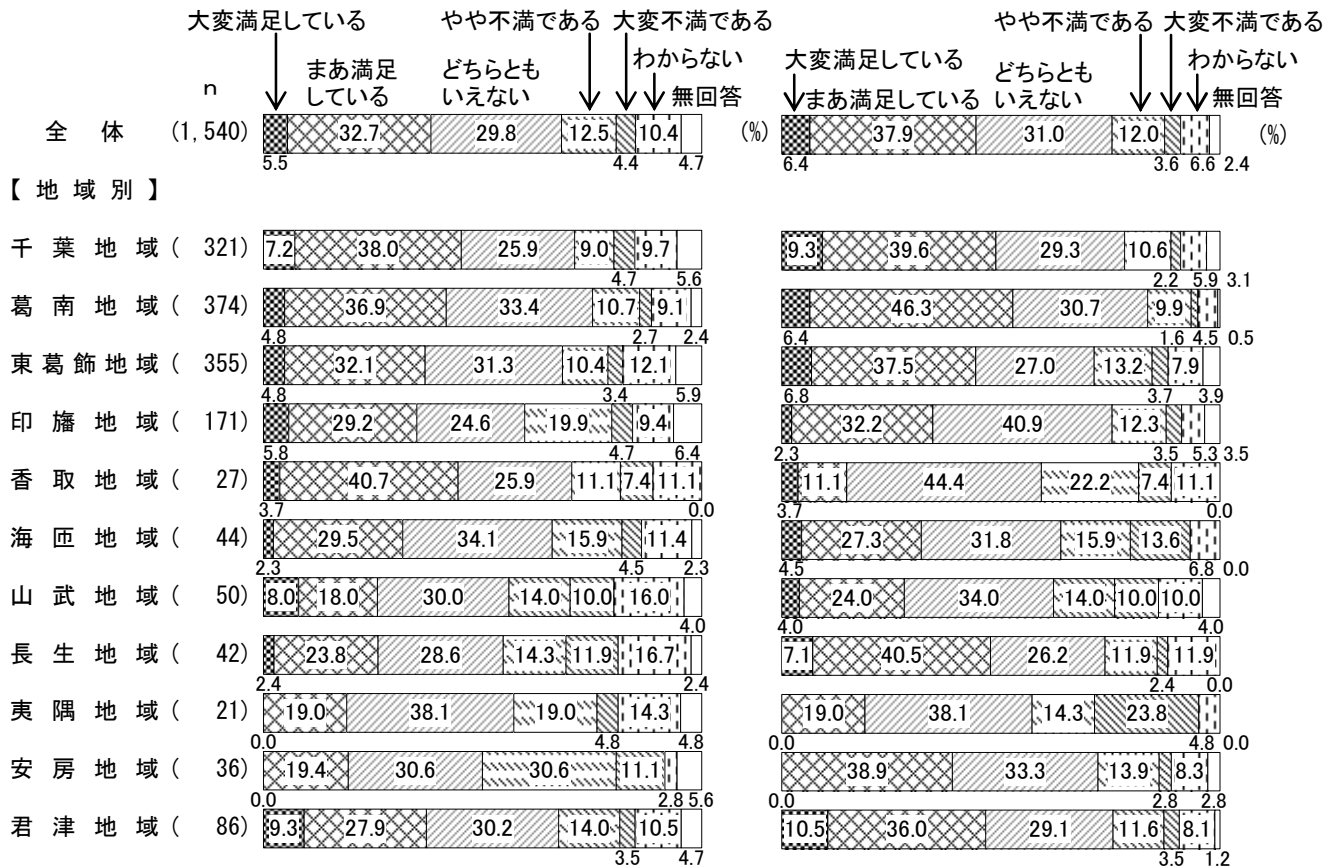


(オ) 収入や預貯金など経済的な面について

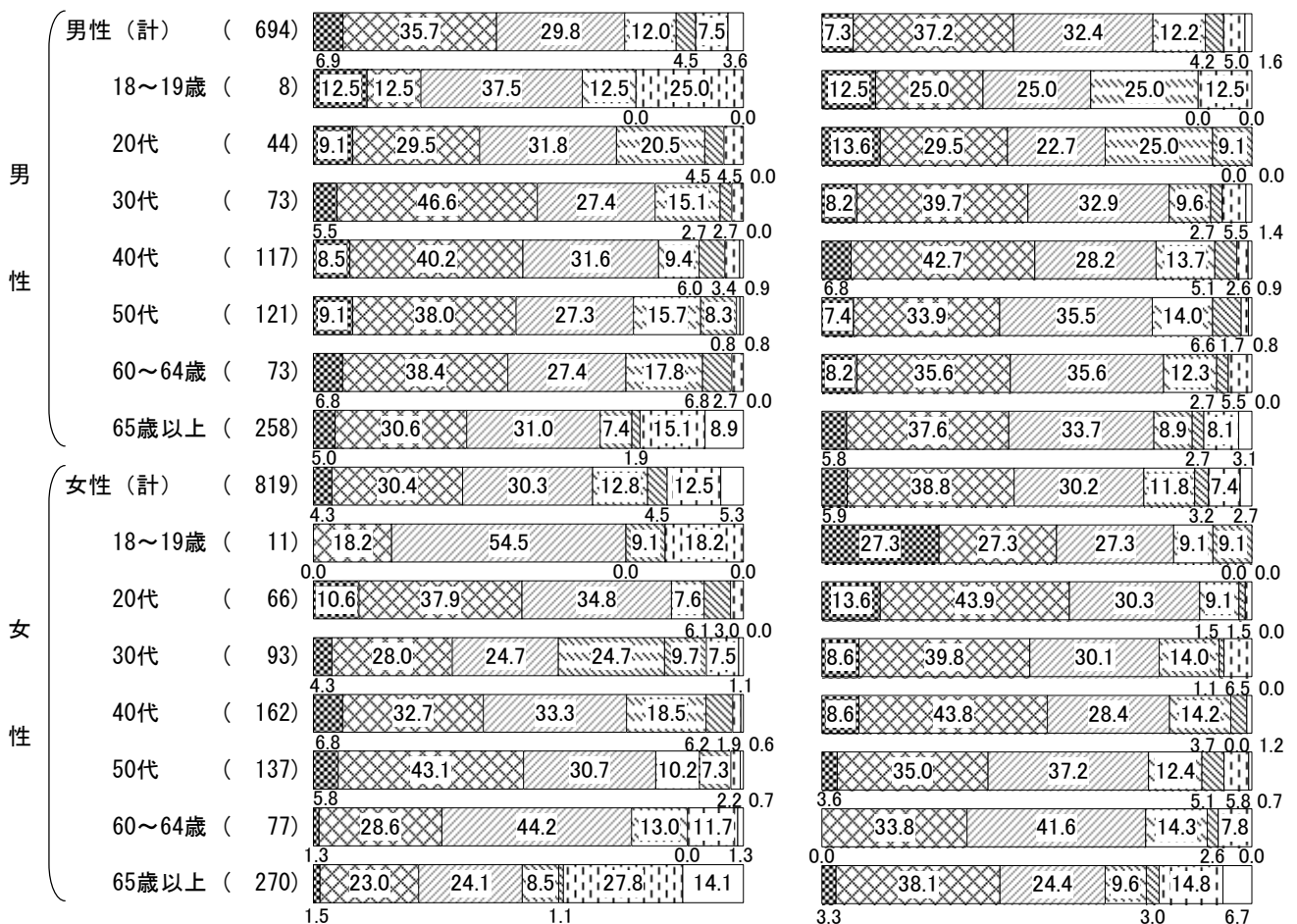
(カ) 心の安定や充実感について



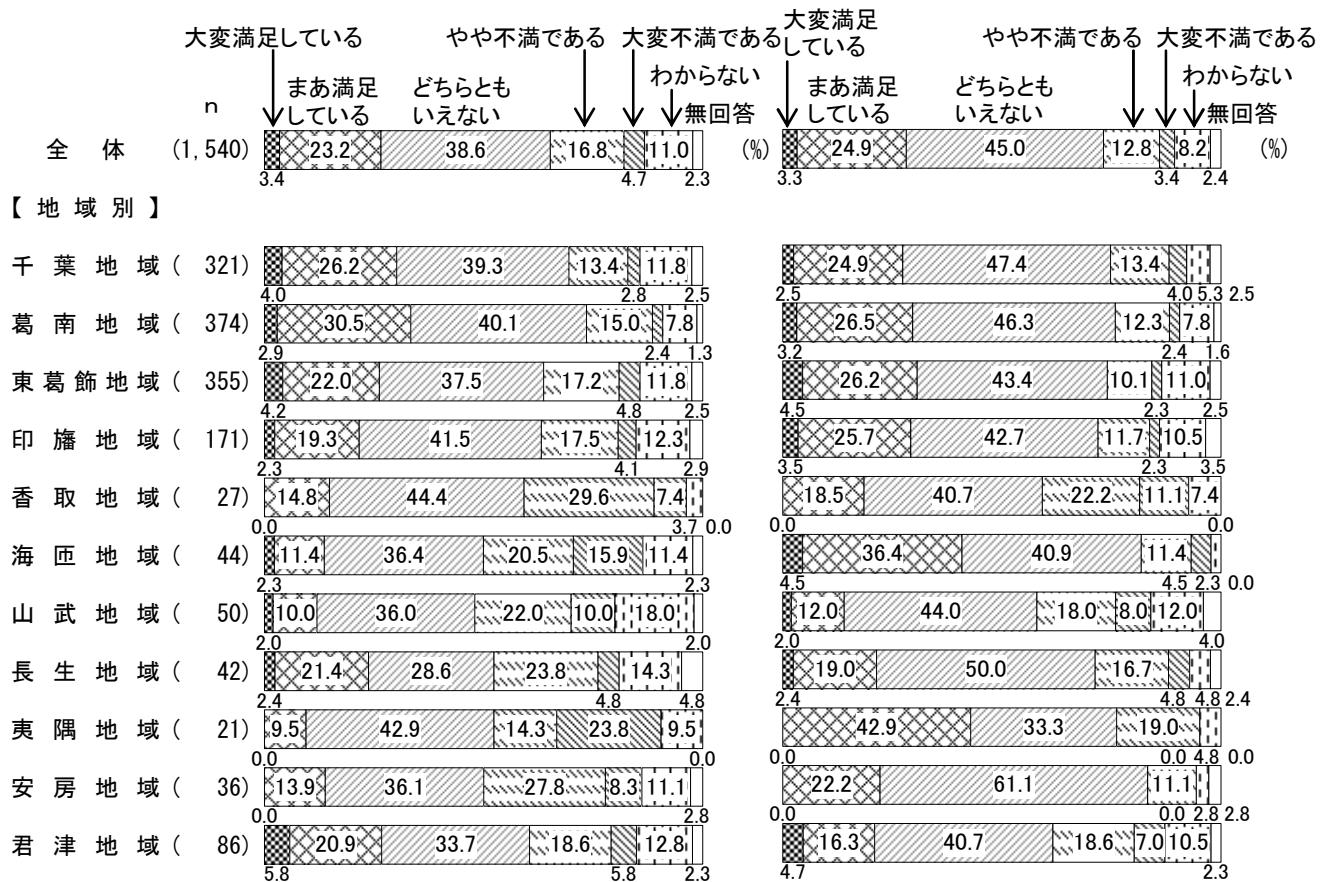
(ク) レジャー・余暇活動について



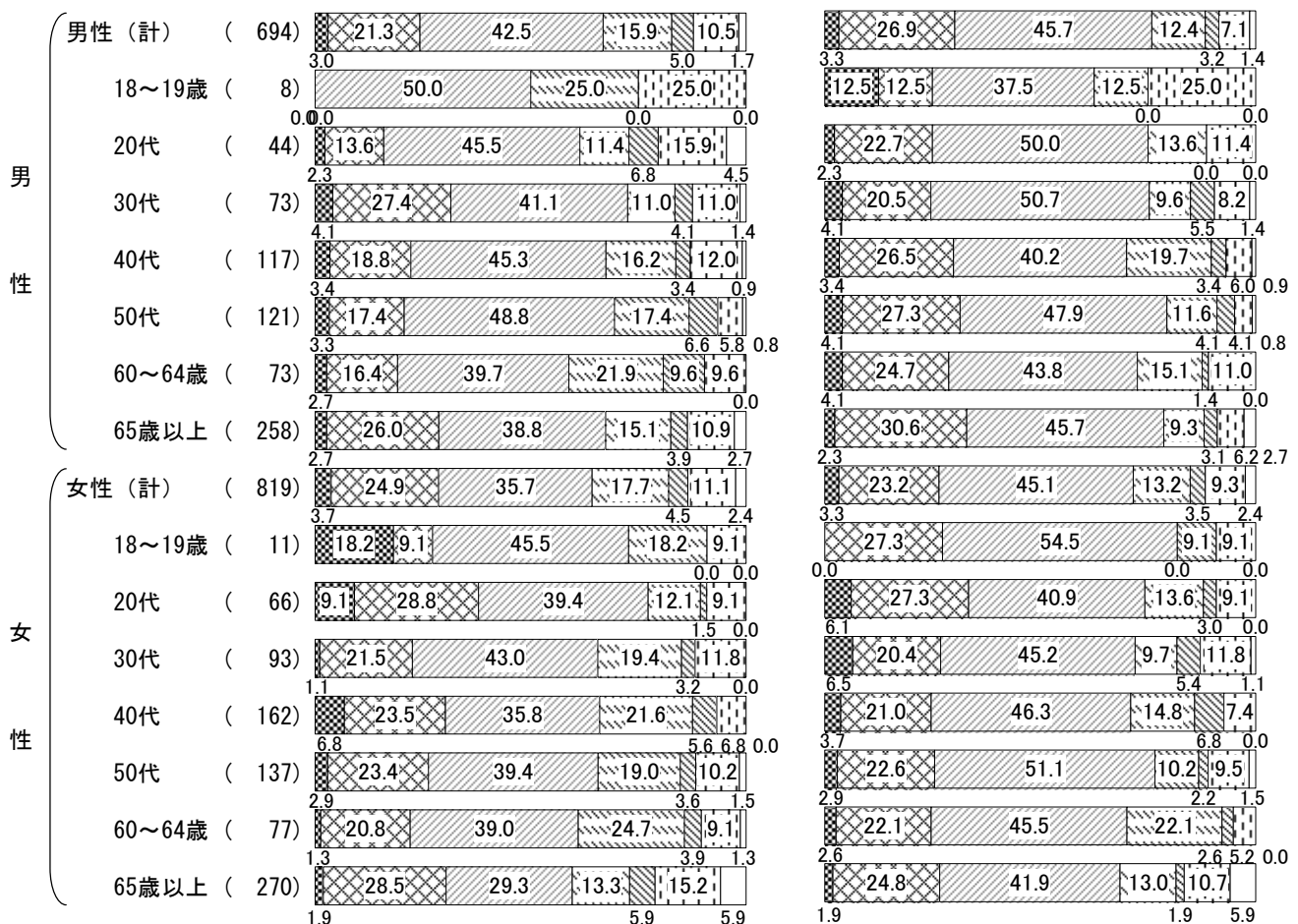
【性・年代別】



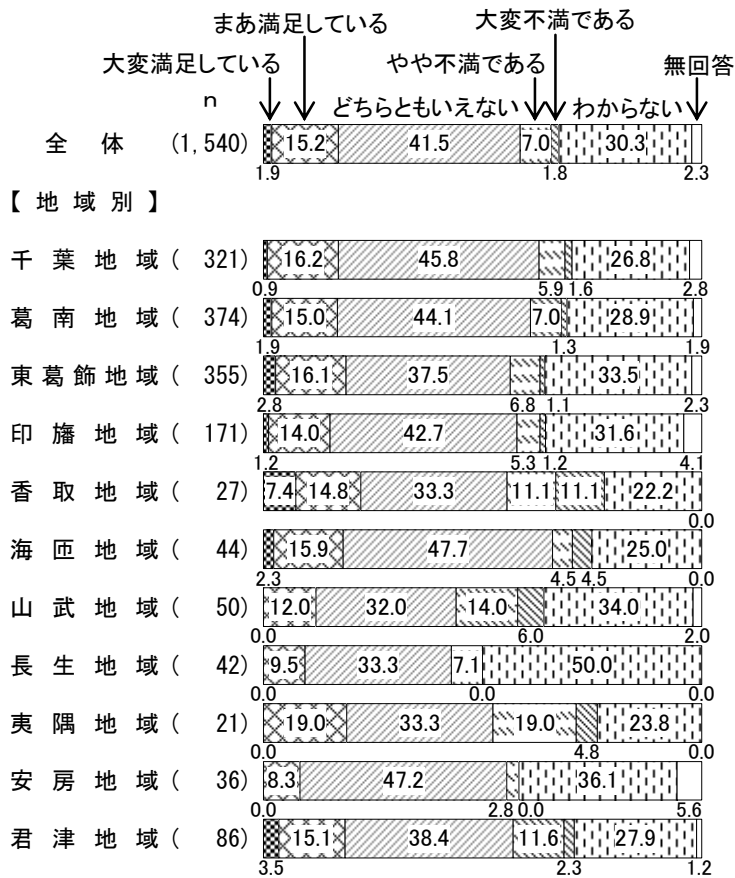
(ケ) 芸術や文化に親しむ機会について (コ) 防災対策について



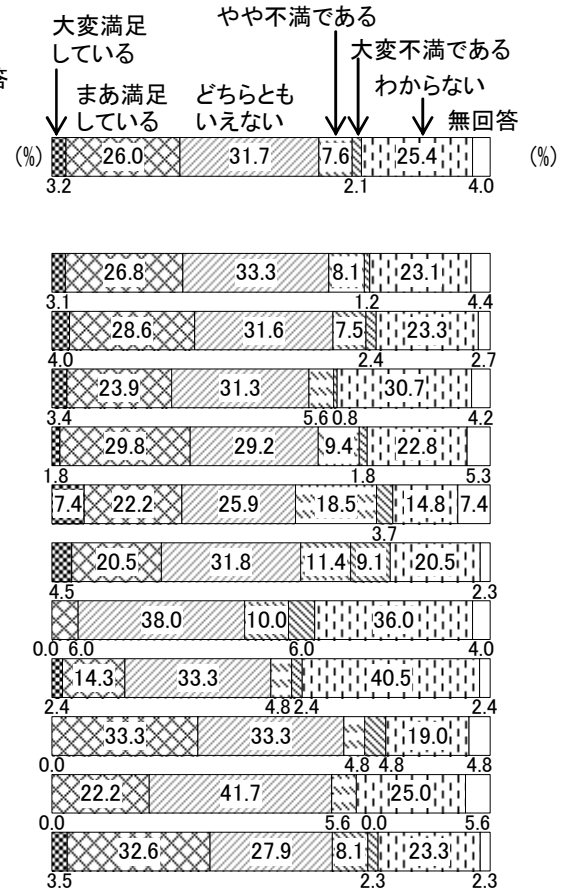
【性・年代別】



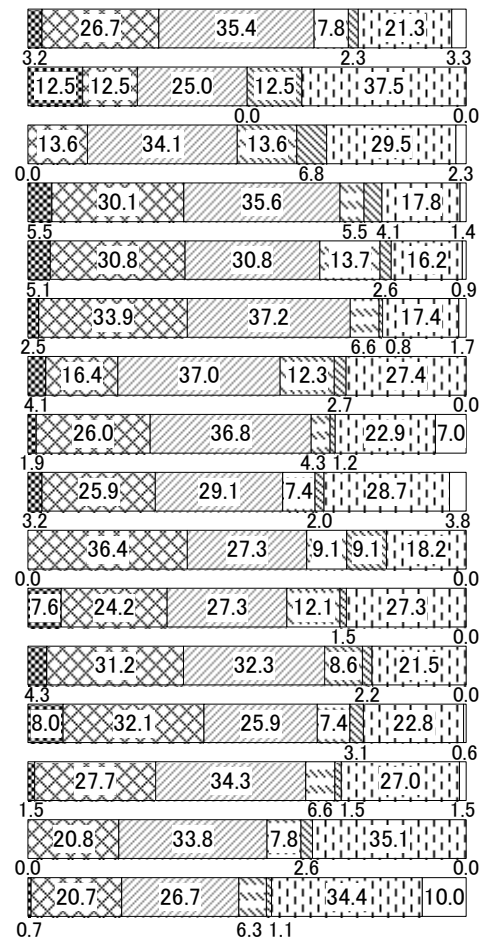
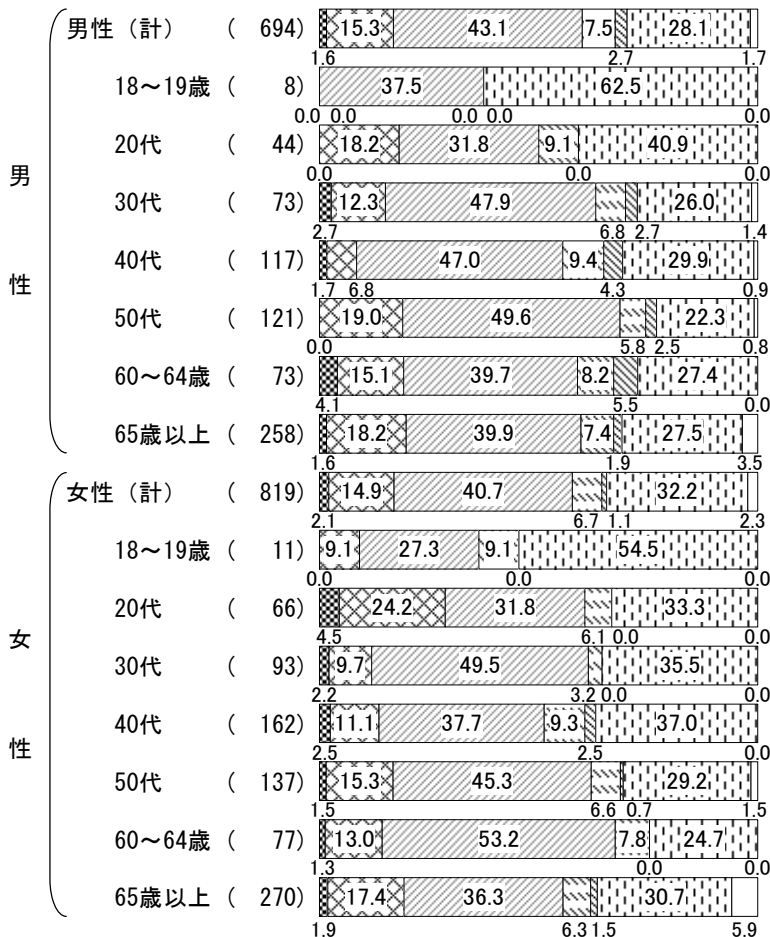
(サ) 商品の安全や悪質商法に関する
相談体制について



(シ) 子どもの教育や健全育成に対する
家庭・学校・地域の連携について



【性・年代別】

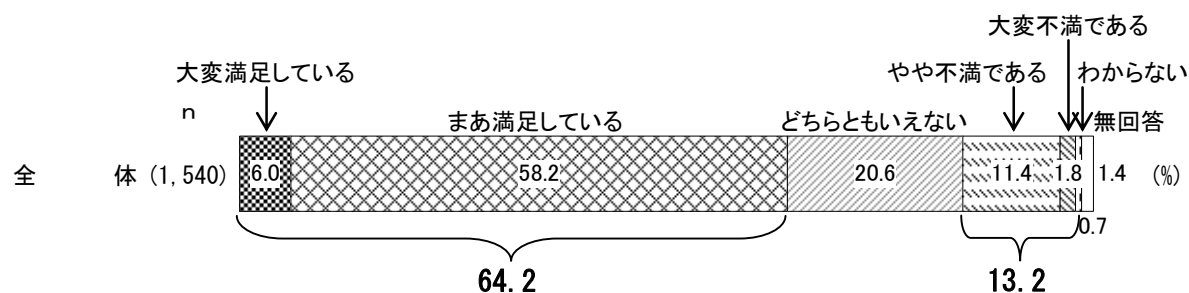


(8) 住生活全般の満足度

◇『満足している』が6割台半ば

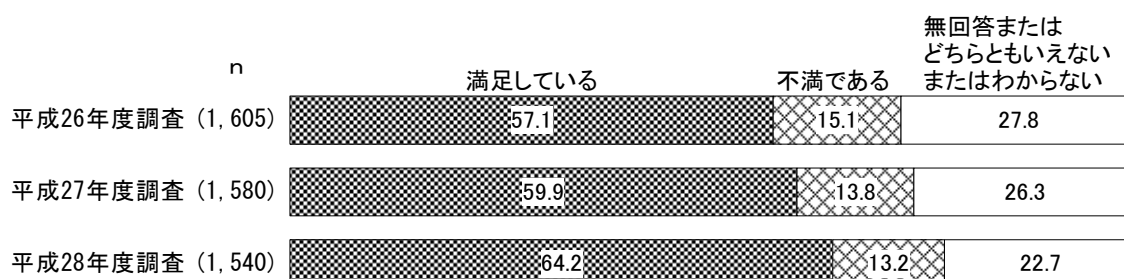
問8 あなたは、現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）についてどう感じですか。
(○は1つ)

<図表1-20>住生活全般の満足度



現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）に関する満足度を聞いたところ、「大変満足している」(6.0%)と「まあ満足している」(58.2%)を合わせた『満足している』(64.2%)が6割台半ばで高くなっている。一方、「やや不満である」(11.4%)と「大変不満である」(1.8%)を合わせた『不満である』(13.2%)は1割を超えている。(図表1-20)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果（単位：%）



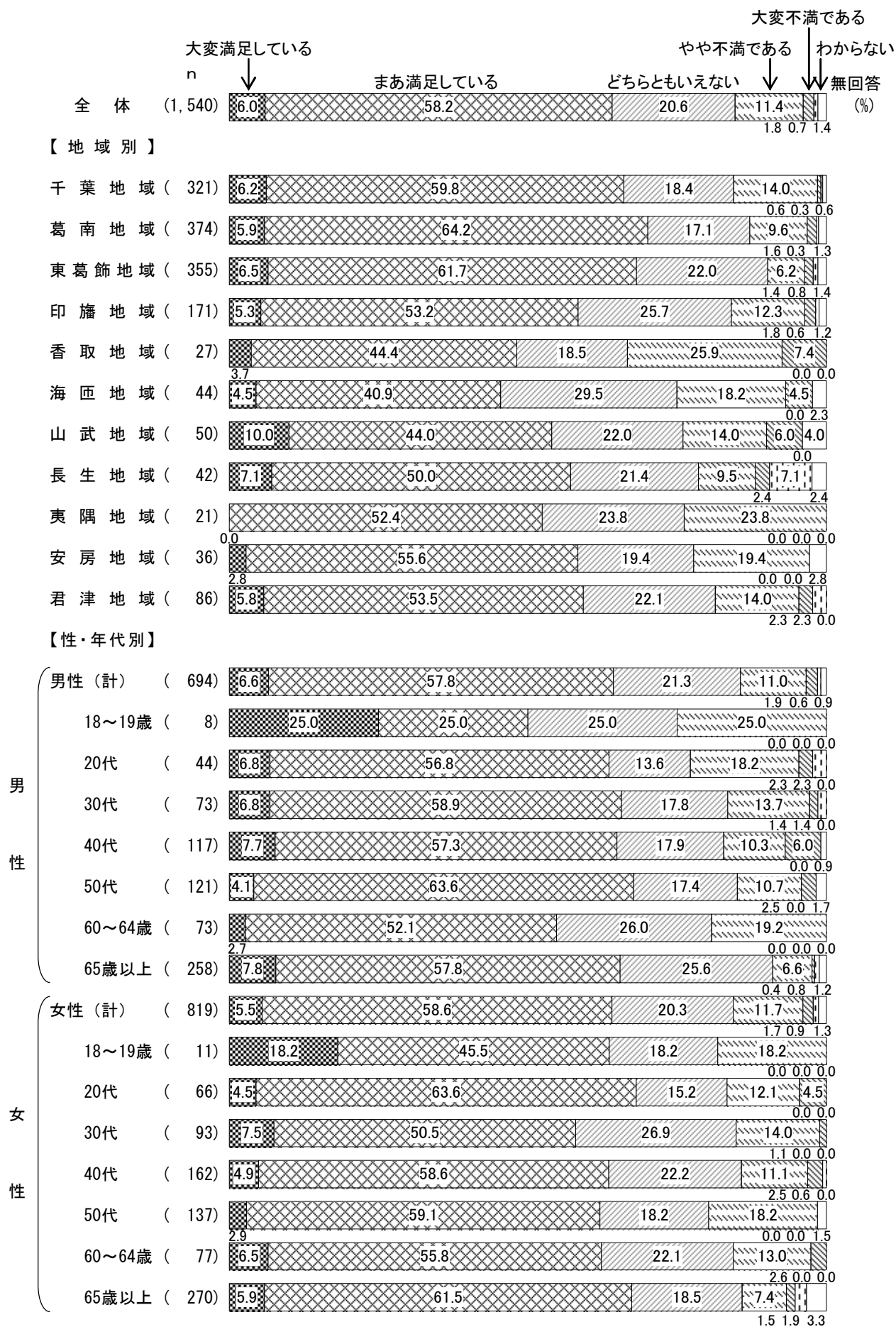
【地域別】

地域別にみると、『満足している』は“葛南地域”(70.1%)が7割で高くなっている。一方、『不満である』は“香取地域”(33.3%)が3割を超えて高くなっている。(図表1-21)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は男性の50代(67.7%)と女性の20代(68.1%)、65歳以上(67.4%)が約7割で高くなっている。(図表1-21)

＜図表 1－21＞住生活全般の満足度／地域別、性・年代別



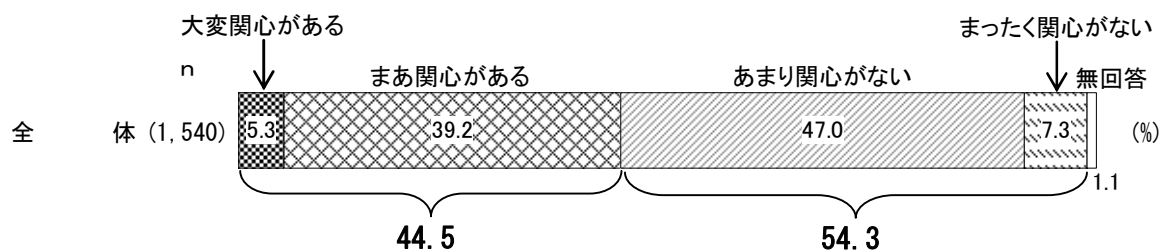
(9) 市民活動団体やボランティア活動の関心度

◇『関心がある』が4割台半ば

問9 あなたは、市民活動団体の活動や、ボランティア活動に関心がありますか。(○は1つ)

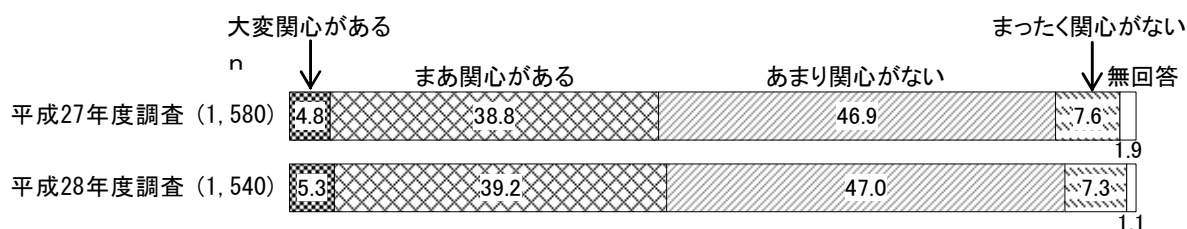
※ ここでいう「市民活動団体」とは、市民の自発性に基づき、福祉や子育て支援、まちづくり、環境等様々な分野の地域課題の解決のために、自立的・継続的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（行政が認証したNPO法人やボランティア団体等任意団体）のことです。

＜図表1-22＞市民活動団体やボランティア活動の関心度



市民活動団体の活動や、ボランティア活動の関心度を聞いたところ、「大変関心がある」(5.3%)と「まあ関心がある」(39.2%)を合わせた『関心がある』(44.5%)が4割台半ばとなっている。一方、「あまり関心がない」(47.0%)と「まったく関心がない」(7.3%)を合わせた『関心がない』(54.3%)は5割台半ばとなっている。(図表1-22)

〔参考〕平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



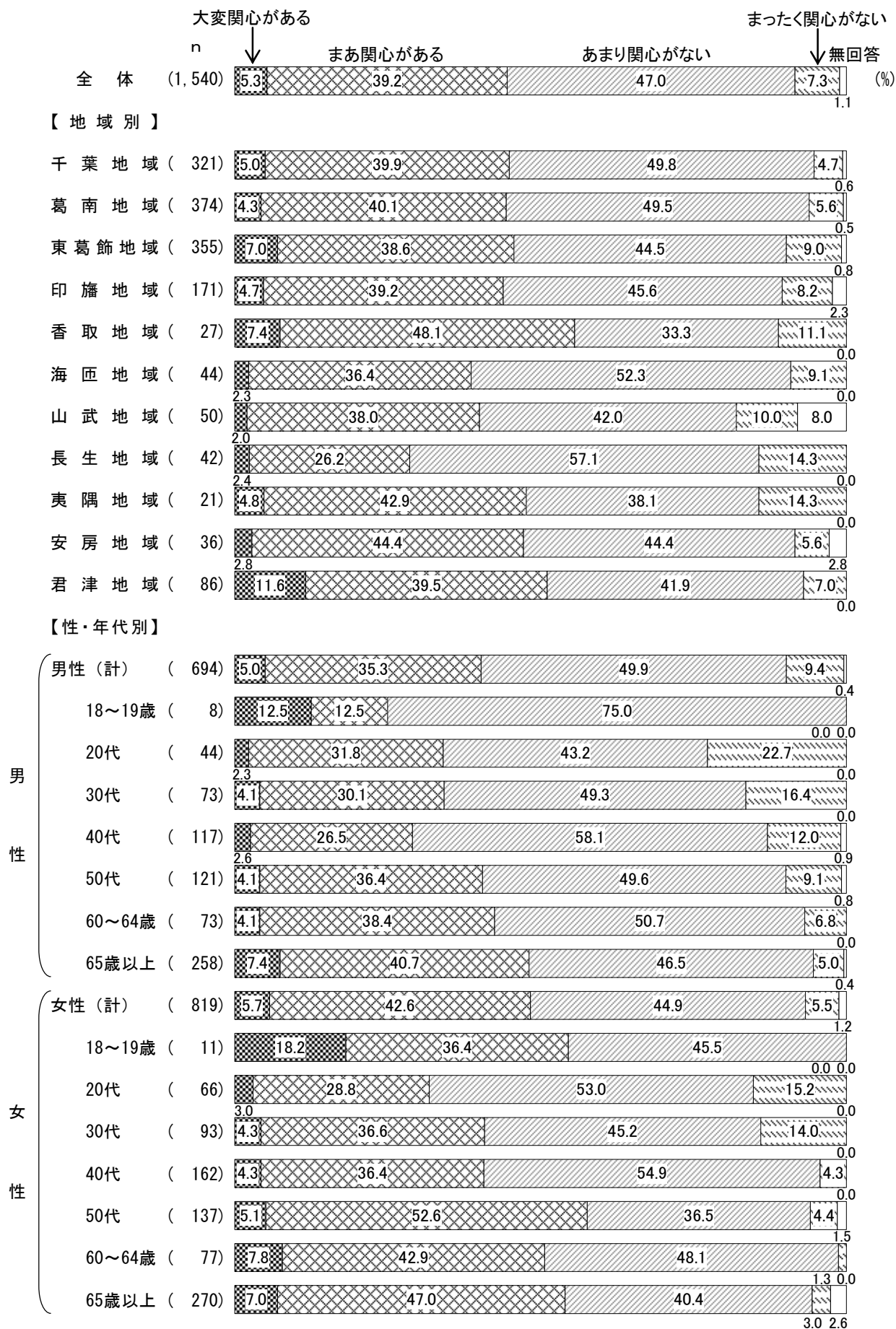
【地域別】

地域別にみると、『関心がある』は“香取地域”(55.5%)が5割台半ばで高くなっている。一方、『関心がない』は“長生地域”(71.4%)が7割を超えて高くなっている。(図表1-23)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『関心がある』は女性の50代(57.7%)が約6割で高くなっている。一方、『関心がない』は男性の40代(70.1%)が7割で高くなっている。(図表1-23)

＜図表１－23＞市民活動団体やボランティア活動の関心度／地域別、性・年代別



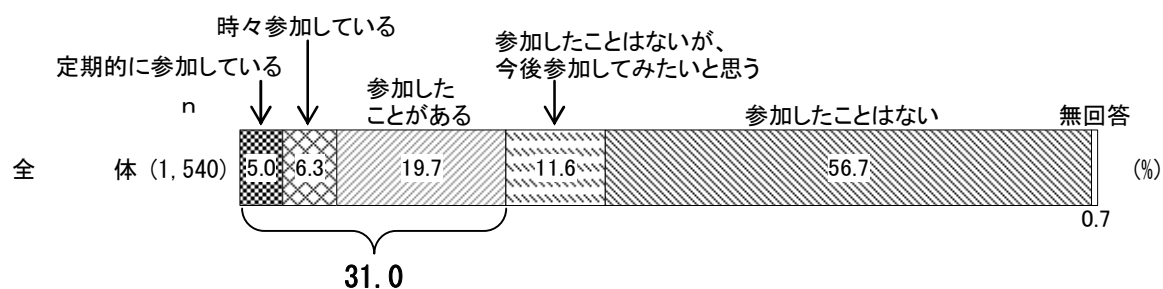
(10) 市民活動団体の活動への参加経験

◇『参加したことがある』が3割を超える

問10 あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。(○は1つ)

※ ここでいう「参加」とは、団体の会員やスタッフとしての参加、団体への資金・物品・場所の提供・寄付、ボランティアによる労力・技術等の提供、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを含みます。

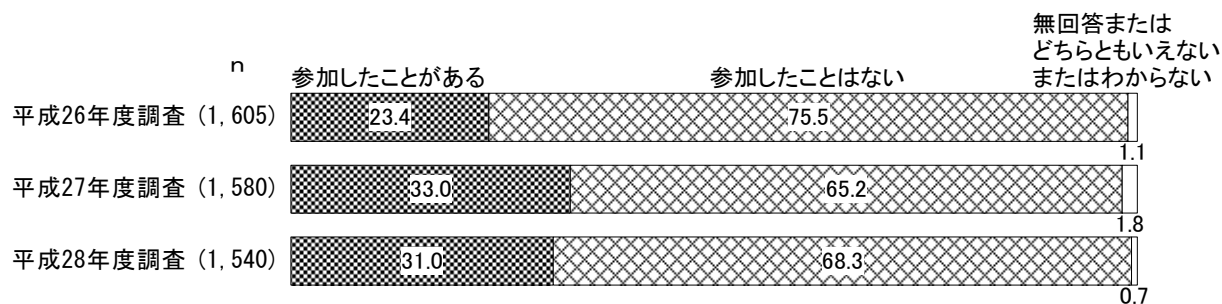
＜図表 1－24＞市民活動団体の活動への参加経験



市民活動団体の活動への参加経験を聞いたところ、「定期的に参加している」(5.0%)と「時々参加している」(6.3%)、「参加したことがある」(19.7%)の3つを合わせた『参加したことがある』(31.0%)が3割を超えている。一方、「参加したことはないが、今後参加してみたいと思う」(11.6%)は1割を超えており、「参加したことはない」(56.7%)は5割台半ばとなっている。

(図表 1－24)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

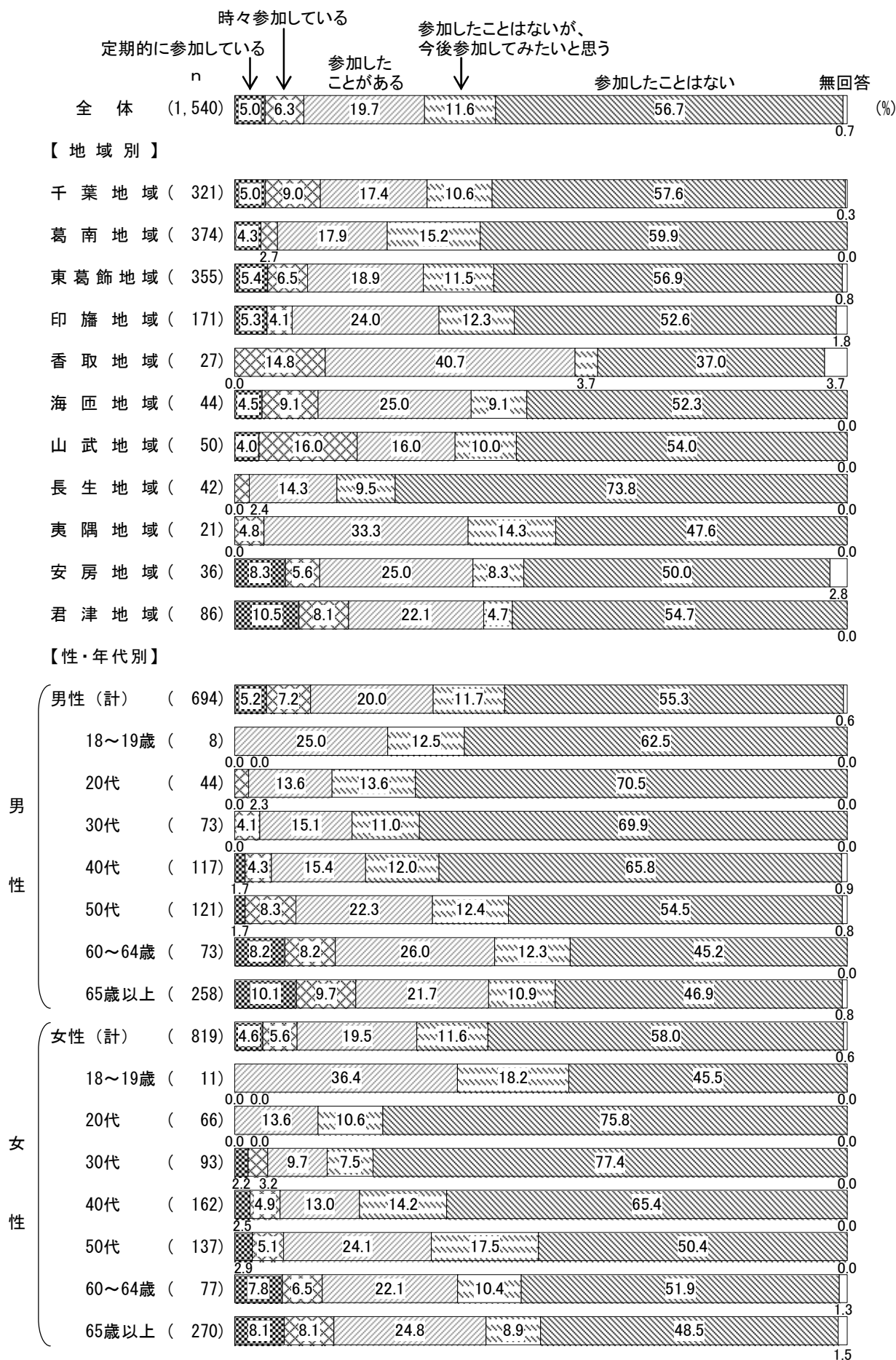
地域別にみると、『参加したことがある』は“香取地域”(55.5%)が5割台半ばで高くなっている。「参加したことはない」は“長生地域”(73.8%)が7割台半ばで高くなっている。

(図表 1－25)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加したことがある』は男性の60～64歳(42.4%)、65歳以上(41.5%)と女性の65歳以上(41.0%)が4割を超えて高くなっている。(図表 1－25)

＜図表 1－25＞市民活動団体の活動への参加経験／地域別、性・年代別



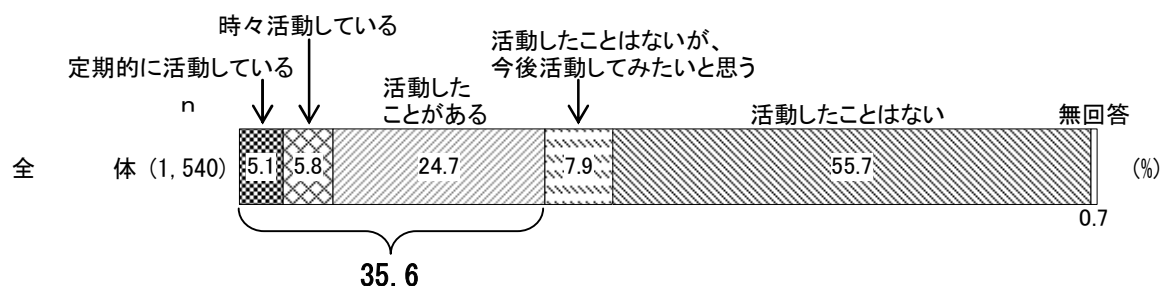
(11) ボランティア活動経験

◇『活動したことがある』が3割台半ば

問11 あなたは、ボランティアとして活動したことがありますか。(○は1つ)

※ ここでいう「ボランティア活動」は、市民活動団体等の活動への参加のみならず、個人が行う地域活動全般を含む、幅広いボランティアとしての活動を指します。

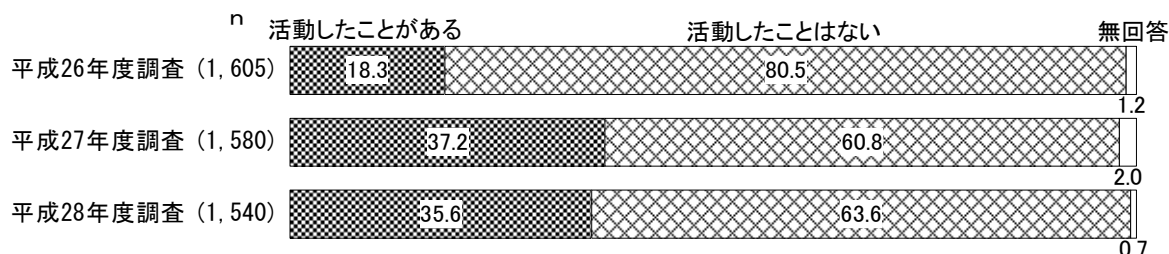
<図表 1-26> ボランティア活動経験



ボランティアとして活動したことがあるか聞いたところ、「定期的に活動している」(5.1%)と「時々活動している」(5.8%)、「活動したことがある」(24.7%)の3つを合わせた『活動したことがある』(35.6%)が3割台半ばとなっている。一方、「活動したことはないが、今後活動してみたいと思う」(7.9%)は約1割、「活動したことはない」(55.7%)は5割台半ばとなっている。

(図表 1-26)

【参考】平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



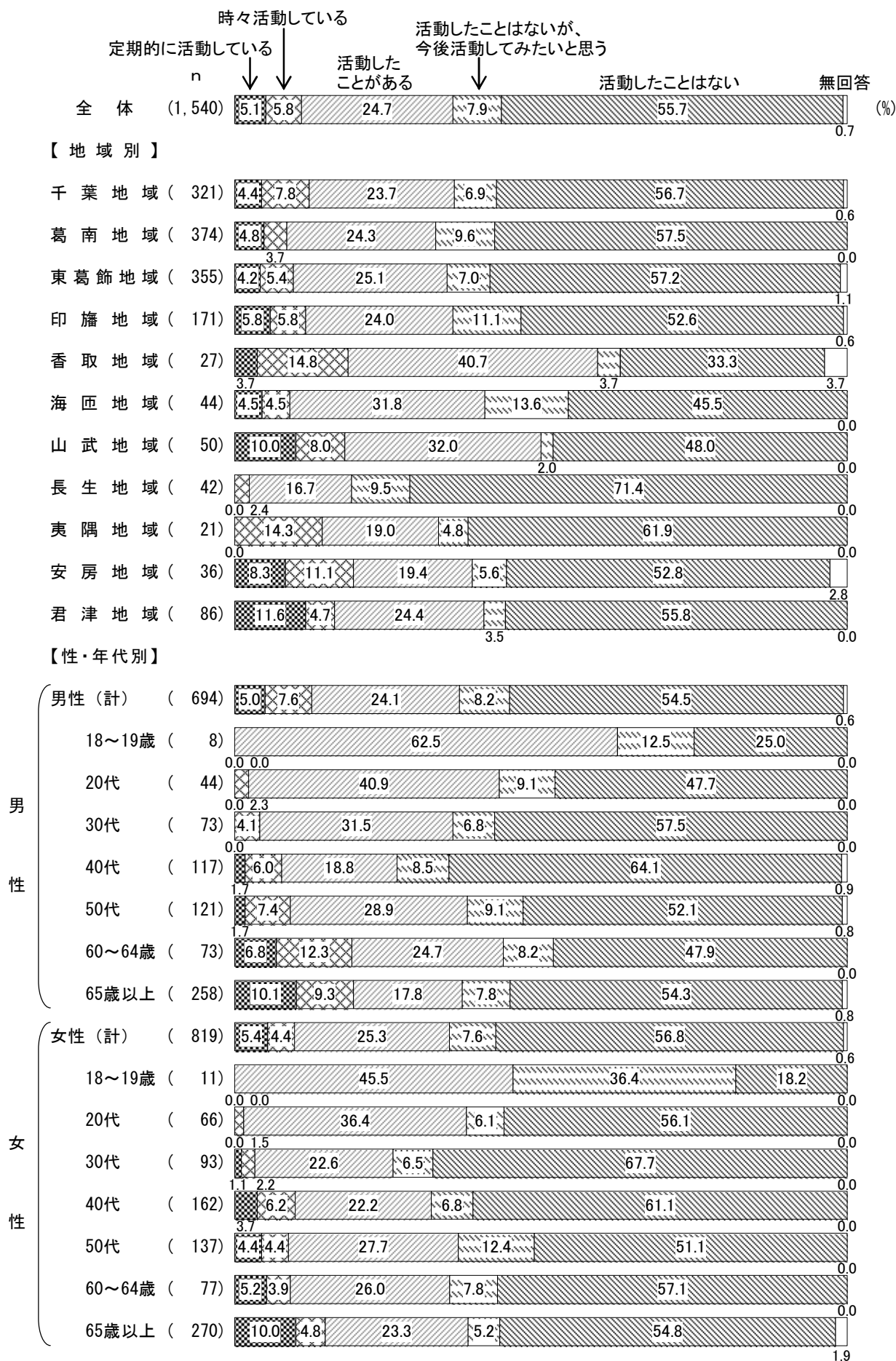
【地域別】

地域別にみると、『活動したことがある』は“香取地域”(59.2%)が約6割、“山武地域”(50.0%)が5割で高くなっている。一方、「活動したことはない」は“長生地域”(71.4%)が7割を超えて高くなっている。(図表 1-27)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「活動したことはない」は女性の30代(67.7%)が約7割で高くなっている。(図表 1-27)

＜図表 1－27＞ボランティア活動経験／地域別、性・年代別



2 健康について

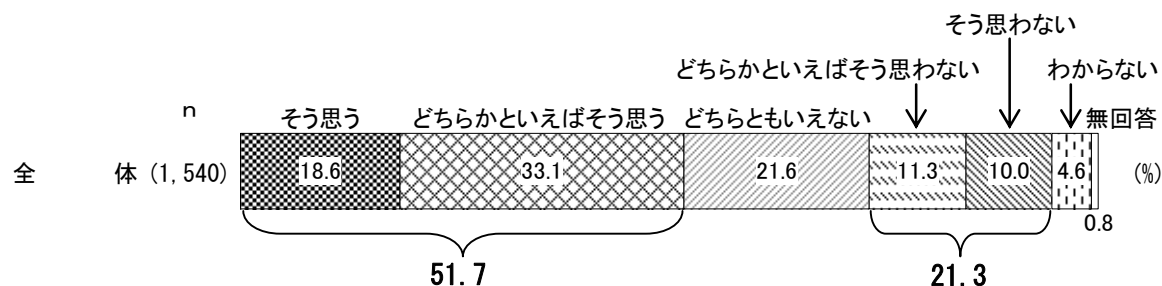
(1) 健康づくりに取り組むことができる環境

◇『そう思う』が5割を超える

問12 あなたは、自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思いますか。

(○は1つ)

<図表2-1>健康づくりに取り組むことができる環境



自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(18.6%)と「どちらかといえばそう思う」(33.1%)を合わせた『そう思う』(51.7%)が5割を超えている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(11.3%)と「そう思わない」(10.0%)を合わせた『そう思わない』(21.3%)は2割を超えている。(図表2-1)

【参考】平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)

n	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成26年度調査 (1,605)	48.9	23.7	27.4
平成27年度調査 (1,580)	51.1	22.0	26.9
平成28年度調査 (1,550)	51.7	21.3	27.0

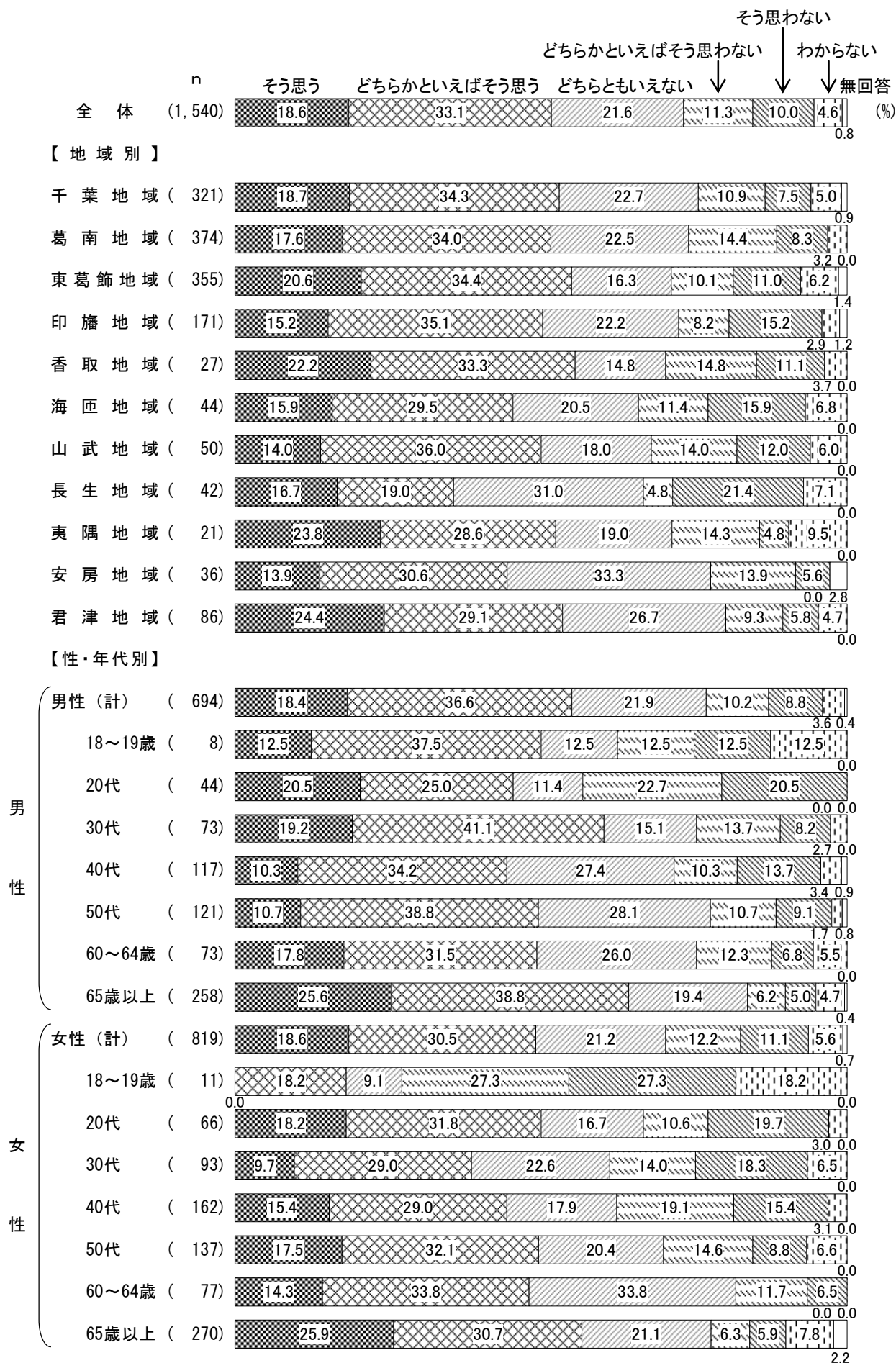
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“香取地域”(55.5%)、“東葛飾地域”(55.0%)、“君津地域”(53.5%)が5割台半ばで高くなっている。(図表2-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の65歳以上(64.4%)が6割台半ば、男性の30代(60.3%)が6割で高くなっている。(図表2-2)

＜図表２－２＞健康づくりに取り組むことができる環境／地域別、性・年代別

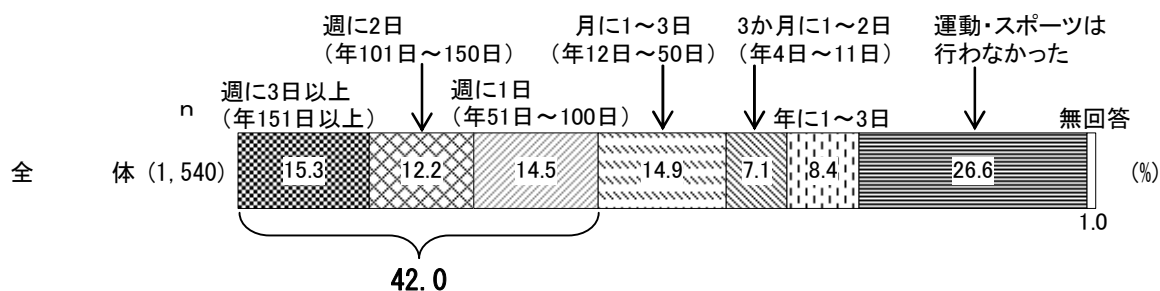


(2) 健康づくりのための運動

◇『週1日以上運動した』が4割を超える

問13 あなたは、健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行いましたか。
(○は1つ)

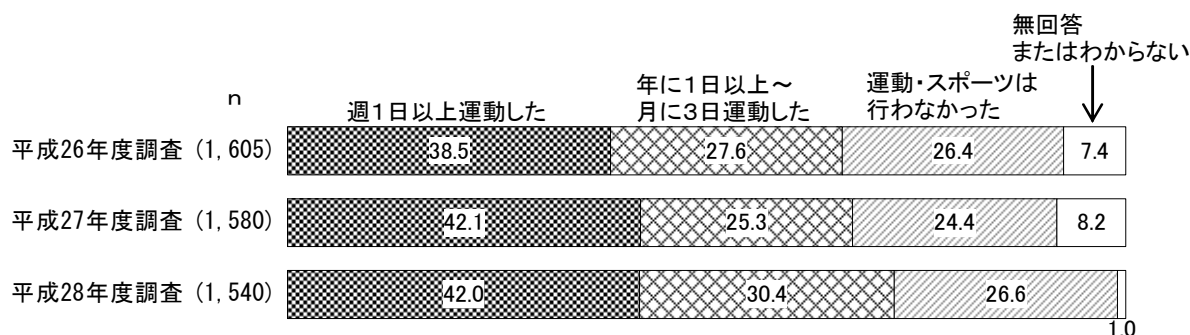
<図表2-3>健康づくりのための運動



健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行ったかを聞いたところ、「週に3日以上 (年151日以上)」(15.3%)と「週に2日 (年101日~150日)」(12.2%)、「週に1日 (年51日~100日)」(14.5%)を合わせた『週1日以上運動した』(42.0%)が4割を超えている。一方、「運動・スポーツは行わなかった」(26.6%)は2割台半ばとなっている。

(図表2-3)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)



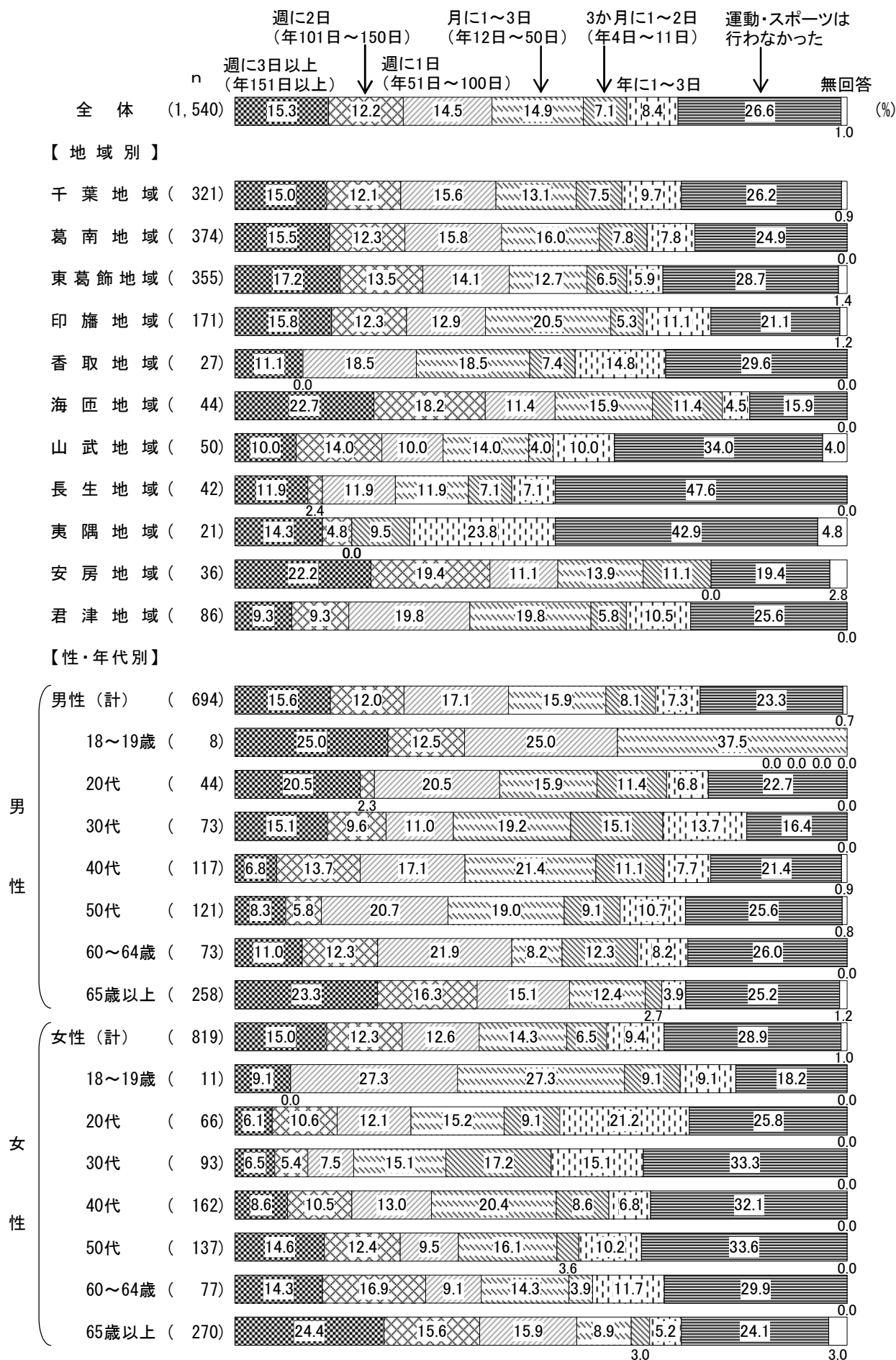
【地域別】

地域別にみると、『週1日以上運動した』は“安房地域”(52.7%)と“海匝地域”(52.3%)が5割を超えて高くなっている。(図表2-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『週1日以上運動した』は男性の65歳以上(54.7%)と女性の65歳以上(55.9%)が5割台半ばで高くなっている。(図表2-4)

＜図表２－４＞健康づくりのための運動／地域別、性・年代別

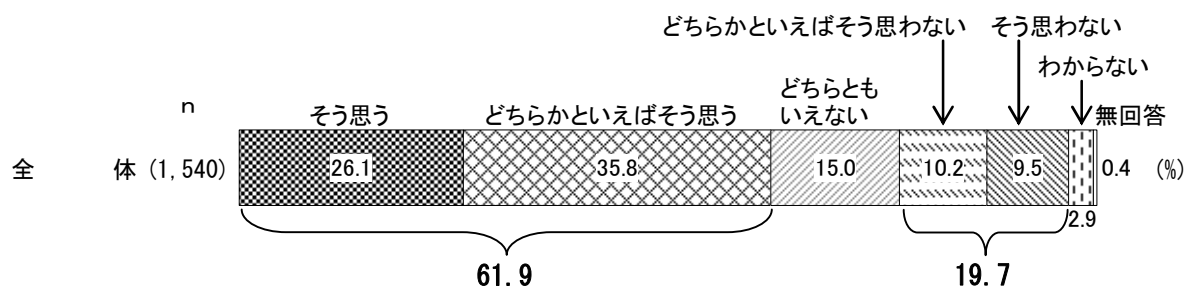


(3) 安心して受診できる医療体制

◇『そう思う』が6割を超える

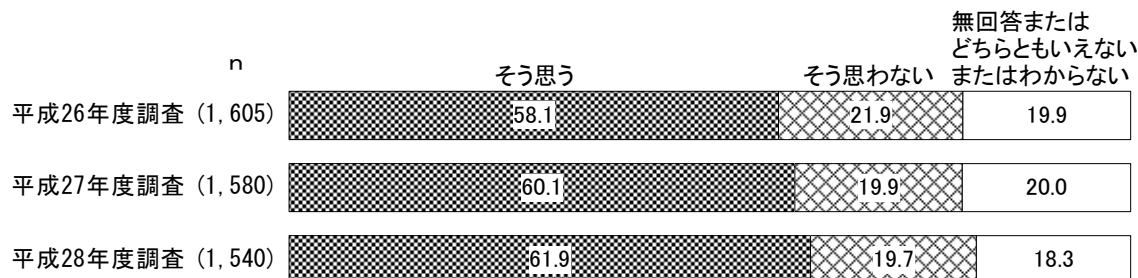
問14 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。
(○は1つ)

<図表2-5>安心して受診できる医療体制



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制が整っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(26.1%)と「どちらかといえばそう思う」(35.8%)を合わせた『そう思う』(61.9%)が6割を超えて高くなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(10.2%)と「そう思わない」(9.5%)を合わせた『そう思わない』(19.7%)は約2割である。(図表2-5)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



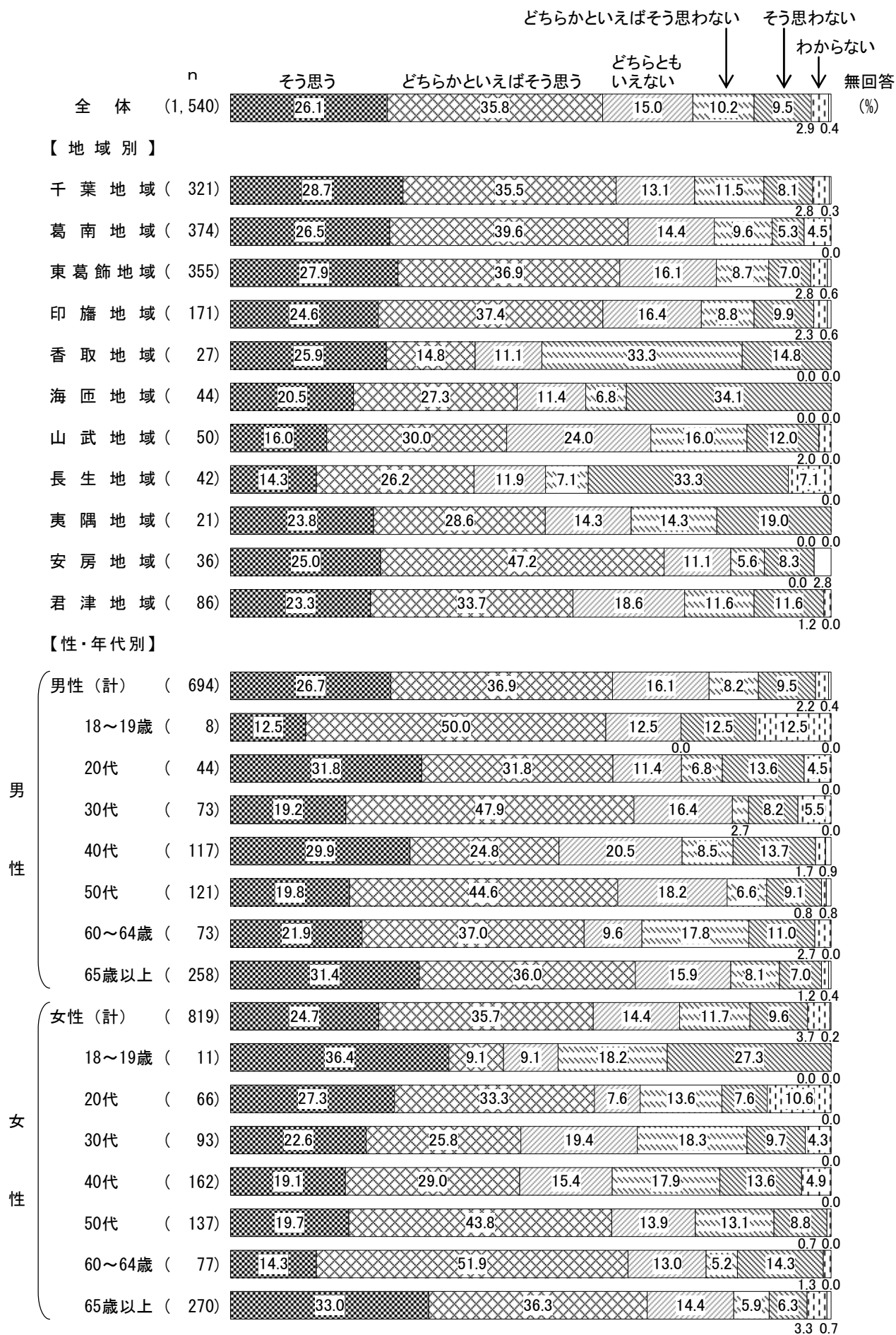
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“安房地域”(72.2%)が7割を超えて高くなっている。一方、『そう思わない』は“香取地域”(48.1%)が約5割、“海匝地域”(40.9%)と“長生地域”(40.4%)が4割で高くなっている。(図表2-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の30代(67.1%)、65歳以上(67.4%)と女性の65歳以上(69.3%)が約7割で高くなっている。一方、『そう思わない』は女性の40代(31.5%)が3割を超えて高くなっている。(図表2-6)

＜図表 2-6＞安心して受診できる医療体制／地域別、性・年代別



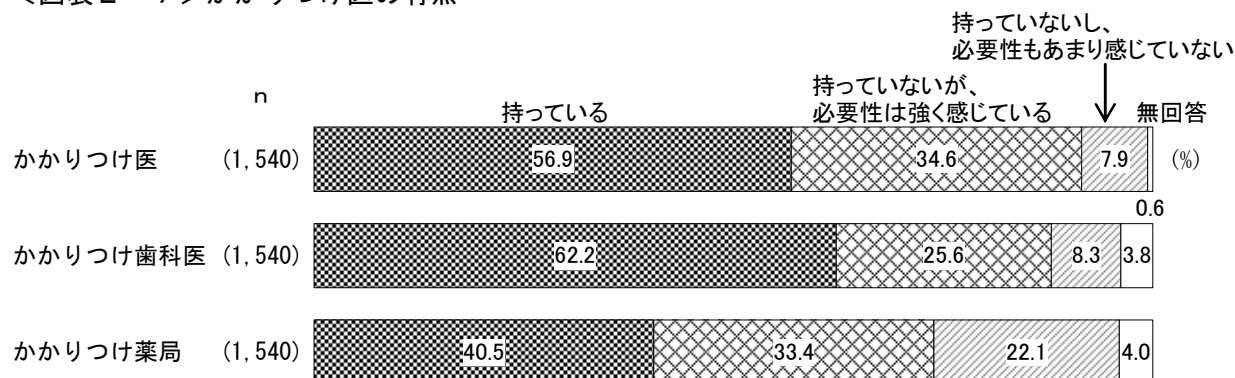
(4) かかりつけ医の有無

◇かかりつけ歯科医を持っているが6割を超え、かかりつけ医を持っているが5割台半ば

問15 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要
なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医・薬局）を、「かかりつ
け医（歯科医・薬局）」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」をお持ちですか。（○はそれぞれ1つずつ）

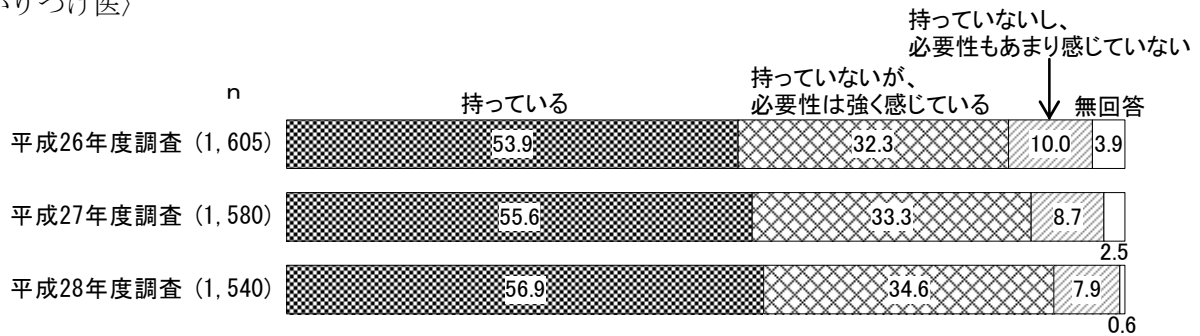
＜図表2－7＞かかりつけ医の有無



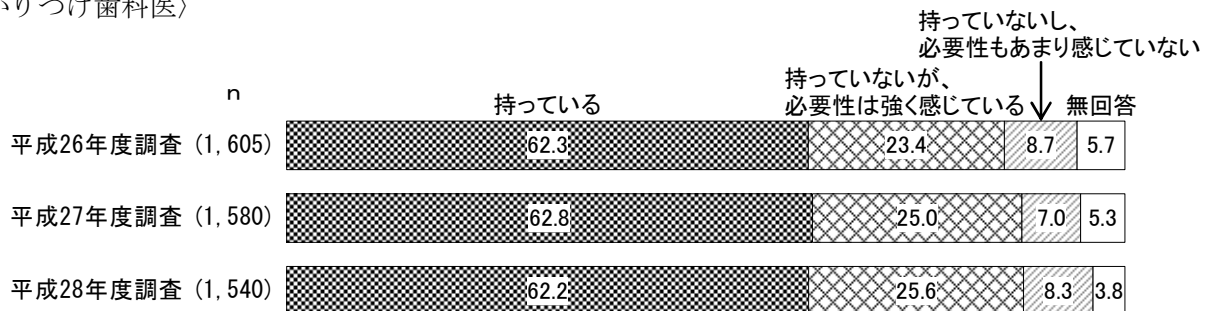
かかりつけの医師、歯科医師、薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は〈かかりつけ歯科医〉（62.2%）が6割を超え、〈かかりつけ医〉（56.9%）が5割台半ば、〈かかりつけ薬局〉（40.5%）が4割となっている。また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は〈かかりつけ医〉（34.6%）が3割台半ばとなっている。「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は〈かかりつけ薬局〉（22.1%）が2割を超えている。（図表2－7）

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

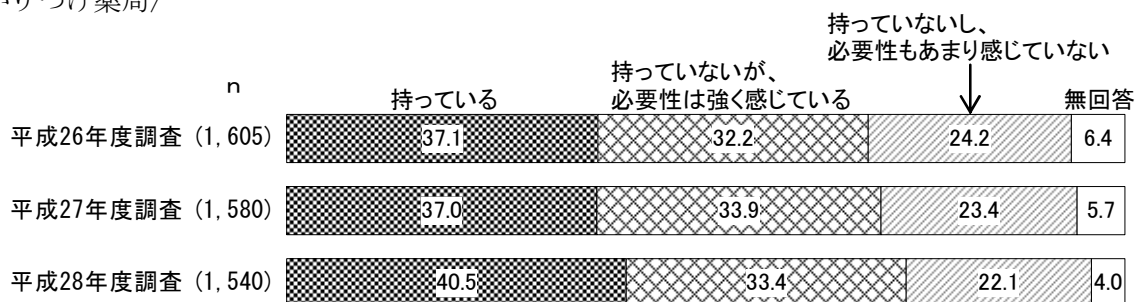
〈かかりつけ医〉



〈かかりつけ歯科医〉



〈かかりつけ薬局〉



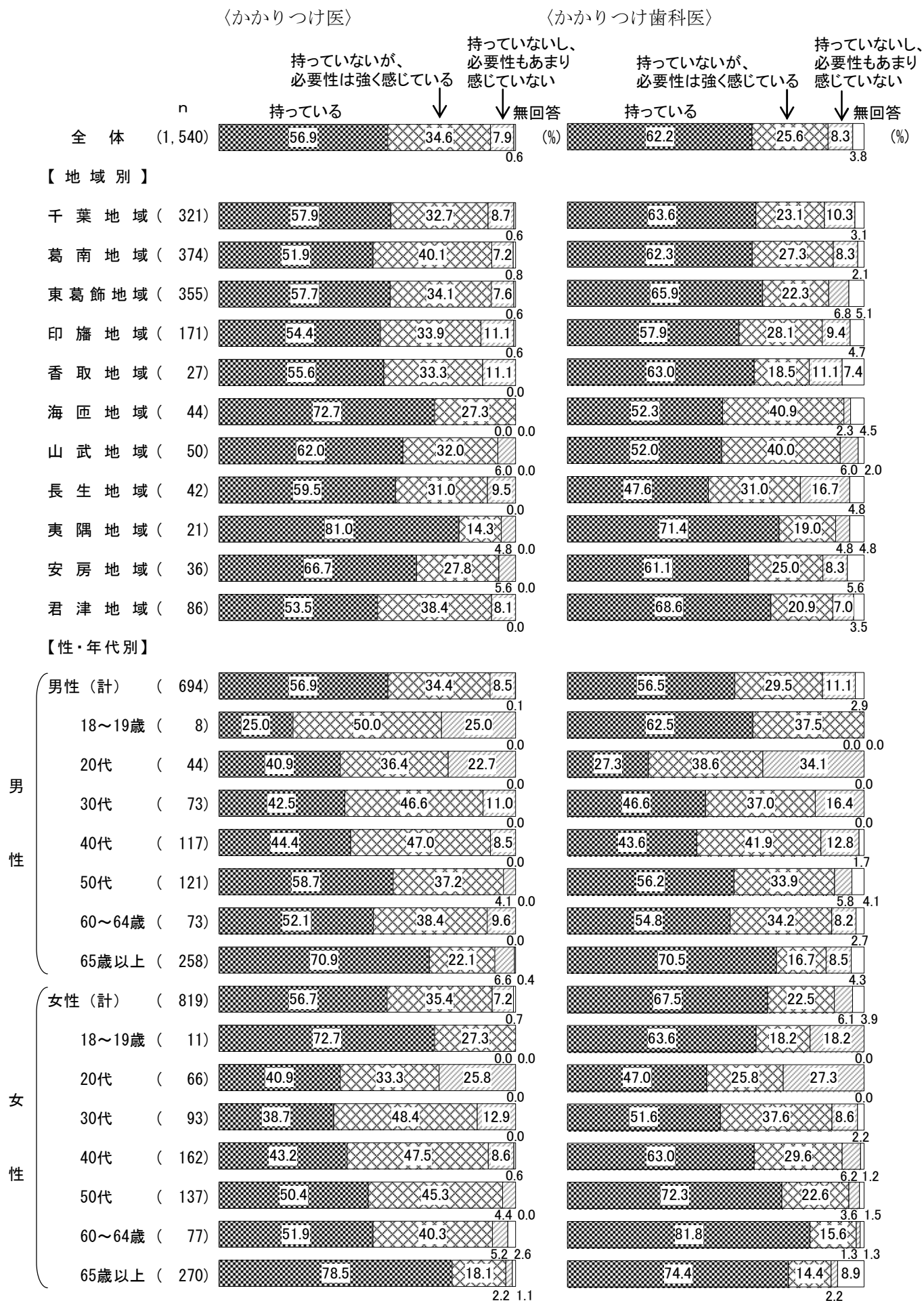
【地域別】

地域別にみると、〈かかりつけ医〉を「持っている」は“夷隅地域”（81.0％）が8割を超え、“海
 匝地域”（72.7％）が7割を超えて高くなっている。〈かかりつけ歯科医〉を「持っている」は“夷
 隅地域”（71.4％）が7割を超えて高くなっている。〈かかりつけ薬局〉を「持っている」は“山武
 地域”（52.0％）が5割を超えて高くなっている。（図表2－8）

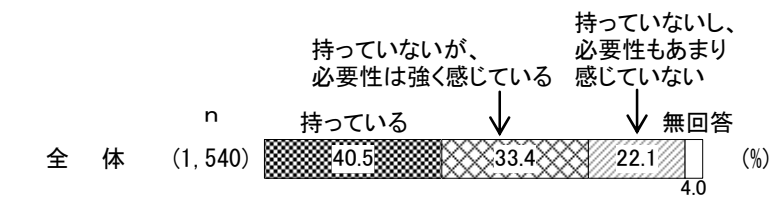
【性・年代別】

性・年代別にみると、〈かかりつけ医〉を「持っている」は女性の65歳以上（78.5％）が約8割
 で高くなっている。〈かかりつけ歯科医〉を「持っている」は女性の60～64歳（81.8％）が8割を
 超えて高くなっている。〈かかりつけ薬局〉を「持っている」は女性の65歳以上（61.5％）が6割
 を超えて高くなっている。（図表2－8）

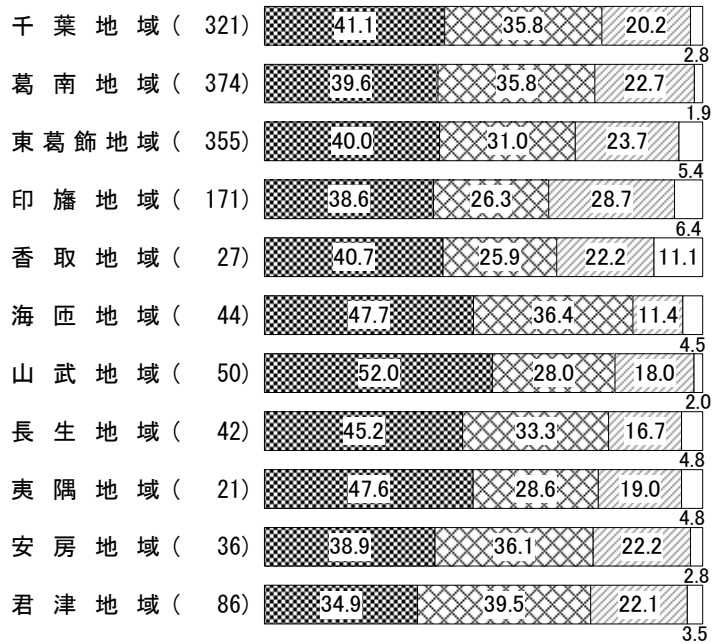
＜図表２－８＞かかりつけ医の有無／地域別、性・年代別



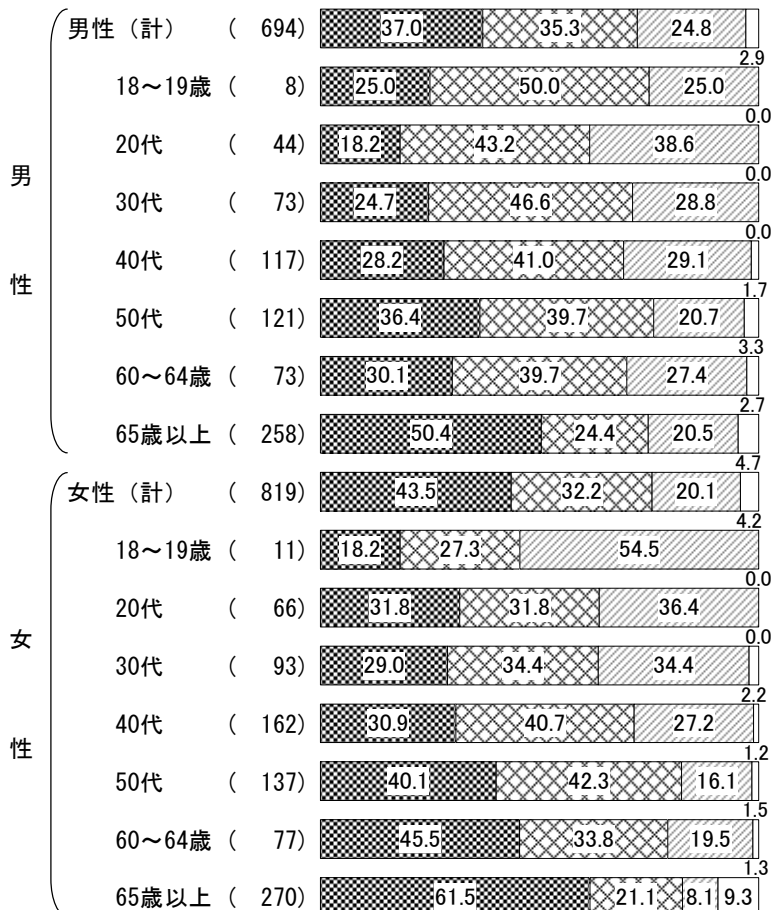
〈かかりつけ薬局〉



【地域別】



【性・年代別】



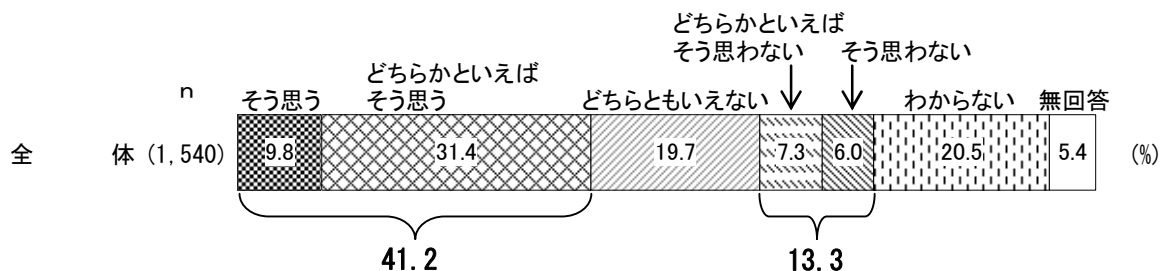
3 福祉について

(1) 安心して子育てできる環境

◇『そう思う』が4割を超える

問16 あなたは、自分が安心して子育てできる環境にあると思いますか。(○は1つ)

<図表3-1>安心して子育てできる環境



自分が安心して子育てできる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(9.8%)と「どちらかといえばそう思う」(31.4%)を合わせた『そう思う』(41.2%)が4割を超えている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(7.3%)と「そう思わない」(6.0%)を合わせた『そう思わない』(13.3%)は1割を超えている。(図表3-1)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)

n	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成26年度調査 (1,605)	36.7	15.0	48.4
平成27年度調査 (1,580)	37.0	15.6	47.4
平成28年度調査 (1,540)	41.2	13.3	45.6

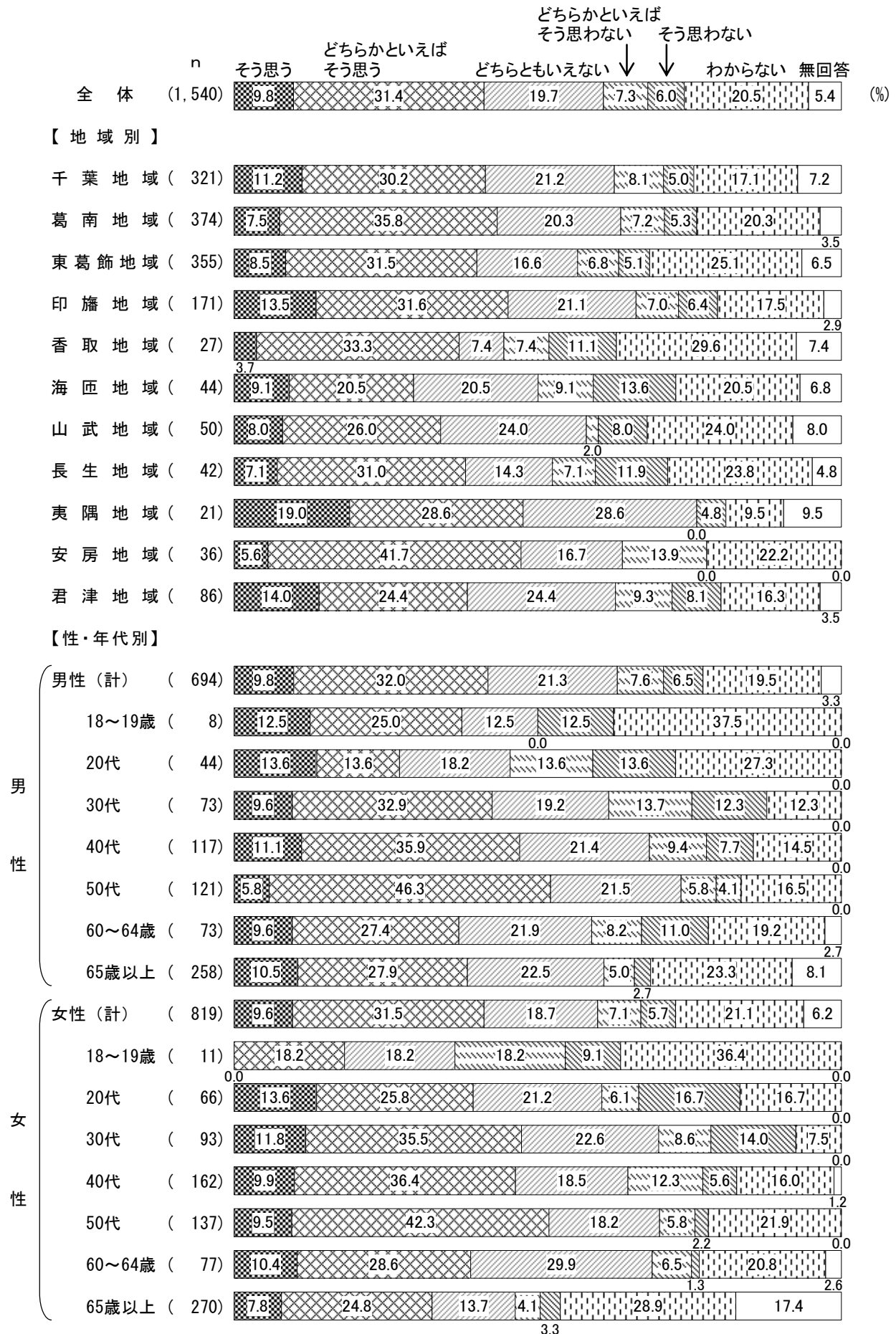
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“夷隅地域”(47.6%)と“安房地域”(47.3%)が約5割で高くなっている。(図表3-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の50代(52.1%)と女性の50代(51.8%)が5割を超えて高くなっている。(図表3-2)

<図表3-2>安心して子育てできる環境／地域別、性・年代別



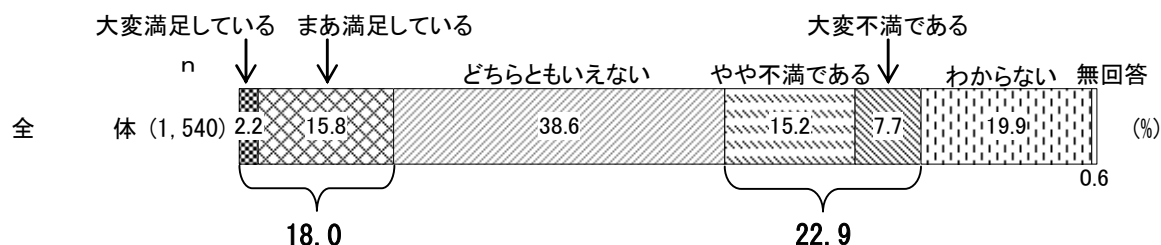
(2) お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について

◇『満足している』が約2割、『不満である』が2割を超える

問17 あなたは、お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についてどう感じですか。

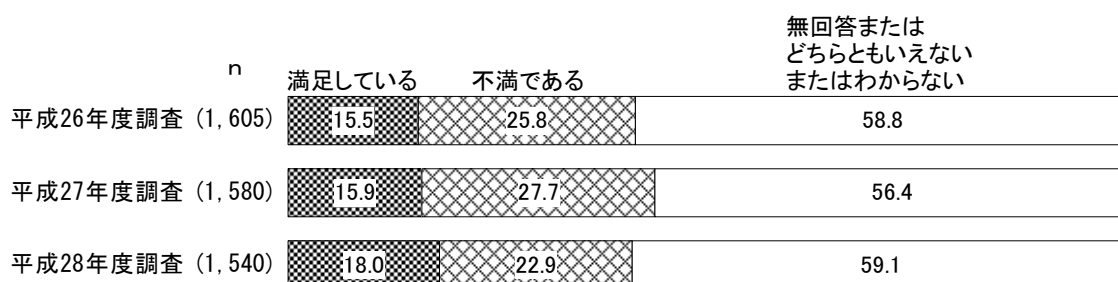
(○は1つ)

＜図表3-3＞お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について



お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についてどう感じているか聞いたところ、「大変満足している」(2.2%)と「まあ満足している」(15.8%)を合わせた『満足している』(18.0%)が約2割となっている。一方、「やや不満である」(15.2%)と「大変不満である」(7.7%)を合わせた『不満である』(22.9%)は2割を超えている。(図表3-3)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



【地域別】

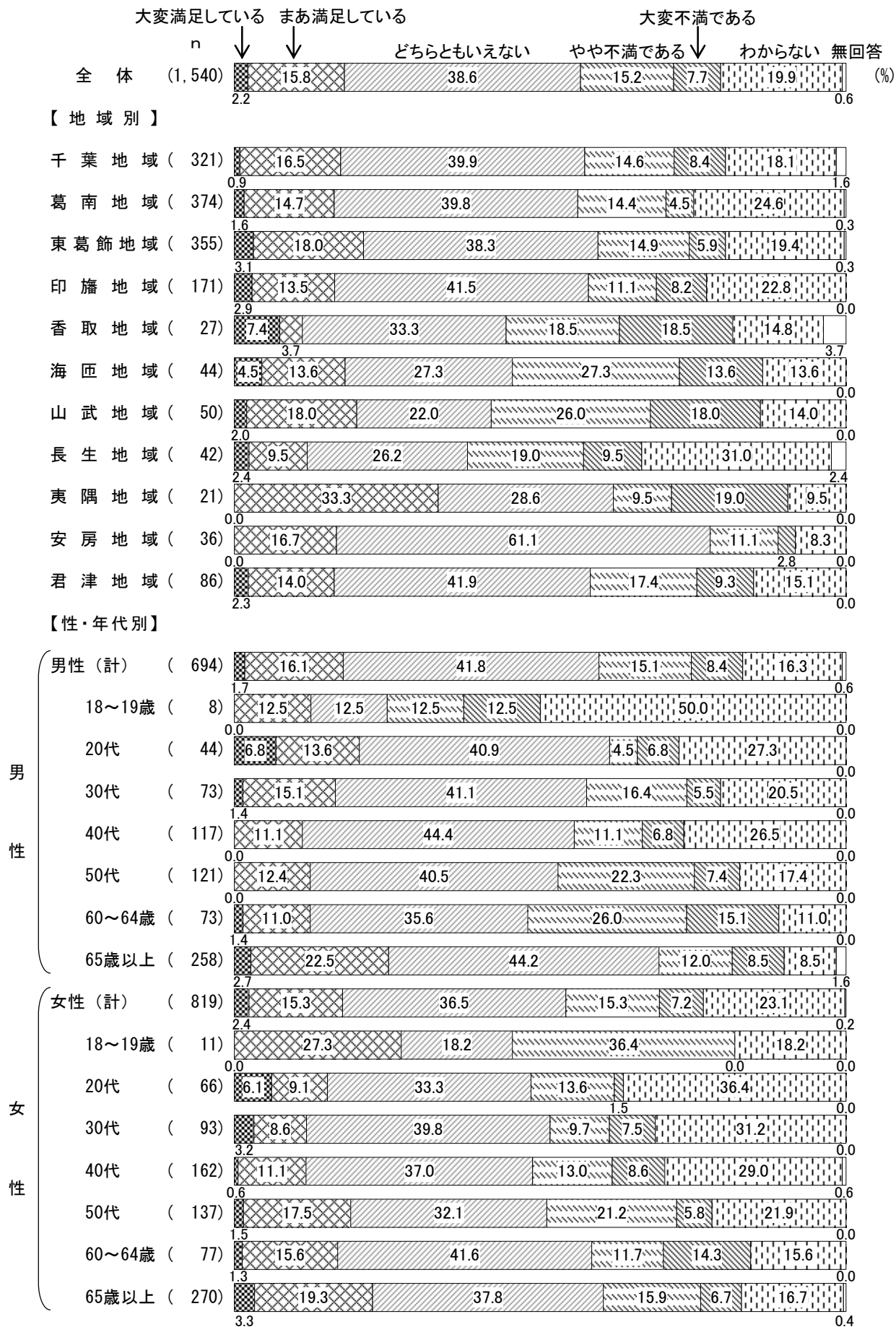
地域別にみると、『満足している』は“夷隅地域”(33.3%)が3割を超えて高くなっている。一方、『不満である』は“山武地域”(44.0%)が4割台半ば、“海匝地域”(40.9%)が4割で高くなっている。(図表3-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は男性の65歳以上(25.2%)が2割台半ばで高くなっている。一方、『不満である』は男性の60～64歳以上(41.1%)が4割を超えて高くなっている。

(図表3-4)

＜図表３－４＞お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について／地域別、性・年代別

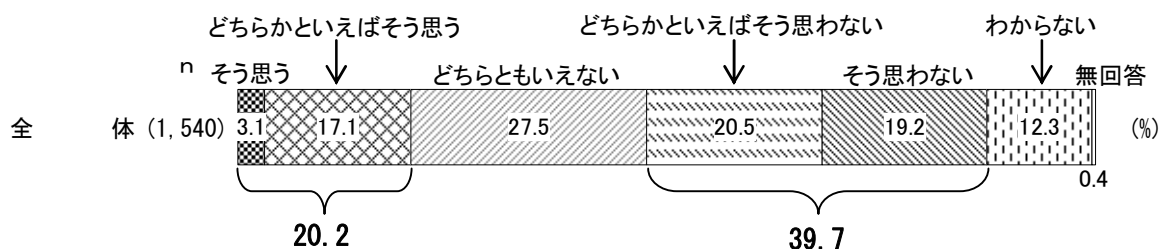


(3) 安心して暮らせる地域社会づくりについて

◇『そう思う』が2割

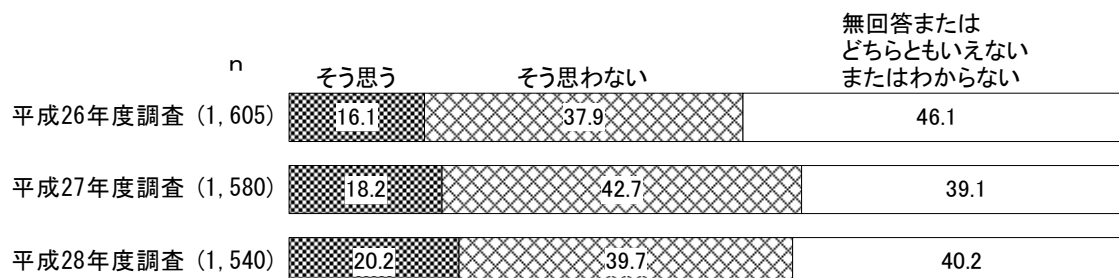
問18 近年、少子高齢化の進行や一人暮らし世帯・核家族世帯の増加等を背景に家庭内や地域の支え合いの力が弱まっていると言われています。あなたは、地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思いますか。(〇は1つ)

＜図表3－5＞安心して暮らせる地域社会づくりについて



地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思うか聞いたところ、「そう思う」(3.1%)と「どちらかといえばそう思う」(17.1%)を合わせた『そう思う』(20.2%)が2割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(20.5%)と「そう思わない」(19.2%)を合わせた『そう思わない』(39.7%)は約4割となっている。(図表3－5)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



【地域別】

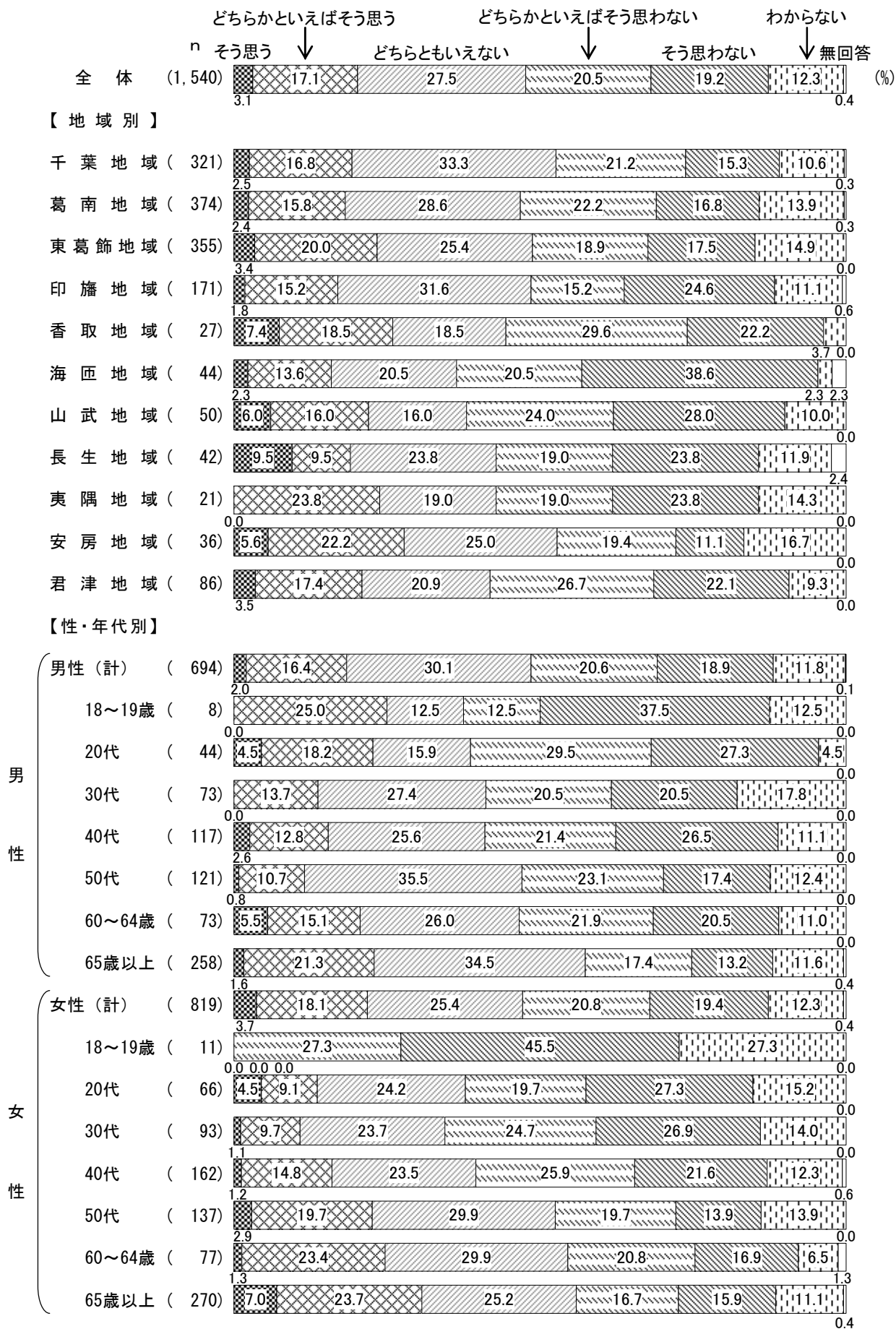
地域別にみると、『そう思う』は“安房地域”(27.8%)が約3割で高くなっている。一方、『そう思わない』は“海匝地域”(59.1%)が約6割、“山武地域”(52.0%)と“香取地域”(51.8%)が5割を超えて高くなっている。(図表3－6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は女性の65歳以上(30.7%)が3割で高くなっている。

(図表3－6)

＜図表３－６＞安心して暮らせる地域社会づくりについて／地域別、性・年代別

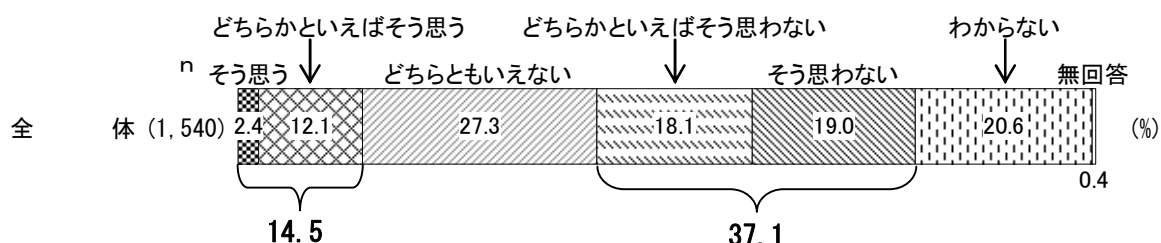


(4) 障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりについて

◇『そう思う』が1割台半ば

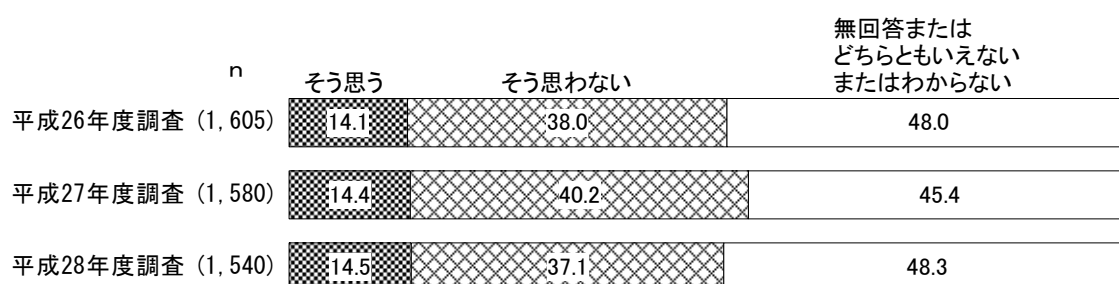
問19 あなたは障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりが進められていると思いますか。
(○は1つ)

<図表3-7>障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりについて



障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりが進められていると思うか聞いたところ、「そう思う」（2.4%）と「どちらかといえばそう思う」（12.1%）を合わせた『そう思う』（14.5%）が1割台半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」（18.1%）と「そう思わない」（19.0%）を合わせた『そう思わない』（37.1%）は約4割となっている。（図表3-7）

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



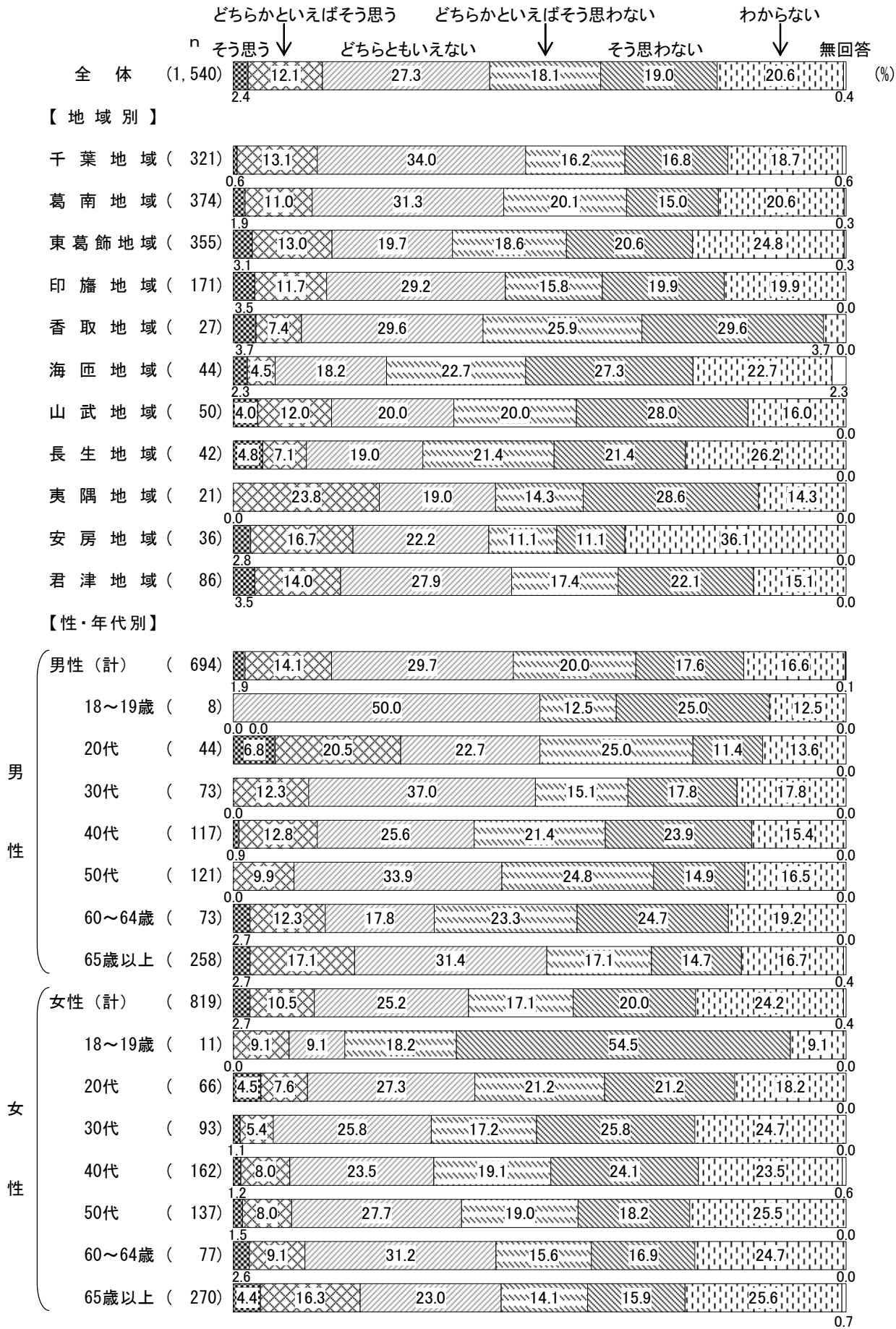
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“夷隅地域”（23.8%）が2割を超えて高くなっている。一方、『そう思わない』は“香取地域”（55.5%）が5割台半ば、“海匝地域”（50.0%）が5割で高くなっている。（図表3-8）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の20代（27.3%）が約3割で高くなっている。一方、『そう思わない』は男性の60～64歳（48.0%）が約5割で高くなっている。（図表3-8）

＜図表３－８＞障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりについて／地域別、性・年代別



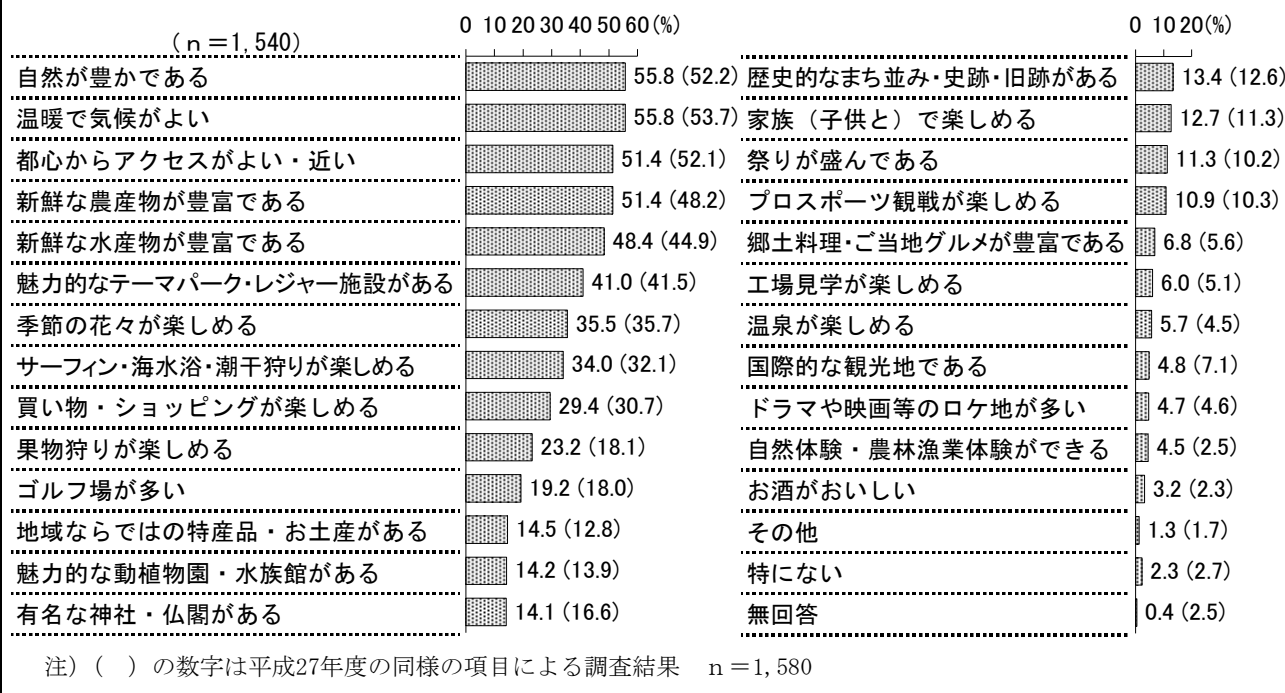
4 観光について

(1) 千葉県の魅力

◇「自然が豊かである」と「温暖で気候がよい」が5割台半ば

問20 千葉県の魅力は、次のどれだと思いますか。(○はいくつでも)

<図表4-1>千葉県の魅力(複数回答)



千葉県の魅力は何だと思うか聞いたところ、「自然が豊かである」(55.8%)と「温暖で気候がよい」(55.8%)が5割台半ばで最も高く、以下、「都心からアクセスがよい・近い」(51.4%)、「新鮮な農産物が豊富である」(51.4%)、「新鮮な水産物が豊富である」(48.4%)が続く。(図表4-1)

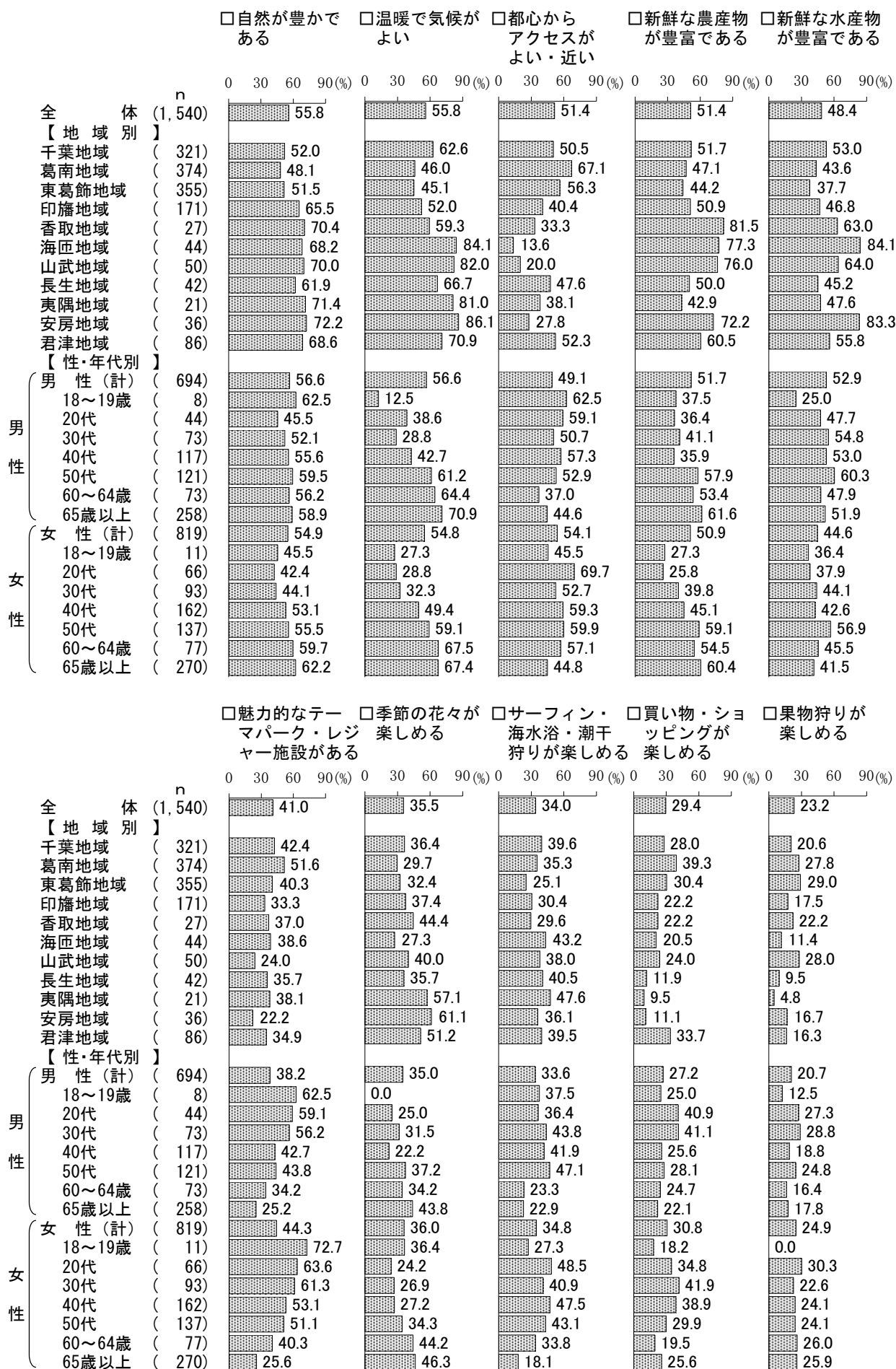
【地域別】

地域別にみると、「自然が豊かである」は“安房地域”(72.2%)と“夷隅地域”(71.4%)で7割を超えて高くなっている。「温暖で気候がよい」は“安房地域”(86.1%)と“海匝地域”(84.1%)が8割台半ばで高くなっている。「都心からアクセスがよい・近い」は“葛南地域”(67.1%)が約7割で高くなっている。「新鮮な農産物が豊富である」は“香取地域”(81.5%)が8割を超えて高くなっている。「新鮮な水産物が豊富である」は“海匝地域”(84.1%)が8割台半ばで高くなっている。「季節の花々が楽しめる」は“安房地域”(61.1%)が6割を超えて高くなっている。(図表4-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「温暖で気候がよい」は男性の65歳以上(70.9%)が7割で高くなっている。「都心からアクセスがよい・近い」は女性の20代(69.7%)が約7割で高くなっている。「新鮮な農産物が豊富である」は男性の65歳以上(61.6%)が6割を超えて高くなっている。「新鮮な水産物が豊富である」は男性の50代(60.3%)が6割で高くなっている。「魅力的なテーマパーク・レジャー施設がある」はおおむね低い年代ほど割合が高くなる傾向にある。(図表4-2)

＜図表４－２＞千葉県の魅力／地域別、性・年代別（上位10項目）



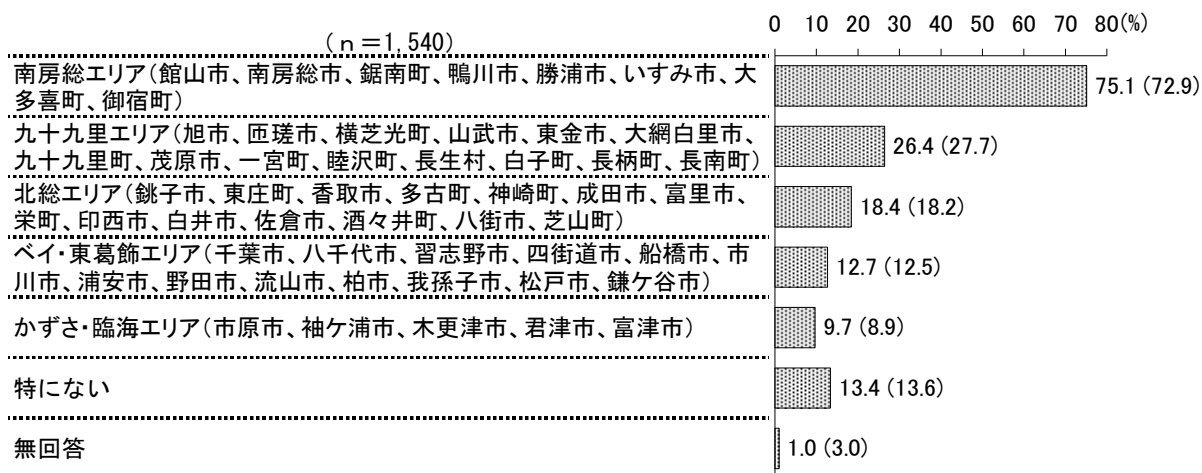
(2) 県内で旅行に行きたいエリア

◇「南房総エリア」が7割台半ば

問21 あなたは、これから千葉県内を旅行するとしたら、どのエリアに行きたいですか。

(○はいくつでも)

<図表4-3>県内で旅行に行きたいエリア(複数回答)



注) () の数字は平成27年度の同様の項目による調査結果 n=1,580

県内で旅行に行きたいエリアはどこか聞いたところ、「南房総エリア」(75.1%)が7割台半ばで最も高く、以下、「九十九里エリア」(26.4%)、「北総エリア」(18.4%)、「ベイ・東葛飾エリア」(12.7%)、「かずさ・臨海エリア」(9.7%)が続く。(図表4-3)

【地域別】

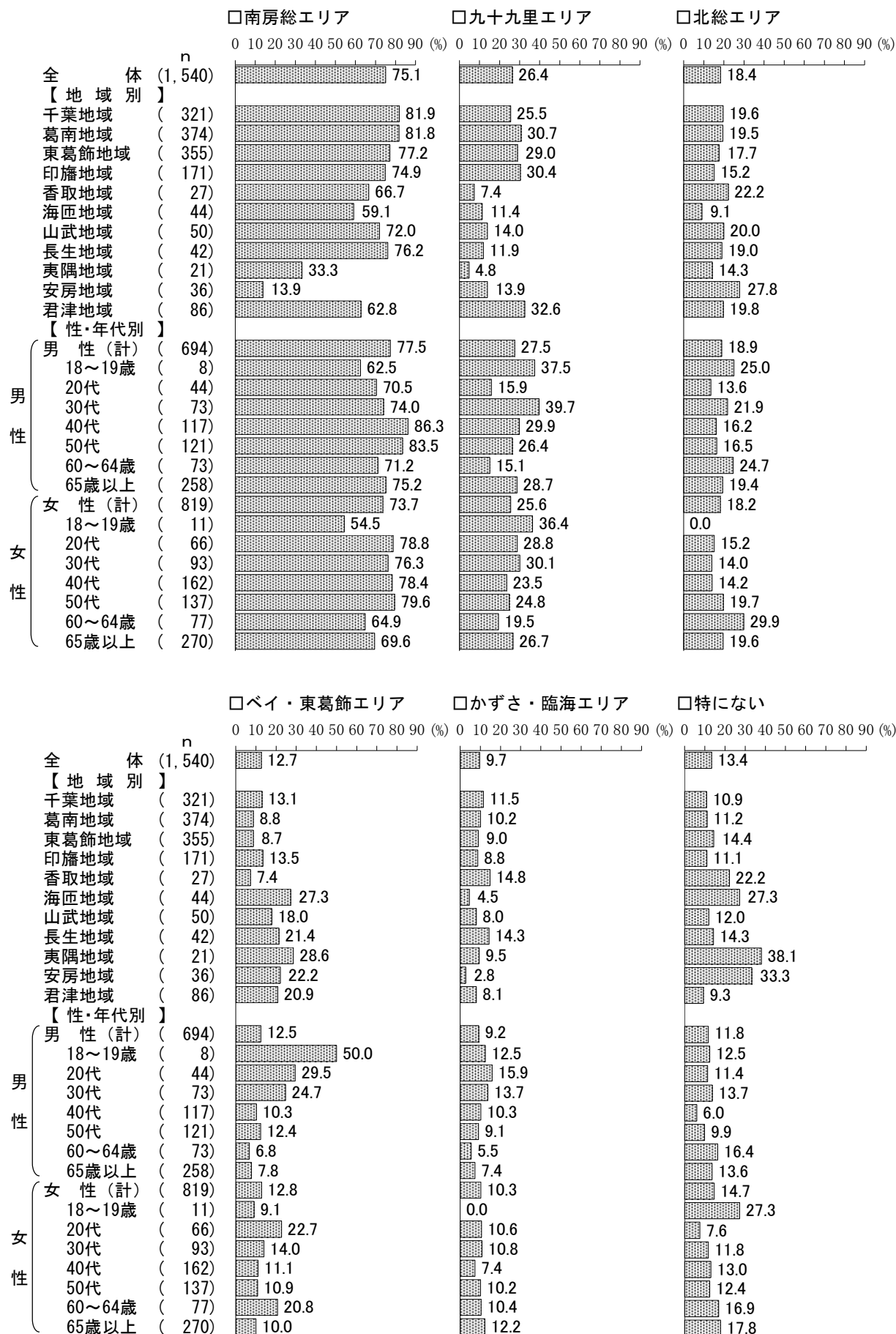
地域別にみると、「南房総エリア」は、「千葉地域」(81.9%)と「葛南地域」(81.8%)が8割を超えて高くなっている。「九十九里エリア」は「君津地域」(32.6%)が3割を超えて高くなっている。「ベイ・東葛飾エリア」は「夷隅地域」(28.6%)と「海匝地域」(27.3%)が約3割で高くなっている。(図表4-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「南房総エリア」は男性の40代(86.3%)、50代(83.5%)が8割台半ばで高くなっている。「九十九里エリア」は男性の30代(39.7%)が約4割で高くなっている。

(図表4-4)

<図表4-4>県内で旅行に行きたいエリア／地域別、性・年代別

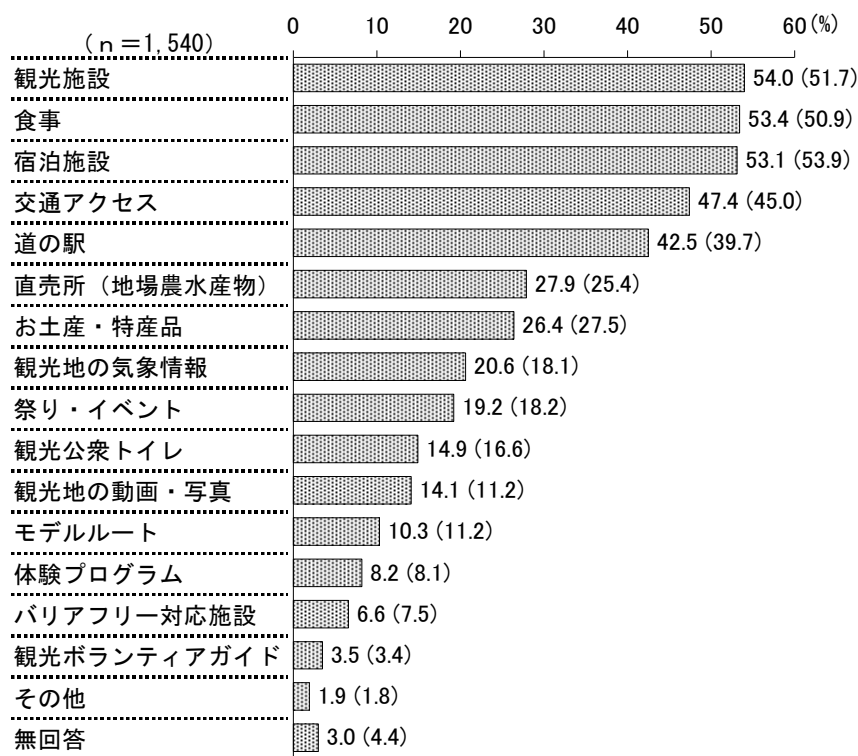


(3) 県内を観光する際に事前に知りたい情報

◇「観光施設」が5割台半ば

問22 千葉県内を観光する際に、事前にどのような情報がほしいですか。（○はいくつでも）

<図表4-5> 県内を観光する際に事前に知りたい情報（複数回答）



注）（ ）の数字は平成27年度の同様の項目による調査結果 n=1,580

県内を観光する際に事前に知りたい情報は何か聞いたところ、「観光施設」（54.0%）が5割台半ばで最も高く、以下、「食事」（53.4%）、「宿泊施設」（53.1%）、「交通アクセス」（47.4%）、「道の駅」（42.5%）が続く。（図表4-5）

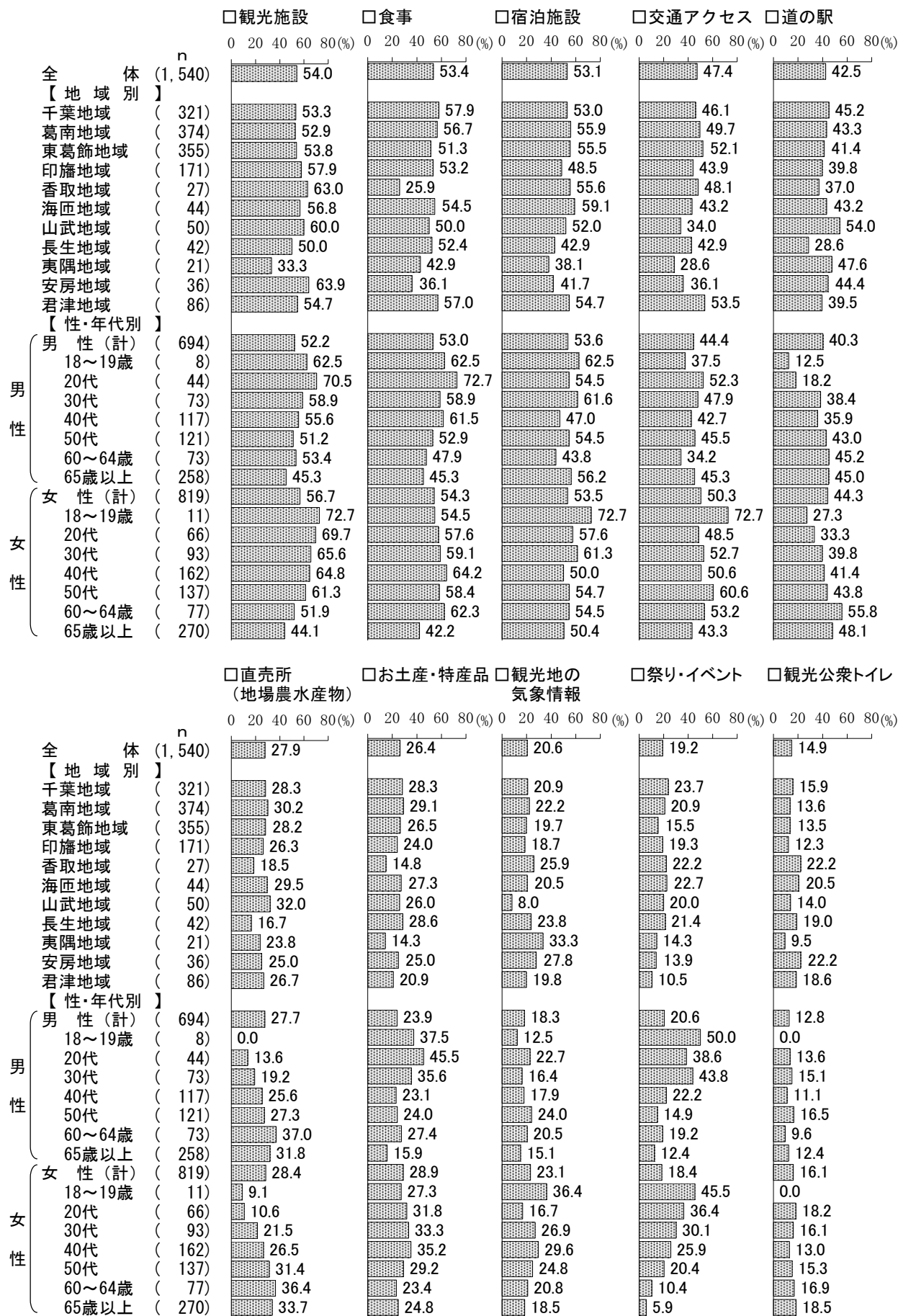
【地域別】

地域別にみると、「観光施設」は“安房地域”（63.9%）が6割台半ば、“香取地域”（63.0%）が6割を超えて高くなっている。「宿泊施設」は“海匝地域”（59.1%）が約6割で高くなっている。「道の駅」は“山武地域”（54.0%）が5割台半ばで高くなっている。（図表4-6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「観光施設」は男性の20代（70.5%）が7割で高くなっている。「食事」は男性の20代（72.7%）が7割を超えて高くなっている。「道の駅」は女性の60～64歳（55.8%）が5割台半ばで高くなっている。（図表4-6）

＜図表４－６＞県内を観光する際に事前に知りたい情報／地域別、性・年代別（上位10項目）

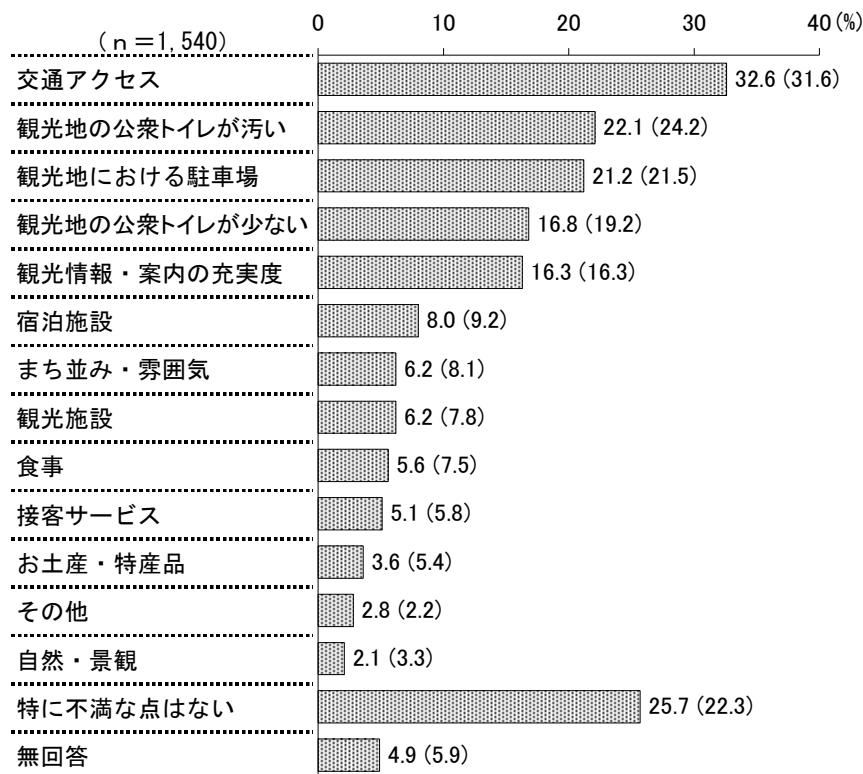


(4) 県内を観光する際の不満

◇「交通アクセス」が3割を超える

問23 千葉県内を観光する際に、不満な点を教えてください。(〇はいくつでも)

<図表4-7> 県内を観光する際の不満(複数回答)



注) () の数字は平成27年度の同様の項目による調査結果 n=1,580

県内を観光する際に不満に感じることを聞いたところ、「交通アクセス」(32.6%)が3割を超えて最も高く、以下、「観光地の公衆トイレが汚い」(22.1%)、「観光地における駐車場」(21.2%)、「観光地の公衆トイレが少ない」(16.8%)、「観光情報・案内の充実度」(16.3%)が続く。

(図表4-7)

【地域別】

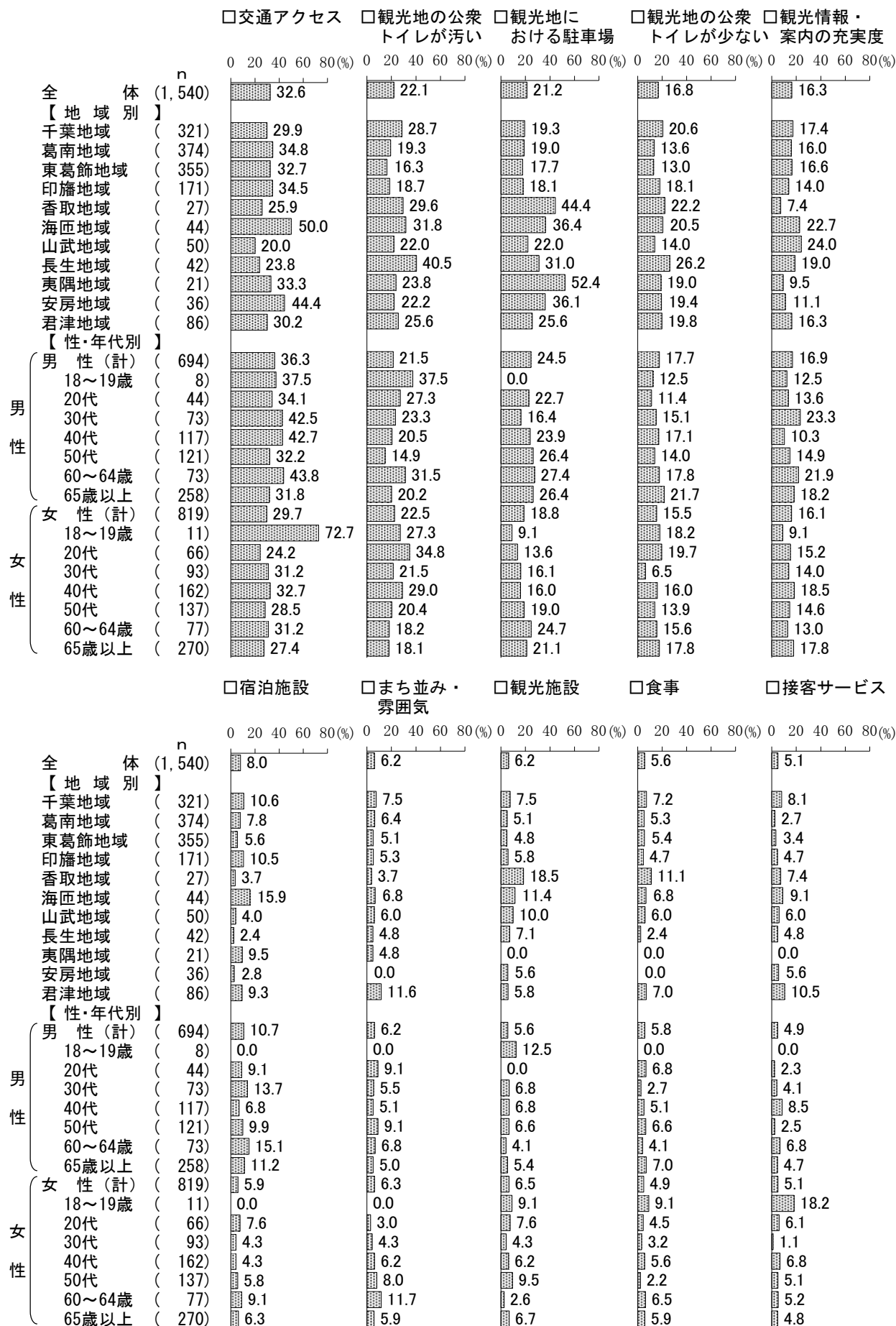
地域別にみると、「交通アクセス」は“海匝地域”(50.0%)が5割、“安房地域”(44.4%)が4割台半ばで高くなっている。「観光地の公衆トイレが汚い」は“長生地域”(40.5%)が4割で高くなっている。「観光地における駐車場」は“夷隅地域”(52.4%)が5割を超え、“香取地域”(44.4%)が4割台半ばで高くなっている。(図表4-8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「交通アクセス」は男性の60～64歳(43.8%)が4割台半ばで高くなっている。「観光地の公衆トイレが汚い」は女性の20代(34.8%)が3割台半ばで高くなっている。

(図表4-8)

＜図表４－８＞県内を観光する際の不満／地域別、性・年代別（上位10項目）

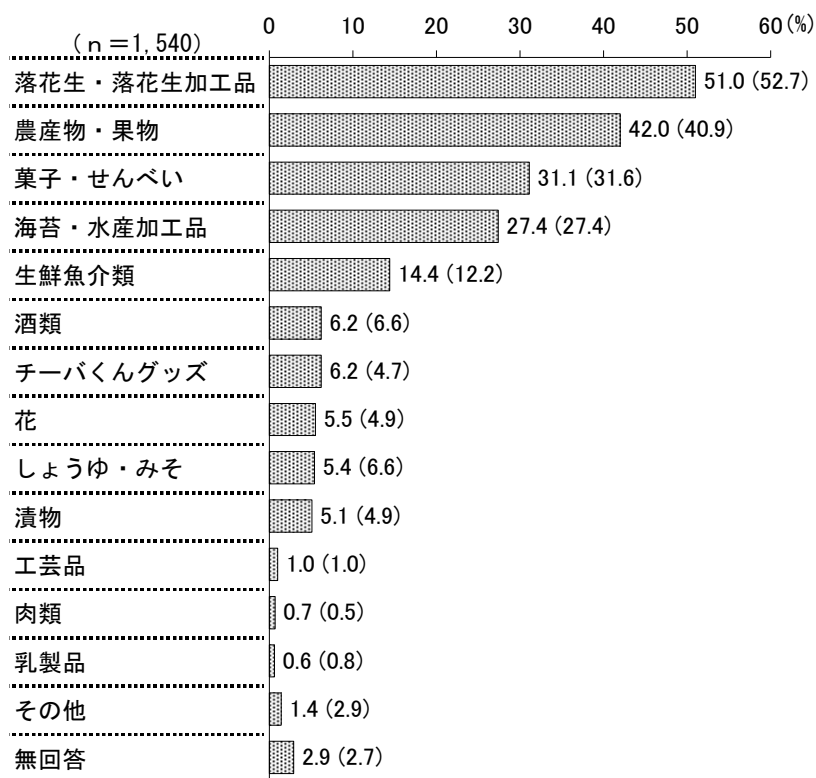


(5) 県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの

◇「落花生・落花生加工品」が5割を超える

問24 あなたは県産品をお土産や贈答品として使う場合、何を贈りますか。(○は3つまで)

<図表4-9> 県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの(3つまでの複数回答)



注) () の数字は平成27年度の同様の項目による調査結果 n=1,580

県産品をお土産や贈答品として使う場合、何を贈るか3つまで選んでもらったところ、「落花生・落花生加工品」(51.0%)が5割を超えて最も高く、以下、「農産物・果物」(42.0%)、「菓子・せんべい」(31.1%)、「海苔・水産加工品」(27.4%)、「生鮮魚介類」(14.4%)が続く。

(図表4-9)

【地域別】

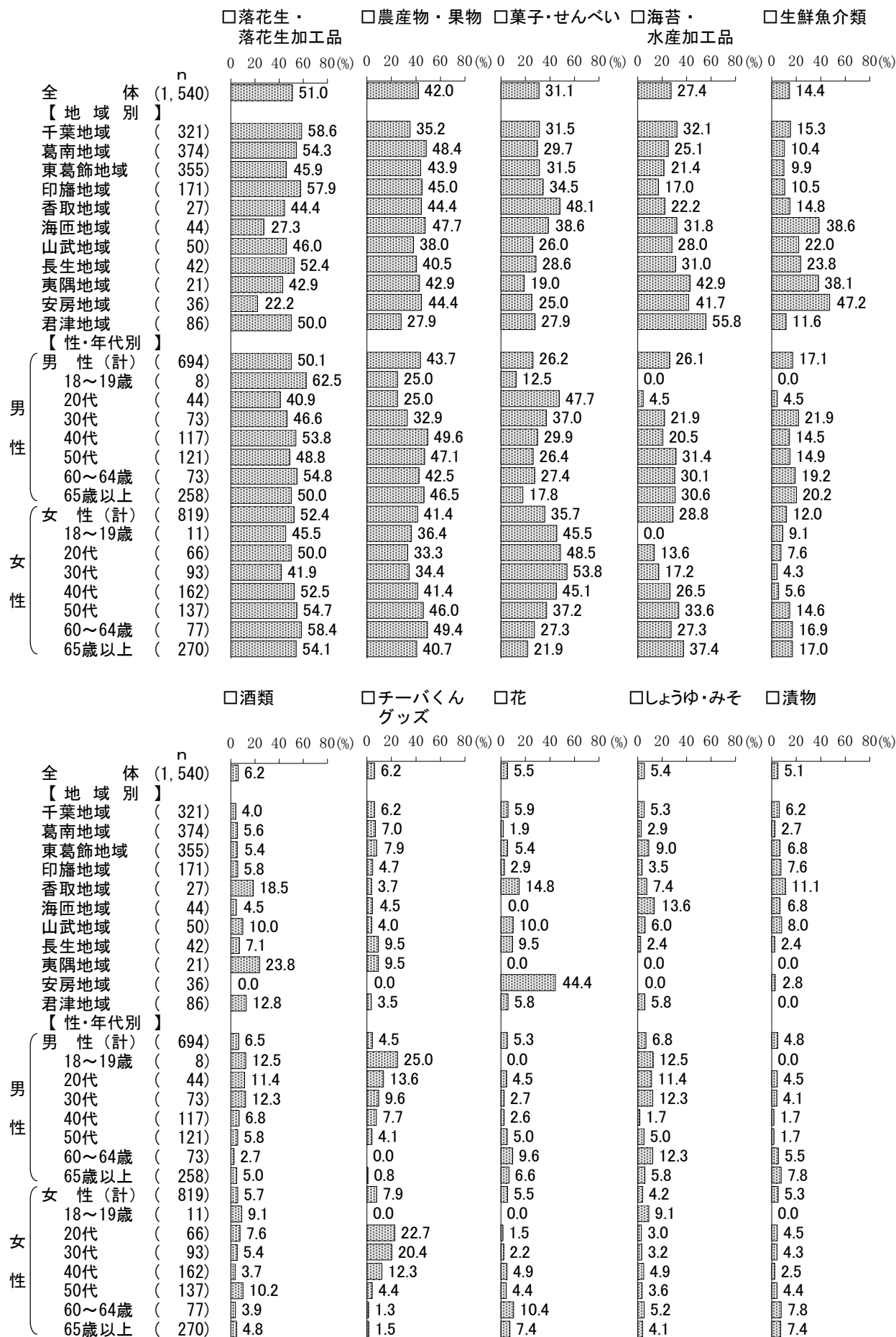
地域別にみると、「菓子・せんべい」は“香取地域”(48.1%)が約5割で高くなっている。「海苔・水産加工品」は“君津地域”(55.8%)が5割台半ばで高くなっている。「生鮮魚介類」は“安房地域”(47.2%)が約5割で高くなっている。「花」は“安房地域”(44.4%)が4割台半ばで高くなっている。(図表4-10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「落花生・落花生加工品」は女性の60～64歳(58.4%)が約6割で高くなっている。「菓子・せんべい」は女性の30代(53.8%)が5割台半ばで高くなっている。

(図表4-10)

＜図表４－１０＞県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの（上位10項目）



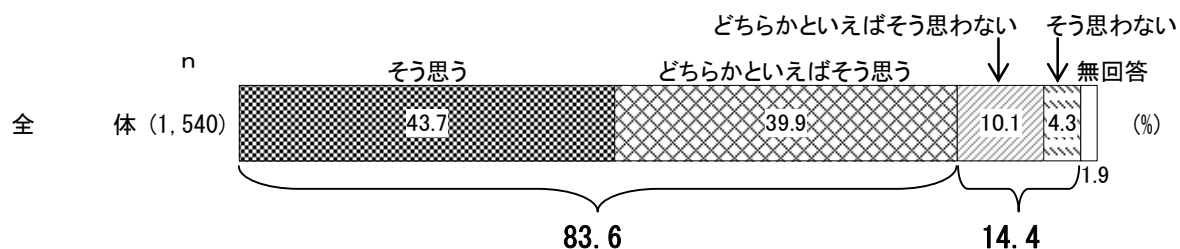
5 千葉県産農林水産物について

(1) 千葉県産農林水産物の購入意向

◇『そう思う』が8割台半ば

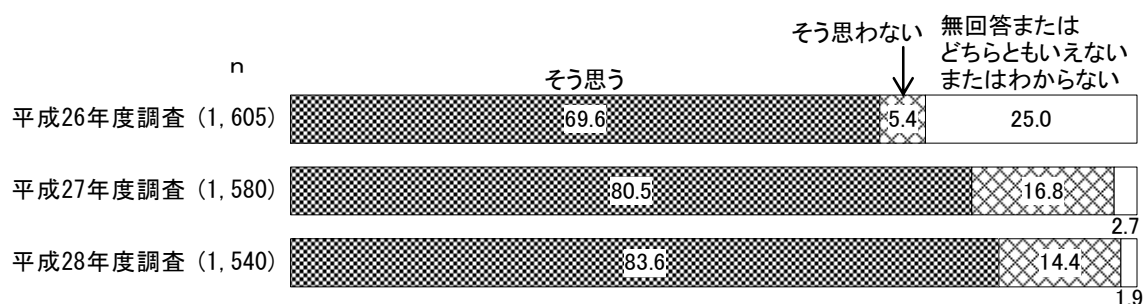
問25 あなたは、千葉県産農林水産物を購入したいと思いますか。(○は1つ)

＜図表5－1＞千葉県産農林水産物の購入意向



千葉県産農林水産物を購入したいと思うか聞いたところ、「そう思う」(43.7%)と「どちらかといえばそう思う」(39.9%)を合わせた『そう思う』(83.6%)が8割台半ばで高くなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(10.1%)と「そう思わない」(4.3%)を合わせた『そう思わない』(14.4%)は1割台半ばとなっている。(図表5－1)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位：%)



※平成26年度は「どちらともいえない」の選択肢があるため、参考値

【地域別】

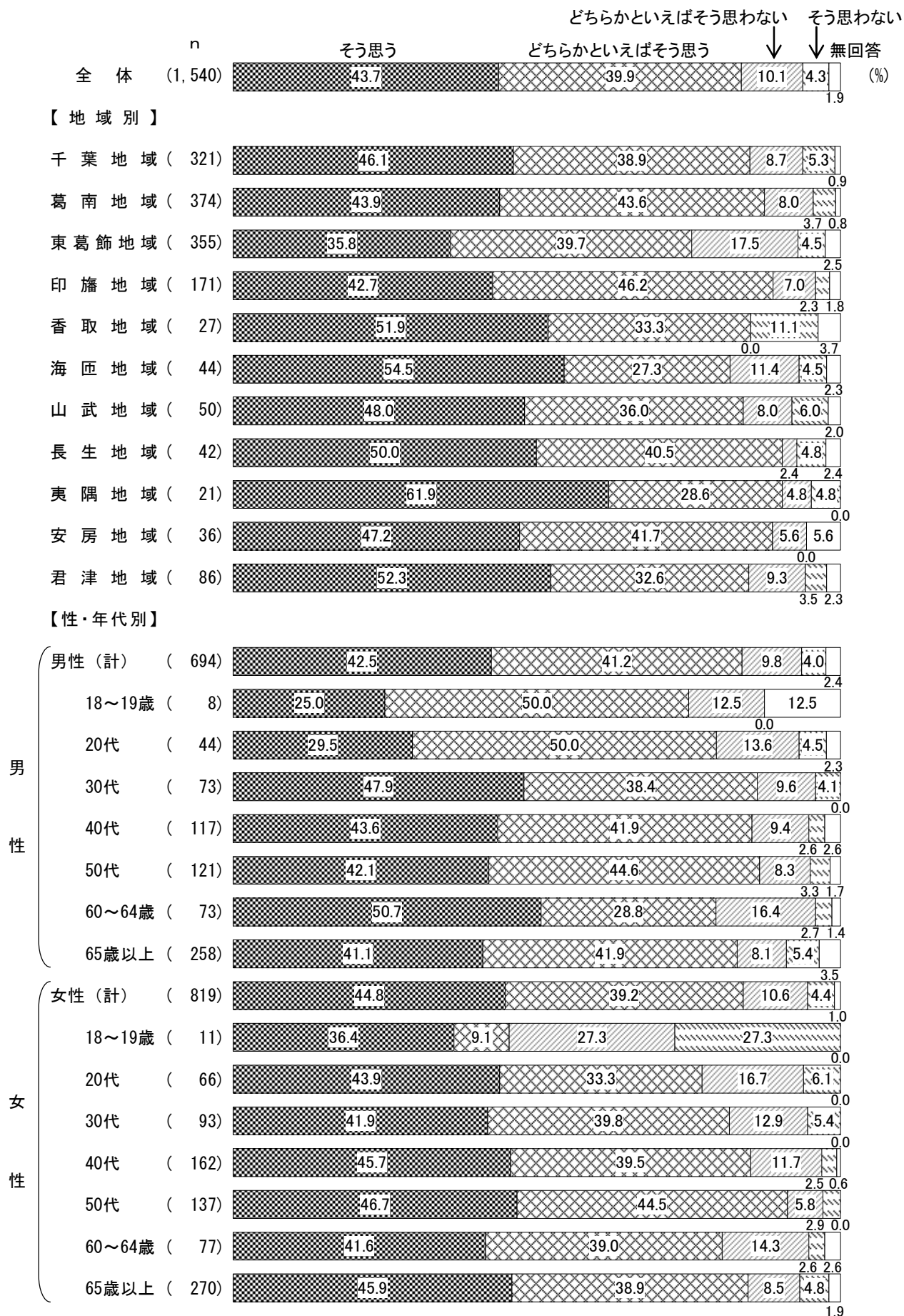
地域別にみると、『そう思う』は“長生地域”(90.5%)と“夷隅地域”(90.5%)が9割で高くなっている。(図表5－2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は女性の50代(91.2%)が9割を超えて高くなっている。

(図表5－2)

＜図表５－２＞千葉県産農林水産物の購入意向／地域別、性・年代別



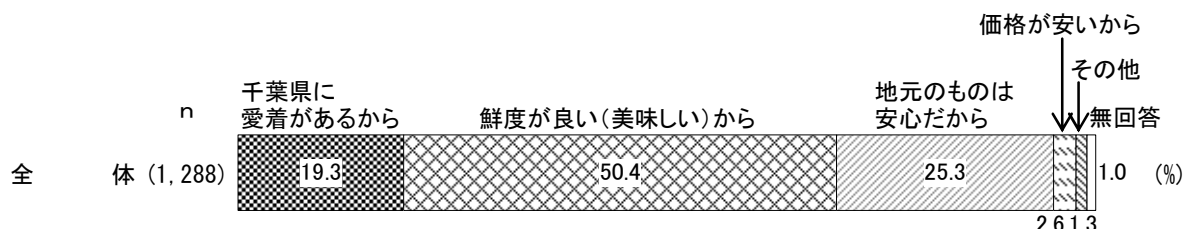
(1-1) 千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由

◇「鮮度が良い(美味しい) から」が5割

(問25で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」のいずれかをお答えの方に)

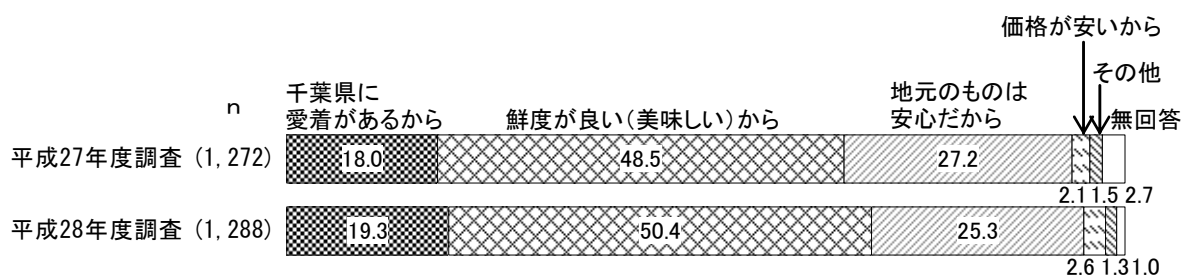
問25-1 その主な理由は何ですか。(○は1つ)

＜図表5-3＞千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由



千葉県産農林水産物を購入したいと答えた1,288人を対象に、その主な理由を聞いたところ、「鮮度が良い(美味しい)から」(50.4%)が5割で最も高く、以下、「地元のものは安心だから」(25.3%)、「千葉県に愛着があるから」(19.3%)、「価格が安いから」(2.6%)が続く。(図表5-3)

【参考】平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



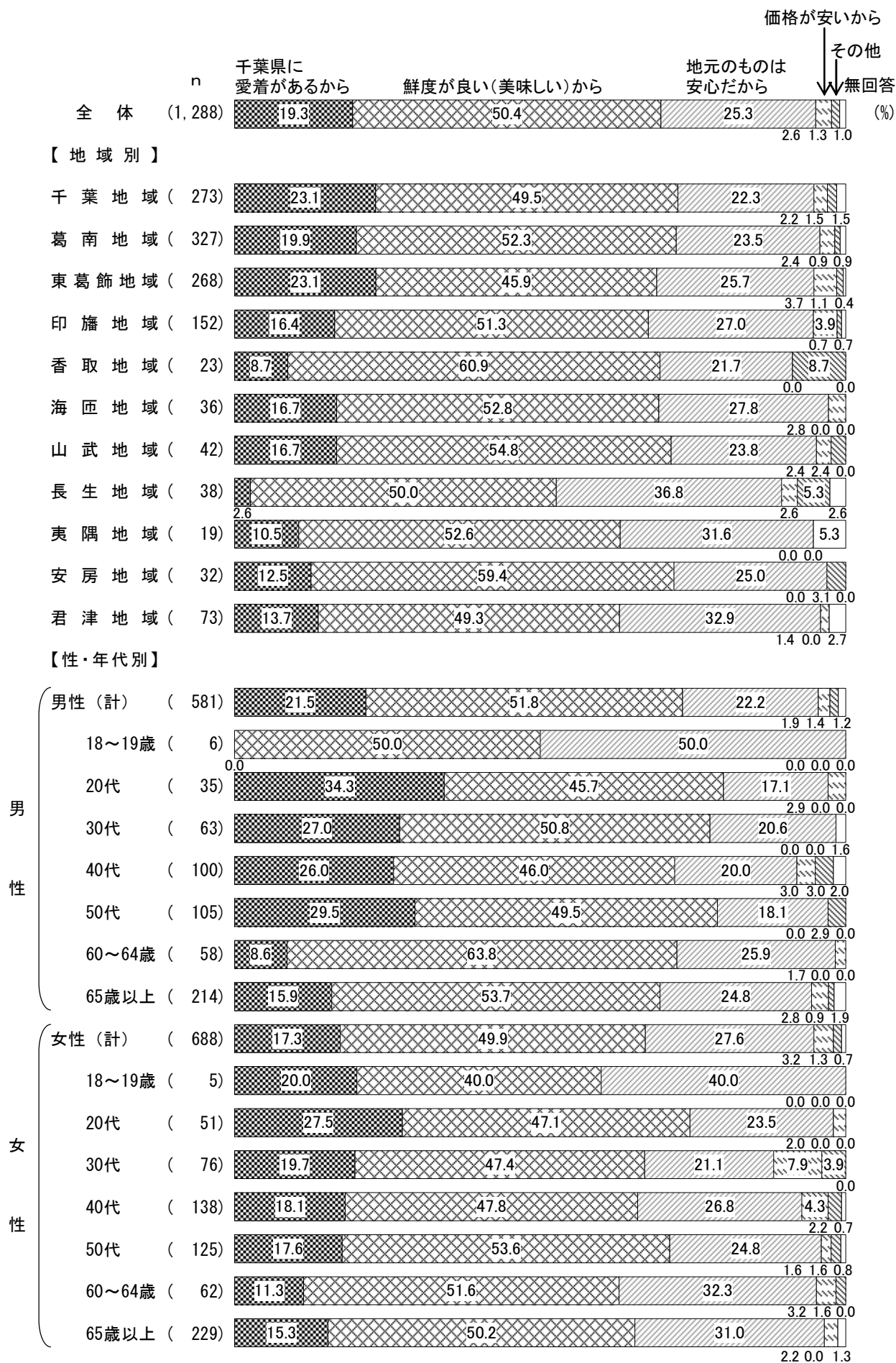
【地域別】

地域別にみると、「鮮度が良い(美味しい)から」は“香取地域”(60.9%)が6割で高くなっている。「地元のものは安心だから」は“長生地域”(36.8%)が3割台半ばで高くなっている。「千葉県に愛着があるから」は“千葉地域”(23.1%)と“東葛飾地域”(23.1%)が2割を超えて高くなっている。(図表5-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「鮮度が良い(美味しい)から」は男性の60～64歳(63.8%)が6割台半ばで高くなっている。「千葉県に愛着があるから」は男性の20代(34.3%)が3割台半ばで高くなっている。(図表5-4)

＜図表５－４＞千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由／地域別、性・年代別



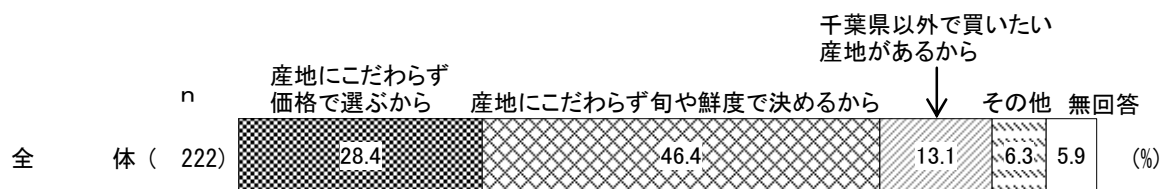
(1-2) 千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由

◇「産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから」が4割台半ば

(問25で「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」のいずれかをお答えの方に)

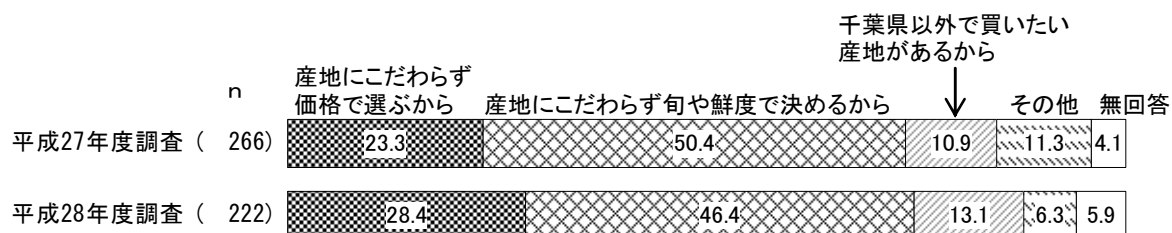
問25-2 その主な理由は何ですか。(○は1つ)

＜図表5-5＞千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由



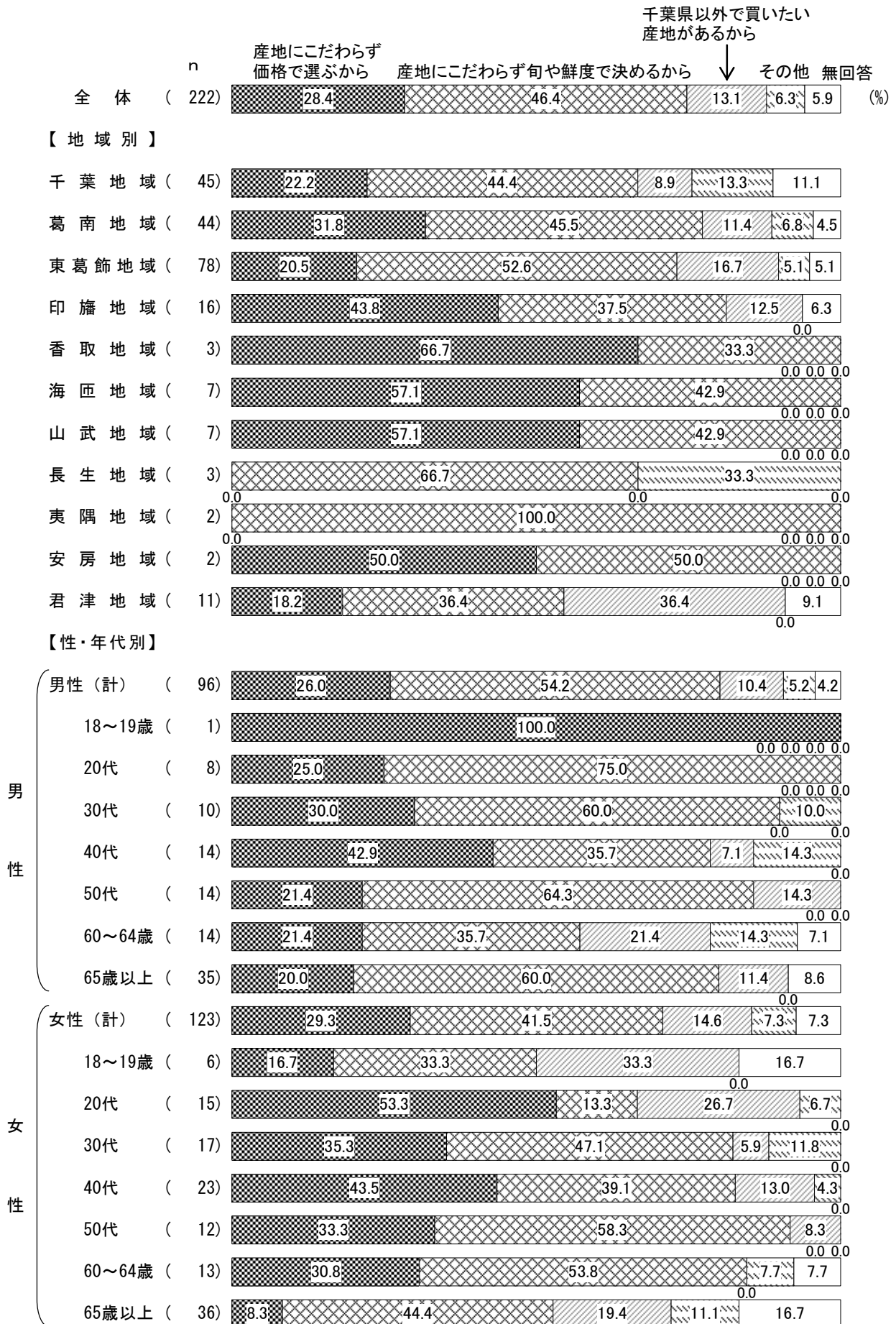
千葉県産農林水産物を購入したいと思わないと答えた222人を対象に、その主な理由を聞いたところ、「産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから」(46.4%)が4割台半ばで最も高く、以下、「産地にこだわらず価格で選ぶから」(28.4%)、「千葉県以外で買いたい産地があるから」(13.1%)が続く。(図表5-5)

〔参考〕平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



(※サンプル数の少ない属性の分析については、「報告書の見方」を参照)

＜図表５－６＞千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由／地域別、性・年代別



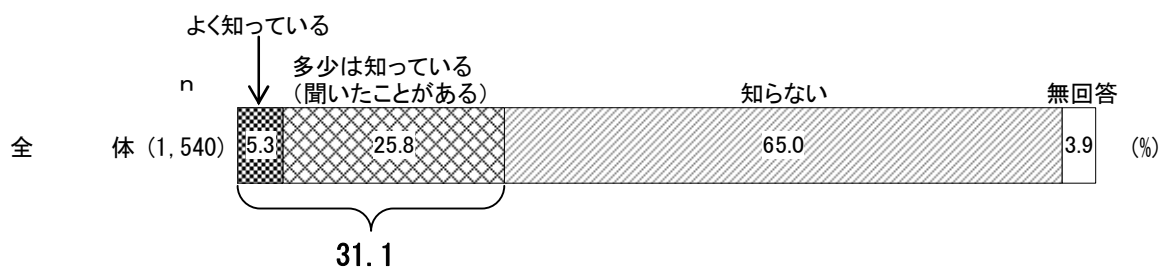
(2) 「ちばエコ農産物」の認知度

◇『知っている』が3割を超える

問26 千葉県では、生産者が努力し、農薬と化学肥料の使用を通常の半分以上に減らして栽培した農産物を「ちばエコ農産物」として認証しています。

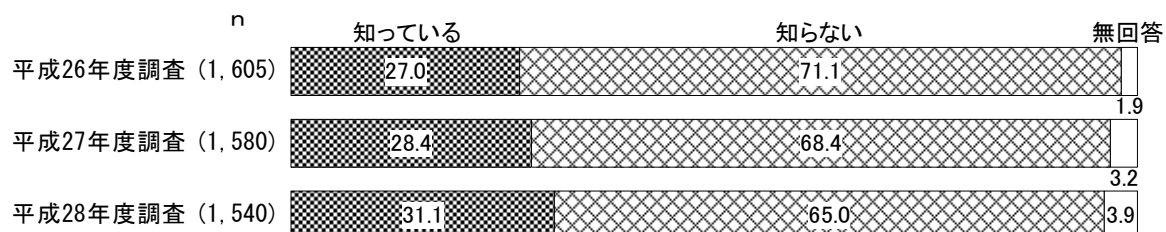
あなたは、「ちばエコ農産物」を知っていますか。(○は1つ)

＜図表5－7＞「ちばエコ農産物」の認知度



「ちばエコ農産物」を知っているか聞いたところ、「よく知っている」(5.3%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(25.8%)を合わせた『知っている』(31.1%)が3割を超えている。一方、「知らない」(65.0%)は6割台半ばとなっている。(図表5－7)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



【地域別】

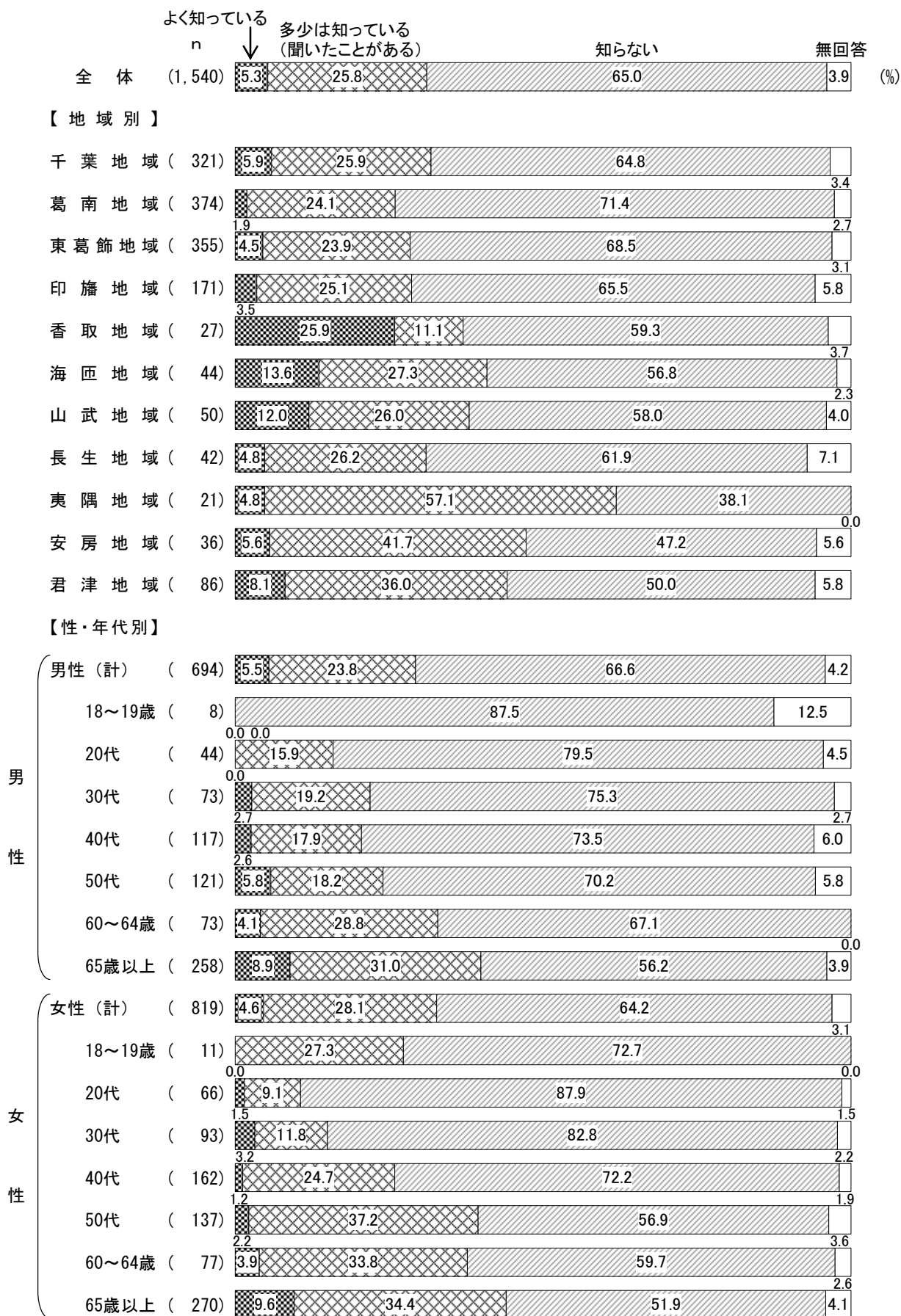
地域別にみると、『知っている』は“夷隅地域”(61.9%)が6割を超えて高くなっている。

(図表5－8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は女性の65歳以上(44.0%)が4割台半ばで高くなっている。(図表5－8)

<図表5-8>「ちばエコ農産物」の認知度／地域別、性・年代別



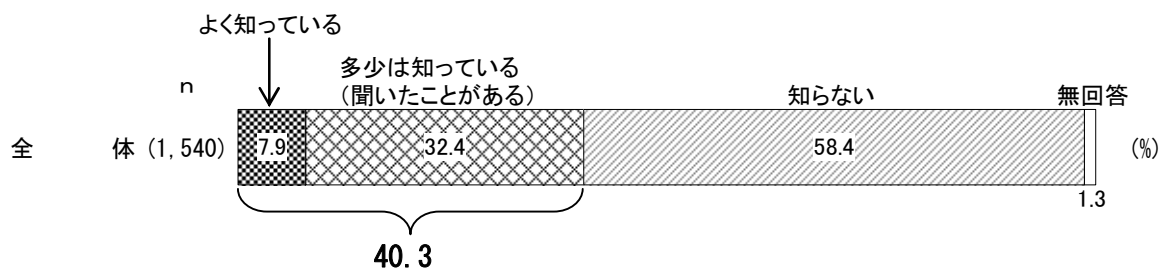
(3) 「千葉ブランド水産物」の認知度

◇『知っている』が4割

問27 千葉県では、千葉のさかなの認知度を高め、広く県内外にアピールするため、「銚子つりきんめ」、「外房イセエビ」、「九十九里地はまぐり」などの優良な県産水産物を「千葉ブランド水産物」として認定しています。

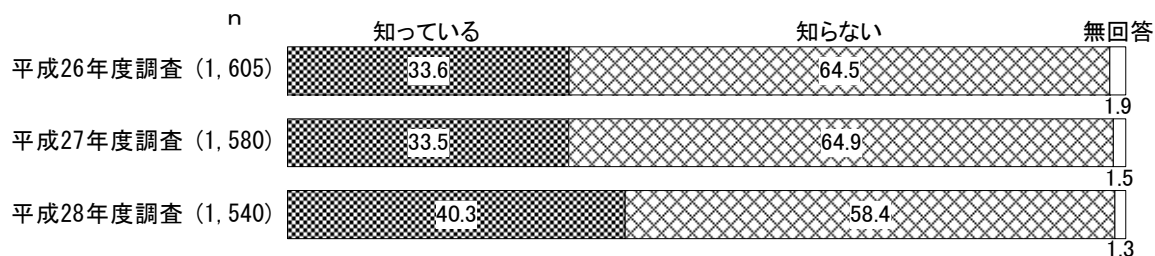
あなたは、「千葉ブランド水産物」を知っていますか。(○は1つ)

＜図表5－9＞「千葉ブランド水産物」の認知度



「千葉ブランド水産物」を知っているか聞いたところ、「よく知っている」(7.9%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(32.4%)を合わせた『知っている』(40.3%)が4割となっている。一方、「知らない」(58.4%)は約6割となっている。(図表5－9)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



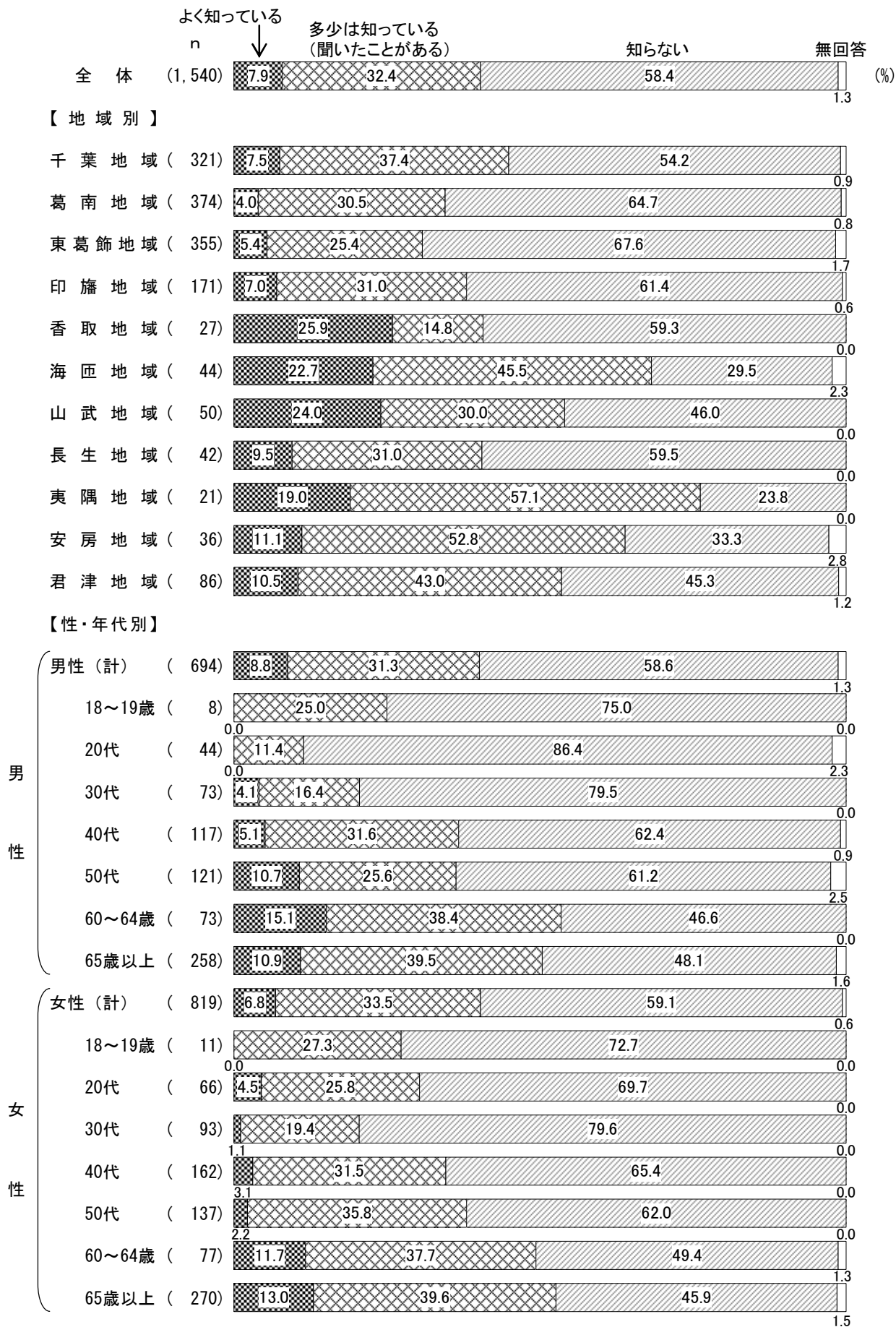
【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“夷隅地域”(76.1%)が7割台半ば、“海匠地域”(68.2%)が約7割で高くなっている。(図表5－10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は男性の60～64歳(53.5%)、65歳以上(50.4%)と女性の65歳以上(52.6%)が5割台で高くなっている。(図表5－10)

＜図表５－１０＞「千葉ブランド水産物」の認知度／地域別、性・年代別



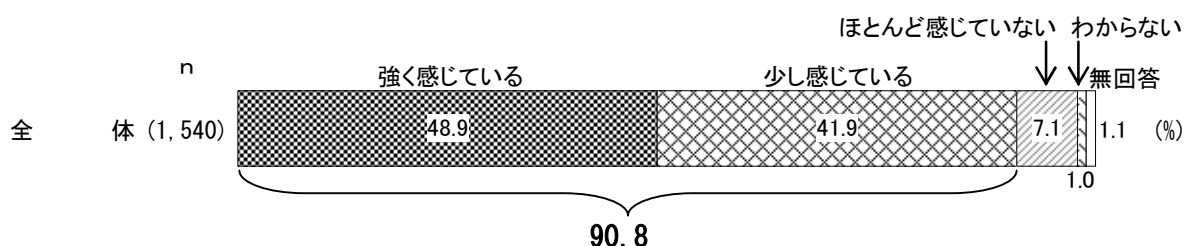
6 防災に関する取り組みについて

(1) 大地震や風水害への不安

◇『感じている』が9割

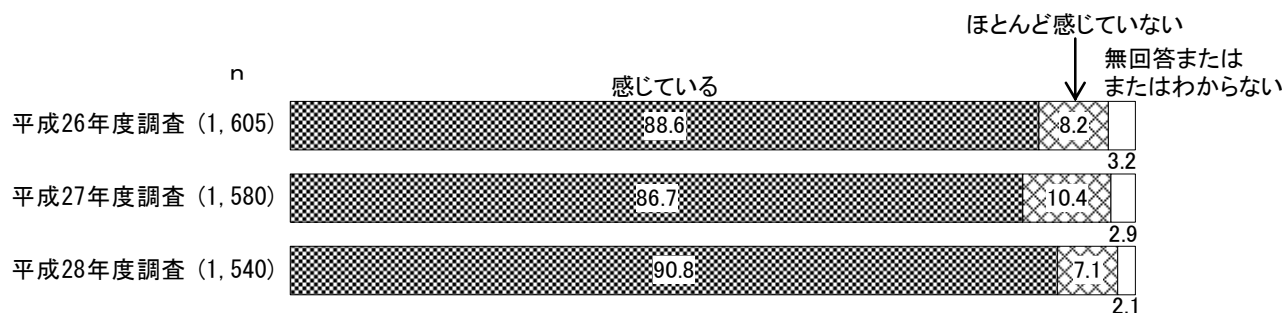
問28 平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、千葉県内でも震度6弱を記録し、大きな被害が出ました。また、県外では平成28年熊本地震（震度7が2回発生）や、記録的な大雨や台風により浸水害や土砂災害なども発生しております。あなたは、自分の住んでいる地域で、大地震や風水害が起こるのではないかと不安を感じていますか。（○は1つ）

＜図表6－1＞大地震や風水害への不安



大地震や風水害への不安を聞いたところ、「強く感じている」（48.9%）と「少し感じている」（41.9%）を合わせた『感じている』（90.8%）が9割で高くなっている。一方、「ほとんど感じていない」（7.1%）は約1割である。（図表6－1）

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



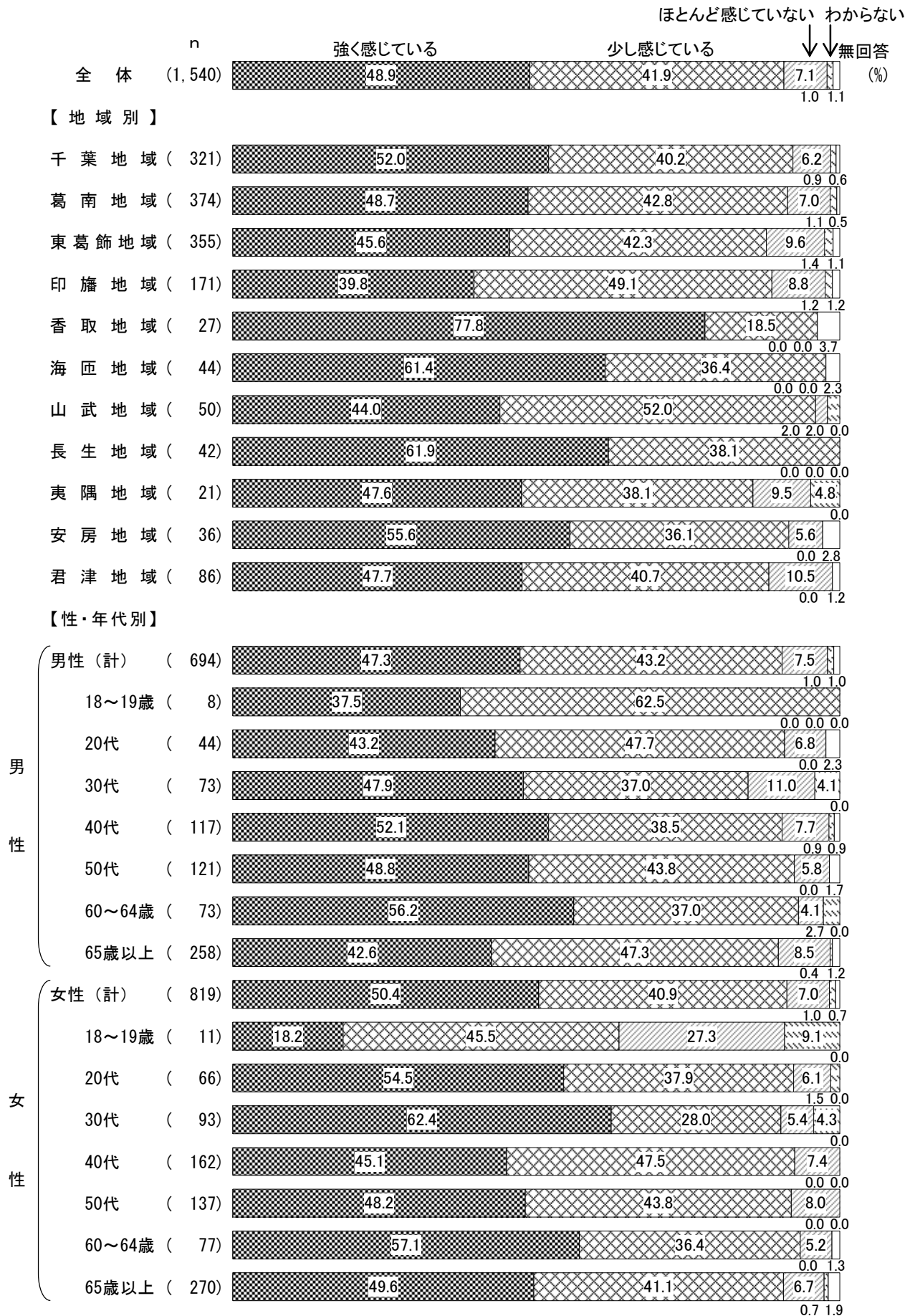
【地域別】

地域別にみると、『感じている』は“夷隅地域”（85.7%）、“東葛飾地域”（87.9%）、“君津地域”（88.4%）、“印旛地域”（88.9%）以外のすべての地域で9割以上となっている。（図表6－2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『感じている』は男性の30代（84.9%）、65歳以上（89.9%）と女性の18～19歳（63.7%）以外のすべての年代で9割以上となっている。（図表6－2）

<図表6-2>大地震や風水害への不安／地域別、性・年代別

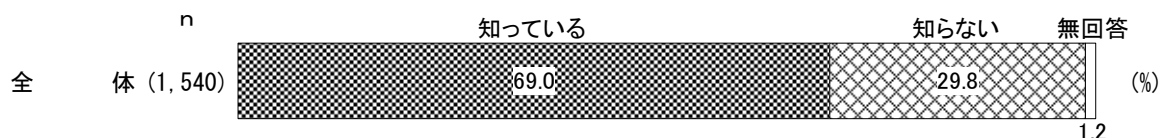


(2) 「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度

◇「知っている」が約7割

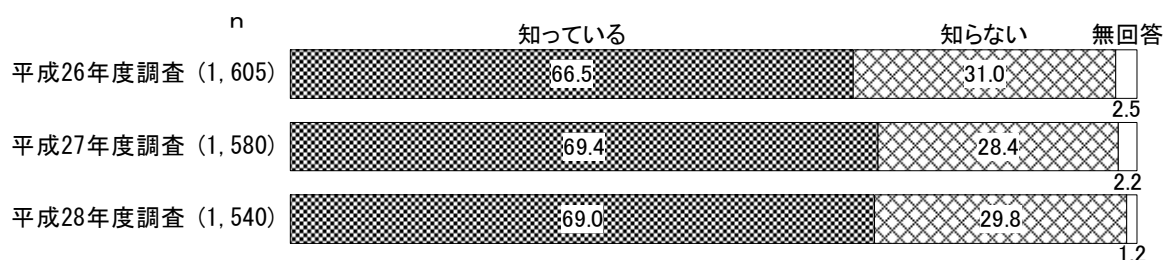
問29 市町村では、災害から住民を守るために「避難勧告」や「避難指示」を発令することがあります。あなたは、これらの意味や違いを知っていますか。(○は1つ)

＜図表6－3＞「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度



「避難勧告」「避難指示」の意味や違いを知っているか聞いたところ、「知っている」(69.0%)が約7割で高くなっている。一方、「知らない」(29.8%)は約3割となっている。(図表6－3)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位：%)



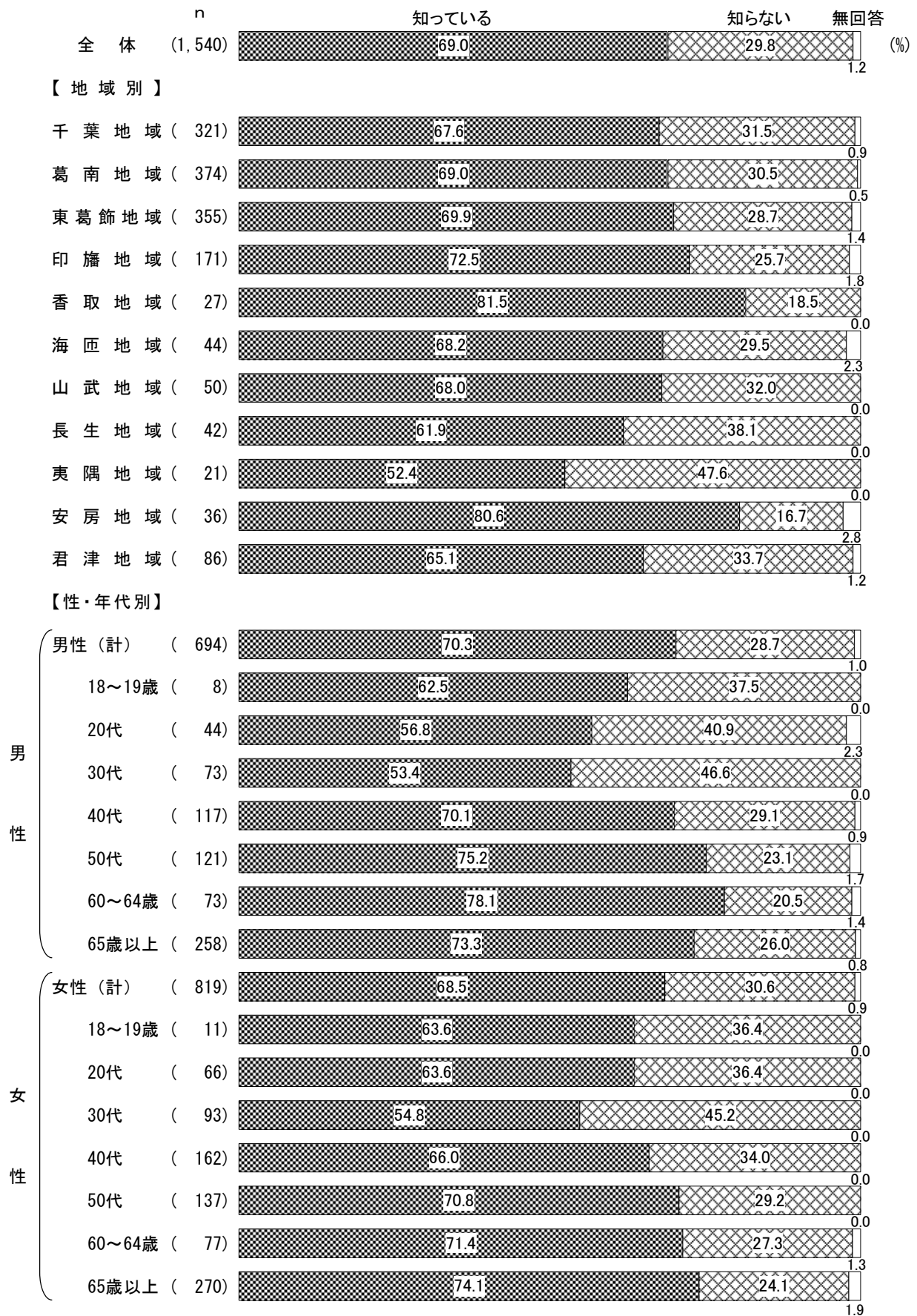
【地域別】

地域別にみると、「知っている」は“香取地域”(81.5%)が8割を超え、“安房地域”(80.6%)が8割で高くなっている。一方、「知らない」は“夷隅地域”(47.6%)が約5割で高くなっている。
(図表6－4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「知っている」は男性の60～64歳(78.1%)が約8割、男性の50代(75.2%)と女性の65歳以上(74.1%)が7割台半ばで高くなっている。一方、「知らない」は男性の30代(46.6%)と女性の30代(45.2%)が4割台半ばで高くなっている。(図表6－4)

＜図表6－4＞「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度／地域別、性・年代別

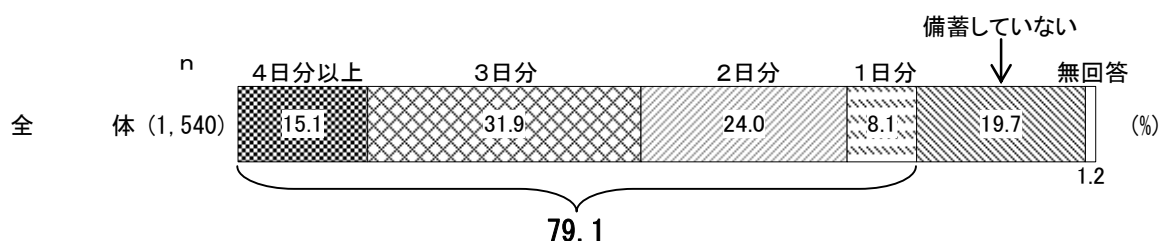


(3) 飲料水や食料の備蓄状況

◇『備蓄している』が約8割

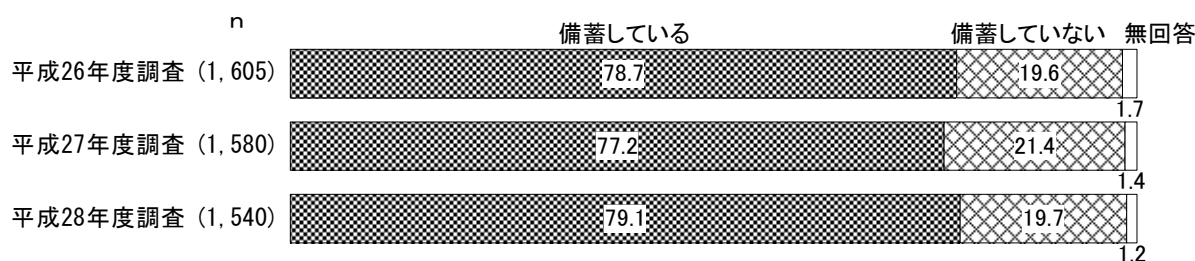
問30 大規模な災害が発生した場合、避難所に飲料水や食料などの支援物資が届くまで時間がかかることが予測されます。あなたは、災害に備えて、冷蔵庫にあるものを含めて、飲料水や食料をおよそ何日分、備蓄していますか。(〇は1つ)

<図表6-5> 飲料水や食料の備蓄状況



飲料水や食料の備蓄状況を聞いたところ、「3日分」(31.9%)が3割を超え、「2日分」(24.0%)が2割台半ば、「4日分以上」(15.1%)が1割台半ば、「1日分」(8.1%)が約1割となっており、この4つを合わせた『備蓄している』(79.1%)が約8割となっている。一方、「備蓄していない」(19.7%)は約2割となっている。(図表6-5)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



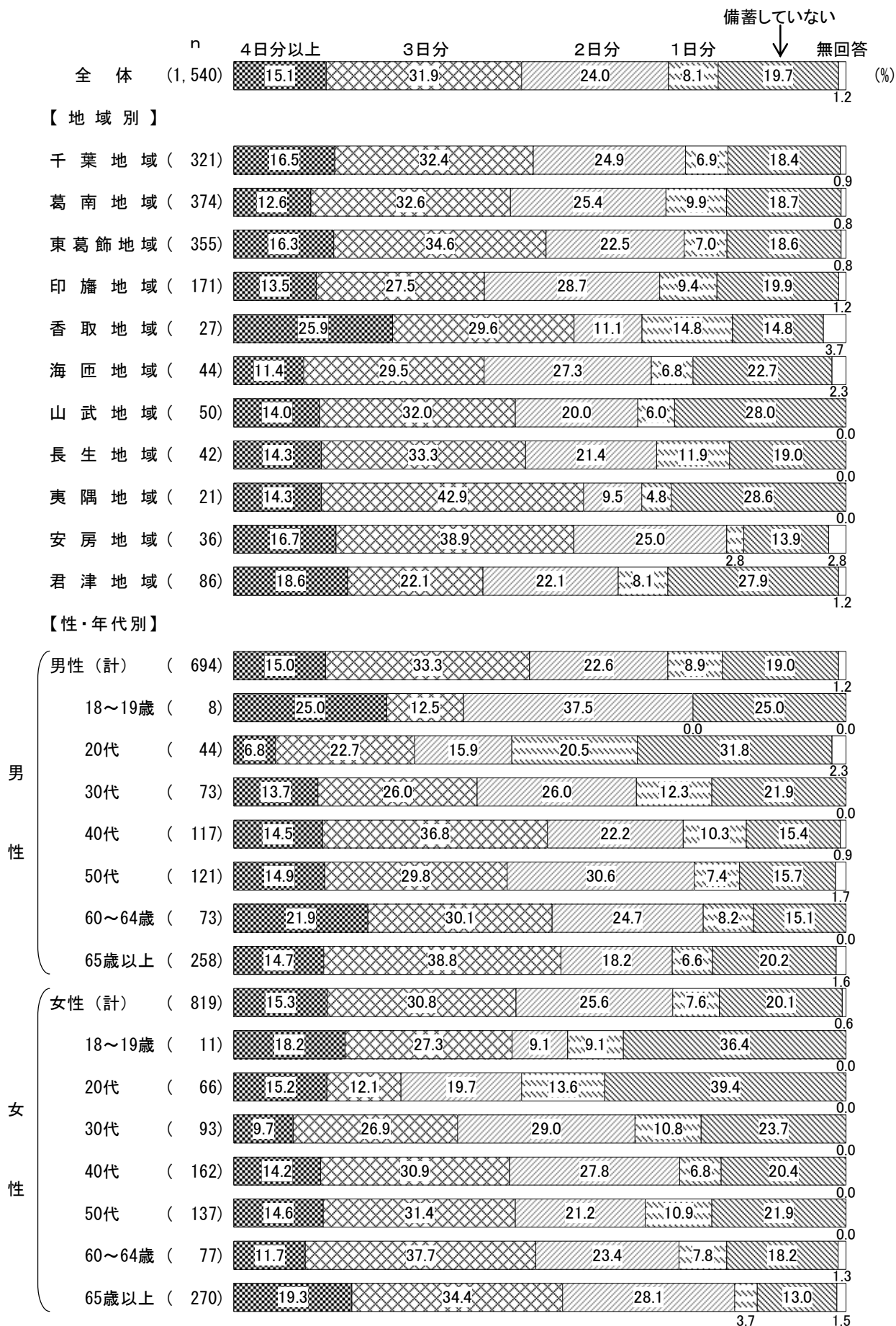
【地域別】

地域別にみると、『備蓄している』は“安房地域”(83.4%)と“香取地域”(81.4%)が8割を超えて高くなっている。(図表6-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『備蓄している』は男性の40代(83.8%)、60~64歳(84.9%)と女性の65歳以上(85.5%)が8割台半ばで高くなっている。一方、「備蓄していない」は女性の20代(39.4%)が約4割で高くなっている。(図表6-6)

＜図表６－６＞飲料水や食料の備蓄状況／地域別、性・年代別



(4) 災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度

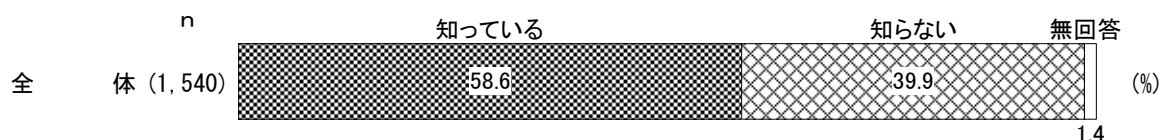
◇「知っている」が約6割

問31 固定電話や携帯電話（音声及びメール）は、災害が発生した際には利用が急増し、平常時のように使用できなくなります。実際に東日本大震災でも、使用できなくなりました。

あなたは、災害時に利用できる災害伝言板や災害用伝言ダイヤルを知っていますか。

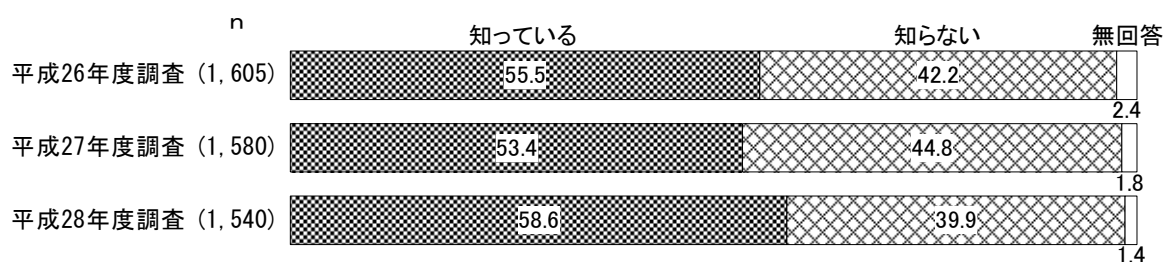
（○は1つ）

<図表6-7>災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度



災害伝言板・災害用伝言ダイヤルを知っているかを聞いたところ、「知っている」(58.6%)が約6割となっている。一方、「知らない」(39.9%)は約4割となっている。(図表6-7)

【参考】平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



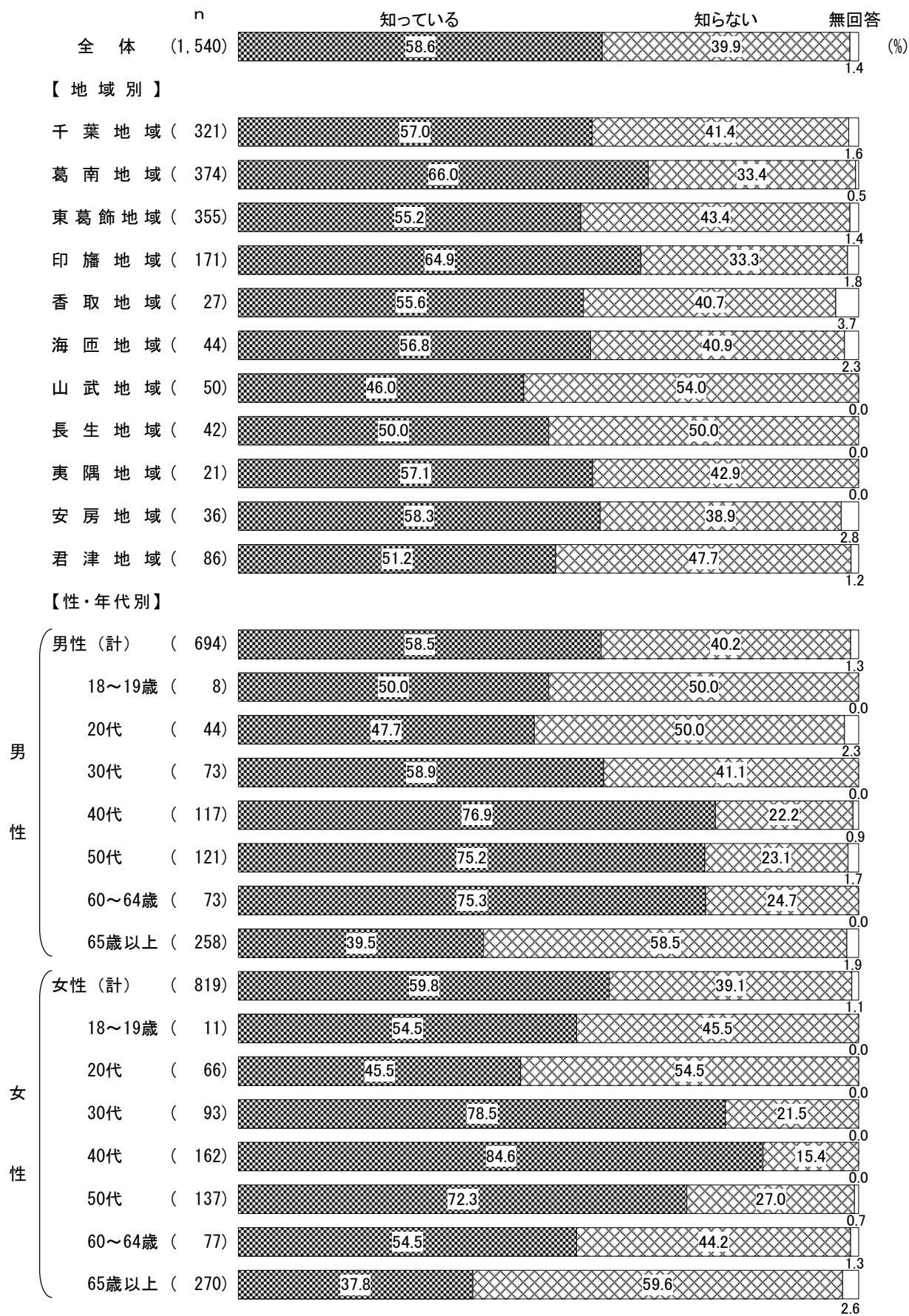
【地域別】

地域別にみると、「知っている」は“葛南地域”(66.0%)と“印旛地域”(64.9%)が6割台半ばで高くなっている。(図表6-8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「知っている」は女性の40代(84.6%)が8割台半ば、女性の30代(78.5%)が約8割で高くなっている。一方、「知らない」は男性の65歳以上(58.5%)と女性の65歳以上(59.6%)が約6割で高くなっている。(図表6-8)

＜図表６－８＞災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度／地域別、性・年代別

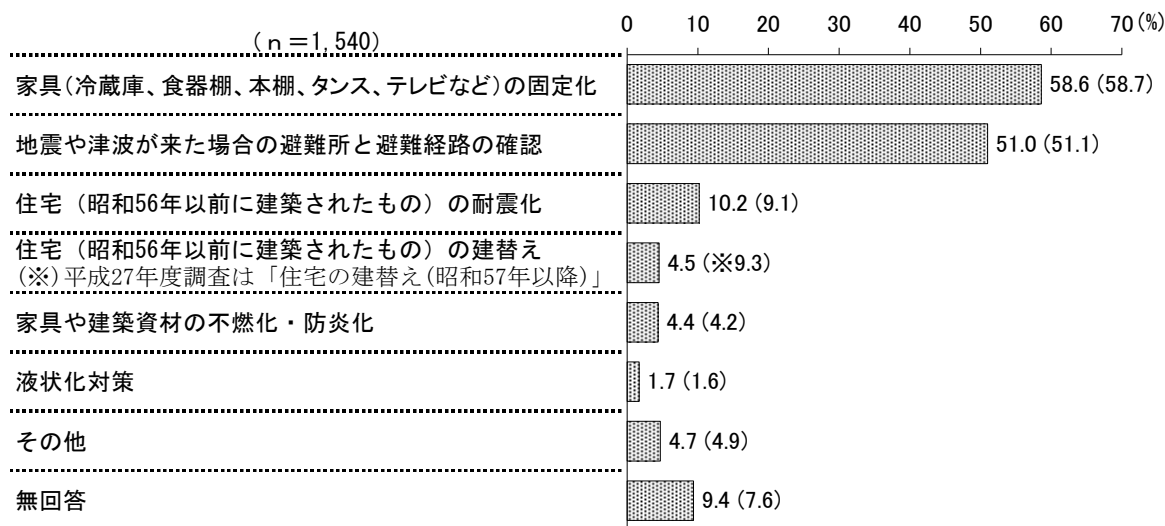


(5) 地震の被害を防ぐための対策

◇「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」が約6割

問32 あなたは、地震による被害を防ぐため、どのような対策を行っていますか（行う予定ですか）。（○はいくつでも）

＜図表6－9＞地震の被害を防ぐための対策（複数回答）



注) () の数字は平成27年度の同様の項目による調査結果 n=1,580

地震の被害を防ぐため、どのような対策を行っている（行う予定）か聞いたところ、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」(58.6%)が約6割で最も高く、以下、「地震や津波が来た場合の避難所と避難路の確認」(51.0%)、「住宅（昭和56年以前に建築されたもの）の耐震化」(10.2%)が続く。(図表6－9)

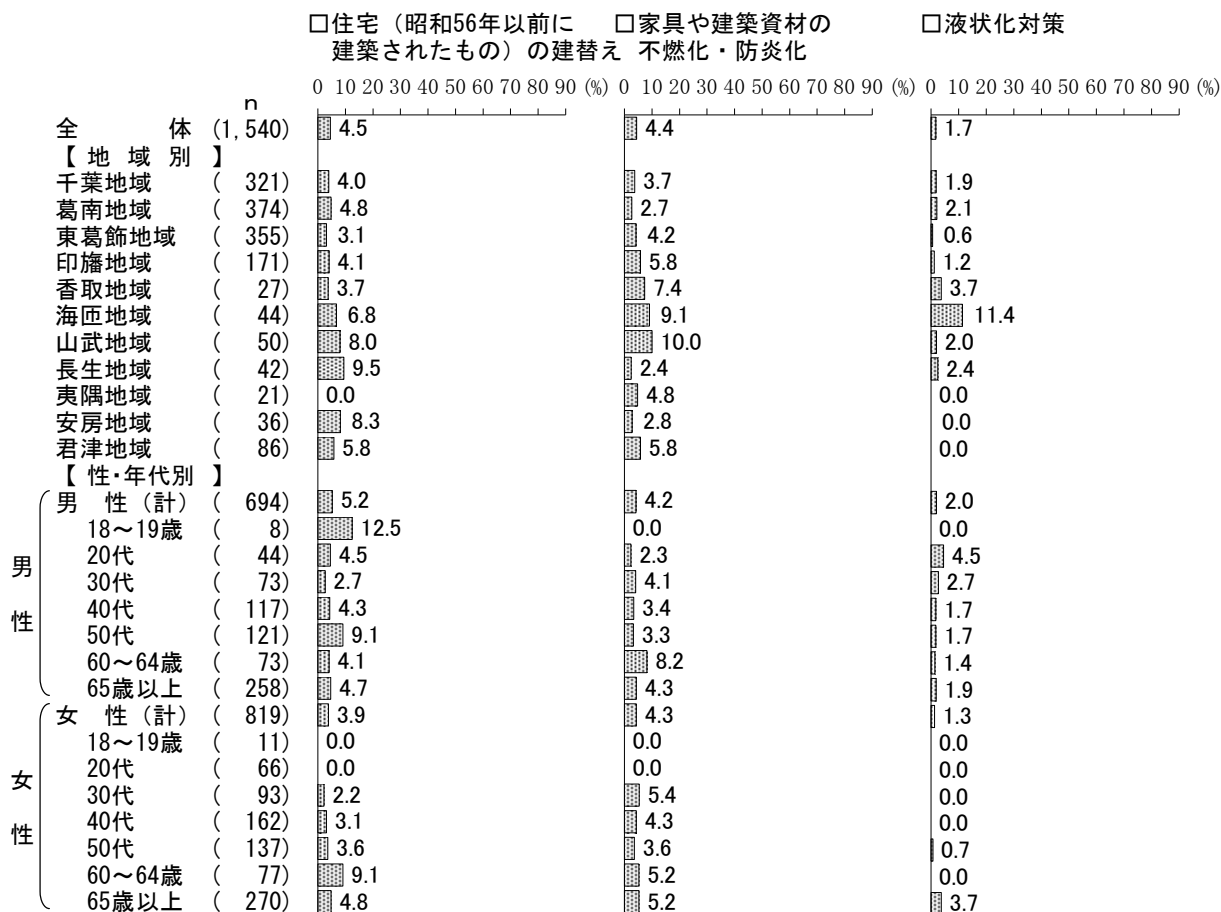
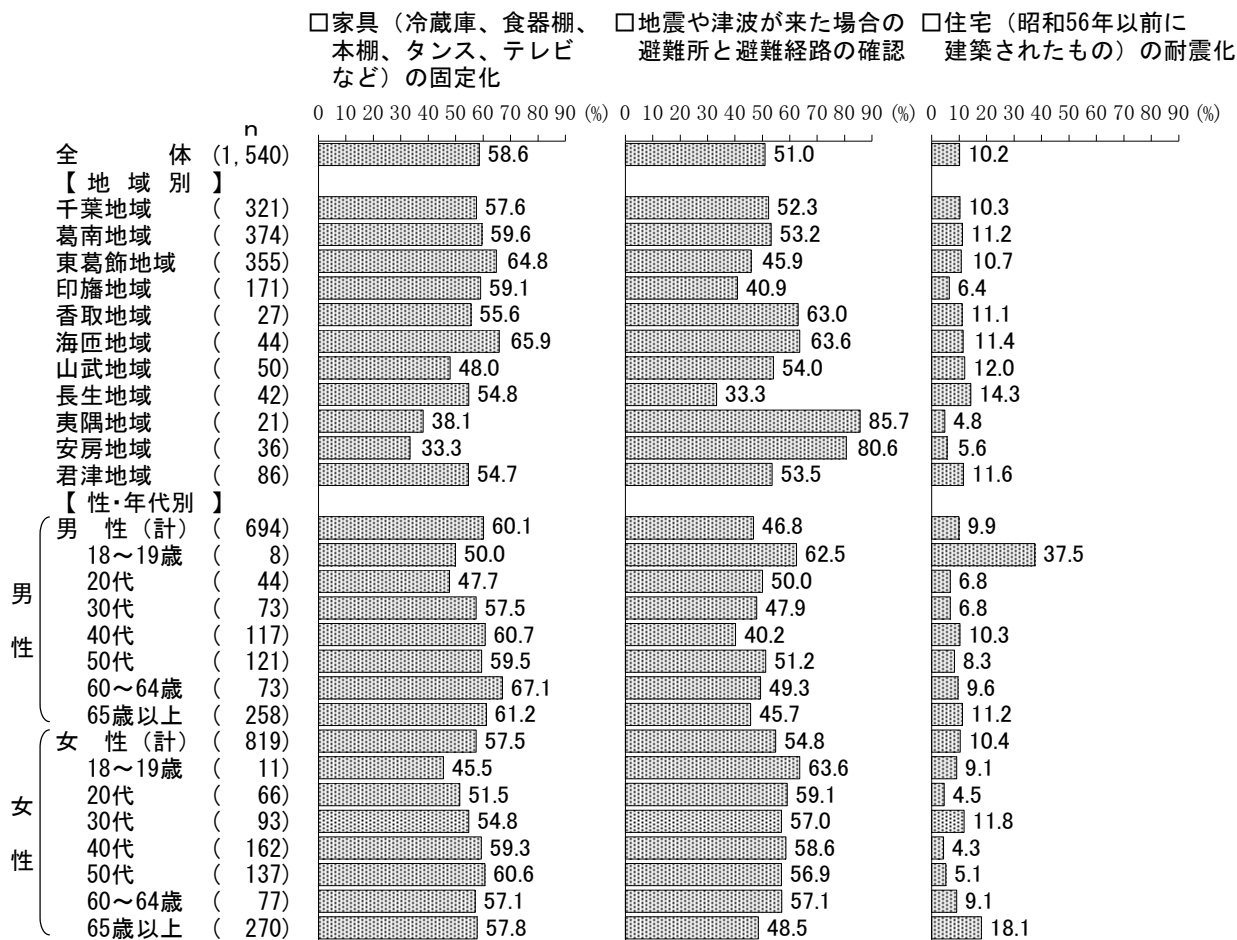
【地域別】

地域別にみると、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」は“海匝地域”(65.9%)と“東葛飾地域”(64.8%)が6割台半ばで高くなっている。「地震や津波が来た場合の避難所と避難路の確認」は“夷隅地域”(85.7%)が8割台半ば、“安房地域”(80.6%)が8割で高くなっている。(図表6－10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」は男性の60～64歳(67.1%)が約7割で高くなっている。(図表6－10)

<図表6-10>地震の被害を防ぐための対策／地域別、性・年代別



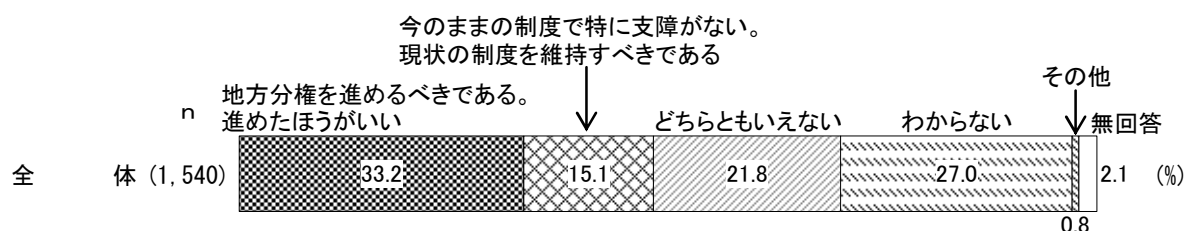
7 地方分権について

(1) 地方分権を今後さらに進めていくべきか否か

◇「地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい」が3割を超える

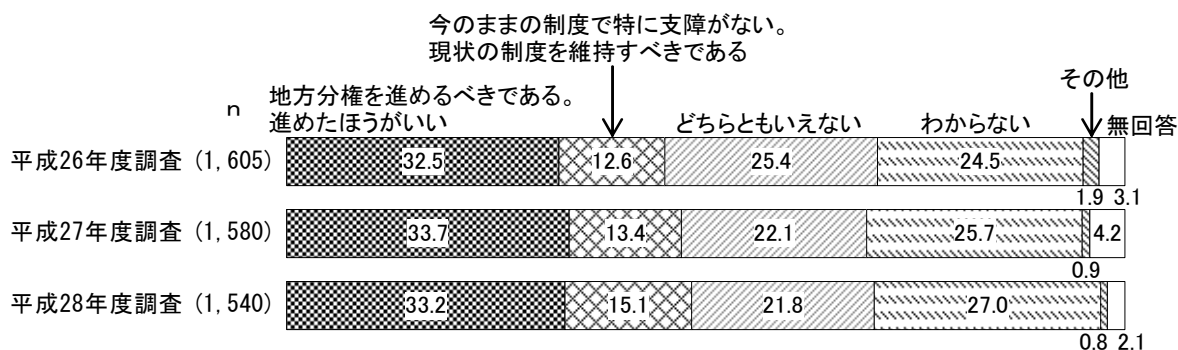
問33 「地方分権」とは、自分の住む地域のことは、その地域の住民が自ら決められるようにするため、国から、身近な県や市町村に権限や財源を移していこうとするものです。あなたは、こうした「地方分権」について、今後さらに進めていくべきと思いますか。(○は1つ)

<図表7-1>地方分権を今後さらに進めていくべきか否か



地方分権を今後さらに進めていくべきかどうかを聞いたところ、「地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい」(33.2%)が3割を超えている。「今のままの制度で特に支障がない。現状の制度を維持すべきである」(15.1%)は1割台半ばとなっている。「どちらともいえない」(21.8%)は2割を超え、「わからない」(27.0%)は約3割である。(図表7-1)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



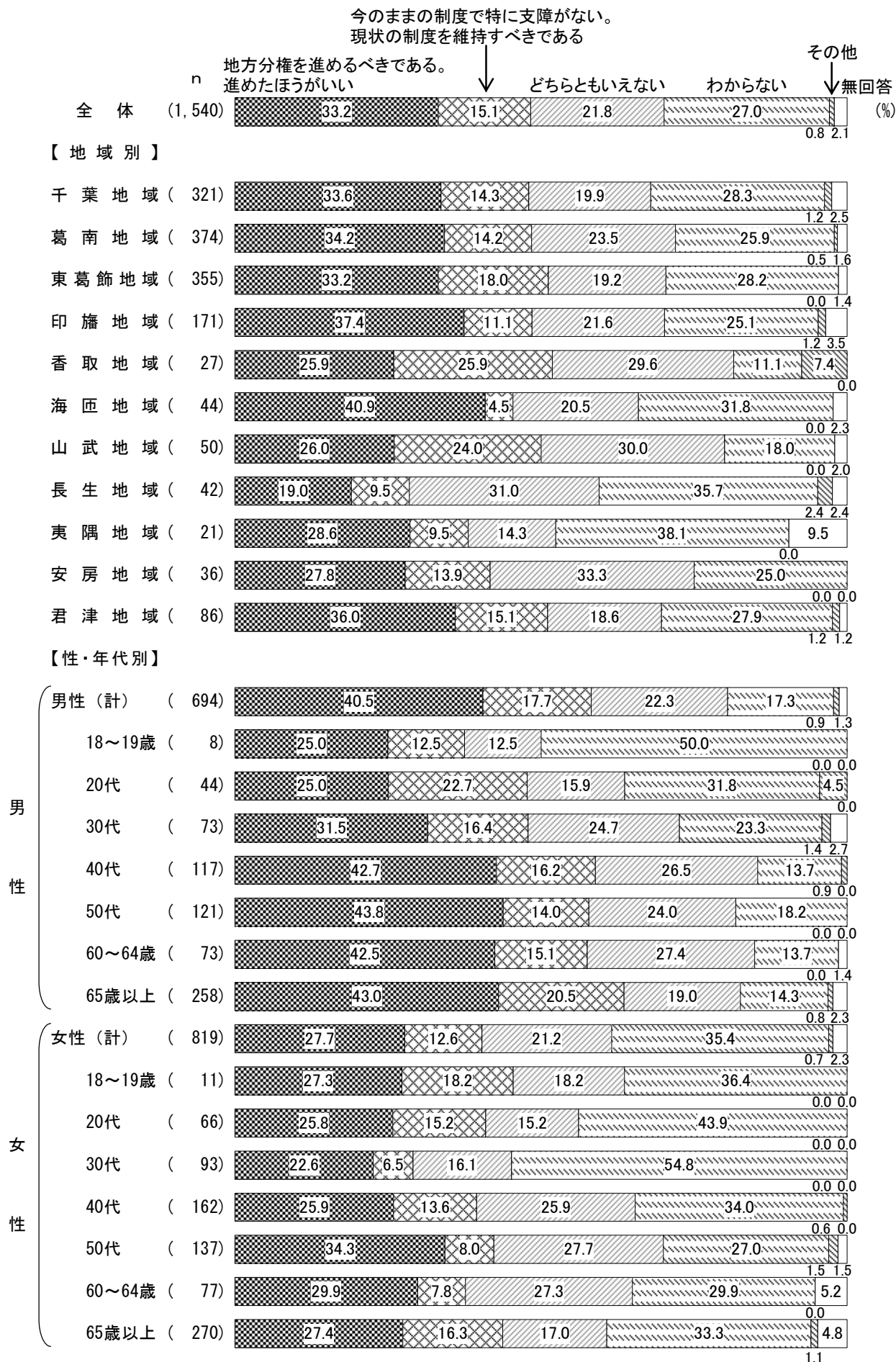
【地域別】

地域別にみると、「地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい」は“海匠地域”(40.9%)が4割、“印旛地域”(37.4%)が約4割で高くなっている。「今のままの制度で特に支障がない。現状の制度を維持すべきである」は“香取地域”(25.9%)と“山武地域”(24.0%)が2割台半ばで高くなっている。(図表7-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい」は男性の40代以上の年代がいずれも4割台で高くなっている。(図表7-2)

＜図表７－２＞地方分権を今後さらに進めていくべきか否か／地域別、性・年代別



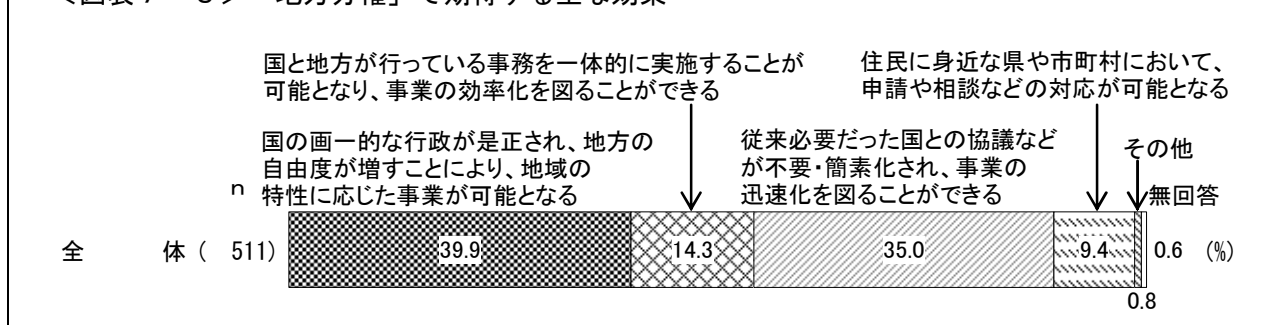
（１－１）「地方分権」で期待する主な効果

◇「国の画一的な行政が是正され、地方の自由度が増すことにより、地域の特性に応じた事業が可能となる」が約４割

（問33で「地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい」とお答えの方に）

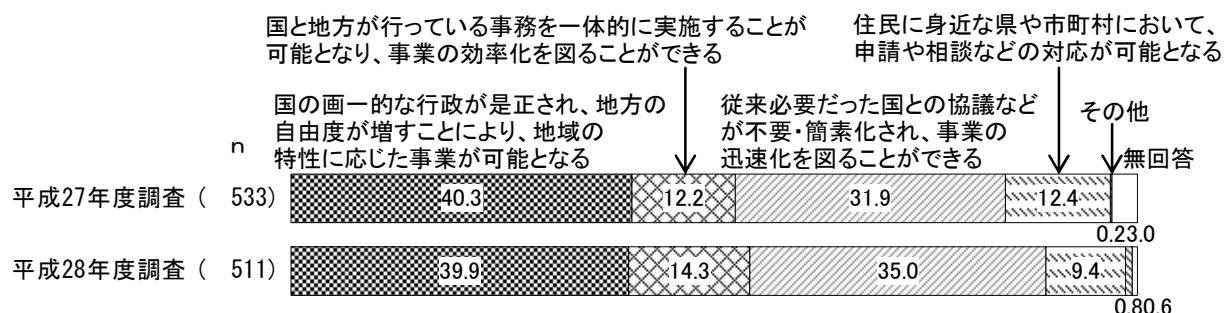
問33－１ あなたは、国から身近な県や市町村に権限や財源を移す「地方分権」を進めることにより、主にどのような効果を期待しますか。（○は１つ）

＜図表 7－3＞「地方分権」で期待する主な効果



「地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい」と答えた511人を対象に、地方分権を進めることにより、主にどのような効果を期待するか聞いたところ、「国の画一的な行政が是正され、地方の自由度が増すことにより、地域の特性に応じた事業が可能となる」（39.9%）が約４割で最も高く、以下、「従来必要だった国との協議などが不要・簡素化され、事業の迅速化を図ることができる」（35.0%）、「国と地方が行っている事務を一体的に実施することが可能となり、事業の効率化を図ることができる」（14.3%）が続く。（図表 7－3）

〔参考〕平成27年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



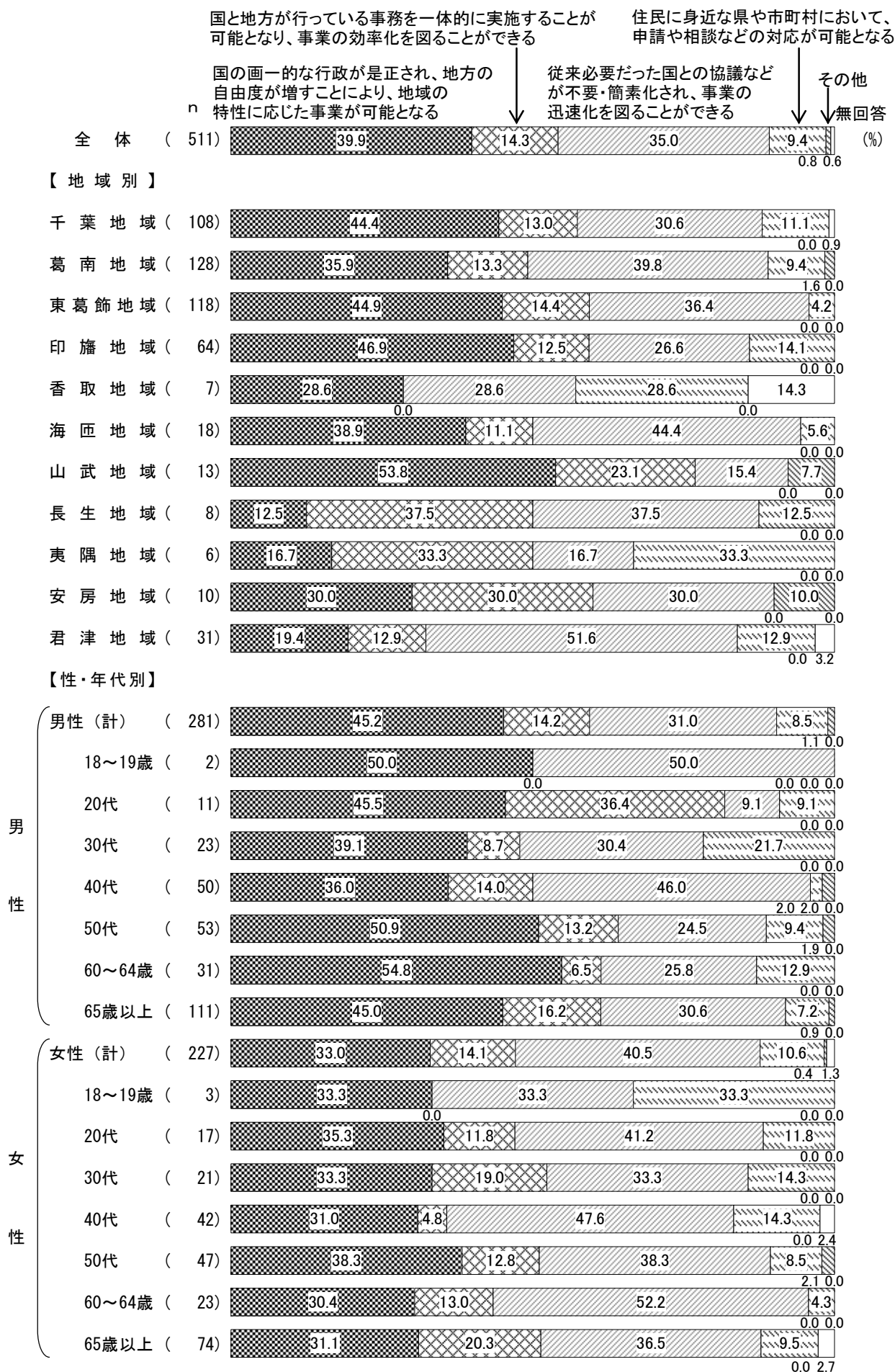
【地域別】

地域別にみると、「国の画一的な行政が是正され、地方の自由度が増すことにより、地域の特性に応じた事業が可能となる」は“山武地域”（53.8%）が５割台半ばと高くなっており、「従来必要だった国との協議などが不要・簡素化され、事業の迅速化を図ることができる」は“君津地域”（51.6%）が５割を超えて高くなっている。（図表 7－4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「国の画一的な行政が是正され、地方の自由度が増すことにより、地域の特性に応じた事業が可能となる」は男性の60～64歳（54.8%）が５割台半ば、男性の50代（50.9%）が５割と高くなっている。（図表 7－4）

＜図表７－４＞「地方分権」で期待する主な効果／地域別、性・年代別



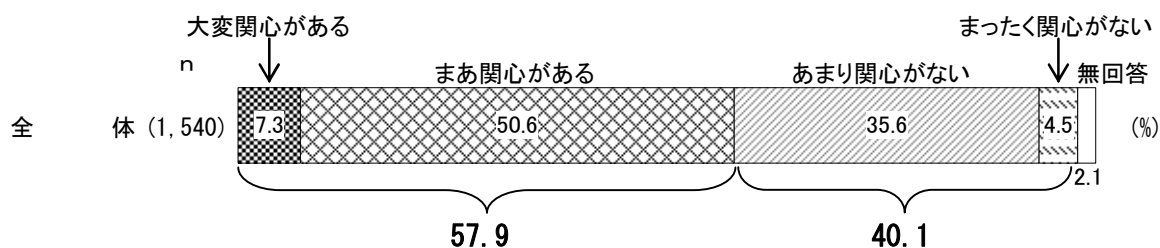
8 広報・広聴活動について

(1) 県の施策や政策などについての関心度

◇『関心がある』が約6割

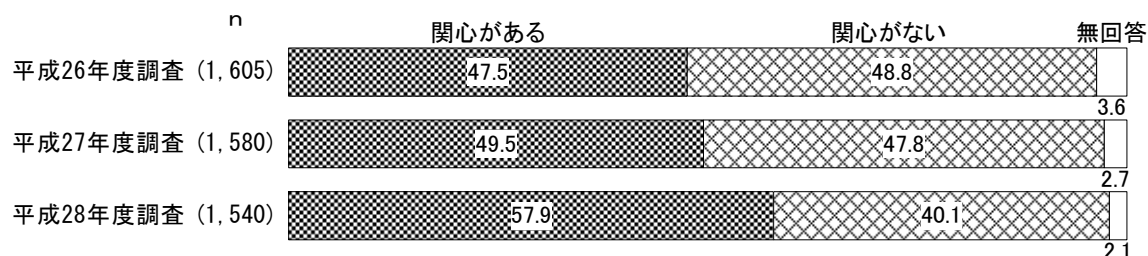
問34 あなたは、県の施策や政策などについて関心がありますか。(○は1つ)

<図表8-1>県の施策や政策などについての関心度



県の施策や政策などについての関心度を聞いたところ、「大変関心がある」(7.3%)と「まあ関心がある」(50.6%)を合わせた『関心がある』(57.9%)が約6割で高くなっている。一方、「あまり関心がない」(35.6%)と「まったく関心がない」(4.5%)を合わせた『関心がない』(40.1%)は4割となっている。(図表8-1)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



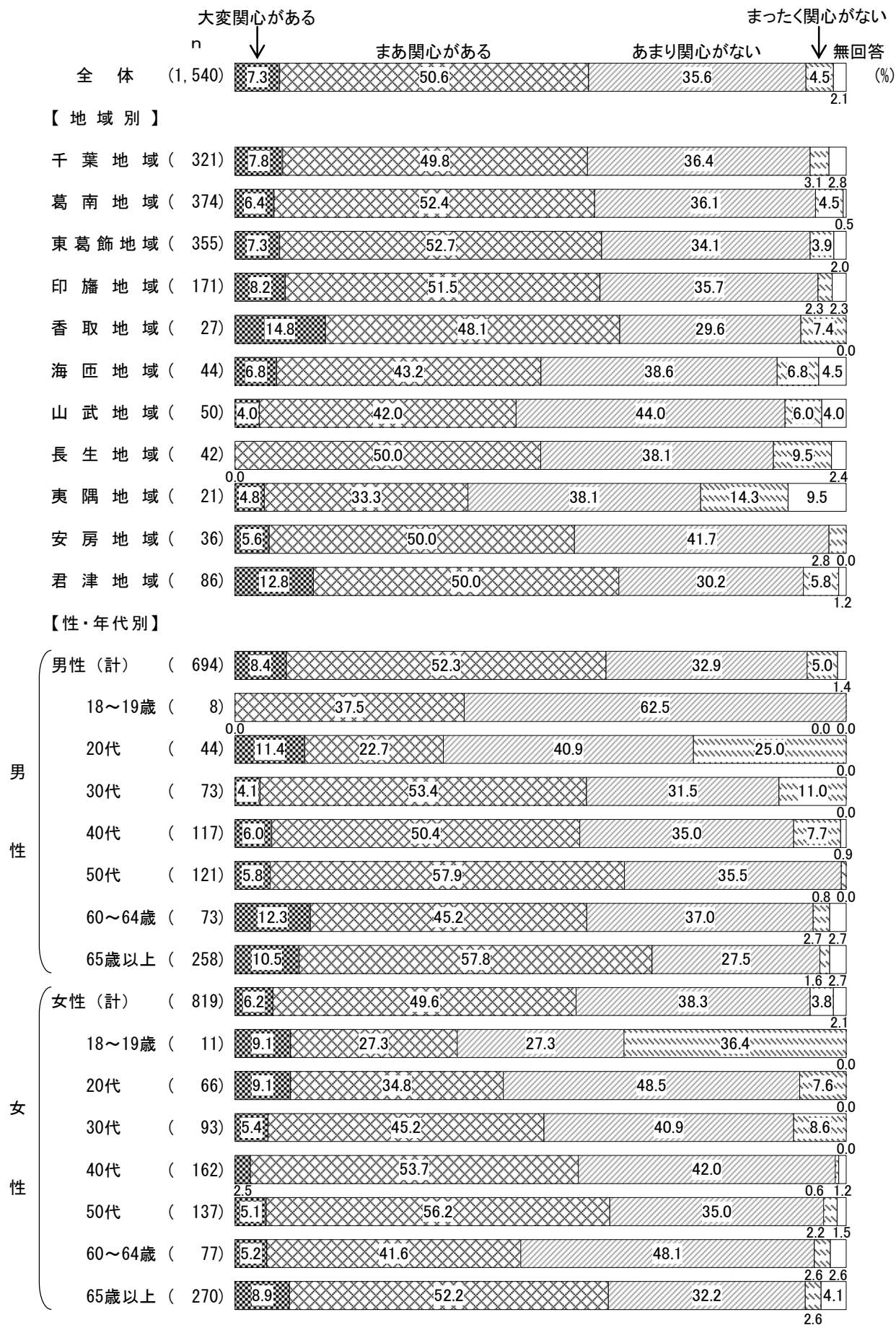
【地域別】

地域別にみると、『関心がある』は“香取地域”(62.9%)と“君津地域”(62.8%)が6割を超えて高くなっている。(図表8-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『関心がある』は男性の65歳以上(68.3%)が約7割、男性の50代(63.7%)が6割台半ばで高くなっている。一方、『関心がない』は男性の20代(65.9%)が6割台半ばで高くなっている。(図表8-2)

＜図表８－２＞県の施策や政策などについての関心度／地域別、性・年代別

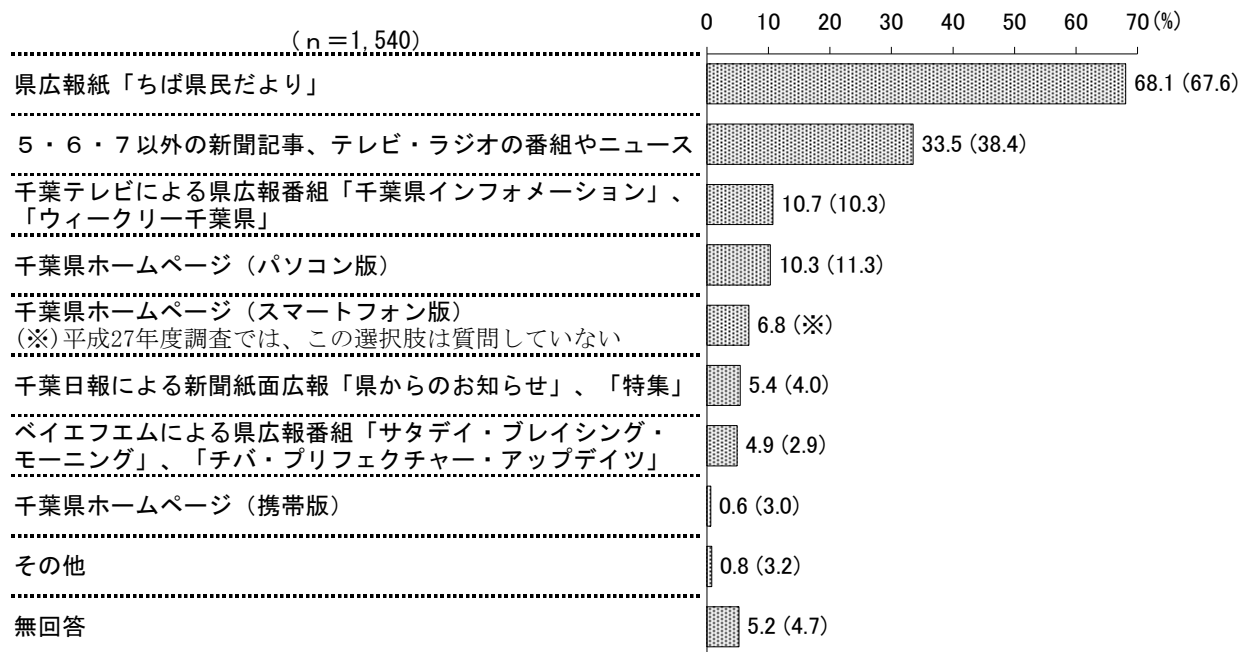


(2) 県政に関する情報を得る手段

◇「県広報紙『ちば県民だより』」が約7割

問35 あなたは、県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。(〇はいくつでも)

<図表8-3> 県政に関する情報を得る手段(複数回答)



注) () の数字は平成27年度の同様の項目による調査結果 n=1,580

県政に関する情報を得る手段を聞いたところ、「県広報紙『ちば県民だより』」(68.1%)が約7割で最も高く、以下、「5・6・7以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」(33.5%)、「千葉テレビによる県広報番組『千葉県インフォメーション』、『ウィークリー千葉県』」(10.7%)、「千葉県ホームページ(パソコン版)」(10.3%)が続く。(図表8-3)

※ 「5・6・7以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」における、5・6・7とは、「千葉日報による新聞紙面広報『県からのお知らせ』、『特集』」、「千葉テレビによる県広報番組『千葉県インフォメーション』、『ウィークリー千葉県』」、「ベイエフエムによる県広報番組『サタデイ・ブレイシング・モーニング』、『チバ・プリフェクチャー・アップデート』」を指す)

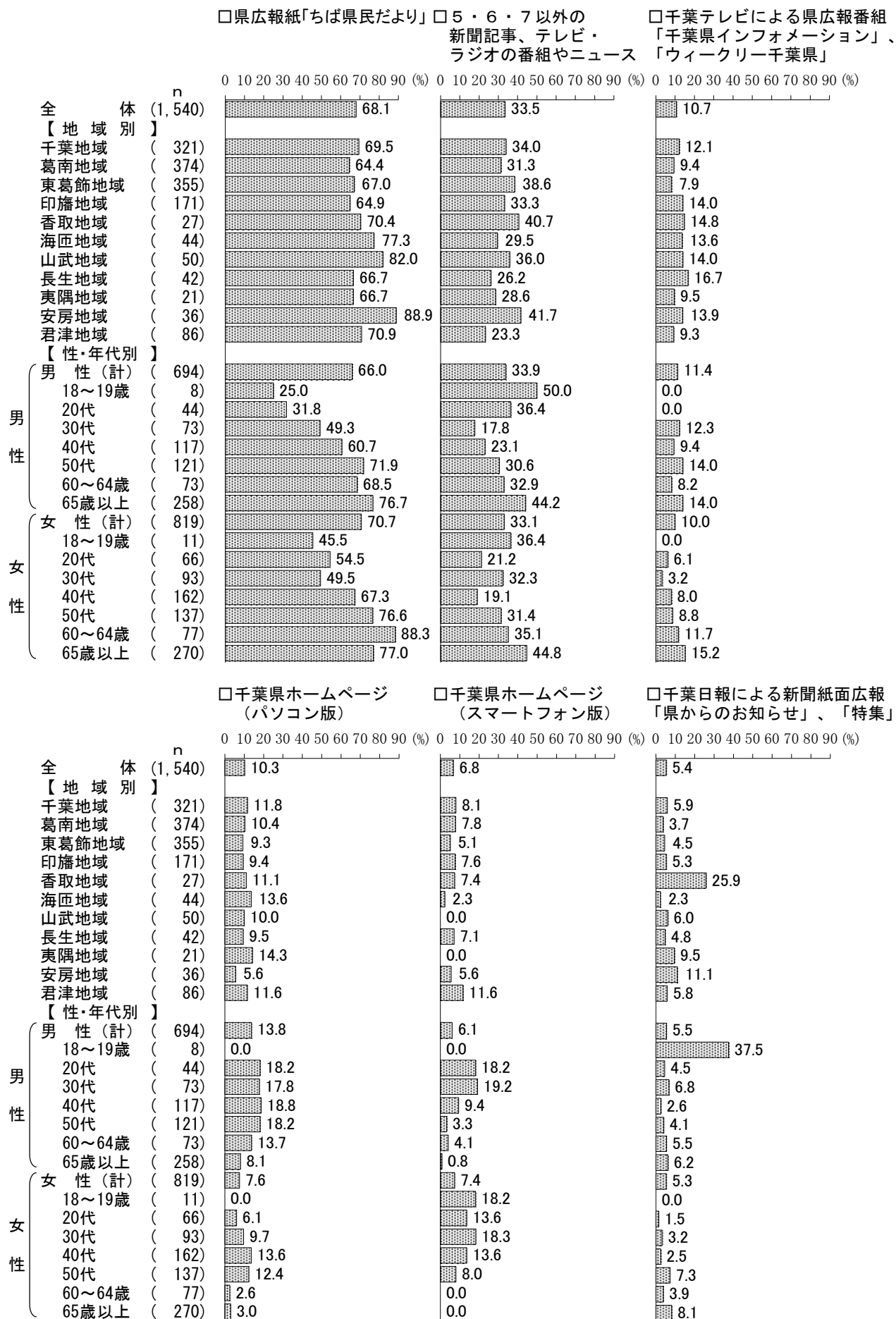
【地域別】

地域別にみると、「県広報紙『ちば県民だより』」は“安房地域”が約9割で高くなっている。「5・6・7以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」は“安房地域”(41.7%)が4割を超えて高くなっている。(図表8-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「県広報紙『ちば県民だより』」は女性の60～64歳(88.3%)が約9割で高くなっている。「5・6・7以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」は男性の65歳以上(44.2%)と女性の65歳以上(44.8%)が4割台半ばで高くなっている。(図表8-4)

＜図表８－４＞県政に関する情報を得る手段／地域別、性・年代別（上位６項目）

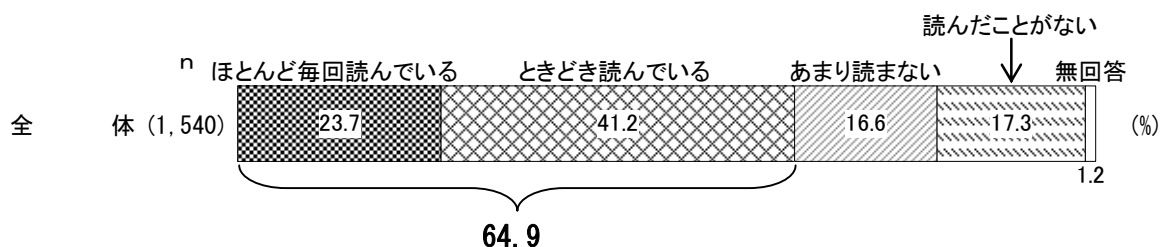


(3) 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況

◇『読んでいる』が6割台半ば

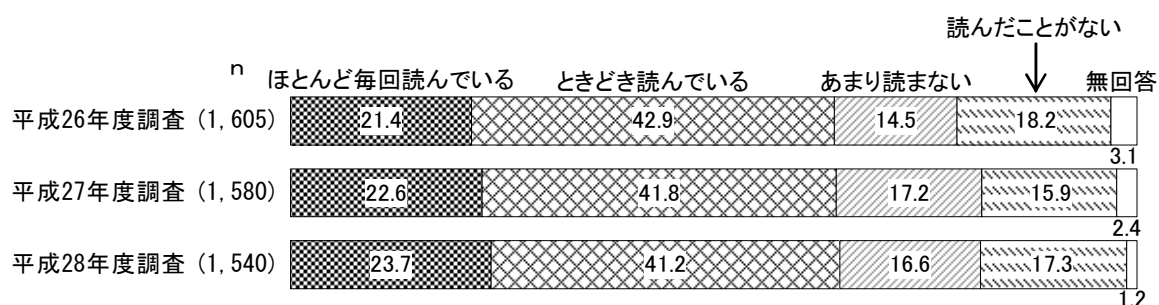
問36 あなたは、県広報紙「ちば県民だより」を読んでいますか。(○は1つ)

＜図表8－5＞県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況



県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況を聞いたところ、「ほとんど毎回読んでいる」(23.7%)と「ときどき読んでいる」(41.2%)を合わせた『読んでいる』(64.9%)が6割台半ばとなっている。一方、「あまり読まない」(16.6%)は1割台半ば、「読んだことがない」(17.3%)は約2割となっている。(図表8－5)

【参考】平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



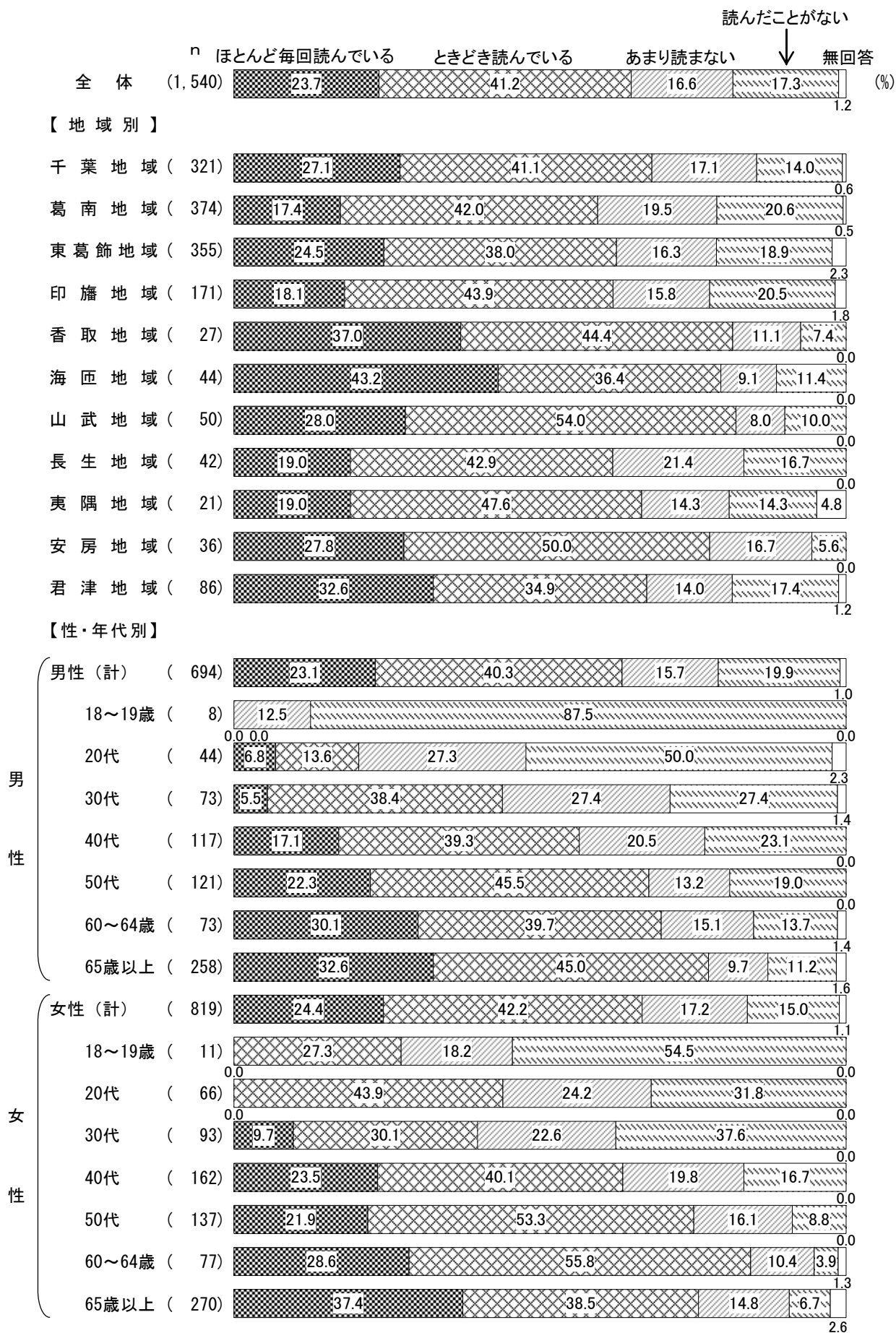
【地域別】

地域別にみると、『読んでいる』は“山武地域”(82.0%)と“香取地域”(81.4%)が8割を超えて高くなっている。(図表8－6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『読んでいる』は女性の60～64歳(84.4%)が8割台半ば、男性の65歳以上(77.6%)が約8割で高くなっている。(図表8－6)

＜図表８－６＞県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況／地域別、性・年代別



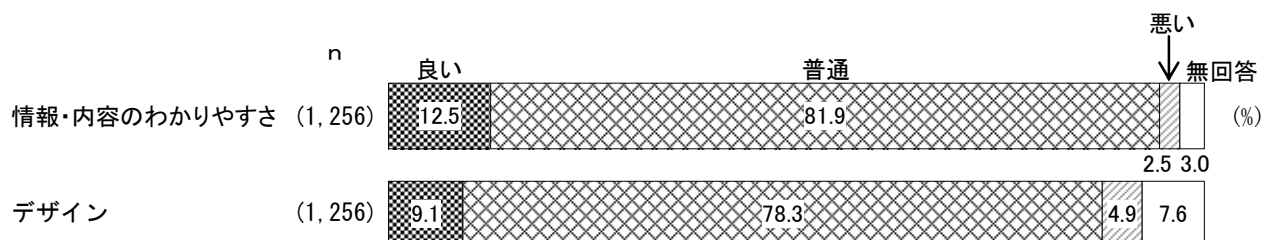
(3-1)「ちば県民だより」の内容について

◇情報・内容のわかりやすさ、デザインともに「良い」が1割前後

(問36で「ほとんど毎回読んでいる」「ときどき読んでいる」「あまり読まない」のいずれかをお答えの方に)

問36-1 県広報紙「ちば県民だより」の内容についておたずねします。(〇はそれぞれ1つずつ)

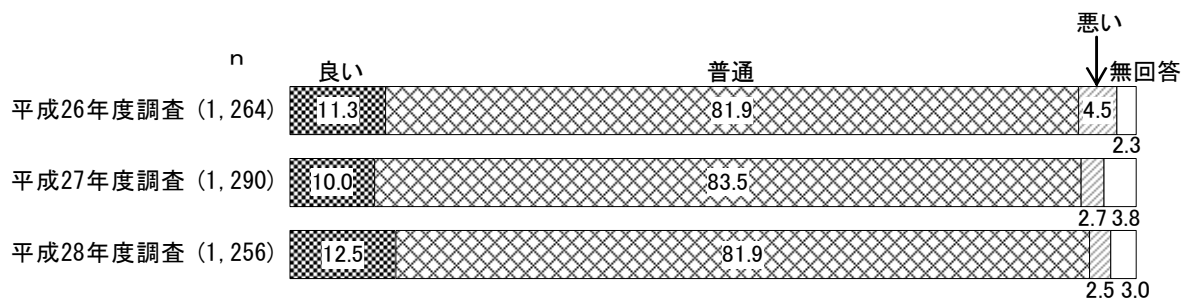
<図表8-7>「ちば県民だより」の内容について



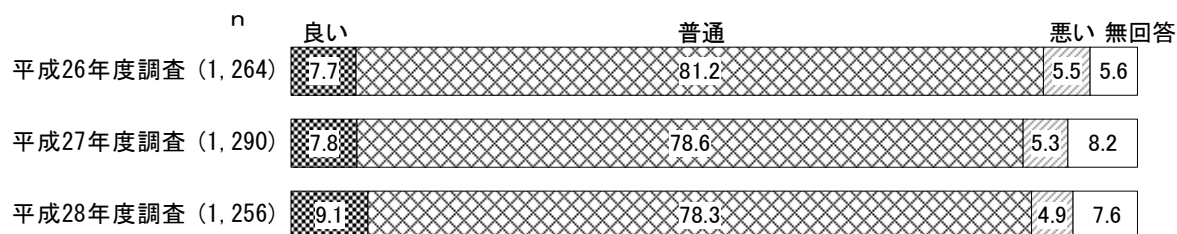
県広報紙「ちば県民だより」を「ほとんど毎回読んでいる」、「ときどき読んでいる」、「あまり読まない」と回答した1,256人を対象に、「ちば県民だより」の内容について聞いたところ、〈情報・内容のわかりやすさ〉において、「良い」(12.5%)が1割を超え、「普通」(81.9%)は8割を超えている。〈デザイン〉において、「良い」(9.1%)が約1割で、「普通」(78.3%)は約8割となっている。(図表8-7)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)

〈情報・内容のわかりやすさ〉



〈デザイン〉



【地域別】

地域別にみると、〈情報・内容のわかりやすさ〉において、「良い」は“安房地域”（23.5%）と“海匝地域”（23.1%）が2割を超えて高くなっている。〈デザイン〉において、「良い」は“夷隅地域”（23.5%）が2割を超えて高くなっている。（図表8－8）

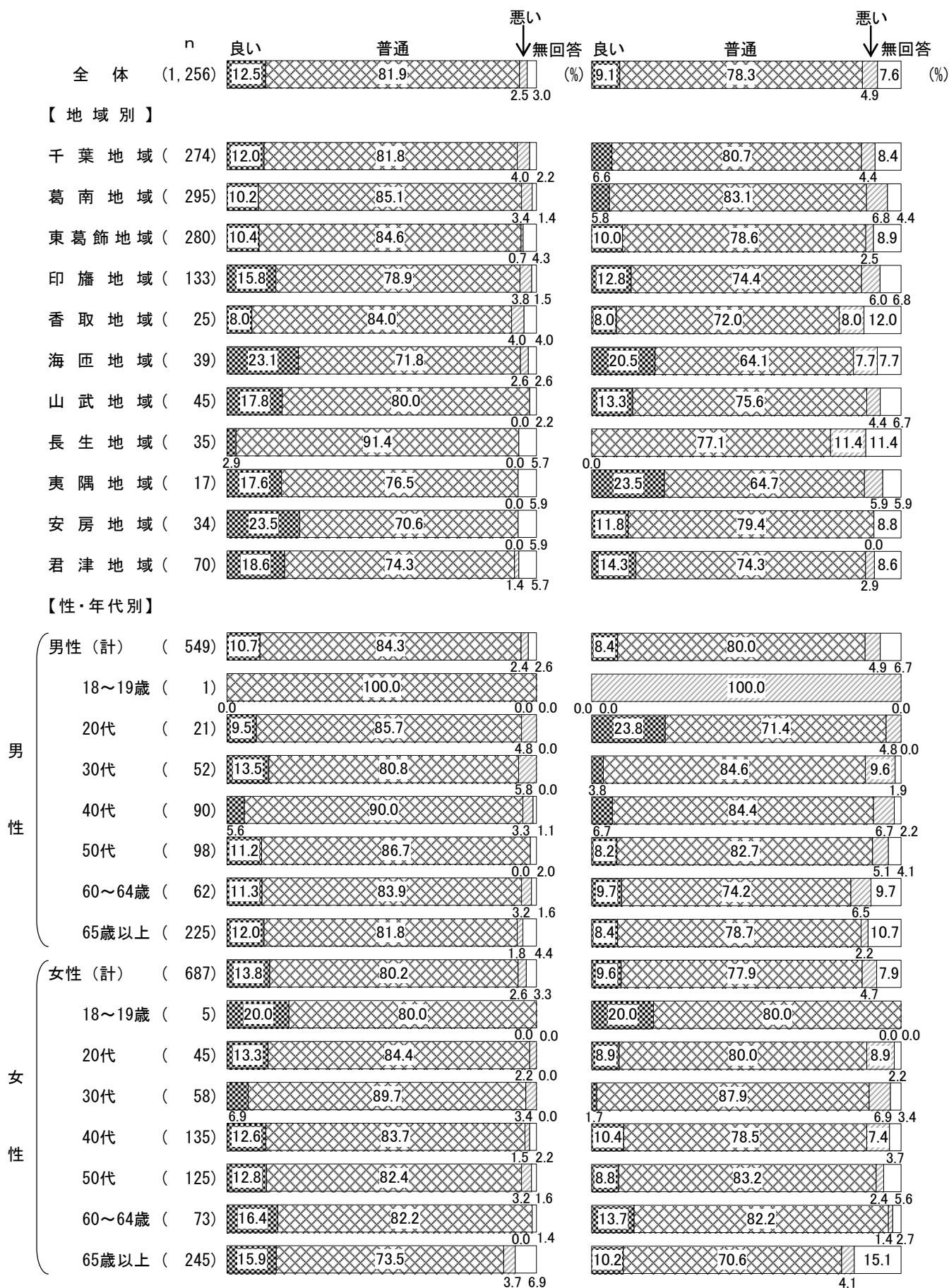
【性・年代別】

性・年代別にみると、〈情報・内容のわかりやすさ〉において、「良い」は女性の60～64歳（16.4%）、65歳以上（15.9%）が1割台半ばで高くなっている。〈デザイン〉において、「良い」は男性の20代（23.8%）が2割台半ばで高くなっている。（図表8－8）

＜図表８－８＞「ちば県民だより」の内容について／地域別、性・年代別

〈情報・内容のわかりやすさ〉

〈デザイン〉

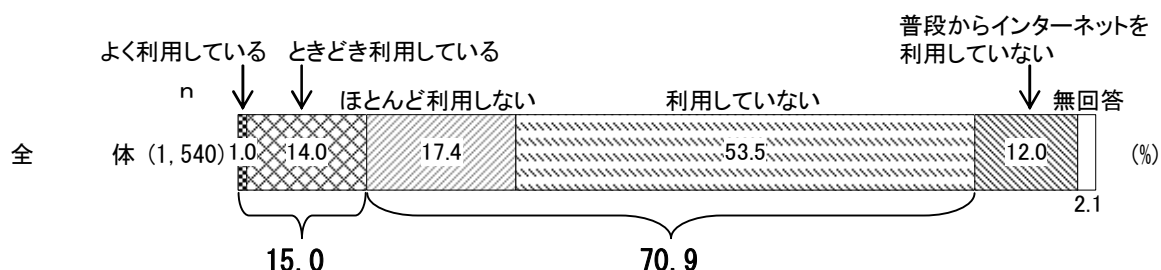


(4) 千葉県ホームページの利用頻度

◇『利用している』が1割台半ば

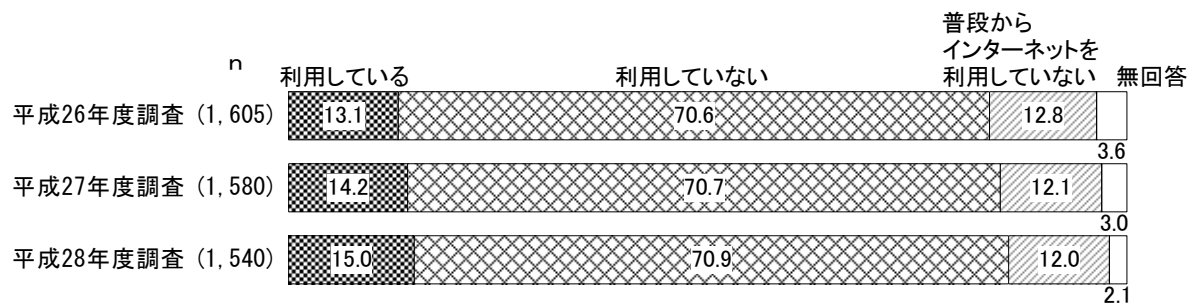
問37 あなたは、千葉県ホームページを利用していますか。(○は1つ)

＜図表8－9＞千葉県ホームページの利用頻度



千葉県ホームページの利用頻度を聞いたところ、「よく利用している」(1.0%)と「ときどき利用している」(14.0%)を合わせた『利用している』(15.0%)が1割台半ばとなっている。一方、「ほとんど利用しない」(17.4%)と「利用していない」(53.5%)を合わせた『利用していない』(70.9%)は7割となっている。(図表8－9)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位：%)



【地域別】

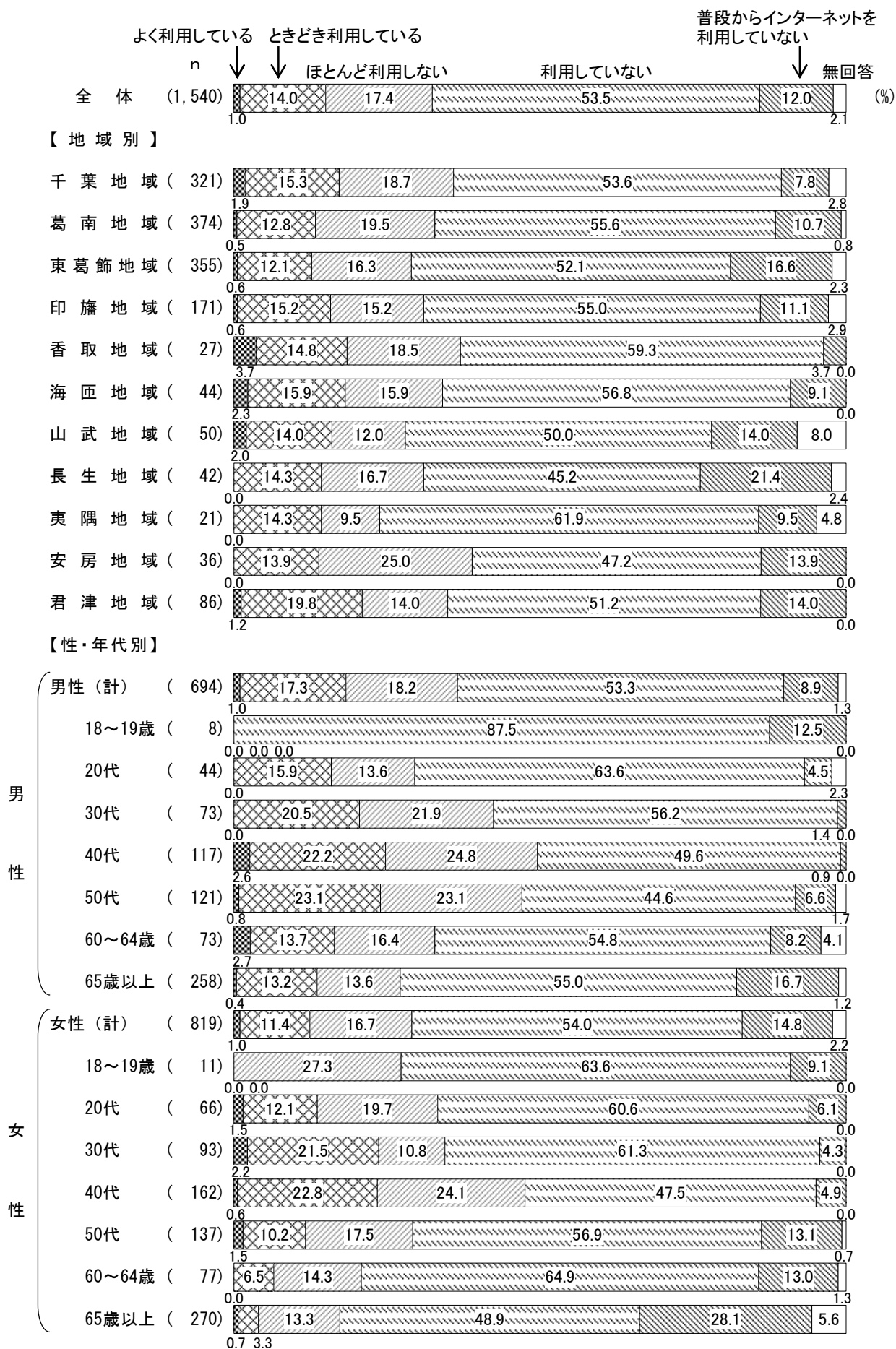
地域別にみると、『利用している』は“君津地域”(21.0%)が2割を超えて高くなっている。

(図表8－10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『利用している』は男性の40代(24.8%)、50代(23.9%)と女性の30代(23.7%)、40代(23.4%)が2割台半ばで高くなっている。(図表8－10)

＜図表 8-10＞千葉県ホームページの利用頻度／地域別、性・年代別



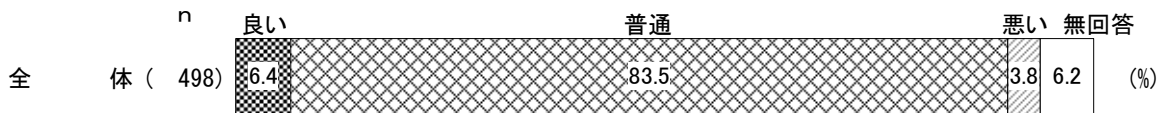
(4-1) 千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ

◇「普通」が8割台半ば

(問37で「よく利用している」「ときどき利用している」「ほとんど利用しない」のいずれかをお答えの方に)

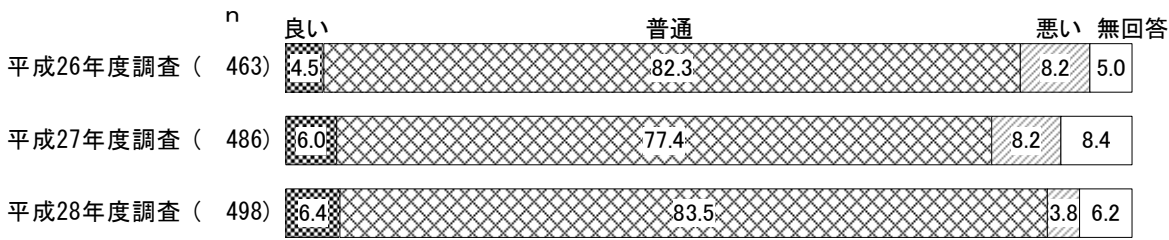
問37-1 千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさはいかがですか。(○は1つ)

<図表8-11>千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ



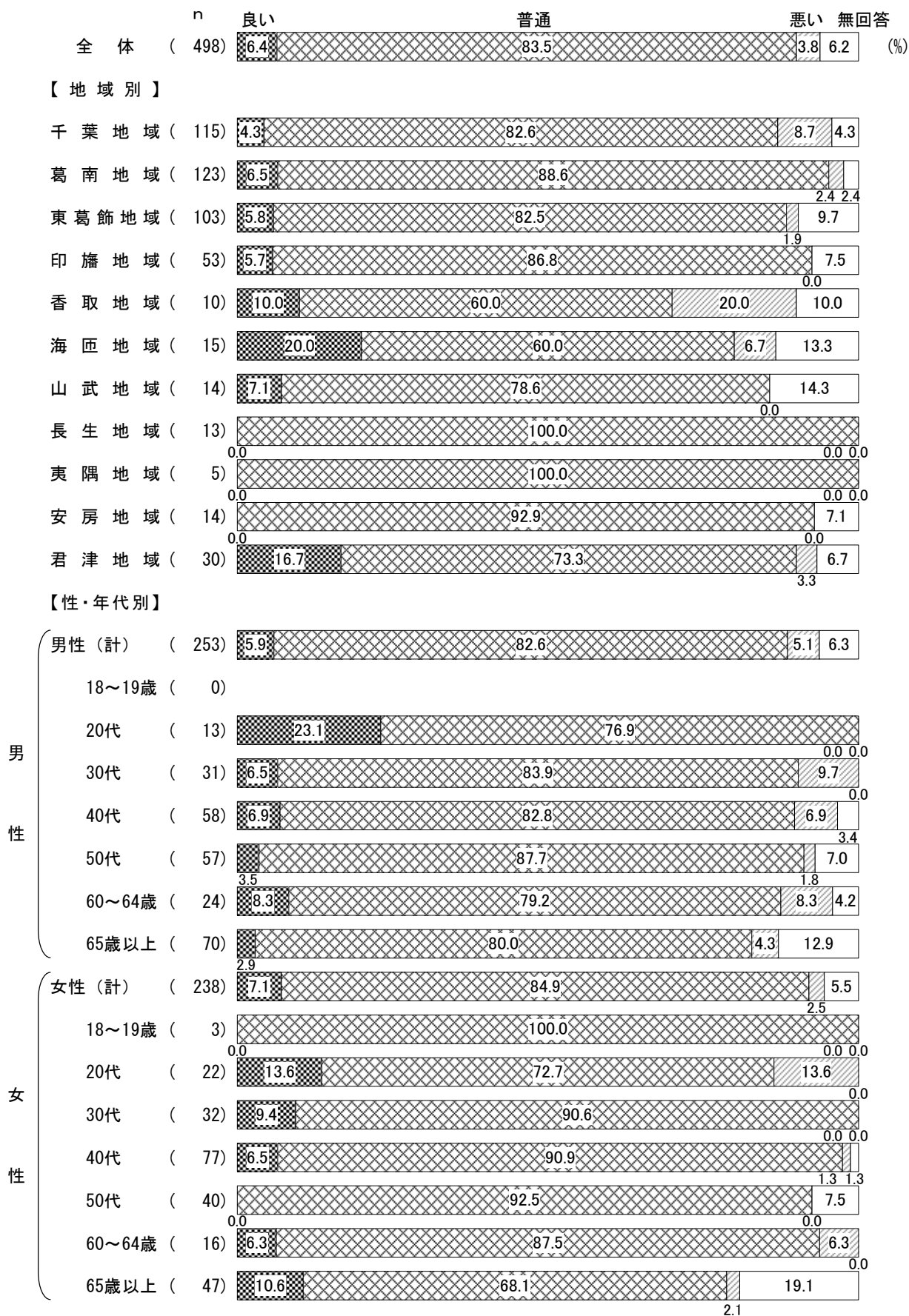
千葉県ホームページを「よく利用している」、「ときどき利用している」、「ほとんど利用しない」と回答した498人を対象に、千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさについて聞いたところ、「良い」(6.4%)が1割未満、「普通」(83.5%)は8割台半ばとなっている。(図表8-11)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



(※サンプル数の少ない属性の分析については、「報告書の見方」を参照)

＜図表８－１２＞千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ／地域別、性・年代別

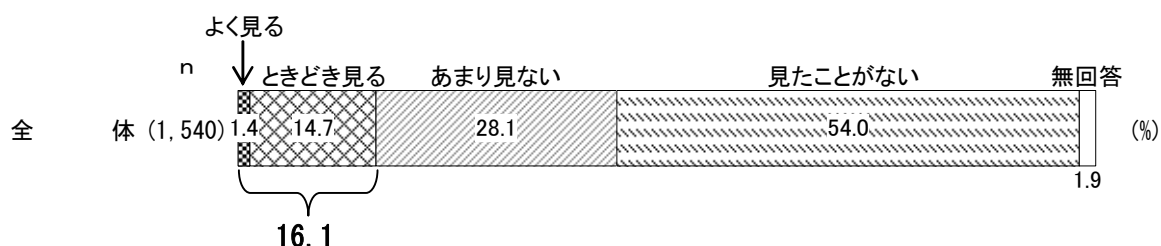


(5) 県の広報番組の視聴状況

◇『見る』が1割台半ば

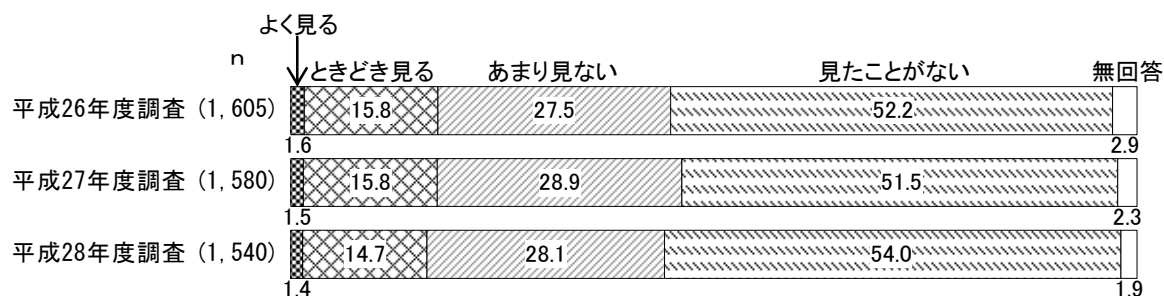
問38 県では、千葉テレビ放送において、県の広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」を毎週放送しています。あなたは、これらの番組をどの程度ご覧になっていますか。(〇は1つ)

<図表8-13> 県の広報番組の視聴状況



県の広報番組の視聴状況を聞いたところ、「よく見る」(1.4%)と「ときどき見る」(14.7%)を合わせた『見る』(16.1%)が1割台半ばとなっている。一方、「あまり見ない」(28.1%)は約3割、「見たことがない」(54.0%)は5割台半ばとなっている。(図表8-13)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



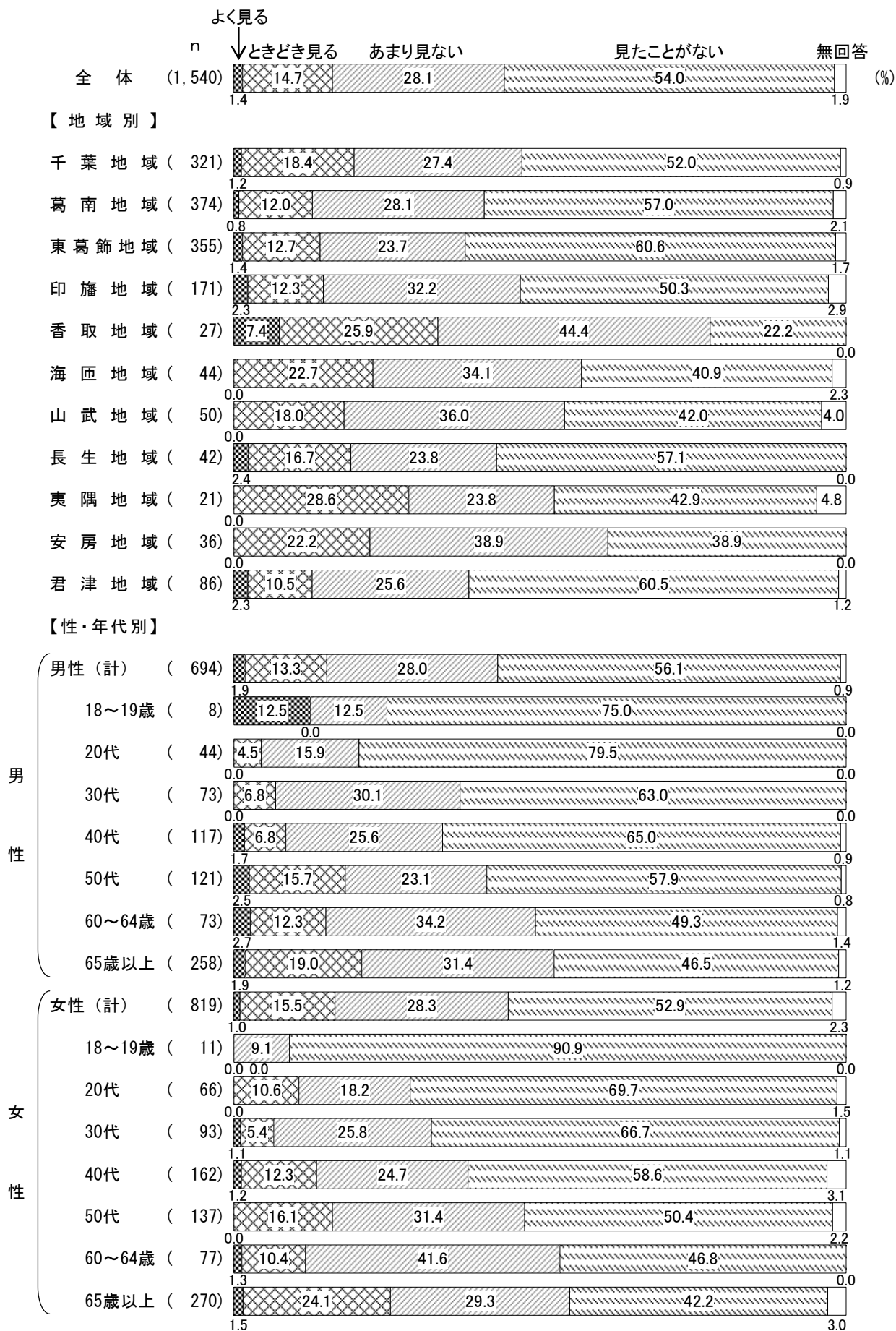
【地域別】

地域別にみると、『見る』は“香取地域”(33.3%)が3割を超え、“夷隅地域”(28.6%)が約3割で高くなっている。(図表8-14)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『見る』は女性の65歳以上(25.6%)が2割台半ば、男性の65歳以上(20.9%)が2割で高くなっている。(図表8-14)

＜図表 8－14＞県の広報番組の視聴状況／地域別、性・年代別

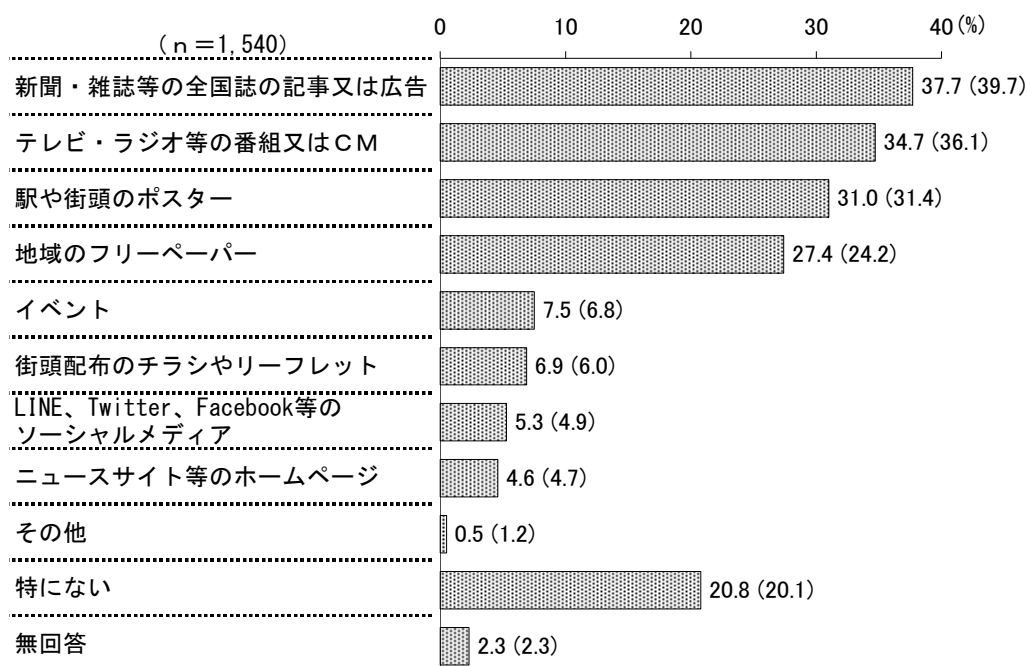


（６）県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況

◇「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」が約４割

問39 あなたは、県の広報紙や広報番組（問35の選択肢「１」～「６」に掲げるもの）以外で、県の歴史・文化、観光、イベントなど、千葉県に関する情報を見たり、聞いたりしたことがありますか。（○はいくつでも）

＜図表８－15＞県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況（複数回答）



注）（ ）の数字は平成27年度の同様の項目による調査結果 n=1,580

県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況を聞いたところ、「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」（37.7%）が約４割で最も高く、以下、「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」（34.7%）、「駅や街頭のポスター」（31.0%）、「地域のフリーペーパー」（27.4%）が続いている。（図表８－15）

※ 問35の選択肢「１」～「６」に掲げるものとは、「１ 県広報紙『ちば県民だより』」、「２ 千葉県ホームページ（パソコン版）」、「３ 千葉県ホームページ（スマートフォン版）」、「４ 千葉県ホームページ（携帯版）」、「５ 千葉日報による新聞紙面広報『県からのお知らせ』、『特集』」、「６ 千葉テレビによる県広報番組『千葉県インフォメーション』、『ウィークリー千葉県』」を指す）

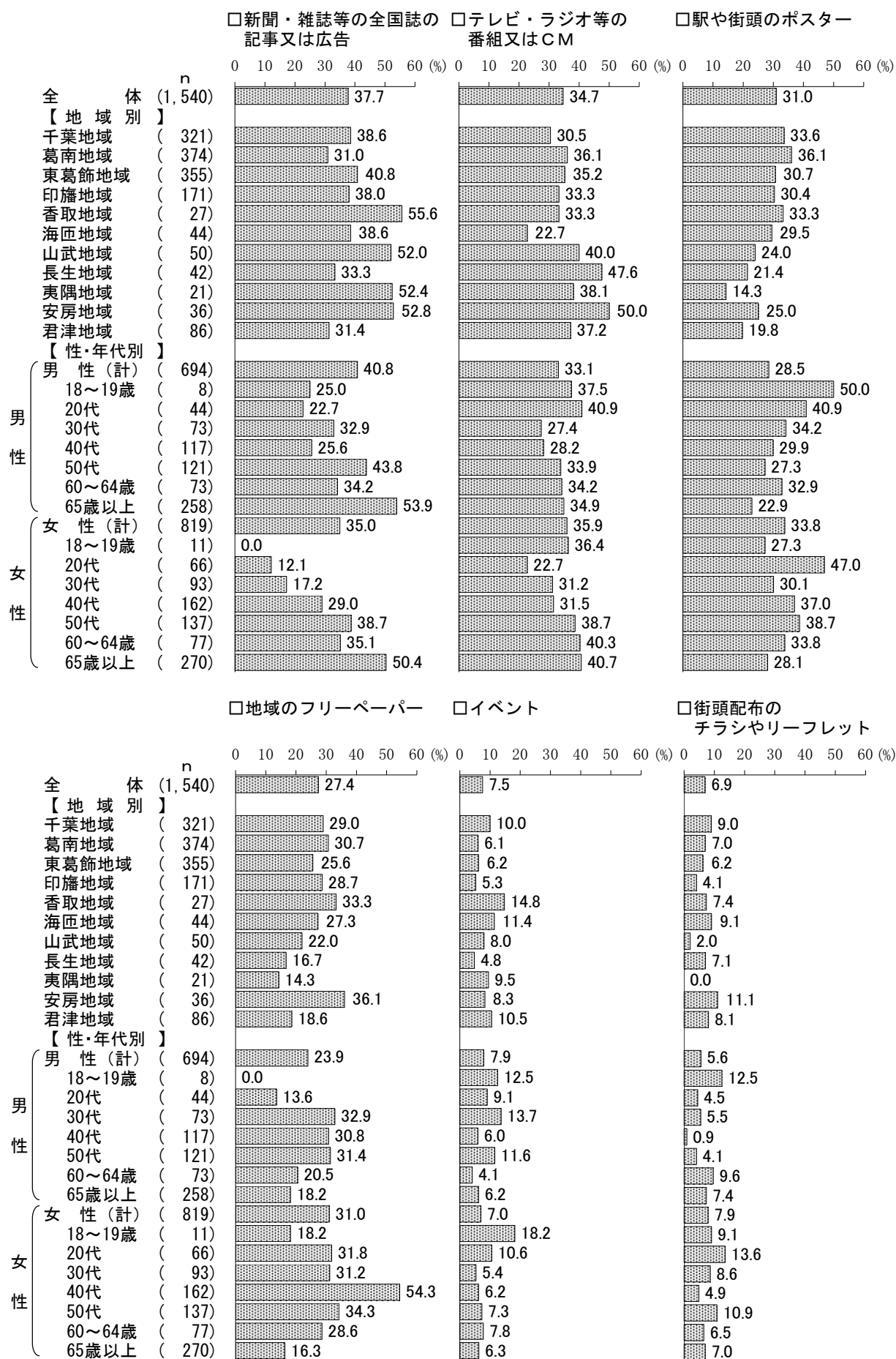
【地域別】

地域別にみると、「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」は“香取地域”（55.6%）が５割台半ばで高くなっている。「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」は“安房地域”（50.0%）が５割で高くなっている。（図表８－16）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」は男性の65歳以上（53.9%）が５割台半ば、女性の65歳以上（50.4%）が５割で高くなっている。「地域のフリーペーパー」は女性の40代（54.3%）が５割台半ばで高くなっている。（図表８－16）

＜図表８－１６＞県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況／地域別、性・年代別（上位６項目）

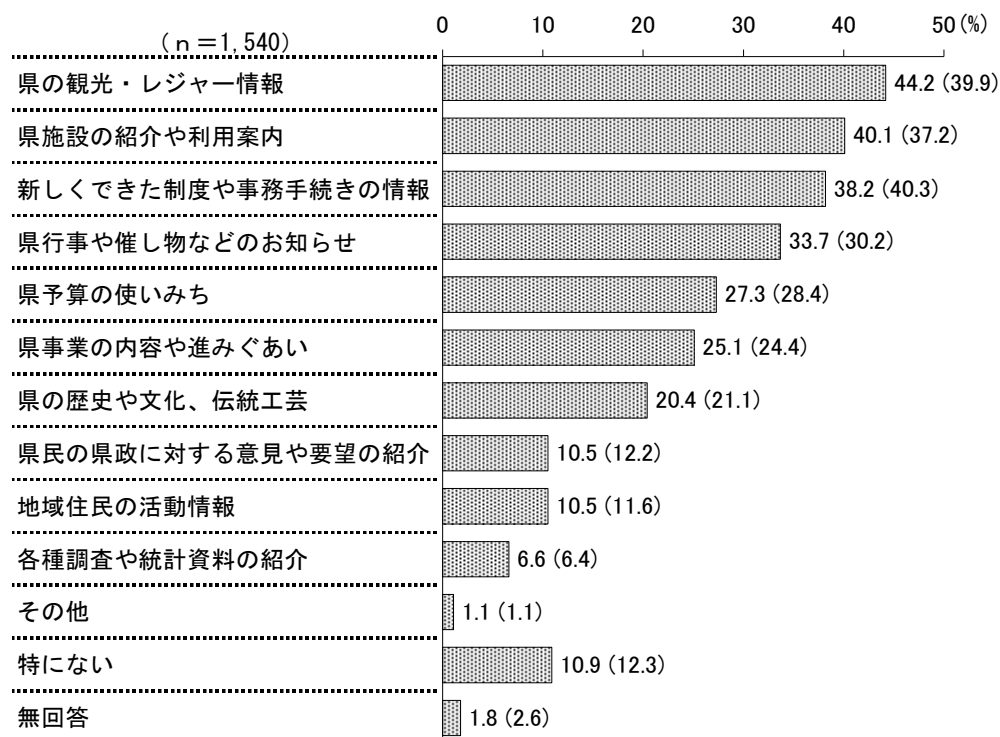


(7) 県の知りたい情報

◇「県の観光・レジャー情報」が4割台半ば

問40 あなたは、県のどのような情報が知りたいですか。(○はいくつでも)

＜図表8-17＞県の知りたい情報（複数回答）



注) () の数字は平成27年度の同様の項目による調査結果 n=1,580

県のどのような情報が知りたいか聞いたところ、「県の観光・レジャー情報」(44.2%)が4割台半ばで最も高く、以下、「県施設の紹介や利用案内」(40.1%)、「新しくできた制度や事務手続きの情報」(38.2%)、「県行事や催し物などのお知らせ」(33.7%)が続く。(図表8-17)

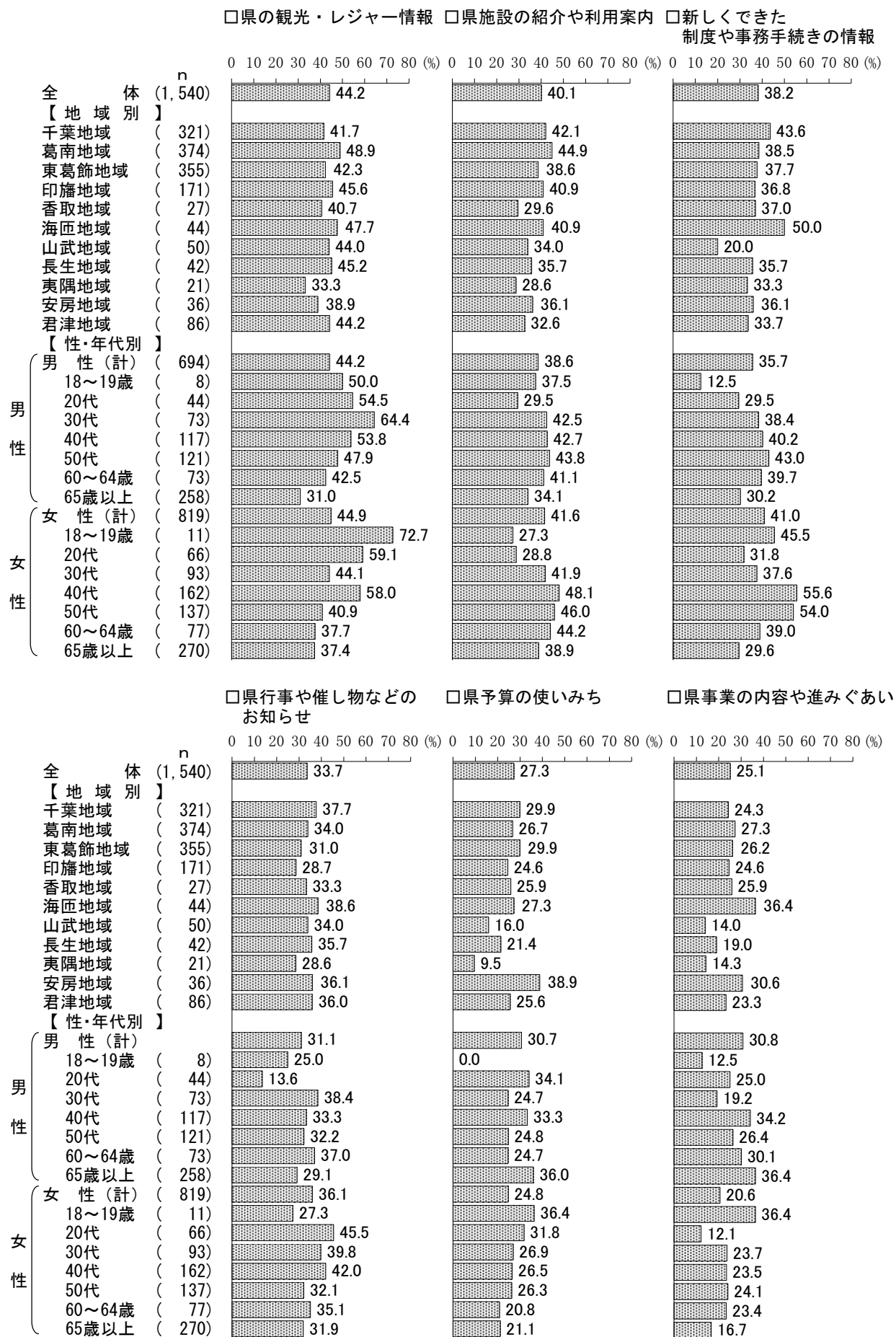
【地域別】

地域別にみると、「新しくできた制度や事務手続きの情報」は“海匠地域”(50.0%)が5割で高くなっている。「県予算の使いみち」は“安房地域”(38.9%)が約4割で高くなっている。「県事業の内容や進みぐあい」は“海匠地域”(36.4%)が3割台半ばで高くなっている。(図表8-18)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「県の観光・レジャー情報」は男性の30代(64.4%)が6割台半ばで高くなっている。「新しくできた制度や事務手続きの情報」は女性の40代(55.6%)、50代(54.0%)が5割台半ばで高くなっている。「県行事や催し物などのお知らせ」は女性の20代(45.5%)が4割台半ばで高くなっている。(図表8-18)

＜図表８－１８＞県の知りたい情報／地域別、性・年代別（上位６項目）

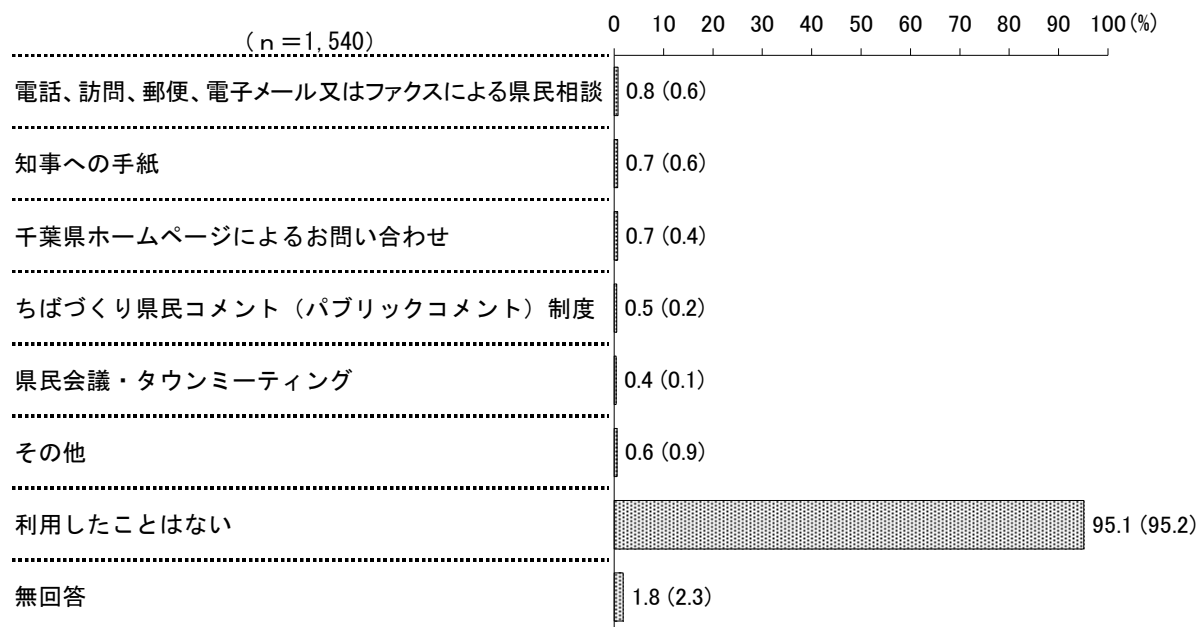


(8) 知事への手紙などで意見を述べた経験

◇「利用したことはない」が9割台半ば

問41 県では、県民参加型の県政運営に努めています。あなたは、知事への手紙など、以下に掲げるものの中で今までに意見を述べたことがありますか。(〇はいくつでも)

＜図表8－19＞知事への手紙などで意見を述べた経験（複数回答）



注) () の数字は平成27年度の同様の項目による調査結果 n=1,580

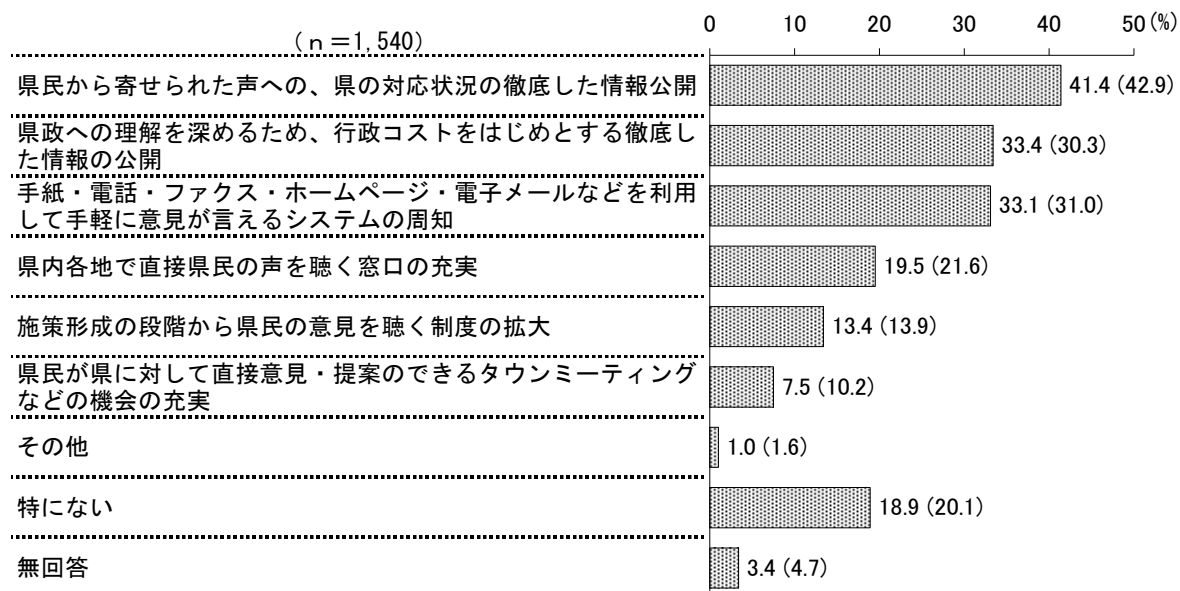
知事への手紙などで意見を述べたことがあるか聞いたところ、「利用したことはない」(95.1%)が9割台半ばとなっている。利用したことのあるものでは、「電話、訪問、郵便、電子メール又はファクスによる県民相談」が0.8%、「知事への手紙」と「千葉県ホームページによるお問い合わせ」が0.7%となっている。(図表8－19)

(9) 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと

◇「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」が4割を超える

問42 みなさんが県政に対するご意見を述べやすくするためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

＜図表8-20＞県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと（3つまでの複数回答）



注) () の数字は平成27年度の同様の項目による調査結果 n=1,580

県政に対する意見を述べやすくするために必要なことを3つまで選んでもらったところ、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」(41.4%)が4割を超えて最も高く、以下、「県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開」(33.4%)、「手紙・電話・ファクス・ホームページ・電子メールなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知」(33.1%)が続く。(図表8-20)

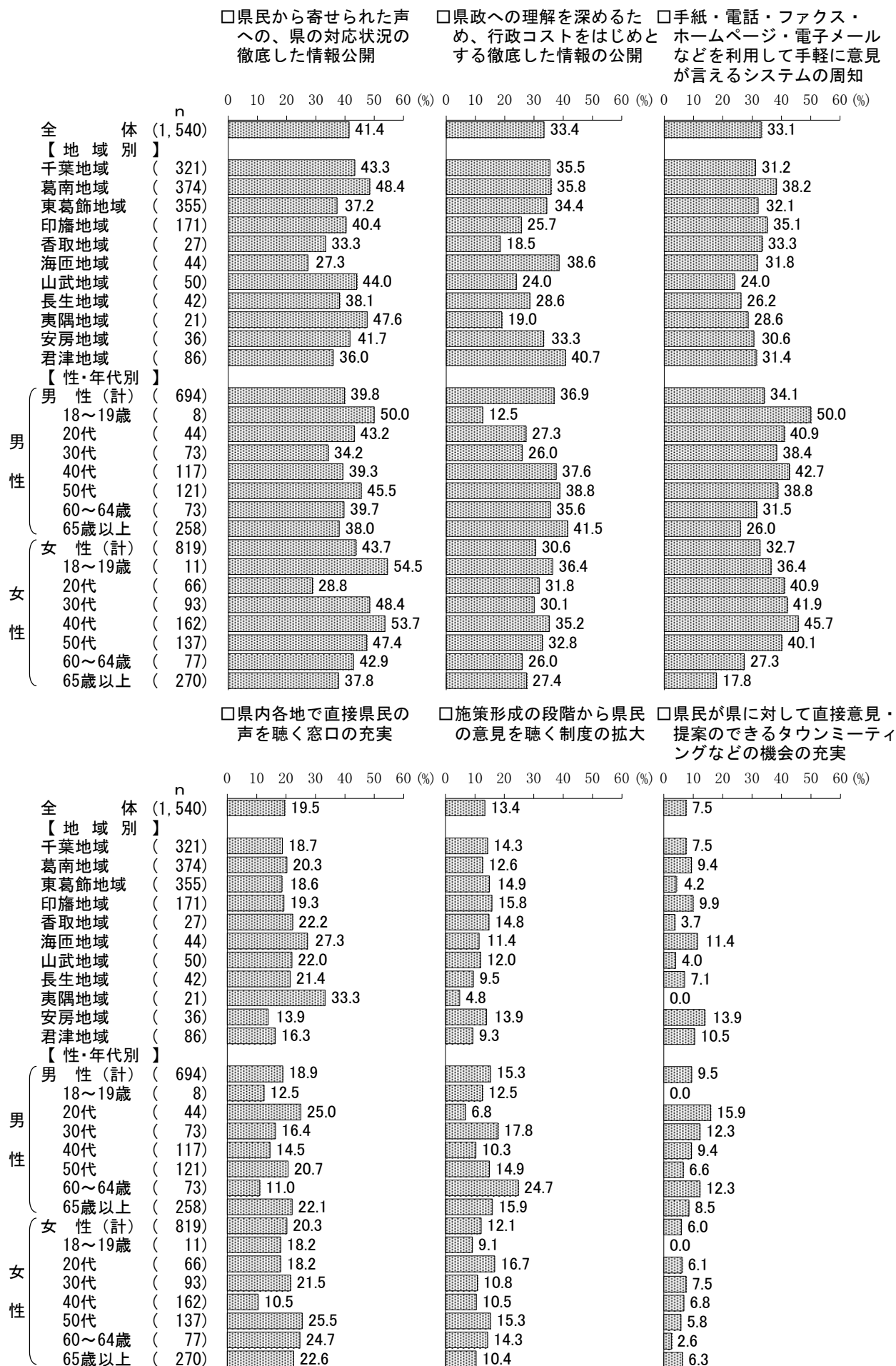
【地域別】

地域別にみると、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」は“葛南地域”(48.4%)と“夷隅地域”(47.6%)が約5割で高くなっている。「県内各地で直接県民の声を聴く窓口の充実」は“夷隅地域”(33.3%)が3割を超えて高くなっている。(図表8-21)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」は女性の40代(53.7%)が5割台半ばで高くなっている。「県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開」は男性の65歳以上(41.5%)が4割を超えて高くなっている。「手紙・電話・ファクス・ホームページ・電子メールなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知」は女性の40代(45.7%)が4割台半ばで高くなっている。(図表8-21)

＜図表8-21＞県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと／地域別、性・年代別（上位6項目）

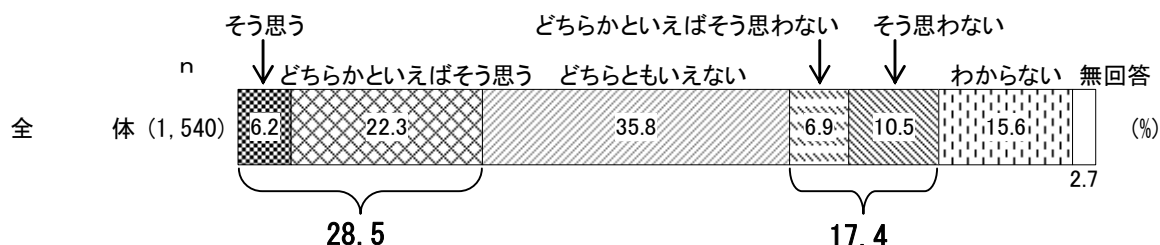


(10) 県政への意見の反映

◇『そう思う』が約3割

問43 今後、ご自分の意見を積極的に述べ、県政に反映させたいと思いますか。(○は1つ)

<図表8-22> 県政への意見の反映



自分の意見を積極的に述べ、県政に反映させたいと思うか聞いたところ、「そう思う」(6.2%)と「どちらかといえばそう思う」(22.3%)を合わせた『そう思う』(28.5%)が約3割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(6.9%)と「そう思わない」(10.5%)を合わせた『そう思わない』(17.4%)は約2割となっている。(図表8-22)

〔参考〕平成26年度・平成27年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)

n	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成26年度調査 (1,605)	29.0	17.1	53.9
平成27年度調査 (1,580)	31.5	18.0	50.5
平成28年度調査 (1,540)	28.5	17.4	54.1

【地域別】

地域別にみると、『そう思わない』は“香取地域”(37.0%)が約4割で高くなっている。

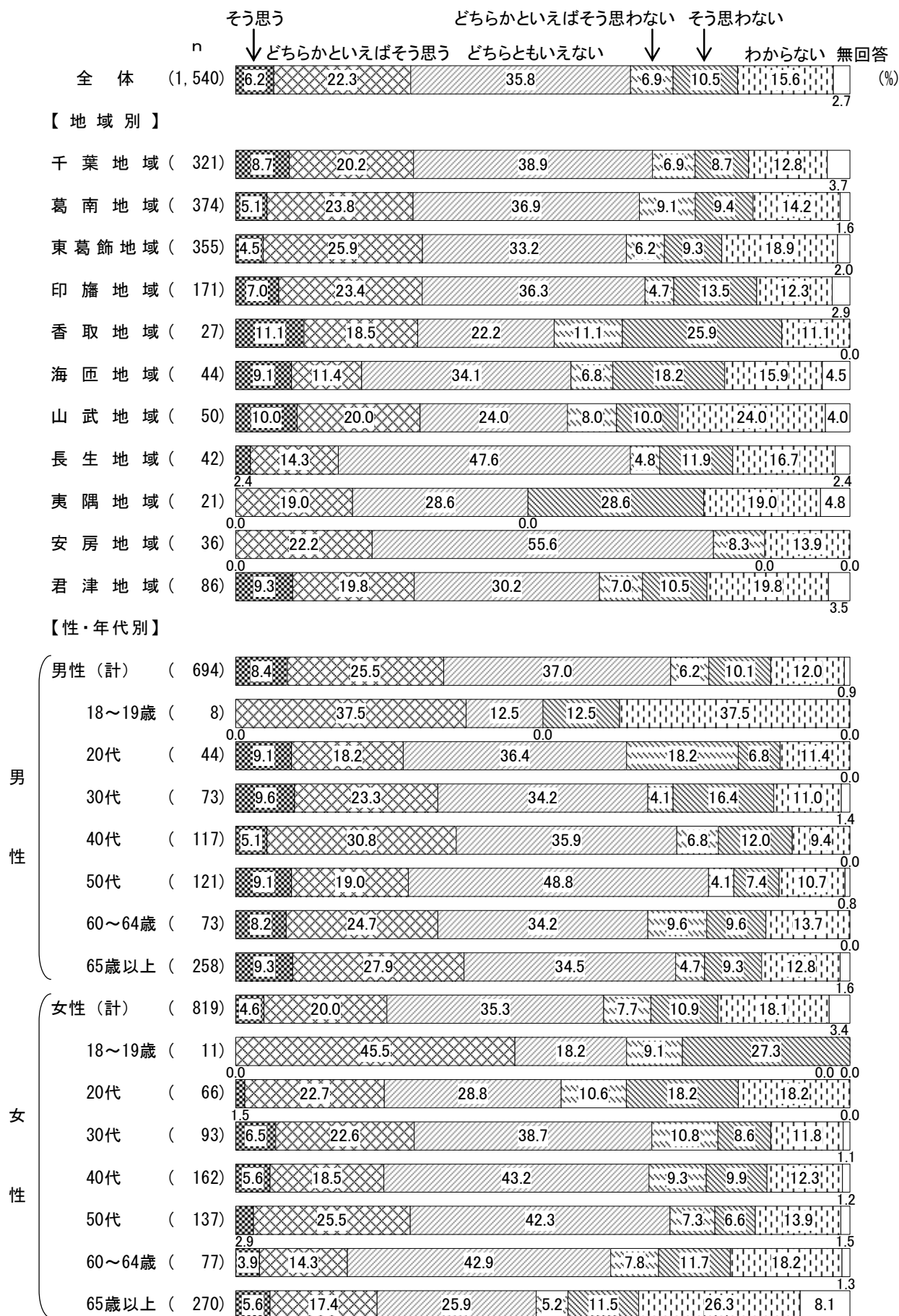
(図表8-23)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の65歳以上(37.2%)が約4割で高くなっている。

(図表8-23)

＜図表８－23＞県政への意見の反映／地域別、性・年代別



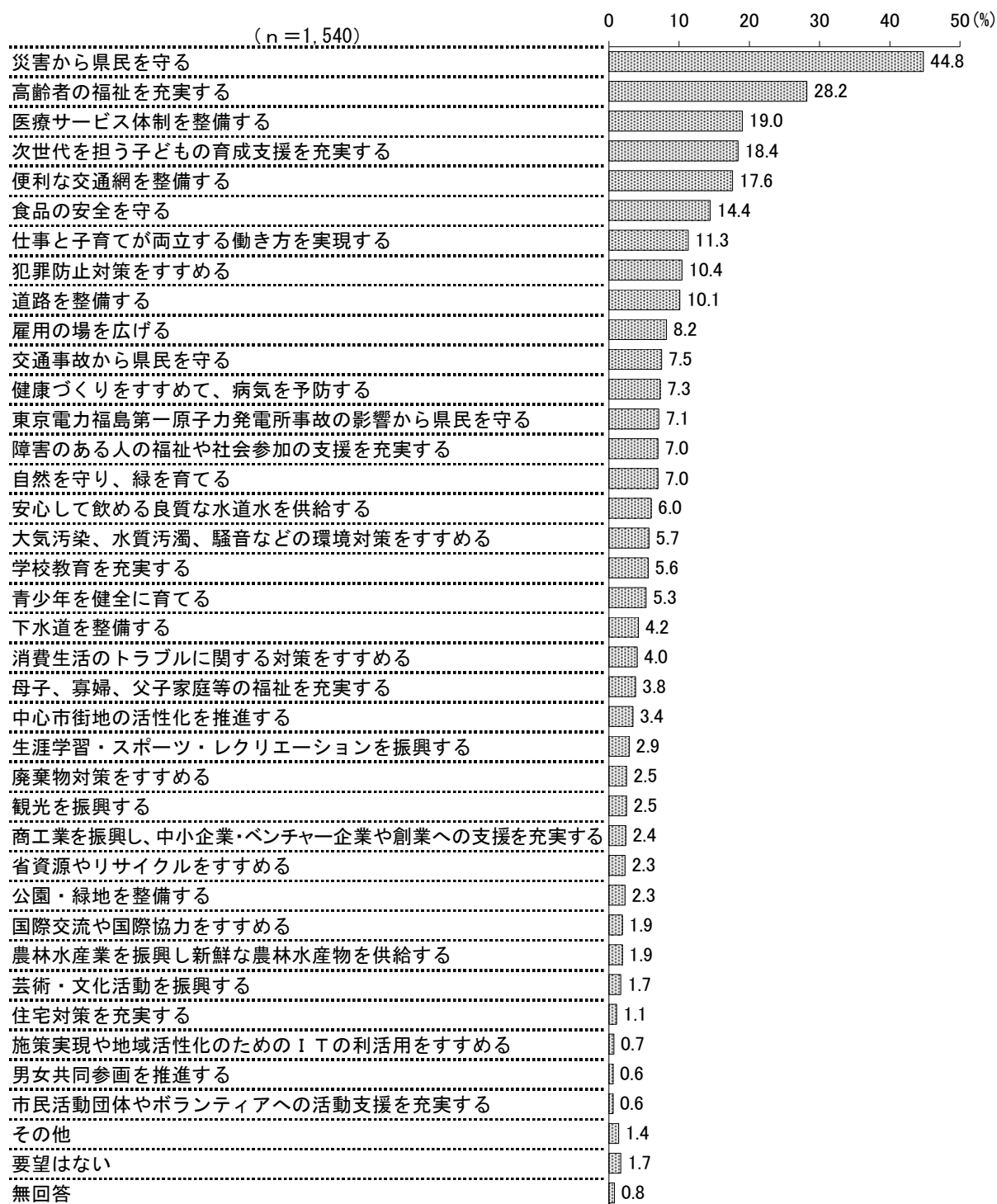
9 県政への要望

(1) 県政への要望

◇「災害から県民を守る」が4割台半ばで最も高く、次いで「高齢者の福祉を充実する」

問44 県政全般について、今後あなたが特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

＜図表9－1＞県政への要望（3つまでの複数回答）



県政への要望を3つまで選んでもらったところ、「災害から県民を守る」(44.8%)が1位で、次いで「高齢者の福祉を充実する」(28.2%)が2位となっており、県民からの要望が特に高い。以下、「医療サービス体制を整備する」(19.0%)が3位、「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」(18.4%)が4位、「便利な交通網を整備する」(17.6%)が5位と続いている。(図表9-1)

【地域別】

地域別にみると、「災害から県民を守る」はすべての地域で1位となっている。「高齢者の福祉を充実する」は“千葉地域”、“葛南地域”、“東葛飾地域”、“山武地域”、“長生地域”、“夷隅地域”、“君津地域”の7つの地域で同率も含めて2位となっている。「医療サービス体制を整備する」は“香取地域”、“海匝地域”、“夷隅地域”の3つの地域で同率も含めて2位となっている。「便利な交通網を整備する」は“印旛地域”と“安房地域”で2位となっている。(図表9-3)

【性別、性・年代別】

性別にみると、男女ともに上位5位までは「災害から県民を守る」、「高齢者の福祉を充実する」、「医療サービス体制を整備する」、「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」、「便利な交通網を整備する」の順になっている。

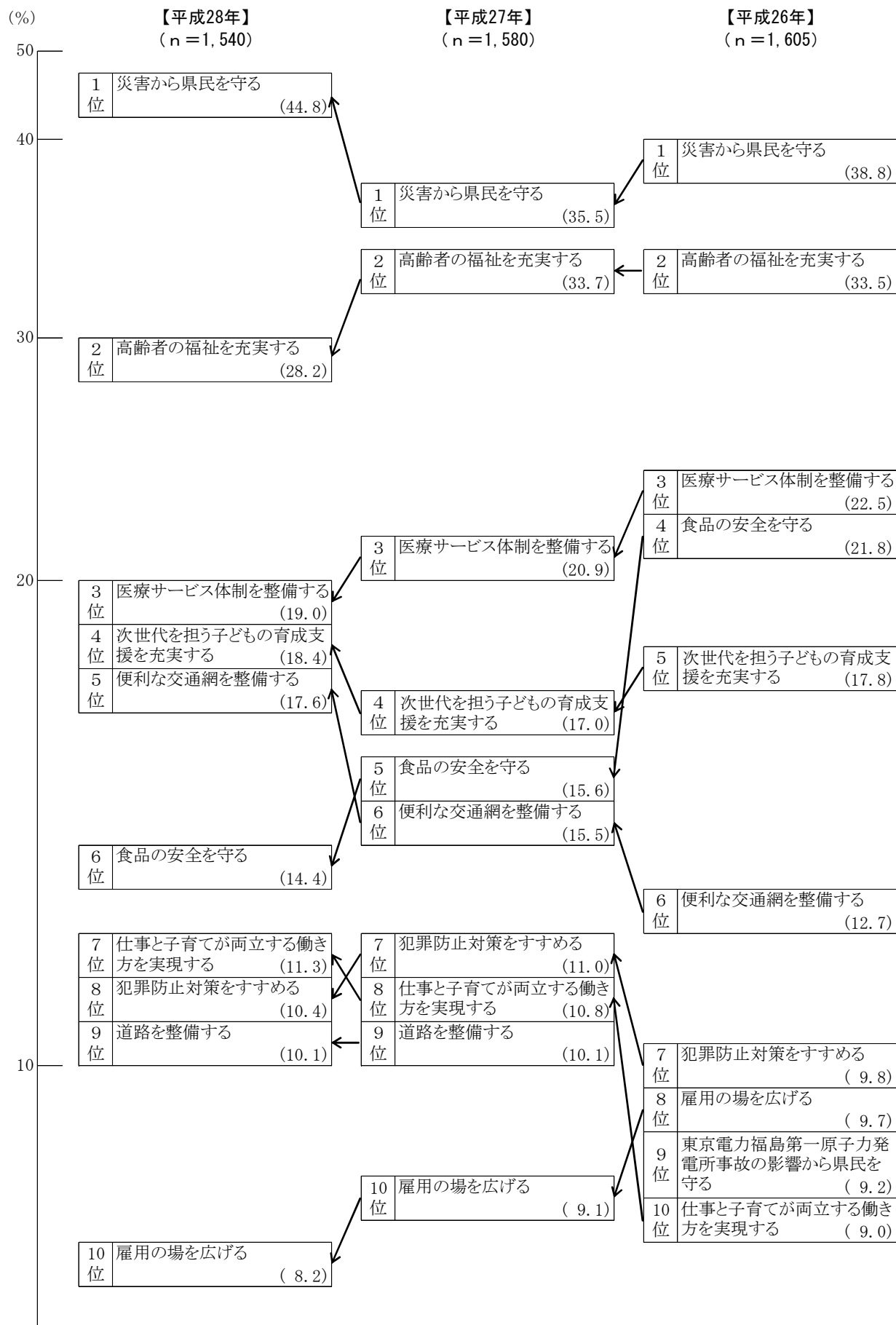
性・年代別にみると、「災害から県民を守る」は女性の18～19歳で同率の2位、女性の65歳以上で2位となっているほかはすべての年代で1位となっている。「高齢者の福祉を充実する」は女性の65歳以上で第1位、男性の50代以上の年代と女性の40代、50代、60～64歳で同率も含めて2位となっている。「便利な交通網を整備する」は男性の40代で2位となっている。「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」は男性の20代、30代と女性の40代で同率も含めて2位となっている。「仕事と子育てが両立する働き方を実現する」は女性の20代、30代で2位となっている。(図表9-4～9-5)

【参考】平成26年以降の同様の項目による調査結果との比較（上位10項目の推移）（図表9-2）

【経年変化の特徴】

1. 「災害から県民を守る」は平成27年度(35.5%)に引き続き1位(44.8%)で、9.3ポイント増加している。
2. 「高齢者の福祉を充実する」は平成27年度(33.7%)に引き続き2位(28.2%)で、5.5ポイント減少している。
3. 「医療サービス体制を整備する」は平成27年度(20.9%)に引き続き3位(19.0%)、「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」は平成27年度(17.0%)に引き続き4位(18.4%)となっている。
4. 「便利な交通網を整備する」は平成27年度の6位(15.5%)から5位(17.6%)へ順位を上げている。一方、「食品の安全を守る」は平成27年度の5位(15.6%)から6位(14.4%)へ順位を下げている。

＜図表 9－2＞県政への要望／上位10項目の推移



＜図表 9－3＞県政への要望（上位 1 位～10 位）／地域別

属性		順位	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体			1,540	災害から県民を守る (44.8)	高齢者の福祉を充実 する (28.2)	医療サービス体制を 整備する (19.0)	次世代を担う子どもの 育成支援を充実する (18.4)	便利な交通網を整備 する (17.6)
【地 域 別】								
千 葉 地 域			321	災害から県民を守る (45.8)	高齢者の福祉を充実 する (30.8)	次世代を担う子どもの 育成支援を充実する (19.9)	便利な交通網を整備 する (16.2)	食品の安全を守る (15.3)
葛 南 地 域			374	災害から県民を守る (48.4)	高齢者の福祉を充実 する (24.9)	次世代を担う子どもの 育成支援を充実する (18.2)	医療サービス体制を 整備する (17.9)	便利な交通網を整備 する (15.8)
東葛飾地域			355	災害から県民を守る (42.5)	高齢者の福祉を充実 する (31.0)	医療サービス体制を 整備する (20.8)	次世代を担う子どもの 育成支援を充実する (17.5)	食品の安全を守る (17.2)
印 旛 地 域			171	災害から県民を守る (39.8)	便利な交通網を整備 する (26.3)	高齢者の福祉を充実 する (25.1)	次世代を担う子どもの 育成支援を充実する (20.5)	医療サービス体制を 整備する (18.7)
香 取 地 域			27	災害から県民を守る (63.0)	医療サービス体制を 整備する (33.3)	高齢者の福祉を充実 する (25.9)	食品の安全を守る/犯罪防止対策をすすめる/ 自然を守り、緑を育てる (14.8)	
海 匝 地 域			44	災害から県民を守る (43.2)	医療サービス体制を 整備する (29.5)	便利な交通網を整備 する (27.3)	高齢者の福祉を充実 する (20.5)	雇用の場を広げる (18.2)
山 武 地 域			50	災害から県民を守る (50.0)	高齢者の福祉を充実 する (26.0)	医療サービス体制を整備する	雇用場の場を広げる/健康 づくりをすすめて病 気を予防する (24.0) (14.0)	
長 生 地 域			42	災害から県民を守る (42.9)	高齢者の福祉を充実 する (33.3)	医療サービス体制を整備する/次世代を担う子どもの育成支援を充実 する/食品の安全を守る/犯罪防止対策をすすめる (19.0)		
夷 隅 地 域			21	災害から県民を守る (57.1)	高齢者の福祉を充実する	医療サービス体制を 整備する (33.3)	道路を整備する/雇用の場を広げる (19.0)	
安 房 地 域			36	災害から県民を守る (44.4)	便利な交通網を整備 する (36.1)	高齢者の福祉を充実 する (27.8)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/交 通事故から県民を守る (16.7)	
君 津 地 域			86	災害から県民を守る (36.0)	高齢者の福祉を充実 する (30.2)	次世代を担う子どもの 育成支援を充実する (25.6)	医療サービス体制を 整備する (17.4)	仕事と子育てが両立 する働き方を実現する (14.0)

属性		順位	n	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体			1,540	食品の安全を守る (14.4)	仕事と子育てが両立 する働き方を実現する (11.3)	犯罪防止対策をすす める (10.4)	道路を整備する (10.1)	雇用の場を広げる (8.2)
【地 域 別】								
千 葉 地 域			321	医療サービス体制を 整備する (15.0)	仕事と子育てが両立 する働き方を実現する (10.6)	犯罪防止対策をすす める (10.0)	障害のある人の福祉 や社会参加の支援を (8.7)	大気汚染、水質汚 濁、騒音などの環境 (8.1)
葛 南 地 域			374	食品の安全を守る (15.0)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する/ 道路を整備する (13.4)	犯罪防止対策をすす める (11.2)	交通事故から県民を 守る (9.4)	
東葛飾地域			355	便利な交通網を整備 する (16.9)	道路を整備する (10.1)	東京電力福島第一原 子力発電所事故の影 響 (9.9)	健康づくりをすすめ て、病気を予防する (9.6)	仕事と子育てが両立 する働き方を実現する (8.5)
印 旛 地 域			171	仕事と子育てが両立 する働き方を実現する (15.8)	犯罪防止対策をすす める (12.3)	雇用の場を広げる (11.1)	交通事故から県民を 守る (10.5)	食品の安全を守る/ 道路を整備する (9.9)
香 取 地 域			27	-	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/食品の安全を守る/犯罪 防止対策をすすめる/便利な交通網を整備する/道路を整備する/安心 して飲める良質な水道水を供給する (11.1)			
海 匝 地 域			44	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/食品の安全を守る/犯罪 防止対策をすすめる (13.6)			道路を整備する (11.4)	仕事と子育てが両立 する働き方を実現する (9.1)
山 武 地 域			50	-	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/食品の安全を守る/仕事と子育てが両立する働き 方を実現する/下水道を整備する (10.0)			
長 生 地 域			42	-	雇用の場を広げる/東京電力福島第一原子力 発電所事故の影響から県民を守る (16.7)	交通事故から県民を 守る (14.3)	仕事と子育てが両立 する働き方を実現する (11.9)	
夷 隅 地 域			21	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/食 品の安全を守る (14.3)	便利な交通網を整備する/犯罪防止対策をすすめる/交通事故から県民を守る/健康づくりを すすめて、病気を予防する/東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る/障 害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する/自然を守り、緑を育てる/観光を振興する (9.5)			
安 房 地 域			36	仕事と子育てが両立 する働き方を実現する (13.9)	医療サービス体制を整備する/食品の安全を守る/雇用の場を広げる/自然を守り、緑を育てる (11.1)			
君 津 地 域			86	犯罪防止対策をすす める (12.8)	便利な交通網を整備する/道路を整備する (11.6)		健康づくりをすすめ て、病気を予防する (10.5)	食品の安全を守る/雇用の場 を広げる/東京電力福島第一 原子力発電所事故の影響か ら県民を守る (9.3)

＜図表 9－4＞県政への要望（上位 1 位～5 位）／性別、性・年代別

(%)

属性	順位	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体		1,540	災害から県民を守る (44.8)	高齢者の福祉を充実 する (28.2)	医療サービス体制を 整備する (19.0)	次世代を担う子どもの 育成支援を充実する (18.4)	便利な交通網を整備 する (17.6)
【性・年代別】							
男性（計）		694	災害から県民を守る (47.0)	高齢者の福祉を充実 する (25.2)	医療サービス体制を 整備する (19.9)	次世代を担う子どもの 育成支援を充実する (18.7)	便利な交通網を整備す る (17.6)
18～19歳		8	災害から県民を守る (62.5)	医療サービス体制を 整備する (37.5)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/ 交通事故から県民を守る (25.0)		（作表の便宜上、 次ページに記載する）
20 代		44	災害から県民を守る (45.5)	次世代を担う子どもの 育成支援を充実する (34.1)	便利な交通網を整備 する (25.0)	仕事と子育てが両立 する働き方を実現する (20.5)	雇用の場を広げる/学 校教育を充実する (13.6)
30 代		73	災害から県民を守る (42.5)	次世代を担う子どもの 育成支援を充実する (31.5)	仕事と子育てが両立 する働き方を実現する (21.9)	道路を整備する (16.4)	犯罪防止対策をすす める/交通事故から県 (15.1)
40 代		117	災害から県民を守る (41.0)	便利な交通網を整備 する (24.8)	次世代を担う子どもの 育成支援を充実する (23.1)	医療サービス体制を 整備する (18.8)	高齢者の福祉を充実 する (15.4)
50 代		121	災害から県民を守る (52.1)	高齢者の福祉を充実 する (30.6)	医療サービス体制を整備する/便利な交通網 を整備する (19.0)		犯罪防止対策をすす める (16.5)
60～64歳		73	災害から県民を守る (43.8)	高齢者の福祉を充実 する (30.1)	便利な交通網を整備 する (23.3)	医療サービス体制を 整備する (20.5)	次世代を担う子ども の育成支援を充実する/ 食品の安全を守る (15.1)
65歳以上		258	災害から県民を守る (49.2)	高齢者の福祉を充実 する (33.7)	医療サービス体制を 整備する (24.8)	食品の安全を守る (15.9)	次世代を担う子ども の育成支援を充実する (14.3)
女性（計）		819	災害から県民を守る (43.0)	高齢者の福祉を充実 する (30.5)	医療サービス体制を 整備する (18.7)	次世代を担う子どもの 育成支援を充実する (18.4)	便利な交通網を整備 する (17.8)
18～19歳		11	便利な交通網を整備 する (54.5)	災害から県民を守る/犯罪防止対策をすすめる/雇用の場を広げる/安心して飲める良質な水 道水を供給する/大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる (18.2)			
20 代		66	災害から県民を守る (42.4)	仕事と子育てが両立 する働き方を実現する (36.4)	便利な交通網を整備 する (25.8)	次世代を担う子どもの 育成支援を充実する (19.7)	医療サービス体制を 整備する/犯罪防止 (15.2)
30 代		93	災害から県民を守る (45.2)	仕事と子育てが両立 する働き方を実現する (37.6)	次世代を担う子ども の育成支援を充実する (31.2)	便利な交通網を整備 する (17.2)	医療サービス体制を 整備する (16.1)
40 代		162	災害から県民を守る (37.7)	高齢者の福祉を充実する/次世代を担う子ども の育成支援を充実する (24.7)		便利な交通網を整備する/食品の安全を守る (17.9)	
50 代		137	災害から県民を守る (48.2)	高齢者の福祉を充実 する (32.8)	医療サービス体制を 整備する (27.7)	便利な交通網を整備 する (19.0)	次世代を担う子ども の育成支援を充実する/ 雇用の場を広げる (12.4)
60～64歳		77	災害から県民を守る (50.6)	高齢者の福祉を充実 する (39.0)	医療サービス体制を 整備する (29.9)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する/食 品の安全を守る (18.2)	
65歳以上		270	高齢者の福祉を充実 する (44.4)	災害から県民を守る (41.9)	食品の安全を守る (20.4)	医療サービス体制を 整備する (15.6)	便利な交通網を整備 する (14.8)

＜図表 9－5＞県政への要望（上位 6 位～10 位）／性別、性・年代別

(%)

属性	順位	n	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体		1,540	食品の安全を守る (14.4)	仕事と子育てが両立 する働き方を実現する (11.3)	犯罪防止対策をすす める (10.4)	道路を整備する (10.1)	雇用の場を広げる (8.2)
【性・年代別】							
男 性（計）		694	道路を整備する (12.8)	食品の安全を守る (12.2)	犯罪防止対策をすす める (9.9)	交通事故から県民を 守る (9.4)	雇用の場を広げる (8.6)
18～19歳		8	食品の安全を守る/学校教育を充実する/青少年を健全に育てる/中心市街地の活性化を推進する/生涯学習・スポー ツ・レクリエーションを振興する/国際交流や国際協力をすすめる/施策実現や地域活性化のためのITの利活用をすす める/市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する (12.5)				
20 代		44	-	医療サービス体制を 整備する (11.4)	高齢者の福祉を充実する/食品の安全を守る/道路を整備する/交通 事故から県民を守る/青少年を健全に育てる (9.1)		
30 代		73	-	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充 実する/学校教育を充実する (13.7)		便利な交通網を整備 する (12.3)	高齢者の福祉を充実 する (9.6)
40 代		117	道路を整備する (13.7)	犯罪防止対策をすすめる/東京電力福島第一 原子力発電所事故の影響から県民を守る (12.0)		仕事と子育てが両立する働き方を実現する/交 通事故から県民を守る/大気汚染、水質汚濁、 騒音などの環境対策をすすめる (9.4)	
50 代		121	道路を整備する (15.7)	雇用の場を広げる (14.9)	次世代を担う子どもの 育成支援を充実する (12.4)	食品の安全を守る (9.9)	自然を守り、緑を育て る (8.3)
60～64歳		73	-	道路を整備する (13.7)	雇用の場を広げる/自然を守り、緑を育てる (12.3)		犯罪防止対策をすす める/東京電力福島第 一原子力発電所事故 の影響から県民を守る (9.6)
65歳以上		258	便利な交通網を整備 する (12.8)	道路を整備する (10.9)	東京電力福島第一原 子力発電所事故の影 響から県民を守る (9.7)	健康づくりをすすめ て、病気を予防する (9.3)	交通事故から県民を 守る (8.9)
女 性（計）		819	食品の安全を守る (16.2)	仕事と子育てが両立 する働き方を実現する (13.7)	犯罪防止対策をすす める (11.0)	道路を整備する (8.2)	雇用の場を広げる/健 康づくりをすすめて、 病気を予防する (8.1)
18～19歳		11	-	高齢者の福祉を充実する/仕事と子育てが両立する働き方を実現する/学校教育を充実する/ 母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する/中心市街地の活性化を推進する/観光を振興する /商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業や創業への支援を充実する/公園・緑地を整備 する/国際交流や国際協力をすすめる/芸術・文化活動を振興する/男女共同参画を推進する (9.1)			
20 代		66	-	食品の安全を守る (12.1)	高齢者の福祉を充実 する (10.6)	雇用の場を広げる/交通事故から県民を守る/ 青少年を健全に育てる (9.1)	
30 代		93	学校教育を充実する (11.8)	食品の安全を守る/犯罪防止対策をすすめる (10.8)		交通事故から県民を 守る (9.7)	道路を整備する/安心し て飲める良質な水道水 を供給する/大気汚染、 水質汚濁、騒音などの 環境対策をすすめる (8.6)
40 代		162	仕事と子育てが両立 する働き方を実現する (17.3)	医療サービス体制を 整備する (14.8)	犯罪防止対策をすす める (14.2)	学校教育を充実する (12.3)	道路を整備する (11.7)
50 代		137	-	食品の安全を守る/仕事と子育てが両立する 働き方を実現する (11.7)		道路を整備する (10.9)	犯罪防止対策をすす める/自然を守り、緑を 育てる (9.5)
60～64歳		77	便利な交通網を整備 する (15.6)	雇用の場を広げる/障害のある人の福祉や社 会参加の支援を充実する (9.1)		東京電力福島第一原子力発電所事故の影響 から県民を守る/安心して飲める良質な水道水 を供給する/下水道を整備する (7.8)	
65歳以上		270	次世代を担う子どもの 育成支援を充実する (14.1)	健康づくりをすすめ て、病気を予防する (13.0)	安心して飲める良質 な水道水を供給する (11.1)	犯罪防止対策をすす める (10.0)	東京電力福島第一原 子力発電所事故の影 響から県民を守る (8.5)

（１－１）各政策への具体的な要望

問45 問44で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。問44で選んだ３項目についてのみ、具体的要望項目から１つずつ選んで番号に○をつけてください。（○はそれぞれ１つ）

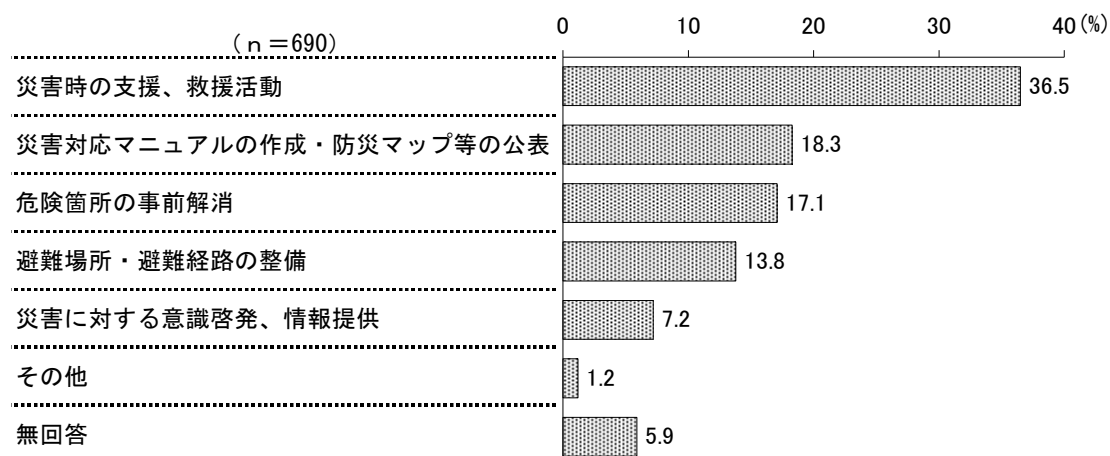
問44で県政への要望を３つまでたずね、その選んだ要望に関して、それぞれ具体的にどのようなことを望んでいるかを聞いた。

ここからは、それぞれの結果を図示していくが、問44の回答状況次第では、nの値が少なくなるものもあり、その場合は参考ということを明示する。

１ 災害から県民を守る（44.8%、１位）

「災害時の支援、救援活動」（36.5%）が３割台半ばで最も高く、以下、「災害対応マニュアルの作成・防災マップ等の公表」（18.3%）、「危険箇所の事前解消」（17.1%）が続く。（図表９－６）

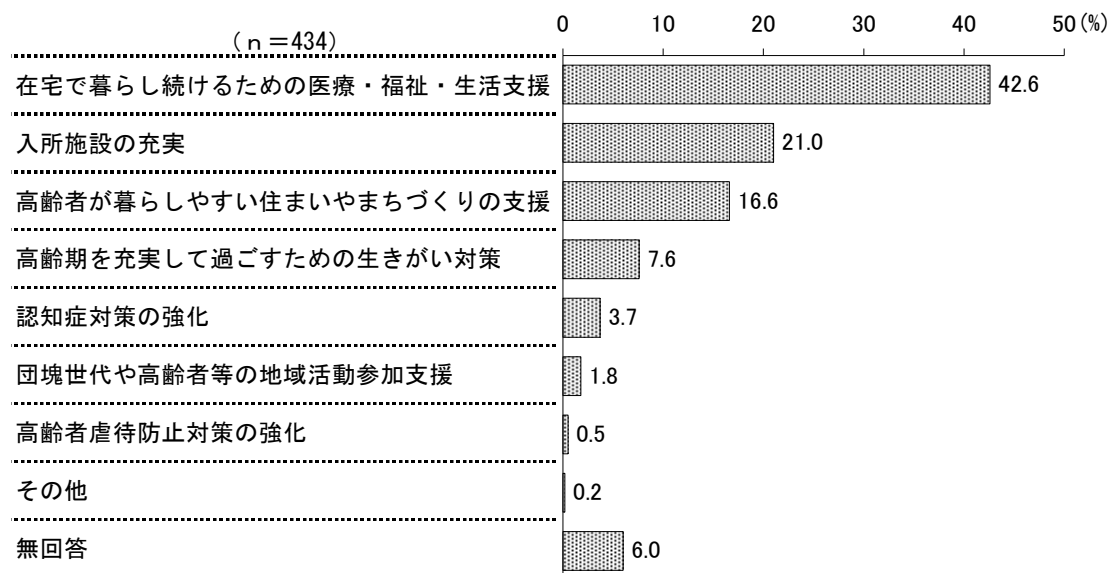
＜図表９－６＞災害から県民を守る



2 高齢者の福祉を充実する（28.2%、2位）

「在宅で暮らし続けるための医療・福祉・生活支援」（42.6%）が4割を超えて最も高く、以下、「入所施設の充実」（21.0%）、「高齢者が暮らしやすい住まいやまちづくりの支援」（16.6%）が続く。（図表9－7）

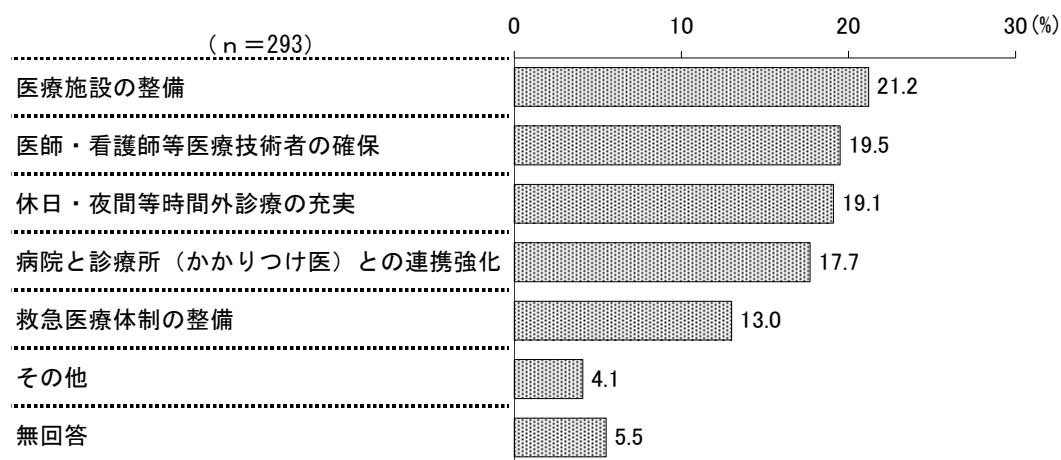
＜図表9－7＞高齢者の福祉を充実する



3 医療サービス体制を整備する（19.0%、3位）

「医療施設の整備」（21.2%）が2割を超えて最も高く、以下、「医師・看護師等医療技術者の確保」（19.5%）、「休日・夜間等時間外診療の充実」（19.1%）が続く。（図表9－8）

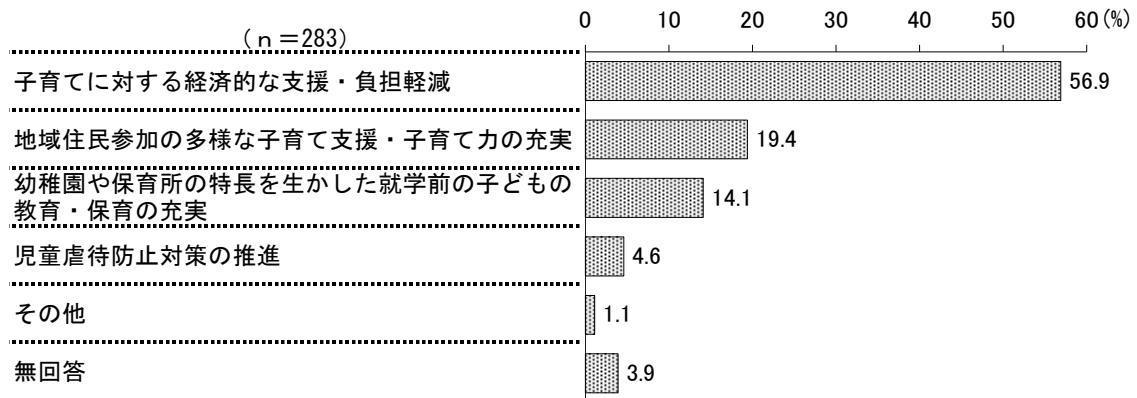
＜図表9－8＞医療サービス体制を整備する



4 次世代を担う子どもの育成支援を充実する（18.4%、4位）

「子育てに対する経済的な支援・負担軽減」（56.9%）が5割台半ばで最も高く、以下、「地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実」（19.4%）、「幼稚園や保育所の特長を生かした就学前の子どもの教育・保育の充実」（14.1%）が続く。（図表9－9）

＜図表9－9＞次世代を担う子どもの育成支援を充実する

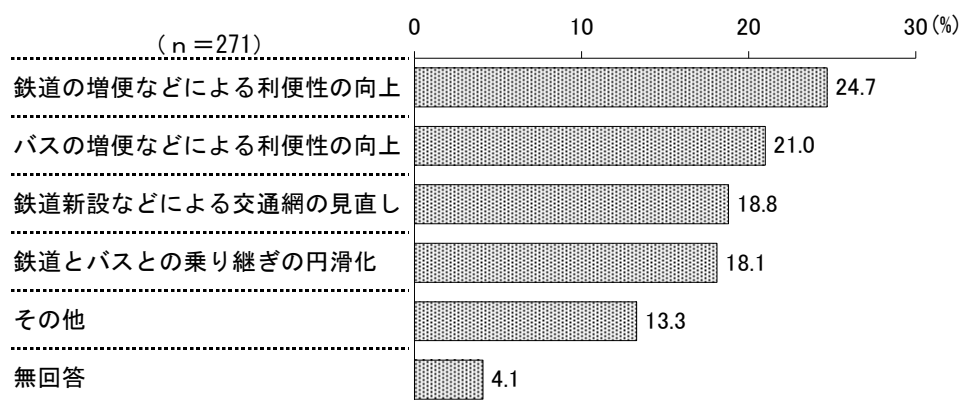


5 便利な交通網を整備する（17.6%、5位）

「鉄道の増便などによる利便性の向上」（24.7%）が2割台半ばで最も高く、以下、「バスの増便などによる利便性の向上」（21.0%）、「鉄道新設などによる交通網の見直し」（18.8%）が続く。

（図表9－10）

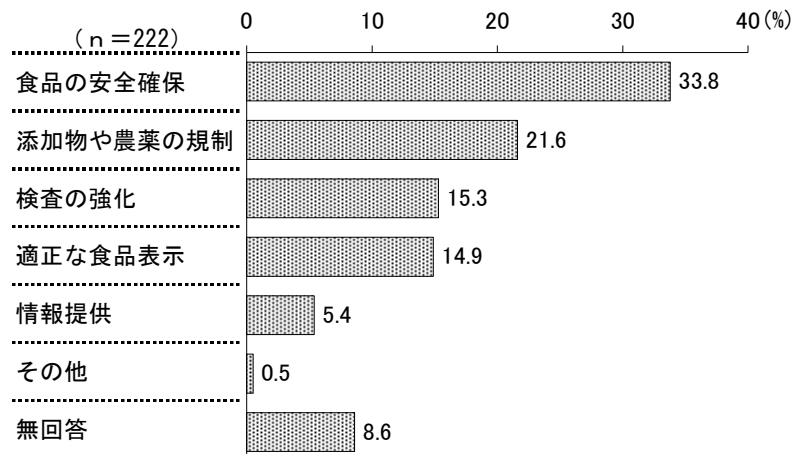
＜図表9－10＞便利な交通網を整備する



6 食品の安全を守る（14.4%、6位）

「食品の安全確保」（33.8%）が3割台半ばで最も高く、以下、「添加物や農薬の規制」（21.6%）、「検査の強化」（15.3%）が続く。（図表9－11）

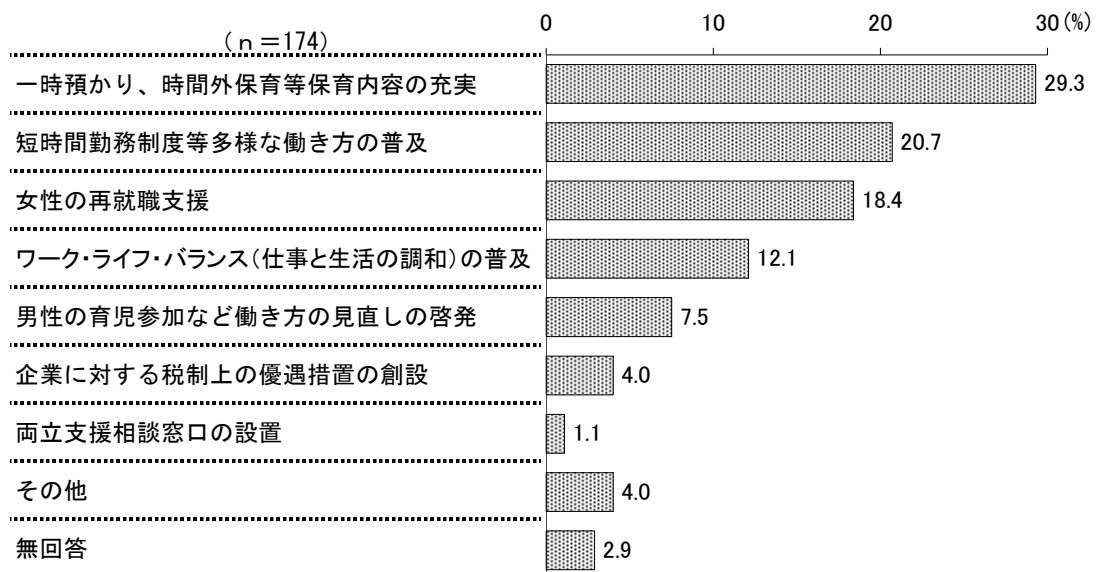
＜図表9－11＞食品の安全を守る



7 仕事と子育てが両立する働き方を実現する（11.3%、7位）

「一時預かり、時間外保育等保育内容の充実」（29.3%）が約3割で最も高く、以下、「短時間勤務制度等多様な働き方の普及」（20.7%）、「女性の再就職支援」（18.4%）が続く。（図表9－12）

＜図表9－12＞仕事と子育てが両立する働き方を実現する

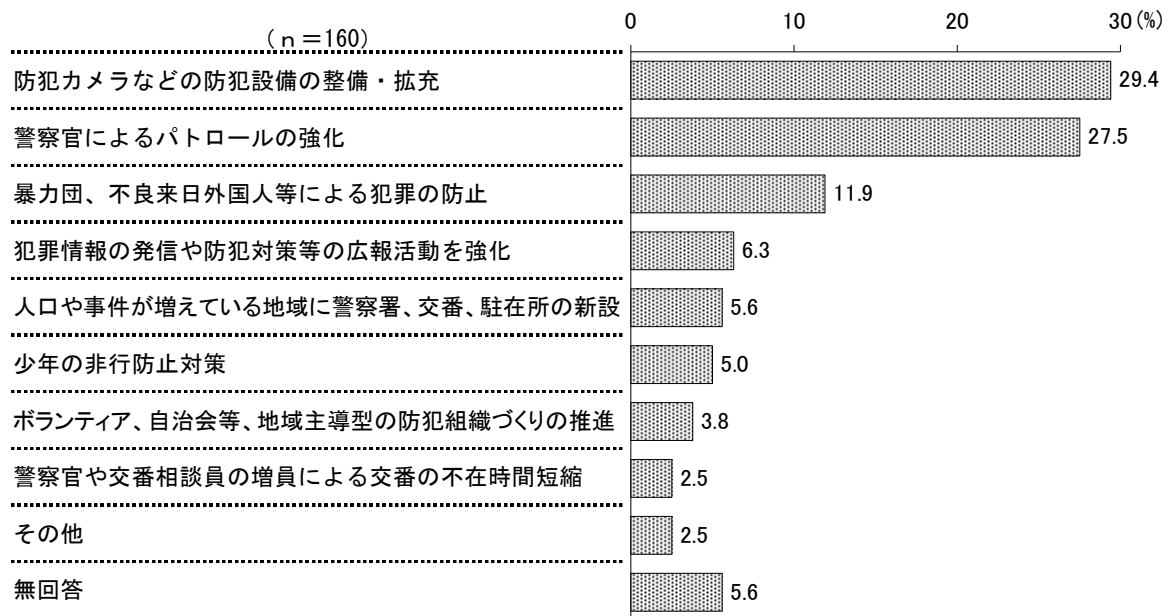


8 犯罪防止対策をすすめる（10.4%、8位）

「防犯カメラなどの防犯設備の整備・拡充」（29.4%）が約3割で最も高く、以下、「警察官によるパトロールの強化」（27.5%）、「暴力団、不良来日外国人等による犯罪の防止」（11.9%）が続く。

（図表9-13）

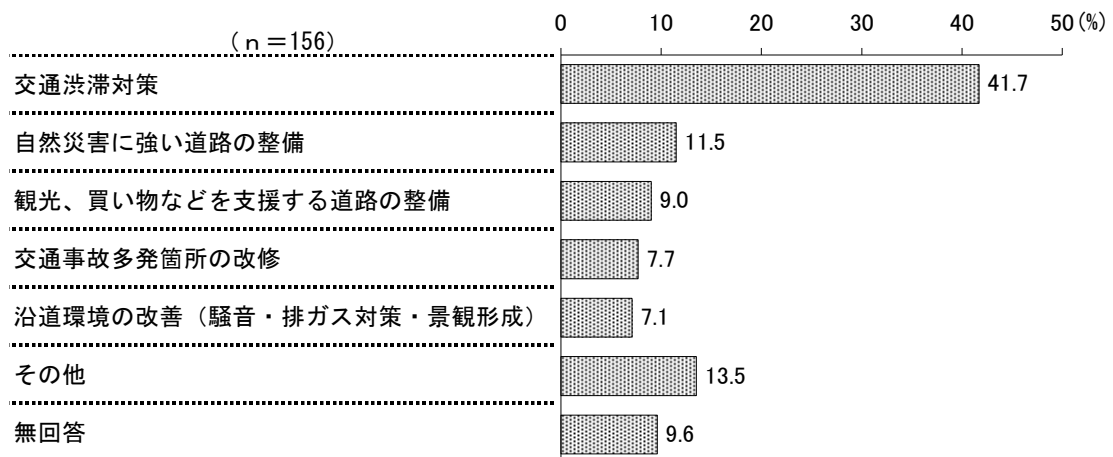
＜図表9-13＞犯罪防止対策をすすめる



9 道路を整備する（10.1%、9位）

「交通渋滞対策」（41.7%）が4割を超えて最も高く、以下、「自然災害に強い道路の整備」（11.5%）、「観光、買い物などを支援する道路の整備」（9.0%）が続く。（図表9-14）

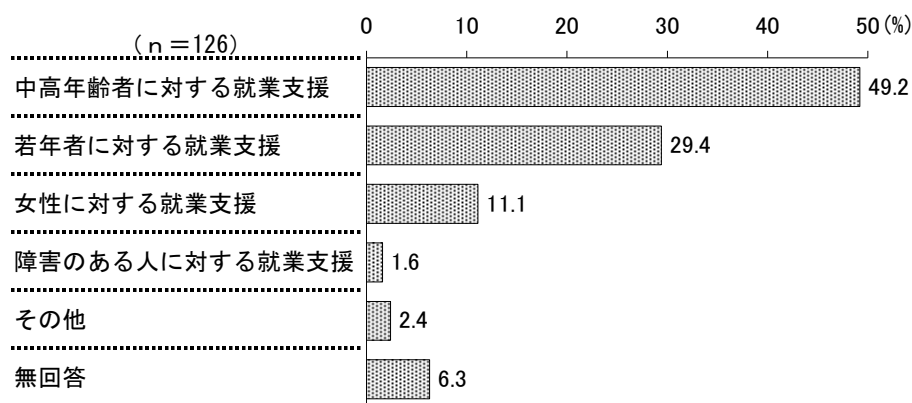
＜図表9-14＞道路を整備する



10 雇用の場を広げる（8.2%、10位）

「中高年齢者に対する就業支援」（49.2%）が約5割で最も高く、以下、「若年者に対する就業支援」（29.4%）、「女性に対する就業支援」（11.1%）が続く。（図表9-15）

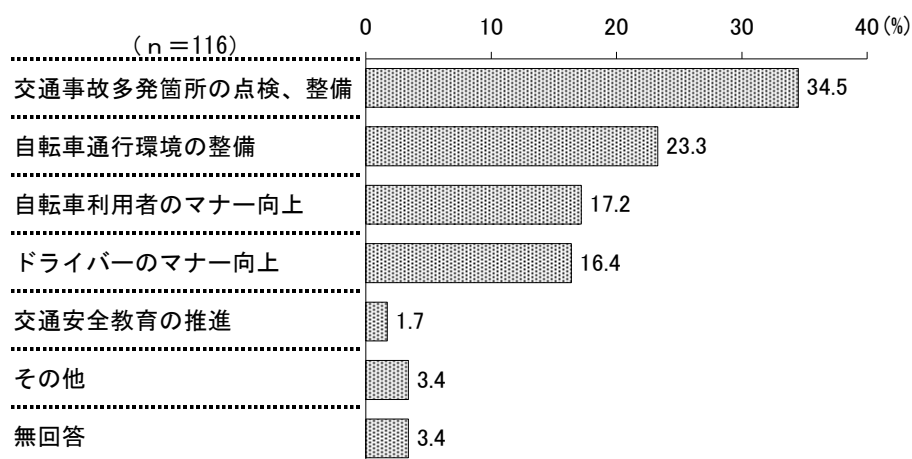
＜図表9-15＞雇用の場を広げる



11 交通事故から県民を守る（7.5%、11位）

「交通事故多発箇所の点検、整備」（34.5%）が3割台半ばで最も高く、以下、「自転車通行環境の整備」（23.3%）、「自転車利用者のマナー向上」（17.2%）が続く。（図表9-16）

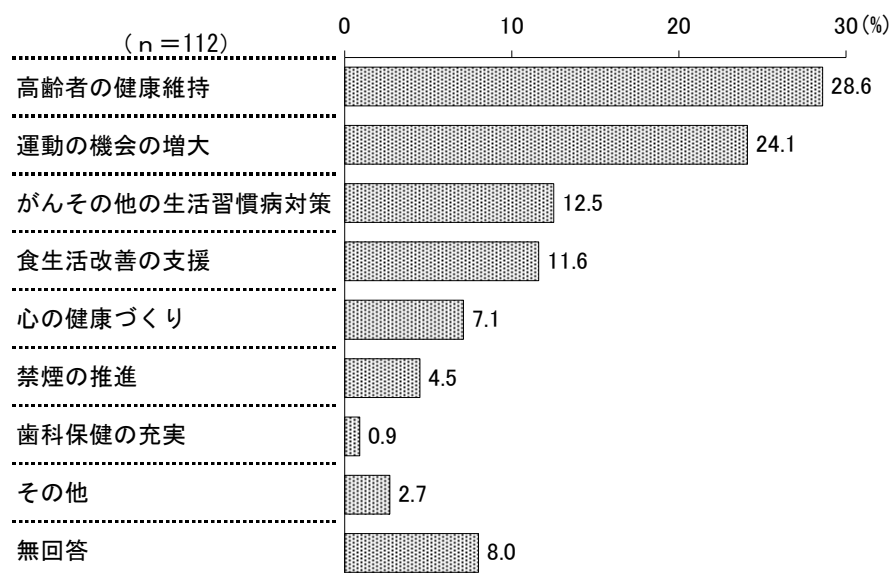
＜図表9-16＞交通事故から県民を守る



12 健康づくりをすすめて、病気を予防する（7.3%、12位）

「高齢者の健康維持」（28.6%）が約3割で最も高く、以下、「運動の機会の増大」（24.1%）、「がんその他の生活習慣病対策」（12.5%）、「食生活改善の支援」（11.6%）が続く。（図表9－17）

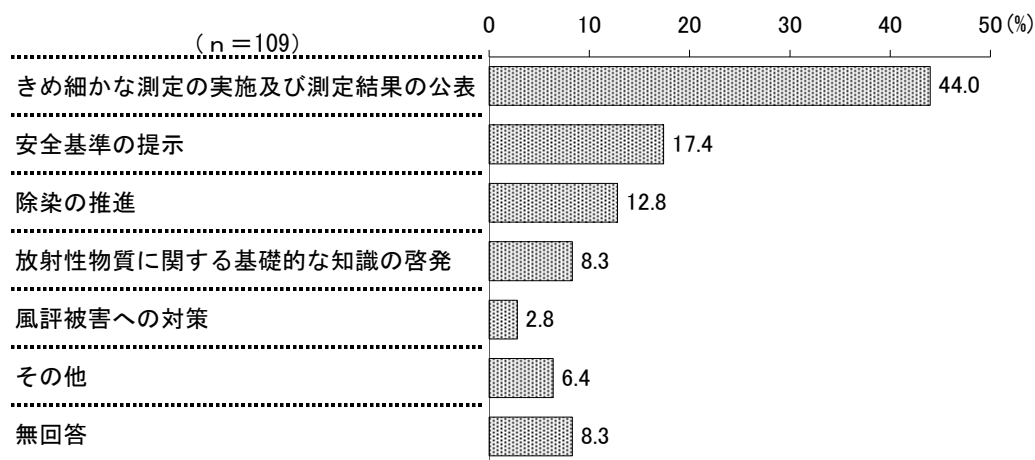
＜図表9－17＞健康づくりをすすめて、病気を予防する



13 東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る（7.1%、13位）

「きめ細かな測定の実施及び測定結果の公表」（44.0%）が4割台半ばで最も高く、以下、「安全基準の提示」（17.4%）、「除染の推進」（12.8%）が続く。（図表9－18）

＜図表9－18＞東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る



14 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する（7.0%、14位）

「障害のある人が暮らしやすいまちづくり」（38.0%）が約4割で最も高く、以下、「入所施設やグループホームなど住まいの場の充実」（18.5%）、「経済的な支援・負担の軽減」（18.5%）、「就労・社会参加の促進」（16.7%）が続く。（図表9－19）

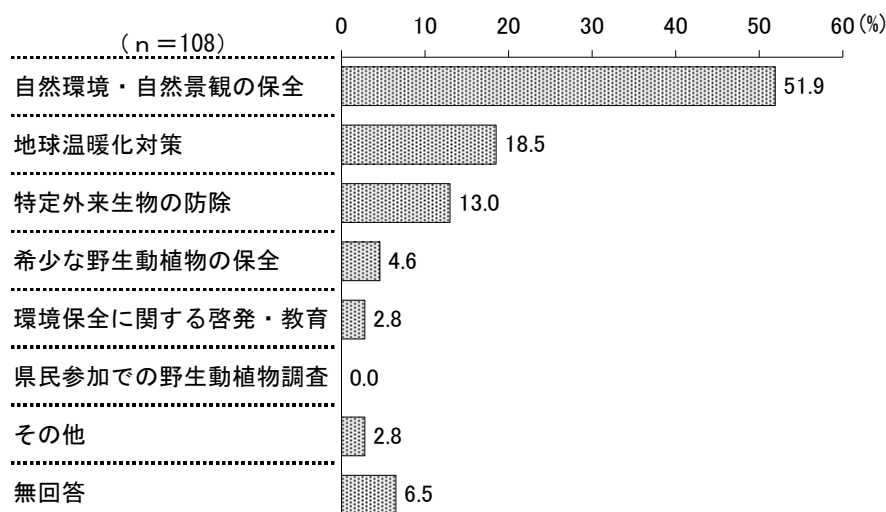
＜図表9－19＞障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する



15 自然を守り、緑を育てる（7.0%、14位）

「自然環境・自然景観の保全」（51.9%）が5割を超えて最も高く、以下、「地球温暖化対策」（18.5%）、「特定外来生物の防除」（13.0%）が続く。（図表9－20）

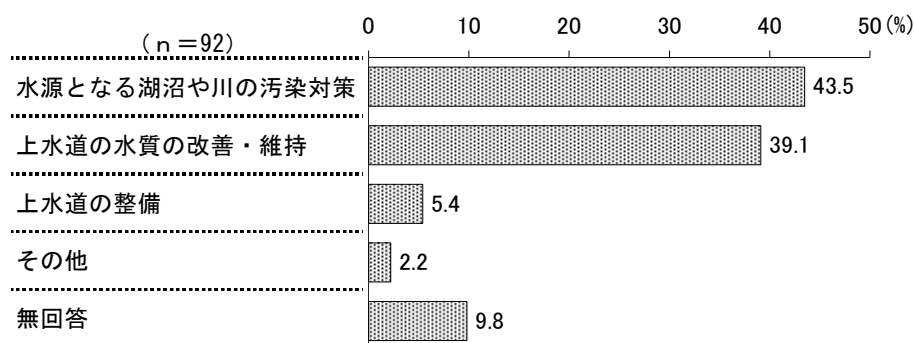
＜図表9－20＞自然を守り、緑を育てる



16 安心して飲める良質な水道水を供給する（6.0%、16位）

「水源となる湖沼や川の汚染対策」（43.5%）が4割台半ばで最も高く、以下、「上水道の水質の改善・維持」（39.1%）が続く。（図表9-21）

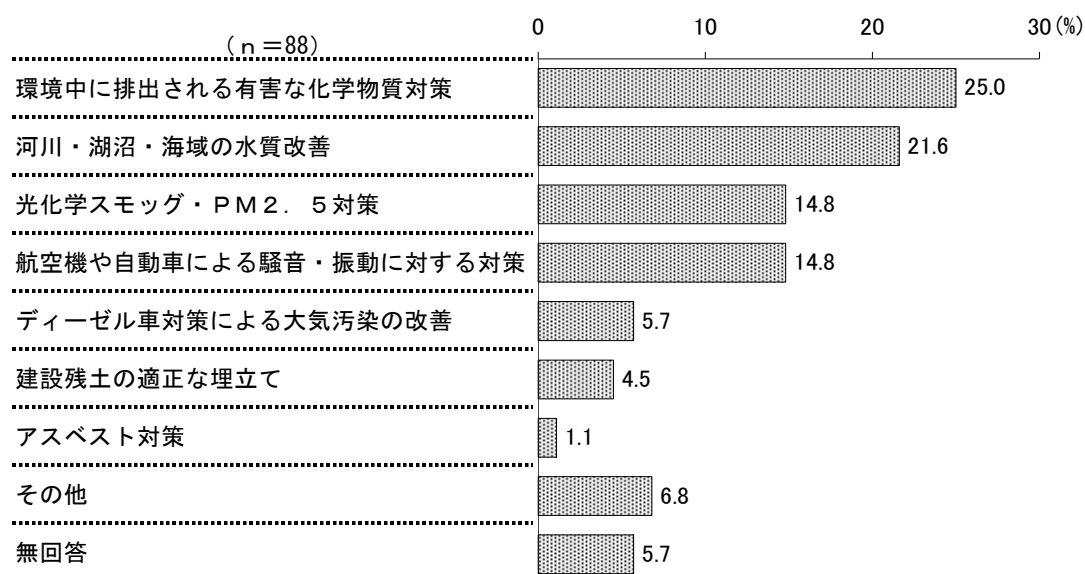
＜図表9-21＞安心して飲める良質な水道水を供給する



17 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる（5.7%、17位）

「環境中に排出される有害な化学物質対策」（25.0%）が2割台半ばで最も高く、以下、「河川・湖沼・海域の水質改善」（21.6%）、「光化学スモッグ・PM2.5対策」（14.8%）、「航空機や自動車による騒音・振動に対する対策」（14.8%）が続く。（図表9-22）

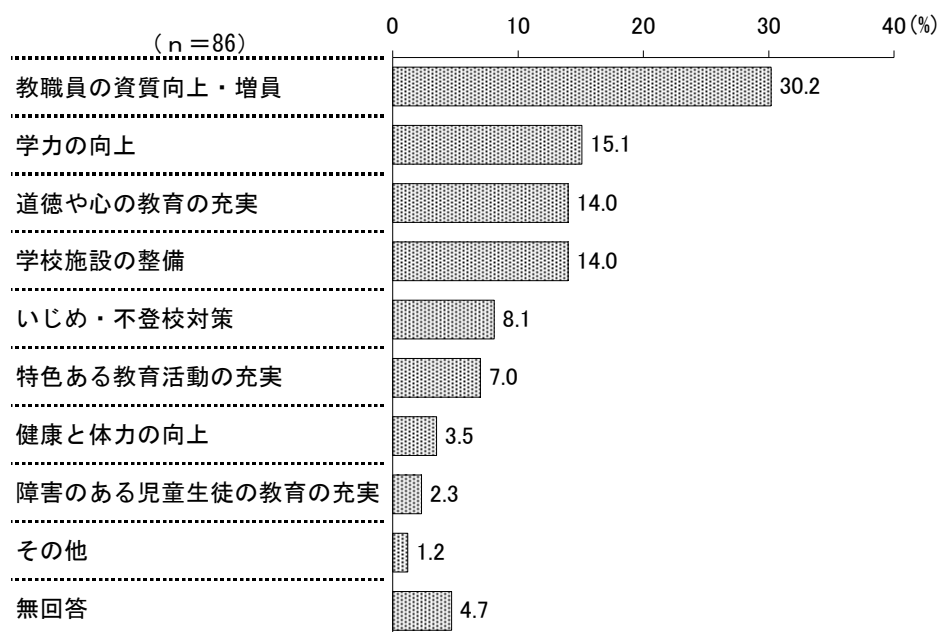
＜図表9-22＞大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる



18 学校教育を充実する（5.6%、18位）

「教職員の資質向上・増員」（30.2%）が3割で最も高く、以下、「学力の向上」（15.1%）、「道徳や心の教育の充実」（14.0%）、「学校施設の整備」（14.0%）が続く。（図表9-23）

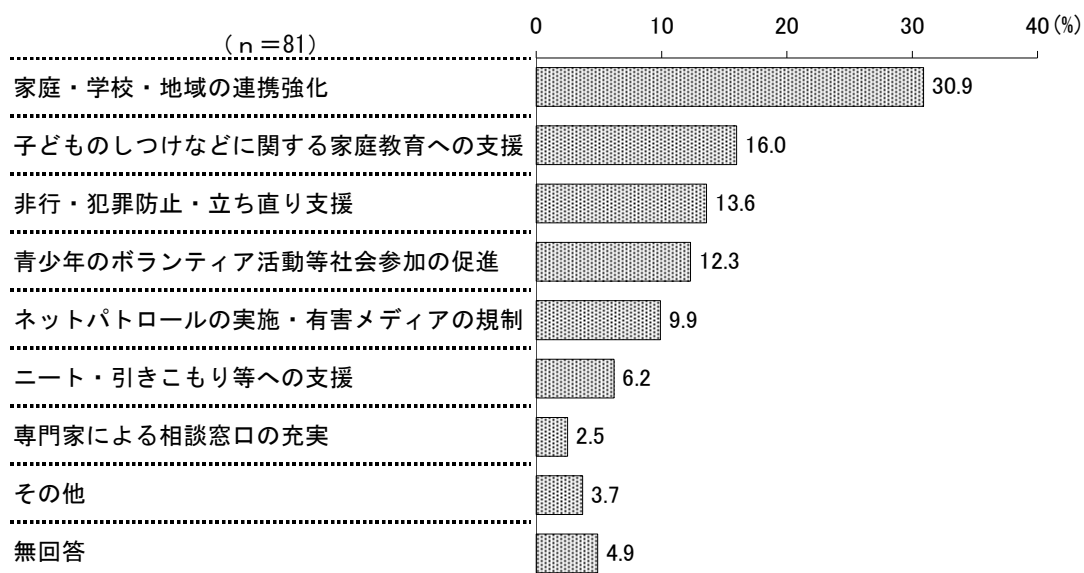
＜図表9-23＞学校教育を充実する



19 青少年を健全に育てる（5.3%、19位）

「家庭・学校・地域の連携強化」（30.9%）が3割で最も高く、以下、「子どものしつけなどに関する家庭教育への支援」（16.0%）、「非行・犯罪防止・立ち直り支援」（13.6%）、「青少年のボランティア活動等社会参加の促進」（12.3%）が続く。（図表9-24）

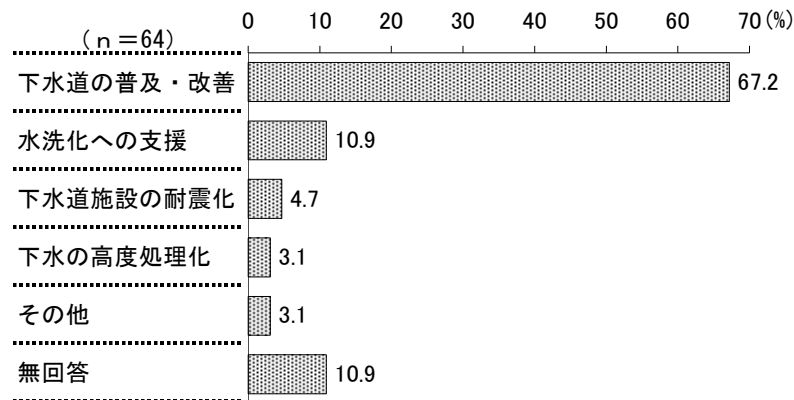
＜図表9-24＞青少年を健全に育てる



20 下水道を整備する（4.2%、20位）

「下水道の普及・改善」（67.2%）が約7割で最も高く、以下、「水洗化への支援」（10.9%）が続く。（図表9-25）

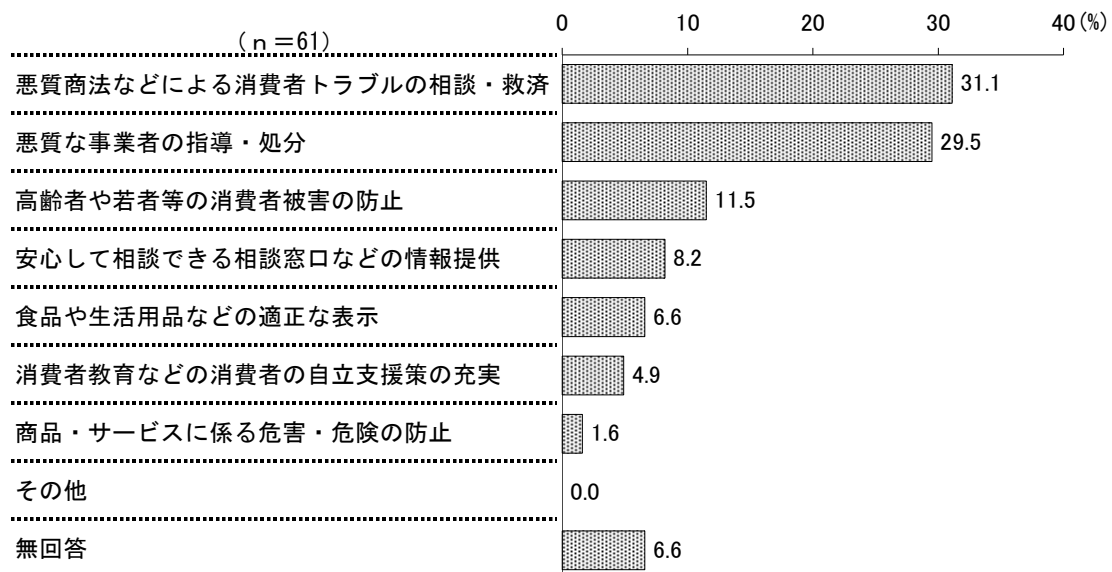
＜図表9-25＞下水道を整備する



21 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる（4.0%、21位）

「悪質商法などによる消費者トラブルの相談・救済」（31.1%）が3割を超えて最も高く、以下、「悪質な事業者の指導・処分」（29.5%）、「高齢者や若者等の消費者被害の防止」（11.5%）が続く。（図表9-26）

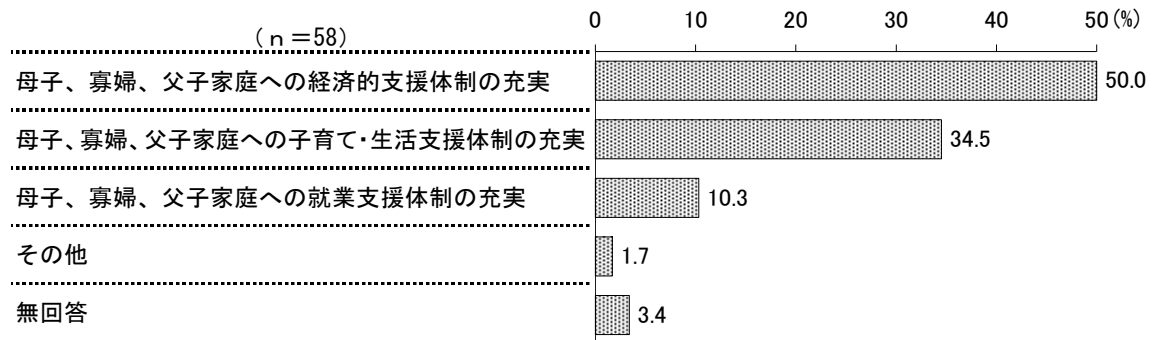
＜図表9-26＞消費生活のトラブルに関する対策をすすめる



22 母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する（3.8%、22位）

「母子、寡婦、父子家庭への経済的支援体制の充実」（50.0%）が5割で最も高く、以下、「母子、寡婦、父子家庭への子育て・生活支援体制の充実」（34.5%）、「母子、寡婦、父子家庭への就業支援体制の充実」（10.3%）が続く。（図表9－27）

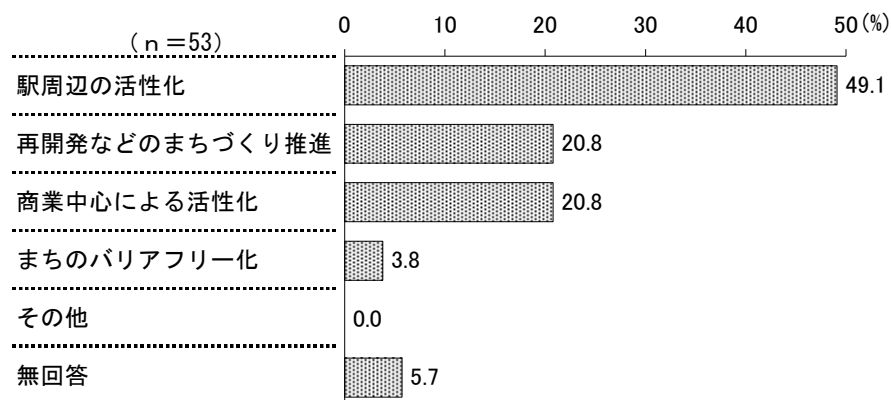
＜図表9－27＞母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する



23 中心市街地の活性化を推進する（3.4%、23位）

「駅周辺の活性化」（49.1%）が約5割で最も高く、以下、「再開発などのまちづくり推進」（20.8%）、「商業中心による活性化」（20.8%）が続く。（図表9－28）

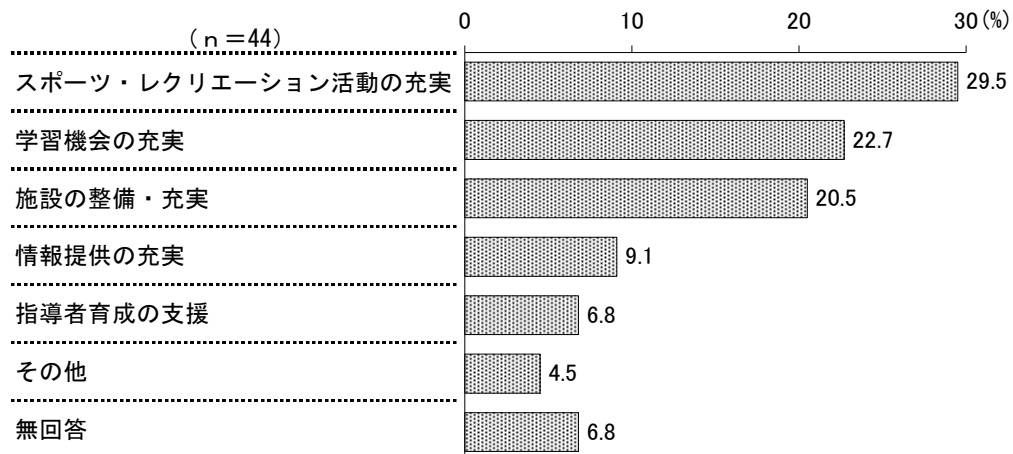
＜図表9－28＞中心市街地の活性化を推進する



24 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する（2.9%、24位）

「スポーツ・レクリエーション活動の充実」（29.5%）が約3割で最も高く、以下、「学習機会の充実」（22.7%）、「施設の整備・充実」（20.5%）が続く。（図表9－29）

＜図表9－29＞生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する

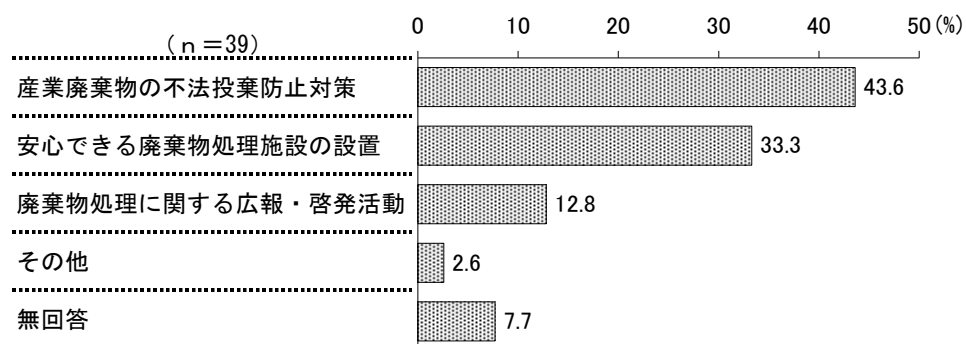


25 廃棄物対策をすすめる（2.5%、25位）

「産業廃棄物の不法投棄防止対策」（43.6%）が4割台半ばで最も高く、以下、「安心できる廃棄物処理施設の設置」（33.3%）、「廃棄物処理に関する広報・啓発活動」（12.8%）が続く。

（図表9－30）

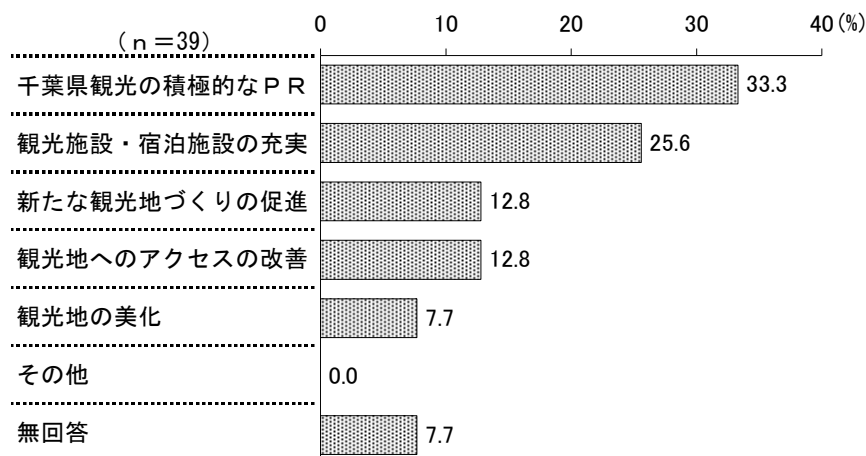
＜図表9－30＞廃棄物対策をすすめる



26 観光を振興する（2.5%、25位）

「千葉県観光の積極的なPR」（33.3%）が3割を超えて最も高く、以下、「観光施設・宿泊施設の充実」（25.6%）、「新たな観光地づくりの促進」（12.8%）、「観光地へのアクセスの改善」（12.8%）が続く。（図表9-31）

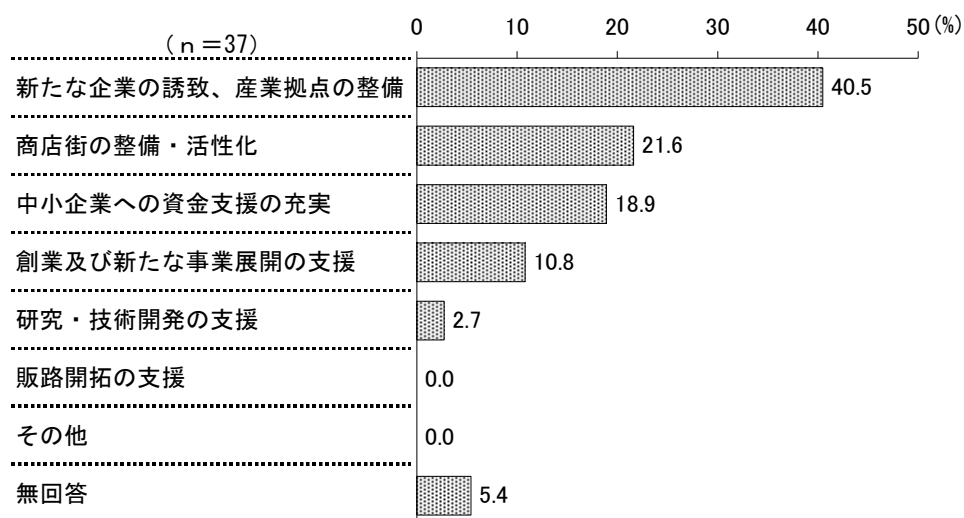
＜図表9-31＞観光を振興する



27 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する（2.4%、27位）

「新たな企業の誘致、産業拠点の整備」（40.5%）が4割で最も高く、以下、「商店街の整備・活性化」（21.6%）、「中小企業への資金支援の充実」（18.9%）が続く。（図表9-32）

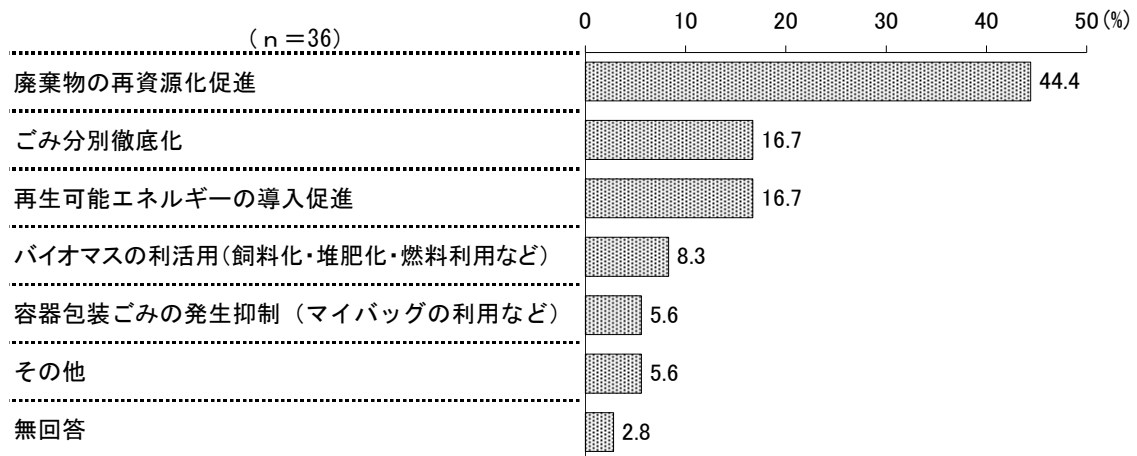
＜図表9-32＞商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する



28 省資源やリサイクルをすすめる（2.3%、28位）

「廃棄物の再資源化促進」（44.4%）が4割台半ばで最も高く、以下、「ごみ分別徹底化」（16.7%）、「再生可能エネルギーの導入促進」（16.7%）が続く。（図表9-33）

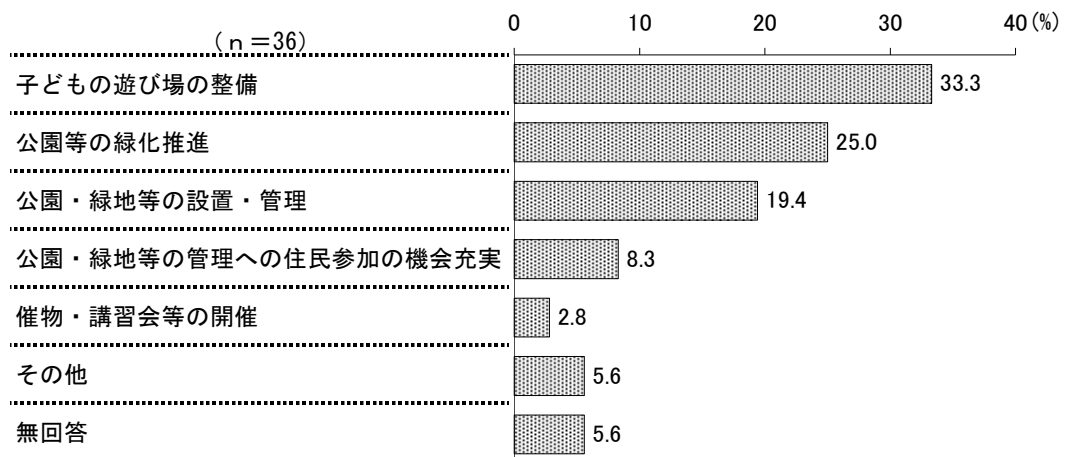
＜図表9-33＞省資源やリサイクルをすすめる



29 公園・緑地を整備する（2.3%、28位）

「子どもの遊び場の整備」（33.3%）が3割を超えて最も高く、以下、「公園等の緑化推進」（25.0%）、「公園・緑地等の設置・管理」（19.4%）が続く。（図表9-34）

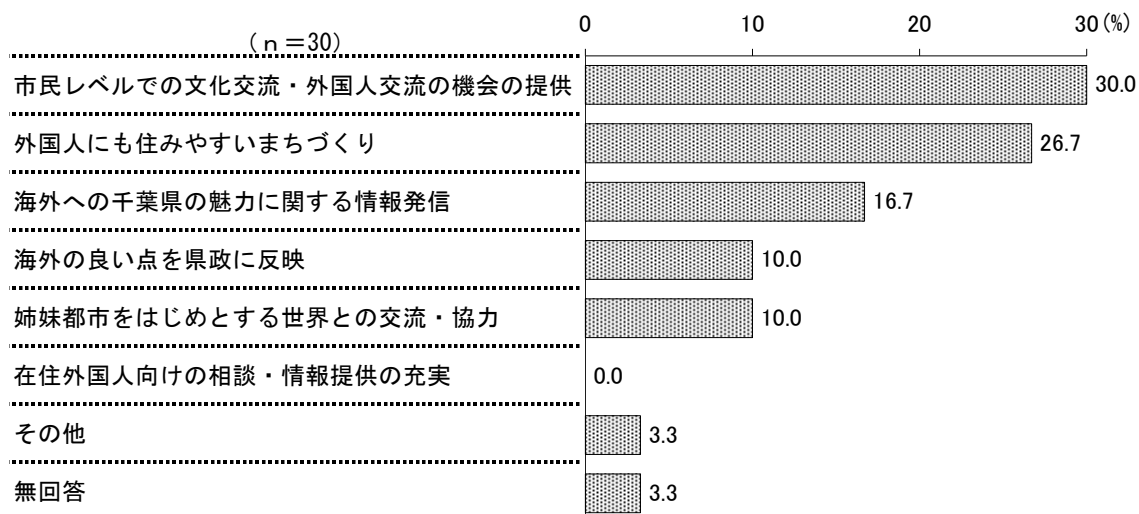
＜図表9-34＞公園・緑地を整備する



30 国際交流や国際協力をすすめる（1.9%、30位）

「市民レベルでの文化交流・外国人交流の機会の提供」（30.0%）が3割で最も高く、以下、「外国人にも住みやすいまちづくり」（26.7%）、「海外への千葉県の魅力に関する情報発信」（16.7%）が続く。（図表9－35）

＜図表9－35＞国際交流や国際協力をすすめる

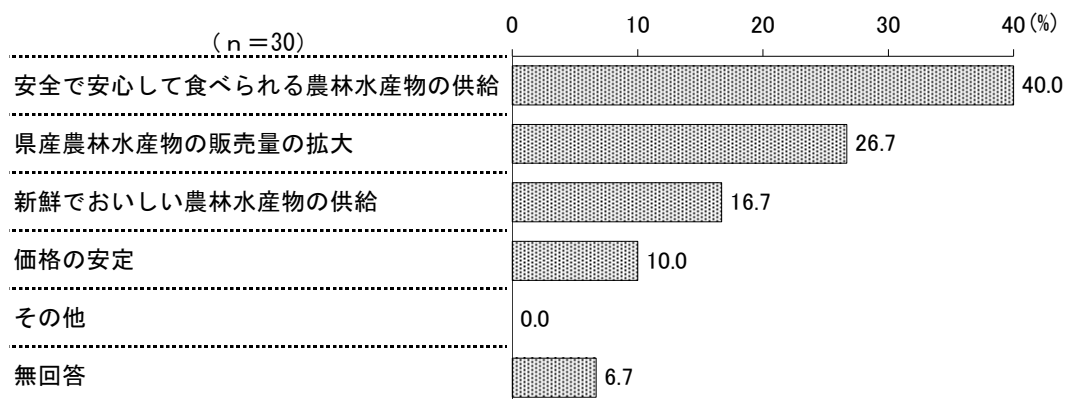


31 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する（1.9%、30位）

「安全で安心して食べられる農林水産物の供給」（40.0%）が4割で最も高く、以下、「県産農林水産物の販売量の拡大」（26.7%）、「新鮮でおいしい農林水産物の供給」（16.7%）が続く。

（図表9－36）

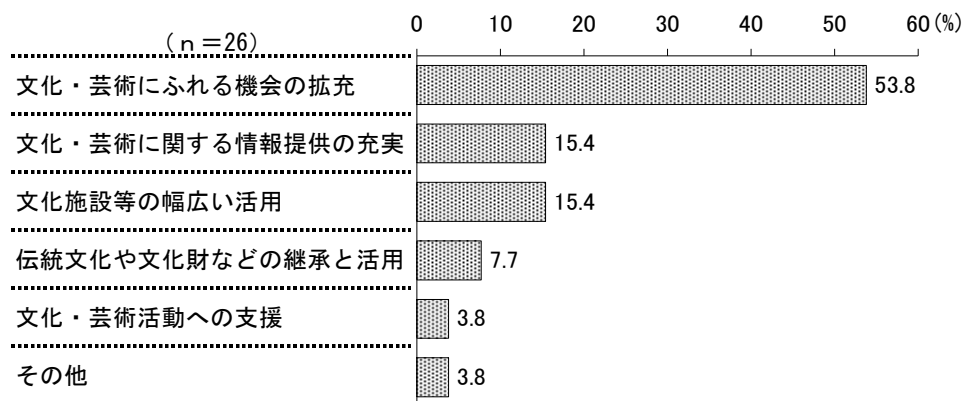
＜図表9－36＞農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する



32 芸術・文化活動を振興する（1.7%、32位）

「文化・芸術にふれる機会の拡充」（53.8%）が5割台半ばで最も高く、以下、「文化・芸術に関する情報提供の充実」（15.4%）、「文化施設等の幅広い活用」（15.4%）が続く。（図表9-37）

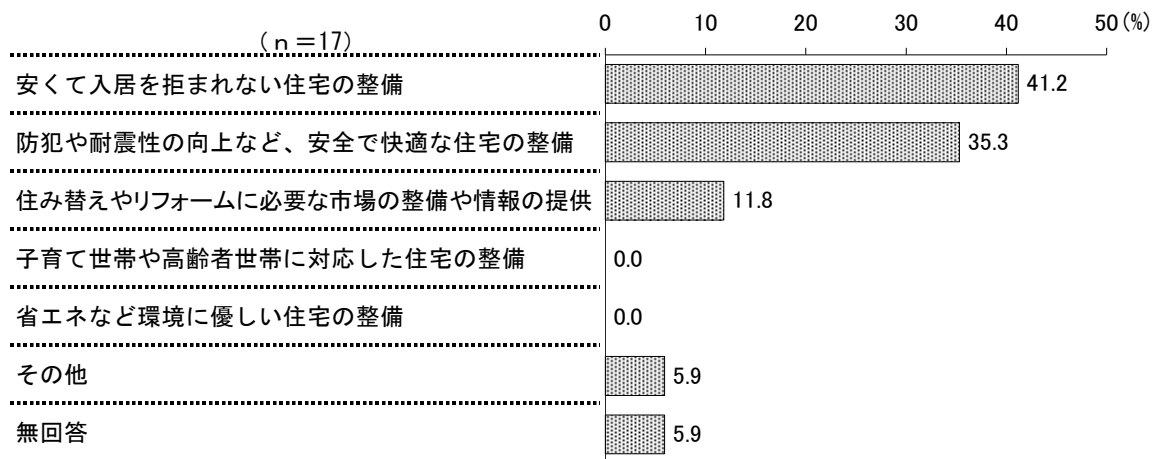
＜図表9-37＞芸術・文化活動を振興する



33 住宅対策を充実する（1.1%、33位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表9-38）

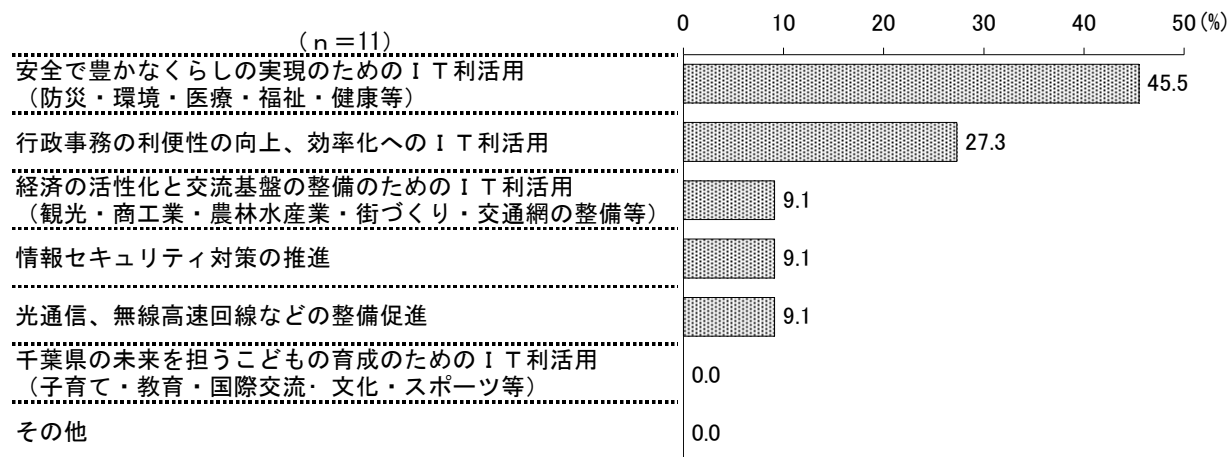
＜図表9-38＞住宅対策を充実する



34 施策実現や地域活性化のためのＩＴの利活用を進める（0.7%、34位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表９－39）

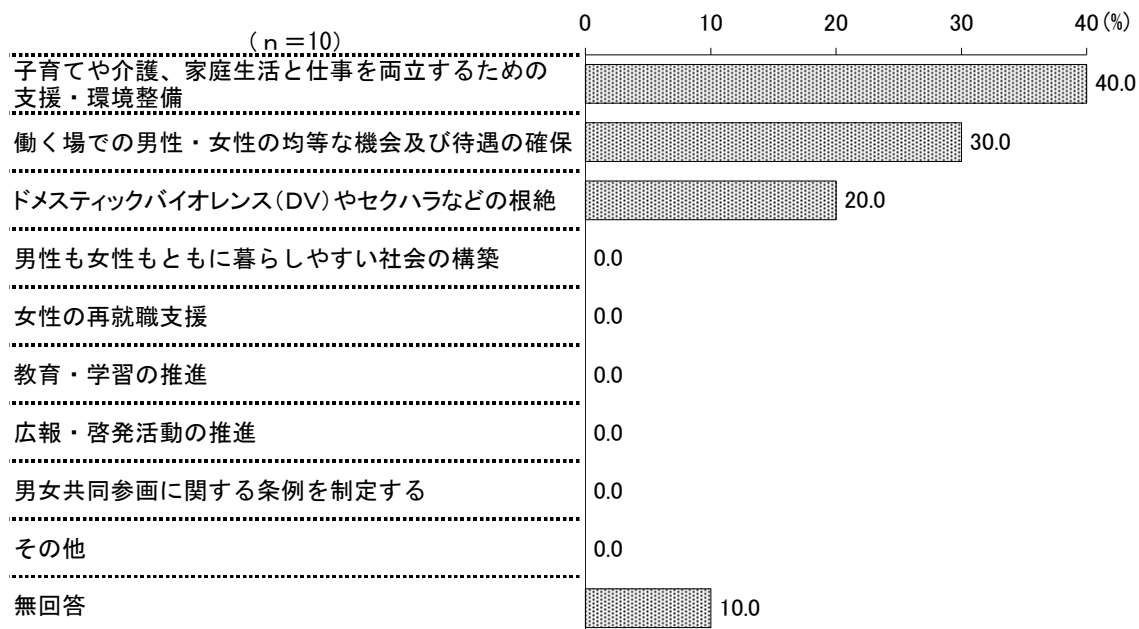
＜図表９－39＞施策実現や地域活性化のためのＩＴの利活用を進める



35 男女共同参画を推進する（0.6%、35位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表９－40）

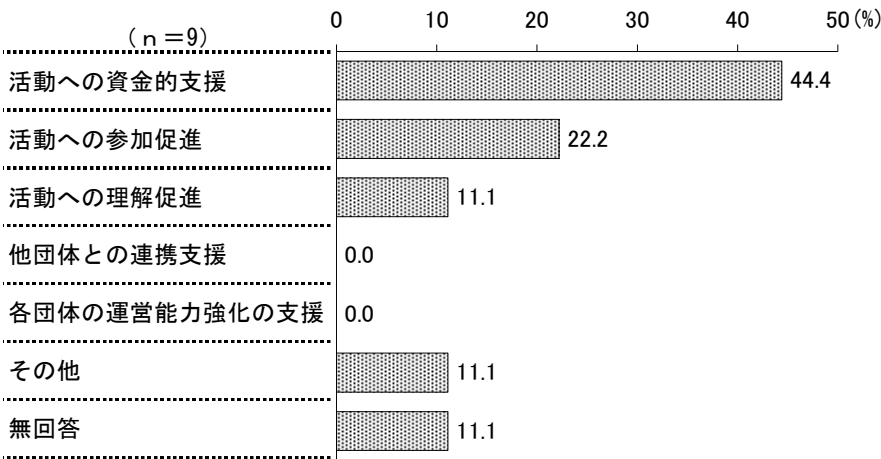
＜図表９－40＞男女共同参画を推進する



36 市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する（0.6%、35位）

n が少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表 9－41）

＜図表 9－41＞市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する



10 自由回答

問 県への意見があればご自由にお書きください。

県への意見を自由に記述していただいたところ、316人から延べ365件の回答が寄せられた。

記述いただいた内容は多岐に渡り、県政の各施策におおむね沿った形(合計32項目)で整理した。

なお、一人の回答が複数の内容に渡る場合には、原文の内容の趣旨がそこなわないよう回答を分け、それぞれの項目へ分類した。

また、紙面の都合上、全ての意見を掲載することはできないが、意見の多い項目に関しては、一部抜粋して記載するものとする。

【自由回答の項目順位】

順位	項目	件数
第1位	県政全般に関する要望	57
第2位	便利な交通網を整備する	46
第3位	道路を整備する	34
第4位	災害から県民を守る	24
第5位	次世代を担う子どもの育成支援を充実する	23
第6位	犯罪防止対策をすすめる	21
第7位	県政の情報発信について	18
第8位	高齢者の福祉を充実する	14
第9位	雇用の場を広げる	11
"	医療サービス体制を整備する	11
"	学校教育を充実する	11
第12位	中心市街地の活性化を推進する	7
第13位	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する	6
第14位	下水道を整備する	5
"	自然を守り、緑を育てる	5
第16位	観光を振興する	4
"	アクアラインについて	4
"	芸術・文化活動を振興する	4
第19位	公園・緑地・水辺を整備する	3
"	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる	3
"	交通事故から県民を守る	3
"	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る	3
第23位	母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する	2
"	省資源やリサイクルをすすめる	2
第25位	市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する	1
"	青少年を健全に育てる	1
"	仕事と子育てが両立する働き方を実現する	1
"	廃棄物対策をすすめる	1
"	生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する	1
	その他	39
	その他 うち、国政への要望	(5)
	その他 うち、住んでいる市町村への要望	(13)
	合 計（再掲分を含む 延べ数）	365

【自由回答の記述】（意見の多い項目の一部抜粋）

■県政全般に関する要望

- 道路のことなど、管轄がよくわからず、意見をあげる場所が市町村なのか県なのかかわからないので、一括で意見できる場があればいいと思う。（女性、30～39歳、東葛飾地域）
- 市政は近くにあるもののよう感じていたが、県政については考えたことがなかったので、今回は良い機会になった。千葉は便利な地域とそうでない地域の差が大きいと感じます。もっと千葉の人も千葉の中で遊べるようにして欲しいと思います。アクアラインは東京の人だけが便利な気がするの…。（女性、40～49歳、葛南地域）
- 都市機能の一極集中化が千葉県内でも進んでいると思います。田舎への移住者というものをときどき聞きますが、自然も大切ではあると思いますが、不便が過ぎるとそれも減少してしまうのではないかと考えています。移住者の高齢化が進んだとき、車の使用ができず買い物にも行けなくなれば、誰も移住して来なくなってしまうと思います。（女性、40～49歳、香取地域）
- 「チーバくん」の力は大きいです。私は、「チーバくん」がマスコットだから、多少生活環境が不便でも千葉県に住み続けているところがあります。更にいろいろなところに活用していただきたいと思います。（女性、50～59歳、葛南地域）
- 千葉県は都心に近く都会と同じような悩みをかかえている地域と、過疎地と同じような悩みをかかえている地域と問題が様々です。その地域にあった対策を市役所なり公の機関にきめ細かく指導してほしい。（女性、60～64歳、葛南地域）
- 市民と市政は身近な生活の中で関係は深いものがありますが、県民と県政、国民と国政に関する政策と予算は、遠い雲の上で手が届きそうな位置にありません。地方分権にかかる問がありました、国から県よりも更に市レベルまで下ろして頂けたらもっともって地方・地域再生につながるものと考えます。（男性、65歳以上、君津地域）
- 景気を良くして県の予算が増えれば、福祉や子育てに予算が増やせるので、景気対策を重点に予算を組んでほしい。（男性、65歳以上、千葉地域）

■ 便利な交通網を整備する

○県南部・東部への交通アクセスの改善を望みます。アクセスが向上すればより魅力的な県になると思います。(男性、40～49歳、葛南地域)

○千葉駅のリニューアルがとても楽しみです。蘇我駅ももう少しリニューアルしてほしい。
(男性、40～49歳、千葉地域)

○近くにスーパーマーケットがなく、車で行くのですが、高齢者になると運転できなくなるし、足が不自由な方は買い物に行けない。路線バスが少ない地域でも自由に高齢者が買い物に行けるように、住宅地から小型バス等で駅まで往復する手段があるとよい。
(男性、50～59歳、千葉地域)

○北総線の運賃が高すぎて、長い間電車に乗っていない。以前子どもが高校へ通学していたときも、バスの便が少なく電車も高いから、自転車通学でした。(女性、60～64歳、印旛地域)

○J R成田線は、日中1時間に3本運行してもらいたい。(男性、65歳以上、印旛地域)

■ 道路を整備する

○東京外かく環状道路を東関東自動車道まで早くつなげて欲しい。
(男性、30～39歳、東葛飾地域)

○都市部の電線類の地中化を進めてほしい。
(女性、30～39歳、葛南地域)

○県道8号線の舗装が傷んできています。亀裂、陥没があり、振動も強くなってきています。舗装をお願いしたいです。(女性、50～59歳、葛南地域)

○印旛沼周辺のサイクリング道路の両側は草が背の高さまで伸びています。以前はもう少し草刈りをする回数が多かった気がします。自転車と歩行者が同じ道を利用するので、ぶつかりそうになります。(女性、60～64歳、印旛地域)

○歩道がない県道が多く、あっても狭くて非常に歩きにくいので、最低でも通学路に指定されている道路は歩道を整備してもらいたい。(男性、60～64歳、印旛地域)

○県道51号線の本八幡駅前に至る道路の慢性的な渋滞を解決してほしい。船橋駅周辺の道路は、時間はかかりましたが見事に解決されました。(男性、65歳以上、葛南地域)

■災害から県民を守る

○避難所や避難場所が人口に対して足りるのか不安です。(女性、30～39歳、葛南地域)

○被災したとき、動物たちへの支援にも力を入れてほしい。ペットも大切な家族です。

(女性、30～39歳、葛南地域)

○雨が降るとすぐ冠水する下水道を見直してほしい。(男性、40～49歳、葛南地域)

○災害時に地域の輪ができるようにいろいろなイベントを開催して交流を密になる工夫をしてほしい。助け合いの精神を大切にできる地域づくり。(女性、65歳以上、東葛飾地域)

○「ちば地震防災ガイド」が新聞折込で配布された。参考になったし、良い企画だと思う。

(女性、65歳以上、千葉地域)

■次世代を担う子どもの育成支援を充実する

○認定子ども園をもっと増やしてほしい。(女性、30～39歳、東葛飾地域)

○待機児童が増え続けているので、保育所を増やす、保育士の給与を上げるなどの対策をお願いします。流山市の送迎保育ステーションの取り組みも検討すべきだと思います。

(男性、30～39歳、東葛飾地域)

○待機児童を減らすための保育園の設置に対して、騒音の面から中断を余儀なくされるなどの矛盾が生じています。地域の住民に理解が得られていないからだと思いますが、これでは住みやすい地域とっていいかわかりません。(女性、40～49歳、葛南地域)

■犯罪防止対策をすすめる

○防犯にもっと力を入れてほしい。夜になると、細い道に入ると明かりもなく暗くあぶない道が多いと思います。(女性、30～39歳、葛南地域)

○東京オリンピック・パラリンピックでは外国人の入国が増えると予想されるので、テロ対策も含め、安全管理には十分力を入れていただきたい。(女性、40～49歳、印旛地域)

○暴走族が毎週やって来て迷惑している。取り締まりを強化してほしい。

(女性、40～49歳、千葉地域)

○悪徳商法の取り締まりを強化してほしい。電話でのセールスは、電話がかかってくるたびにびくびくすることがあります。相手が見えないだけにこわいです。電話に出たくないこともあります。(女性、50～59歳、君津地域)

■県政の情報発信について

○様々な媒体を使った千葉県の魅力のPRがまだまだ不足していると感じる。

(男性、30～39歳、千葉地域)

○ラインスタンプでの広報を検討してはいかがでしょうか。タイムラインに書き込みがあれば、若い世代の関心が変わってくる可能性があると思います。(女性、40～49歳、千葉地域)

○予算執行や県議会の議事録公開など徹底した情報公開及び透明性の確保、責任ある行動をお願いします。(男性、40～49歳、東葛飾地域)

○インターネットを利用できない人のために、「ちば県民だより」はなくさないでください。

(女性、65歳以上、千葉地域)

■高齢者の福祉を充実する

○子育てと介護が重なっていて本当に大変です。いざというときに助けてくれるサービスや、情報を提供してほしい。(女性、30～39歳、千葉地域)

○年金生活でも高齢者が安心して暮らせる高齢者向け住宅を整備してほしい。

(男性、40～49歳、長生地域)

○高齢者の憩いの場所が少ないと思います。病気にならないように体を動かしたいです。お金があまりかからず楽しく運動できる場所がほしいです。(女性、65歳以上、葛南地域)

○介護施設を増やしてほしい。介護職員の待遇を良くしてほしい。

(女性、65歳以上、東葛飾地域)

○住んでいる所は近所つき合いがありません。家で倒れたとき、どう発見してもらえるか不安です。何か公的なシステムが必要だと感じています。(女性、65歳以上、山武地域)

■雇用の場を広げる

○若者が県内の中小企業へ目を向けるきっかけを作れば、人材が都内に流れることなく県内で働き、生きていこうと思えるのではないか。(女性、18～19歳、君津地域)

○パート・アルバイトの給料を生活できるレベルに引き上げてほしい。働きやすい求人を増やしてほしい。(男性、30～39歳、千葉地域)

○物価は都内とあまり変わらないのに、県内の時給は低く、東京と同じレベルにしないと、若い人は県内より都内を選ぶ人が増え、地域は高齢者だけになってしまいます。

(女性、50～59歳、葛南地域)

○最近、若い働き手が減少しているように感じます。高齢者ばかりでは地域社会を維持することさえ困難になっています。社会の変化に対応することを集めていただければと思います。

(男性、60～64歳、山武地域)

○高齢者が働ける職業、職場が増えればよいと思う。(女性、65歳以上、東葛飾地域)

■医療サービス体制を整備する

○不妊治療についての支援や対象を充実してほしい。(男性、20～29歳、東葛飾地域)

○外来患者に対するあまりにも簡単な診察、不親切な対応に憤りを感じることがあります。「心に串がささる者」と書く「患者」にはやさしくしてほしい。(女性、40～49歳、海匝地域)

○地域ごとの医師の確保、医療格差の改善をお願いしたい。(女性、50～59歳、海匝地域)

○ドクターヘリの導入は画期的です。知人がお世話になり感謝しています。

(女性、65歳以上、葛南地域)

■学校教育を充実する

○県立高校のトイレをきれいにしてほしい。県立高校が災害時の避難場所になるのなら、高齢者にやさしい洋式トイレに改修するべき。(女性、50～59歳、葛南地域)

○公立学校の老朽化対策、居住性の改善を実施してほしい。(男性、50～59歳、東葛飾地域)

○特別支援学級の担任、担当の先生方の理解が足りないと思います。特に発達障害の子は、見た目では分かりにくく、普通のクラスに入っていじめられてしまいます。担当になったら、プライド持って子どもを理解し接してほしい。(女性、60～64歳、葛南地域)

○学校の統廃合や教員の頻繁な異動があつて、小・中学校や高校が地域活動の中核的役割を果たしていない。(男性、65歳以上、千葉地域)

問 また、この「世論調査」について、ご意見やご提案があればお書きください。

この「世論調査」に関する意見を自由に記述していただいたところ、156人からの回答が寄せられた。これらのご意見から、一部抜粋して記載した。

○封筒に回答期限を明記していただけると助かります。開封しないままでも期限がわかる方がよいと思います。(女性、30～39歳、葛南地域)

○簡単で答えやすいが、回答する気がある人にはもの足りなさも感じる。無難なアンケートで良いと思います。(男性、40～49歳、千葉地域)

○インターネットで回答できるとよい。(男性、40～49歳、君津地域)

○このような調査の機会は、定期的、継続的に行うべきである。(女性、40～49歳、印旛地域)

○県政にどのように反映されているか随時周知してほしい。(女性、50～59歳、東葛飾地域)

○初めてのことでしたが、もっと多く意見を述べる機会が必要だと思います。

(女性、50～59歳、東葛飾地域)

○専門的なアンケートに驚きました。また、質問が多すぎ疲れました。もう少し簡単な方法を考えられたらと思いました。(女性、65歳以上、千葉地域)

○1つの事柄に関してもう少し掘り下げた質問があつたら、より深く知ることができると思いました。(女性、65歳以上、千葉地域)

(付) 調査票および単純集計結果

第52回 千葉県政に関する世論調査

ご記入にあたってのお願い

- 1 ご回答は、この調査票に黒か青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- 2 回答は、原則としてあてはまるものに○をつけてください。質問は、(○は1つ)、(○は3つまで)、(○はいくつでも) などと表示していますので、そちらに合わせてください。

また、質問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印にしたがってください。特にことわりのない場合は、次の質問に進んでください。
- 3 お答えが選択肢の中にない場合は、「その他」を選び、() 内にその内容を具体的に記入してください。
- 4 ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、9月7日(水)までに郵便ポストに投函してください。
※調査票は、折り目に合わせて三つ折でお願いします。
- 5 このアンケートのご記入に当たってご不明な点等がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

千葉県 総合企画部 報道広報課広聴室

〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号

電 話 043-223-2469

FAX 043-227-3613

【環境と生活について】

問 1 あなたは、現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。n=1,540 (○は1つ)

75.3 住み続けたい

5.3 千葉県内のよそへ移りたい

5.3 千葉県外に移りたい

4.0 千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい

9.1 わからない → 次のページ問2へお進みください

1.0 無回答

→ (問1で「1」とお答えの方に)

問1-1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

n=1,159 (○は3つまで)

21.4 地域の人とのつながりを大切に考えているから

13.4 家族の思い出がつまっているから

12.8 引っ越しの負担が大きいから

67.3 自分の土地や家があるから

38.6 通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから

8.4 公共施設(道路、上下水道、公園など)や教育、文化の場が整っているから

25.7 自然環境や気候に恵まれ暮らしやすいから

9.0 治安や風紀がよいから

38.8 住み慣れていて愛着があるから

19.2 親、兄弟姉妹や親戚が近くにいるから

4.9 仕事や商売に都合がよいから

1.1 その他(具体的に

0.3 無回答

→ (問1で「2」～「4」のいずれかをお答えの方に)

問1-2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。

n=225 (○は3つまで)

31.1 その時々家族の状況(子どもの成長、親の面倒を見るなど)にあった住まいを考えているから

5.3 一ヶ所にとどまることが難しいから

37.8 生活環境をより良くしたいから

13.3 より良質で広い住宅に住みたいから

4.9 近所の人とのつきあいがうまくいっていないから

33.3 通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪いから

14.7 公共施設(道路、上下水道、公園など)や教育、文化の場が整っていないから

8.0 自然環境に恵まれていないから

10.2 治安や風紀が悪いから

16.9 愛着を感じないから

17.3 親、兄弟姉妹や親戚の近くに住みたいから

17.3 その他(具体的に

0.4 無回答

問2 あなたは、現在お住まいの地域の生活環境についてどう思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	と思う 良いほうだ	どちらとも いえない	と思う 悪いほうだ	わからない	無回答
n = 1,540					
(ア) ごみ処理などの環境衛生について	73.8	19.5	4.7	1.1	0.9
(イ) 騒音・振動などについて	54.5	27.7	14.0	0.7	3.0
(ウ) 大気汚染・悪臭などについて	56.7	27.3	9.2	3.6	3.2
(エ) 海・川などの汚れについて	27.9	39.2	14.7	14.5	3.6

問3 あなたは、問2の(ア)～(エ)のような生活環境全般についてどう感じですか。

n = 1,540 (○は1つ)

10.1 大変満足している	16.1 どちらともいえない	1.9 大変不満である
60.0 まあ満足している	9.6 やや不満である	0.5 わからない
		1.8 無回答

問4 あなたは、現在お住まいの地域の周辺・自然環境についてどう思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

	と思う 良いほうだ	どちらとも いえない	と思う 悪いほうだ	わからない	無回答
n = 1,540					
(ア) 防犯対策について	34.0	48.3	11.8	4.7	1.2
(イ) 交通安全対策について	27.8	48.8	17.3	4.4	1.6
(ウ) 緑の豊かさについて	63.1	27.1	7.2	1.2	1.4
(エ) 文化施設について	28.3	44.7	18.8	6.8	1.5

問5 あなたは、問4の(ア)～(エ)のような周辺・自然環境全般についてどう感じですか。

n = 1,540 (○は1つ)

6.8 大変満足している	25.6 どちらともいえない	2.2 大変不満である
48.4 まあ満足している	14.9 やや不満である	1.0 わからない
		1.1 無回答

問6 あなたは、現在お住まいの地域の基盤整備についてどう思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

	と思う 良いほうだ	どちらとも いえない	と思う 悪いほうだ	わからない	無回答
n = 1,540					
(ア) 道路の整備	40.0	32.1	25.5	1.2	1.2
(イ) 排水(下水道)の整備	49.6	27.1	16.6	5.3	1.4
(ウ) 上水道の整備	59.2	27.5	6.0	5.8	1.6

問7 あなたは、現在の生活について、どの程度満足していますか。 (○はそれぞれ1つずつ)

	大変満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答
n = 1,540							
(ア) 通勤・通学の便について	12.0	43.4	10.8	16.8	7.9	3.8	5.3
(イ) 買い物の便について	16.4	49.0	12.2	15.6	5.5	0.2	1.0
(ウ) 近所や職場での人間関係について	9.1	48.2	28.8	6.7	2.1	2.9	2.1
(エ) 家庭内の夫婦・親子関係について	27.3	50.3	10.9	3.3	1.6	3.4	3.1
(オ) 収入や預貯金など経済的な面について	4.7	30.3	29.3	20.5	12.3	1.6	1.5
(カ) 心の安定や充実感について	8.5	43.4	28.2	12.7	3.7	1.6	1.9
(キ) 仕事面や働く機会について	5.5	32.7	29.8	12.5	4.4	10.4	4.7
(ク) レジャー・余暇活動について	6.4	37.9	31.0	12.0	3.6	6.6	2.4
(ケ) 芸術や文化に親しむ機会について	3.4	23.2	38.6	16.8	4.7	11.0	2.3
(コ) 防災対策について	3.3	24.9	45.0	12.8	3.4	8.2	2.4
(サ) 商品の安全や悪質商法に関する相談体制について	1.9	15.2	41.5	7.0	1.8	30.3	2.3
(シ) 子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について	3.2	26.0	31.7	7.6	2.1	25.4	4.0

問8 あなたは、現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）についてどう感じですか。

n = 1,540 (○は1つ)

6.0 大変満足している	20.6 どちらともいえない	1.8 大変不満である
58.2 まあ満足している	11.4 やや不満である	0.7 わからない
		1.4 無回答

問9 あなたは、市民活動団体の活動や、ボランティア活動に関心がありますか。

n = 1,540 (○は1つ)

5.3 大変関心がある	47.0 あまり関心がない
39.2 まあ関心がある	7.3 まったく関心がない
	1.1 無回答

※ ここでいう「市民活動団体」とは、市民の自発性に基づき、福祉や子育て支援、まちづくり、環境等様々な分野の地域課題の解決のために、自立的・継続的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（行政が認証したNPO法人やボランティア団体等任意団体）のことです。

問10 あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。 n=1,540 (○は1つ)

- | |
|------------------------------|
| 5.0 定期的に参加している |
| 6.3 時々参加している |
| 19.7 参加したことがある |
| 11.6 参加したことはないが、今後参加してみたいと思う |
| 56.7 参加したことはない |
| 0.7 無回答 |

※ ここでいう「参加」とは、団体の会員やスタッフとしての参加、団体への資金・物品・場所の提供・寄付、ボランティアによる労力・技術等の提供、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを含みます。

問11 あなたは、ボランティアとして活動したことがありますか。 n=1,540 (○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| 5.1 定期的に参加している | 7.9 活動したことはないが、今後活動してみたいと思う |
| 5.8 時々活動している | 55.7 活動したことはない |
| 24.7 活動したことがある | 0.7 無回答 |

※ ここでいう「ボランティア活動」は、市民活動団体等の活動への参加のみならず、個人が行う地域活動全般を含む、幅広いボランティアとしての活動を指します。

【健康について】

問12 あなたは、自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思いますか。

n=1,540 (○は1つ)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 18.6 そう思う | 11.3 どちらかといえばそう思わない |
| 33.1 どちらかといえばそう思う | 10.0 そう思わない |
| 21.6 どちらともいえない | 4.6 わからない |
| | 0.8 無回答 |

問13 あなたは、健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行いましたか。

n=1,540 (○は1つ)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 15.3 週に3日以上(年151日以上) | 7.1 3か月に1~2日(年4日~11日) |
| 12.2 週に2日(年101日~150日) | 8.4 年に1~3日 |
| 14.5 週に1日(年51日~100日) | 26.6 運動・スポーツは行わなかった |
| 14.9 月に1~3日(年12日~50日) | 1.0 無回答 |

※ ここでいう「運動やスポーツ」とは、比較的軽い運動やスポーツ(ウォーキングや軽い体操、ダンスなどのレクリエーション活動等)を含みます。

問14 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。

n=1,540 (○は1つ)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 26.1 そう思う | 10.2 どちらかといえばそう思わない |
| 35.8 どちらかといえばそう思う | 9.5 そう思わない |
| 15.0 どちらともいえない | 2.9 わからない |
| | 0.4 無回答 |

問 15 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医・薬局）を、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」をお持ちですか。（○はそれぞれ1つずつ）

n = 1,540

かかりつけ医	かかりつけ歯科医	かかりつけ薬局
56.9 持っている	62.2 持っている	40.5 持っている
34.6 持っていないが、必要性は強く感じている	25.6 持っていないが、必要性は強く感じている	33.4 持っていないが、必要性は強く感じている
7.9 持っていないし、必要性もあまり感じていない	8.3 持っていないし、必要性もあまり感じていない	22.1 持っていないし、必要性もあまり感じていない
0.6 無回答	3.8 無回答	4.0 無回答

【福祉について】

問16 あなたは、自分が安心して子育てできる環境にあると思いますか。 n = 1,540（○は1つ）

9.8 そう思う	7.3 どちらかといえばそう思わない
31.4 どちらかといえばそう思う	6.0 そう思わない
19.7 どちらともいえない	20.5 わからない
	5.4 無回答

問17 あなたは、お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についてどう感じですか。

n = 1,540（○は1つ）

2.2 大変満足している	38.6 どちらともいえない	7.7 大変不満である
15.8 まあ満足している	15.2 やや不満である	19.9 わからない
		0.6 無回答

問18 近年、少子高齢化の進行や一人暮らし世帯・核家族世帯の増加等を背景に家庭内や地域の支え合いの力が弱まっていると言われています。あなたは、地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思いますか。 n = 1,540（○は1つ）

3.1 そう思う	20.5 どちらかといえばそう思わない
17.1 どちらかといえばそう思う	19.2 そう思わない
27.5 どちらともいえない	12.3 わからない
	0.4 無回答

問 19 あなたは障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりが進められていると思いますか。

n = 1,540（○は1つ）

2.4 そう思う	18.1 どちらかといえばそう思わない
12.1 どちらかといえばそう思う	19.0 そう思わない
27.3 どちらともいえない	20.6 わからない
	0.4 無回答

【観光について】

問20 千葉県の魅力は、次のどれだと思いますか。

n = 1,540 (○はいくつでも)

55.8 自然が豊かである	51.4 新鮮な農産物が豊富である
55.8 温暖で気候がよい	48.4 新鮮な水産物が豊富である
35.5 季節の花々が楽しめる	6.8 郷土料理・ご当地グルメが豊富である
5.7 温泉が楽しめる	3.2 お酒がおいしい
19.2 ゴルフ場が多い	14.5 地域ならではの特産品・お土産がある
34.0 サーフィン・海水浴・潮干狩りが 楽しめる	23.2 果物狩りが楽しめる
10.9 プロスポーツ観戦が楽しめる	11.3 祭りが盛んである
41.0 魅力的なテーマパーク・レジャー 施設がある	4.5 自然体験・農林漁業体験ができる
14.2 魅力的な動植物園・水族館がある	4.7 ドラマや映画等のロケ地が多い
14.1 有名な神社・仏閣がある	12.7 家族（子供と）で楽しめる
13.4 歴史的なまち並み・史跡・旧跡がある	51.4 都心からアクセスがよい・近い
29.4 買い物・ショッピングが楽しめる	4.8 国際的な観光地である
6.0 工場見学が楽しめる	1.3 その他（具体的に
	2.3 特にな
	0.4 無回答

問21 あなたは、これから千葉県内を旅行するとしたら、どのエリアに行きたいですか。

n = 1,540 (○はいくつでも)

12.7 ベイ・東葛飾エリア（千葉市、八千代市、習志野市、四街道市、船橋市、市川市、 浦安市、野田市、流山市、柏市、我孫子市、松戸市、鎌ケ谷市）	
9.7 かずさ・臨海エリア（市原市、袖ケ浦市、木更津市、君津市、富津市）	
18.4 北総エリア（銚子市、東庄町、香取市、多古町、神崎町、成田市、富里市、 栄町、印西市、白井市、佐倉市、酒々井町、八街市、芝山町）	
26.4 九十九里エリア（旭市、匝瑳市、横芝光町、山武市、東金市、大網白里市、 九十九里町、茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、 長柄町、長南町）	
75.1 南房総エリア（館山市、南房総市、鋸南町、鴨川市、勝浦市、いすみ市、 大多喜町、御宿町）	
13.4 特にな	
1.0 無回答	

問22 千葉県内を観光する際に、事前にどのような情報がほしいですか。n = 1,540 (○はいくつでも)

54.0 観光施設	42.5 道の駅
53.1 宿泊施設	27.9 直売所（地場農水産物）
6.6 バリアフリー対応施設	3.5 観光ボランティアガイド
53.4 食事	8.2 体験プログラム
26.4 お土産・特産品	14.9 観光公衆トイレ
19.2 祭り・イベント	14.1 観光地の動画・写真
10.3 モデルルート	20.6 観光地の気象情報
47.4 交通アクセス	1.9 その他（具体的に
	3.0 無回答

問23 千葉県内を観光する際に、不満な点を教えてください。 n=1,540 (○はいくつでも)

5.6 食事	2.1 自然・景観
6.2 観光施設	16.3 観光情報・案内の充実度
8.0 宿泊施設	16.8 観光地の公衆トイレが少ない
5.1 接客サービス	22.1 観光地の公衆トイレが汚い
3.6 お土産・特産品	21.2 観光地における駐車場
32.6 交通アクセス	2.8 その他（具体的に
6.2 まち並み・雰囲気	25.7 特に不満な点はない
	4.9 無回答

問24 あなたは県産品をお土産や贈答品として使う場合、何を贈りますか。 n=1,540 (○は3つまで)

5.5 花	6.2 酒類
42.0 農産物・果物	5.4 しょうゆ・みそ
51.0 落花生・落花生加工品	0.6 乳製品
0.7 肉類	31.1 菓子・せんべい
14.4 生鮮魚介類	1.0 工芸品
27.4 海苔・水産加工品	6.2 チーバくんグッズ
5.1 漬物	1.4 その他（具体的に
	2.9 無回答

【千葉県の農林水産物について】

問25 あなたは、千葉県産農林水産物を購入したいと思いますか。 n=1,540 (○は1つ)

43.7 そう思う	10.1 どちらかといえばそう思わない	1.9 無回答
39.9 どちらかといえばそう思う	4.3 そう思わない	

→ (問25で「1」「2」のいずれかをお答えの方に)

問25-1 その主な理由は何ですか。 n=1,288 (○は1つ)

19.3 千葉県に愛着があるから	2.6 価格が安いから
50.4 鮮度が良い(美味しい)から	1.3 その他(具体的に
25.3 地元のものは安心だから	1.0 無回答

→ (問25で「3」「4」のいずれかをお答えの方に)

問25-2 その主な理由は何ですか。 n=222 (○は1つ)

28.4 産地にこだわらず価格で選ぶから	13.1 千葉県以外で買いたい産地があるから
46.4 産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから	6.3 その他(具体的に
	5.9 無回答

問26 千葉県では、生産者が努力し、農薬と化学肥料の使用を通常の半分以下に減らして栽培した農産物を「ちばエコ農産物」として認証しています。

あなたは、「ちばエコ農産物」を知っていますか。 n=1,540 (○は1つ)

5.3 よく知っている	65.0 知らない
25.8 多少は知っている(聞いたことがある)	3.9 無回答

問27 千葉県では、千葉のさかなの認知度を高め、広く県内外にアピールするため、「銚子つりきんめ」、「外房イセエビ」、「九十九里地はまぐり」などの優良な県産水産物を「千葉ブランド水産物」として認定しています。

あなたは、「千葉ブランド水産物」を知っていますか。

n = 1,540 (○は1つ)

7.9 よく知っている	58.4 知らない
32.4 多少は知っている (聞いたことがある)	1.3 無回答

【防災に関する取り組みについて】

問28 平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、千葉県内でも震度6弱を記録し、大きな被害が出ました。また、県外では平成28年熊本地震(震度7が2回発生)や、記録的な大雨や台風により浸水害や土砂災害なども発生しております。あなたは、自分の住んでいる地域で、大地震や風水害が起こるのではないかと不安を感じていますか。 n = 1,540 (○は1つ)

48.9 強く感じている	7.1 ほとんど感じていない	
41.9 少し感じている	1.0 わからない	1.1 無回答

問29 市町村では、災害から住民を守るために「避難勧告」や「避難指示」を発令することがあります。あなたは、これらの意味や違いを知っていますか。 n = 1,540 (○は1つ)

69.0 知っている	29.8 知らない	1.2 無回答
------------	-----------	---------

問30 大規模な災害が発生した場合、避難所に飲料水や食料などの支援物資が届くまで時間がかかることが予測されます。あなたは、災害に備えて、冷蔵庫にあるものを含めて、飲料水や食料をおよそ何日分、備蓄していますか。 n = 1,540 (○は1つ)

15.1 4日分以上	24.0 2日分	19.7 備蓄していない
31.9 3日分	8.1 1日分	1.2 無回答

問31 固定電話や携帯電話(音声及びメール)は、災害が発生した際には利用が急増し、平常時のように使用できなくなります。実際に東日本大震災でも、使用できなくなりました。

あなたは、災害時に利用できる災害伝言板や災害用伝言ダイヤルを知っていますか。

n = 1,540 (○は1つ)

58.6 知っている	39.9 知らない	1.4 無回答
------------	-----------	---------

問32 あなたは、地震による被害を防ぐため、どのような対策を行っていますか(行う予定ですか)。

n = 1,540 (○はいくつでも)

58.6 家具(冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど)の固定化	
10.2 住宅(昭和56年以前に建築されたもの)の耐震化	
4.5 住宅(昭和56年以前に建築されたもの)の建替え	
4.4 家具や建築資材の不燃化・防災化	
1.7 液状化対策	
51.0 地震や津波が来た場合の避難所と避難経路の確認	
4.7 その他(具体的に)
9.4 無回答	

【地方分権について】

問33 「地方分権」とは、自分の住む地域のことは、その地域の住民が自ら決められるようにするため、国から、身近な県や市町村に権限や財源を移していこうとするものです。

あなたは、こうした「地方分権」について、今後さらに進めていくべきと思いますか。

n=1,540 (○は1つ)

33.2 地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい

15.1 今のままの制度で特に支障がない。現状の制度を維持すべきである

21.8 どちらともいえない

27.0 わからない

0.8 その他（具体的に)

2.1 無回答

→ (問33で「1」とお答えの方に)

問33-1 あなたは、国から身近な県や市町村に権限や財源を移す「地方分権」を進めることにより、主にどのような効果を期待しますか。

n=511 (○は1つ)

39.9 国の画一的な行政が是正され、地方の自由度が増すことにより、地域の特性に応じた事業が可能となる

(例) 社会福祉施設の整備にあたり、安全に配慮した上で、国の定めた基準を緩和することにより、施設建設のコストを削減することができる

14.3 国と地方が行っている事務を一体的に実施することが可能となり、事業の効率化を図ることができる

(例) ハローワークの事務を国から県に移譲することなどにより、国が行う職業紹介と県が行う生活・就労相談を併せて実施し、効率的な雇用施策を行うことができる

35.0 従来必要だった国との協議などが不要・簡素化され、事業の迅速化を図ることができる

(例) 道路や公園、住宅地等の位置・規模など、まちづくりの基本方針を定める都市計画に係る国への協議を廃止することにより、計画決定までの期間が短縮化され、早期に事業着手することができる

9.4 住民に身近な県や市町村において、申請や相談などの対応が可能となる

(例) 未熟児等の医療費支給に係る認定権限を県から市町村に移譲することにより、より身近な窓口で手続きが可能となり、住民の利便性向上を図ることができる

0.8 その他（具体的に)

0.6 無回答

【広報・広聴活動について】

問34 あなたは、県の施策や政策などについて関心がありますか。

n=1,540 (○は1つ)

7.3 大変関心がある

35.6 あまり関心がない

50.6 まあ関心がある

4.5 まったく関心がない

2.1 無回答

問35 あなたは、県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。n=1,540 (○はいくつでも)

68.1	県広報紙「ちば県民だより」
10.3	千葉県ホームページ (パソコン版)
6.8	千葉県ホームページ (スマートフォン版)
0.6	千葉県ホームページ (携帯版)
5.4	千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、「特集」
10.7	千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」
4.9	ベイエフエムによる県広報番組「サタデー・ブレイシング・モーニング」、 「チバ・プリフェクチャー・アップデイツ」
33.5	5・6・7以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース
0.8	その他 (具体的に)
5.2	無回答

問36 あなたは、県広報紙「ちば県民だより」を読んでいますか。 n=1,540 (○は1つ)

23.7	ほとんど毎回読んでいる	17.3	読んだことがない
41.2	ときどき読んでいる	1.2	無回答
16.6	あまり読まない		

→ (問36で「1」～「3」のいずれかをお答えの方に)

問36-1 県広報紙「ちば県民だより」の内容についておたずねします。

n=1,256 (○はそれぞれ1つずつ)

情報・内容のわかりやすさ		デザイン	
12.5	良い	2.5	悪い
81.9	普通	3.0	無回答
		9.1	良い
		4.9	悪い
		78.3	普通
		7.6	無回答

問37 あなたは、千葉県ホームページを利用していますか。 n=1,540 (○は1つ)

1.0	よく利用している	53.5	利用していない
14.0	ときどき利用している	12.0	普段からインターネットを利用していない
17.4	ほとんど利用しない	2.1	無回答

→ (問37で「1」～「3」のいずれかをお答えの方に)

問37-1 千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさはいかがですか。n=498 (○は1つ)

6.4	良い	3.8	悪い
83.5	普通	6.2	無回答

問38 県では、千葉テレビ放送において、県の広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」を毎週放送しています。あなたは、これらの番組をどの程度ご覧になっていますか。 n=1,540 (○は1つ)

1.4	よく見る	28.1	あまり見ない
14.7	ときどき見る	54.0	見たことがない
		1.9	無回答

問39 あなたは、県の広報紙や広報番組（問35の選択肢「1」～「6」に掲げるもの）以外で、県の歴史・文化、観光、イベントなど、千葉県に関する情報を見たり、聞いたりしたことがありますか。 n=1,540 (○はいくつでも)

37.7 新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告	5.3 LINE、Twitter、Facebook 等のソーシャルメディア
34.7 テレビ・ラジオ等の番組又はCM	7.5 イベント
27.4 地域のフリーペーパー	0.5 その他（具体的に）
31.0 駅や街頭のポスター	20.8 特にない
6.9 街頭配布のチラシやリーフレット	2.3 無回答
4.6 ニュースサイト等のホームページ	

問40 あなたは、県のどのような情報が知りたいですか。 n=1,540 (○はいくつでも)

25.1 県事業の内容や進みぐあい	6.6 各種調査や統計資料の紹介
27.3 県予算の使いみち	10.5 地域住民の活動情報
38.2 新しくできた制度や事務手続きの情報	44.2 県の観光・レジャー情報
10.5 県民の県政に対する意見や要望の紹介	20.4 県の歴史や文化、伝統工芸
33.7 県行事や催し物などのお知らせ	1.1 その他（具体的に）
40.1 県施設の紹介や利用案内	10.9 特にない
	1.8 無回答

問41 県では、県民参加型の県政運営に努めています。あなたは、知事への手紙など、以下に掲げるものの中で今までに意見を述べたことがありますか。 n=1,540 (○はいくつでも)

0.7 知事への手紙	
0.8 電話、訪問、郵便、電子メール又はファクスによる県民相談	
0.7 千葉県ホームページによるお問い合わせ	
0.4 県民会議・タウンミーティング	
0.5 ちばづくり県民コメント（パブリックコメント）制度	
0.6 その他（具体的に）	
95.1 利用したことはない	
1.8 無回答	

問42 みなさんが県政に対するご意見を述べやすくするためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。 n=1,540 (○は3つまで)

33.4 県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開	
13.4 施策形成の段階から県民の意見を聴く制度の拡大	
7.5 県民が県に対して直接意見・提案のできるタウンミーティングなどの機会の充実	
33.1 手紙・電話・ファクス・ホームページ・電子メールなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知	
19.5 県内各地で直接県民の声を聴く窓口の充実	
41.4 県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開	
1.0 その他（具体的に）	
18.9 特にない	
3.4 無回答	

問43 今後、ご自分の意見を積極的に述べ、県政に反映させたいと思いますか。 n=1,540 (○は1つ)

6.2 そう思う	6.9 どちらかといえばそう思わない
22.3 どちらかといえばそう思う	10.5 そう思わない
35.8 どちらともいえない	15.6 わからない
	2.7 無回答

【県政への要望】

問44 県政全般について、今後あなたが特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から **3つまで** 選んで番号に○をつけてください。n=1,540
なお、各要望項目の内容については、次の「問45」の具体的要望項目欄に例示を記載していますので参考にしてください。

- 44.8 災害から県民を守る
- 4.0 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる
- 14.4 食品の安全を守る
- 7.5 交通事故から県民を守る
- 3.4 中心市街地の活性化を推進する
- 1.9 国際交流や国際協力をすすめる
- 17.6 便利な交通網を整備する
- 7.0 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する
- 3.8 母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する
- 28.2 高齢者の福祉を充実する
- 18.4 次世代を担う子どもの育成支援を充実する
- 5.3 青少年を健全に育てる
- 0.6 男女共同参画を推進する
- 0.6 市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する
- 7.3 健康づくりをすすめて、病気を予防する
- 19.0 医療サービス体制を整備する
- 5.7 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる
- 7.0 自然を守り、緑を育てる
- 2.3 省資源やリサイクルをすすめる
- 2.5 廃棄物対策をすすめる
- 2.4 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業や創業への支援を充実する
- 2.5 観光を振興する
- 8.2 雇用の場を広げる
- 11.3 仕事と子育てが両立する働き方を実現する
- 1.9 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する
- 10.1 道路を整備する
- 4.2 下水道を整備する
- 1.1 住宅対策を充実する
- 2.3 公園・緑地を整備する
- 6.0 安心して飲める良質な水道水を供給する
- 5.6 学校教育を充実する
- 2.9 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する
- 1.7 芸術・文化活動を振興する
- 10.4 犯罪防止対策をすすめる
- 0.7 施策実現や地域活性化のためのITの利活用をすすめる
- 7.1 東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る
- 1.4 その他（具体的に
- 1.7 要望はない
- 0.8 無回答

(問44で「1」～「36」のうち1つでもお答えの方は、次の問45にお進みください。

問44で「37」または「38」だけにお答えの方は、18ページのF 1にお進みください。)

→ 問 45 問 44 で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。
問 44 で選んだ3項目についてのみ、具体的要望項目から1つずつ選んで番号に○をつけてください。

問 44 の番号及び項目	具体的要望項目（問 44 で選んだ項目についてのみお答えください）
1 n=690 災害から県民を守る を選んだ方 ⇒	18.3 災害対応マニュアルの作成・防災マップ等の公表 36.5 災害時の支援、救援活動 13.8 避難場所・避難経路の整備 17.1 危険箇所の事前解消 7.2 災害に対する意識啓発、情報提供 1.2 その他（具体的に） 5.9 無回答
2 n=61 消費生活のトラブルに 関する対策をすすめる を選んだ方 ⇒	31.1 悪質商法などによる消費者トラブルの相談・救済 29.5 悪質な事業者の指導・処分 6.6 食品や生活用品などの適正な表示 1.6 商品・サービスに係る危害・危険の防止 4.9 消費者教育などの消費者の自立支援策の充実 11.5 高齢者や若者等の消費者被害の防止 8.2 安心して相談できる相談窓口などの情報提供 0.0 その他（具体的に） 6.6 無回答
3 n=222 食品の安全を守る を選んだ方 ⇒	33.8 食品の安全確保 14.9 適正な食品表示 15.3 検査の強化 5.4 情報提供 21.6 添加物や農薬の規制 0.5 その他（具体的に） 8.6 無回答
4 n=116 交通事故から県民を 守る を選んだ方 ⇒	34.5 交通事故多発箇所の点検、整備 1.7 交通安全教育の推進 23.3 自転車通行環境の整備 3.4 その他 17.2 自転車利用者のマナー向上 （具体的に） 16.4 ドライバーのマナー向上 3.4 無回答
5 n=53 中心市街地の活性化を 推進する を選んだ方 ⇒	3.8 まちのバリアフリー化 0.0 その他 20.8 再開発などのまちづくり推進 （具体的に） 49.1 駅周辺の活性化 5.7 無回答 20.8 商業中心による活性化
6 n=30 国際交流や国際協力を すすめる を選んだ方 ⇒	10.0 海外の良い点を県政に反映 26.7 外国人にも住みやすいまちづくり 10.0 姉妹都市をはじめとする世界との交流・協力 30.0 市民レベルでの文化交流・外国人交流の機会の提供 0.0 在住外国人向けの相談・情報提供の充実 16.7 海外への千葉県の魅力に関する情報発信 3.3 その他（具体的に） 3.3 無回答
7 n=271 便利な交通網を整備 する を選んだ方 ⇒	24.7 鉄道の増便などによる利便性の向上 21.0 バスの増便などによる利便性の向上 18.8 鉄道新設などによる交通網の見直し 18.1 鉄道とバスとの乗り継ぎの円滑化 13.3 その他（具体的に） 4.1 無回答
8 n=108 障害のある人の福祉や 社会参加の支援を充実 する を選んだ方 ⇒	16.7 就労・社会参加の促進 18.5 入所施設やグループホームなど住まいの場の充実 38.0 障害のある人が暮らしやすいまちづくり 18.5 経済的な支援・負担の軽減 2.8 その他（具体的に） 5.6 無回答
9 n=58 母子、寡婦、父子家庭等 の福祉を充実する を選んだ方 ⇒	34.5 母子、寡婦、父子家庭への子育て・生活支援体制の充実 10.3 母子、寡婦、父子家庭への就業支援体制の充実 50.0 母子、寡婦、父子家庭への経済的支援体制の充実 1.7 その他（具体的に） 3.4 無回答

問 44 の番号及び項目		具体的要望項目（問 44 で選んだ項目についてのみお答えください）
17 大気汚染、水質汚濁、 騒音などの環境対策を すすめる を選んだ方	⇒	5.7 ディーゼル車対策による大気汚染の改善 14.8 光化学スモッグ・PM2.5対策 1.1 アスベスト対策 14.8 航空機や自動車による騒音・振動に対する対策 21.6 河川・湖沼・海域の水質改善 4.5 建設残土の適正な埋立て 25.0 環境中に排出される有害な化学物質対策 6.8 その他（具体的に） 5.7 無回答
18 自然を守り、緑を 育てる を選んだ方	⇒	51.9 自然環境・自然景観の保全 2.8 環境保全に関する啓発・教育 4.6 希少な野生動植物の保全 0.0 県民参加での野生動植物調査 13.0 特定外来生物の防除 2.8 その他（具体的に） 18.5 地球温暖化対策 6.5 無回答
19 省資源やリサイクルを すすめる を選んだ方	⇒	16.7 ごみ分別徹底化 44.4 廃棄物の再資源化促進 5.6 容器包装ごみの発生抑制（マイバッグの利用など） 16.7 再生可能エネルギーの導入促進 8.3 バイオマスの利活用（飼料化・堆肥化・燃料利用など） 5.6 その他（具体的に） 2.8 無回答
20 廃棄物対策をすすめる を選んだ方	⇒	43.6 産業廃棄物の不法投棄防止対策 33.3 安心できる廃棄物処理施設の設置 12.8 廃棄物処理に関する広報・啓発活動 2.6 その他（具体的に） 7.7 無回答
21 商工業を振興し、中小企 業・ベンチャー企業や創 業への支援を充実する を選んだ方	⇒	40.5 新たな企業の誘致、産業拠点の整備 18.9 中小企業への資金支援の充実 10.8 創業及び新たな事業展開の支援 2.7 研究・技術開発の支援 0.0 販路開拓の支援 21.6 商店街の整備・活性化 0.0 その他（具体的に） 5.4 無回答
22 観光を振興する を選んだ方	⇒	7.7 観光地の美化 12.8 観光地へのアクセスの改善 25.6 観光施設・宿泊施設の充実 0.0 その他 33.3 千葉県観光の積極的なPR（具体的に） 12.8 新たな観光地づくりの促進 7.7 無回答
23 雇用の場を広げる を選んだ方	⇒	29.4 若年者に対する就業支援 1.6 障害のある人に対する就業支援 49.2 中高年齢者に対する就業支援 2.4 その他（具体的に） 11.1 女性に対する就業支援 6.3 無回答
24 仕事と子育てが両立 する働き方を実現する を選んだ方	⇒	18.4 女性の再就職支援 1.1 両立支援相談窓口の設置 12.1 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の普及 7.5 男性の育児参加など働き方の見直しの啓発 20.7 短時間勤務制度等多様な働き方の普及 4.0 企業に対する税制上の優遇措置の創設 29.3 一時預かり、時間外保育等保育内容の充実 4.0 その他（具体的に） 2.9 無回答
25 農林水産業を振興し 新鮮な農林水産物を供 給する を選んだ方	⇒	16.7 新鮮でおいしい農林水産物の供給 10.0 価格の安定 26.7 県産農林水産物の販売量の拡大 40.0 安全で安心して食べられる農林水産物の供給 0.0 その他（具体的に） 6.7 無回答

問 44 の番号及び項目	具体的要望項目（問 44 で選んだ項目についてのみお答えください）
26 n = 156 道路を整備する を選んだ方	⇒ 41.7 交通渋滞対策 7.7 交通事故多発箇所の改修 7.1 沿道環境の改善（騒音・排ガス対策・景観形成） 9.0 観光、買い物などを支援する道路の整備 11.5 自然災害に強い道路の整備 13.5 その他（具体的に） 9.6 無回答
27 n = 64 下水道を整備する を選んだ方	⇒ 67.2 下水道の普及・改善 10.9 水洗化への支援 4.7 下水道施設の耐震化 3.1 その他（具体的に） 3.1 下水の高度処理化 10.9 無回答
28 n = 17 住宅対策を充実する を選んだ方	⇒ 41.2 安くて入居を拒まれない住宅の整備 0.0 子育て世帯や高齢者世帯に対応した住宅の整備 35.3 防犯や耐震性の向上など、安全で快適な住宅の整備 11.8 住み替えやリフォームに必要な市場の整備や情報の提供 0.0 省エネなど環境に優しい住宅の整備 5.9 その他（具体的に） 5.9 無回答
29 n = 36 公園・緑地を整備する を選んだ方	⇒ 19.4 公園・緑地等の設置・管理 25.0 公園等の緑化推進 33.3 子どもの遊び場の整備 8.3 公園・緑地等の管理への住民参加の機会充実 2.8 催物・講習会等の開催 5.6 その他（具体的に） 5.6 無回答
30 n = 92 安心して飲める良質な 水道水を供給する を選んだ方	⇒ 39.1 上水道の水質の改善・維持 5.4 上水道の整備 43.5 水源となる湖沼や川の汚染対策 2.2 その他（具体的に） 9.8 無回答
31 n = 86 学校教育を充実する を選んだ方	⇒ 30.2 教職員の資質向上・増員 2.3 障害のある児童生徒の 15.1 学力の向上 教育の充実 3.5 健康と体力の向上 14.0 学校施設の整備 7.0 特色ある教育活動の充実 1.2 その他 14.0 道徳や心の教育の充実 （具体的に） 8.1 いじめ・不登校対策 4.7 無回答
32 n = 44 生涯学習・スポーツ・ レクリエーションを 振興する を選んだ方	⇒ 6.8 指導者育成の支援 22.7 学習機会の充実 29.5 スポーツ・レクリエーション活動の充実 9.1 情報提供の充実 20.5 施設の整備・充実 4.5 その他（具体的に） 6.8 無回答
33 n = 26 芸術・文化活動を振興 する を選んだ方	⇒ 53.8 文化・芸術にふれる機会の拡充 15.4 文化・芸術に関する情報提供の充実 3.8 文化・芸術活動への支援 7.7 伝統文化や文化財などの継承と活用 15.4 文化施設等の幅広い活用 3.8 その他（具体的に） 0.0 無回答

問 44 の番号及び項目		具体的要望項目（問 44 で選んだ項目についてのみお答えください）
34 n = 160 犯罪防止対策を すすめる を選んだ方	⇒	27.5 警察官によるパトロールの強化 29.4 防犯カメラなどの防犯設備の整備・拡充 6.3 犯罪情報の発信や防犯対策等の広報活動を強化 2.5 警察官や交番相談員の増員による交番の不在時間短縮 5.6 人口や事件が増えている地域に警察署、交番、駐在所の新設 5.0 少年の非行防止対策 11.9 暴力団、不良来日外国人等による犯罪の防止 3.8 ボランティア、自治会等、地域主導型の防犯組織づくりの推進 2.5 その他（具体的に ） 5.6 無回答
35 n = 11 施策実現や地域活性化 のための IT の利活用を 進める を選んだ方	⇒	45.5 安全で豊かなくらしの実現のための I T 利活用 （防災・環境・医療・福祉・健康等） 0.0 千葉県の未来を担うこどもの育成のための I T 利活用 （子育て・教育・国際交流・文化・スポーツ等） 9.1 経済の活性化と交流基盤の整備のための I T 利活用 （観光・商工業・農林水産業・街づくり・交通網の整備等） 27.3 行政事務の利便性の向上、効率化への I T 利活用 9.1 情報セキュリティ対策の推進 9.1 光通信、無線高速回線などの整備促進 0.0 その他（具体的に ） 0.0 無回答
36 n = 109 東京電力福島第一原子 力発電所事故の影響から 県民を守る を選んだ方	⇒	44.0 きめ細かな測定の実施及び測定結果の公表 8.3 放射性物質に関する基礎的な知識の啓発 17.4 安全基準の提示 2.8 風評被害への対策 12.8 除染の推進 6.4 その他（具体的に ） 8.3 無回答

以上で質問は終わりですが、調査結果を統計的に分析するために必要なことがらをお聞かせください。

F 1 あなたの性別は。 n=1,540 (○は1つ)

45.1 男性	53.2 女性	1.8 無回答
---------	---------	---------

F 2 あなたは満何歳ですか。 n = 1, 540 (○は1つ)

1.2	18～19 歳	18.1	40～49 歳	34.5	65 歳以上
7.1	20～29 歳	16.8	50～59 歳	1.6	無回答
10.8	30～39 歳	9.8	60～64 歳		

F 3 あなたのご職業は何ですか。 n = 1,540 (○は1つ)

自営業主	家族従業者	勤め人	無職
1.2 農林漁業	0.4 農林漁業	6.3 管理職	32.5 主婦・主夫
2.3 商工サービス業	0.4 商工サービス業	19.2 専門技術・事務職	2.7 学生
2.9 自由業	0.8 自由業	11.3 販売・サービス職	10.7 その他()
		5.6 労務職	3.6 無回答

F 4 あなたは、主としてあなたのご家庭の家計を支えている方ですか。 n = 1,540 (○は1つ)

51.0 はい	46.5 いいえ	2.5 無回答
---------	----------	---------

→ (F 4で「2」とお答えの方に)

F 4-1 あなたのご家庭の家計を主として支えている方のご職業は何ですか。 n = 716 (○は1つ)

自営業主	家族従業者	勤め人	無職
1.0 農林漁業	0.1 農林漁業	12.8 管理職	28.2 無職
4.7 商工サービス業	0.6 商工サービス業	20.5 専門技術・事務職	
5.9 自由業	0.8 自由業	13.0 販売・サービス職	
		8.7 労務職	3.6 無回答

F 5 あなたは、結婚していらっしゃいますか。 n = 1,540 (○は1つ)

18.9 未婚	9.7 既婚 (配偶者離死別)
69.0 既婚 (配偶者有)	2.3 無回答

F 6 あなたは、お子さんが何人いらっしゃいますか。同居、別居は問いません。 n = 1,540 (○は1つ)

15.7 1人	12.7 3人	0.5 5人以上
42.9 2人	1.2 4人	23.0 子どもはいない
		4.0 無回答

→ (F 6で「1」～「5」のいずれかをお答えの方に)

F 6-1 一緒にお住まいのあなたのお子さんと次の中にあげるような方はいらっしゃいますか。 n = 1,125 (○はいくつでも)

6.0 0～2歳の子ども	6.7 大学・大学院在学中の子ども
8.9 3歳以上の未就学の子ども	24.7 学校を終えた未婚の子ども
19.6 小学校・中学校在学中の子ども	13.7 結婚した子ども
9.2 高校在学中の子ども	22.1 同居している子どもはいない
2.1 短大・高専・各種学校・専修学校に 在学中の子ども	8.6 無回答

F 7 あなたと一緒に暮らしのご家族の構成は次の中のどれに該当しますか。 n = 1,540 (○は1つ)

10.2 単身	49.5 二世代世帯 (親と子)	1.4 その他 (具体的に)
25.2 夫婦のみ	9.0 三世代世帯 (親と子と孫)	4.7 無回答

F 8 お宅には65歳以上の方がいらっしゃいますか。 あなたご自身も含めてお答えください。

n = 1,540 (○は1つ)

59.0 いる	39.6 いない	1.4 無回答
---------	----------	---------

F 9 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。 n = 1,540 (○は1つ)

68.9 持家 (一戸建)	3.7 公社・UR都市機構・県市町村営住宅
12.9 分譲マンション	1.0 社宅などの給与住宅
2.2 民間の借家 (一戸建)	0.5 住み込み・寮・寄宿舍
9.2 賃貸のアパート・マンション	0.1 その他 (具体的に)
	1.4 無回答

F10 あなたは、千葉県に通算して何年くらいお住まいですか。

n=1,540 (○は1つ)

1.0	1年未満	4.5	5年～10年未満	15.0	20年～30年未満
1.9	1年～3年未満	5.1	10年～15年未満	64.6	30年以上
1.2	3年～5年未満	5.6	15年～20年未満	0.1	わからない
				0.8	無回答

F11 あなたは、次のどの市町村にお住まいですか。

n=1,540 (○は1つ)

16.6	千葉市	6.1	柏市	1.7	印西市	0.3	山武郡九十九里町
1.4	銚子市	0.2	勝浦市	0.9	白井市	0.0	山武郡芝山町
7.0	市川市	4.3	市原市	1.1	富里市	0.5	山武郡横芝光町
9.6	船橋市	2.3	流山市	0.5	南房総市	0.0	長生郡一宮町
1.3	館山市	2.3	八千代市	0.5	匝瑳市	0.0	長生郡睦沢町
1.9	木更津市	2.4	我孫子市	1.2	香取市	0.4	長生郡長生村
8.1	松戸市	0.5	鴨川市	0.4	山武市	0.0	長生郡白子町
2.3	野田市	1.9	鎌ヶ谷市	0.6	いすみ市	0.0	長生郡長柄町
1.9	茂原市	1.6	君津市	0.8	大網白里市	0.5	長生郡長南町
1.8	成田市	0.7	富津市	0.5	印旛郡酒々井町	0.0	夷隅郡大多喜町
2.5	佐倉市	2.8	浦安市	0.0	印旛郡栄町	0.6	夷隅郡御宿町
1.2	東金市	1.8	四街道市	0.0	香取郡神崎町	0.0	安房郡鋸南町
1.0	旭市	1.4	袖ヶ浦市	0.5	香取郡多古町	0.8	無回答
2.5	習志野市	0.9	八街市	0.0	香取郡東庄町		

以上で質問はすべて終わりです。

このほかにも、県へのご意見があればご自由にお書きください。

また、この「世論調査」について、ご意見やご提案があればお書きください。

お忙しいところをご協力いただき、ありがとうございました。

ご記入いただいた調査用紙は、同封の返信用封筒に入れて、

9月7日（水）までに、ポストにご投函ください。なお、切手は不要です。

平成 28 年度

(第 52 回)

県 政 に 関 す る 世 論 調 査

平成 28 年 12 月発行

(平成 28 年 8 月実施)

千葉県総合企画部報道広報課

千葉市中央区市場町 1 番 1 号

(広聴室) 電話 0 4 3 - 2 2 3 - 2 4 6 9
